山口県立萩美術館・浦上記念館年報

平成１４～１８年度

ANNUAL REPORT
2002～2006
HAGI URAGAMI MUSEUM

山口県立萩美術館・浦上記念館年報
平成１４～18年度

目　　次

Ⅰ　概　　要		頁
1　施設概要	--	1
2　事業概要	--	1
Ⅱ　事　　業		
1　展覧会事業		
(1)　特別展示	--	2
(2)　平常展示	--	161
(3)　特別展示室展示	--	171
(4)　和風展示室(特別展示室)展示	------------------------------------	173
2　教育普及事業		
(1)　美術講座	---	175
(2)　記念講演会	---	178
(3)　こどものミュージアムスクール	----------------------------------	182
(4)　ギャラリー・トーク	--	183
(5)　季刊誌「萩」	---	185
(6)　ウェブ・サイト	--	189
(7)　博物館実習	---	189
3　館蔵品貸出利用状況	---	191
4　寄贈作品	--	197
5　購入作品	--	221
Ⅲ　入 館 者	--	239
Ⅳ　組　　織	--	241

Ⅰ 概　　要

萩美術館・浦上記念館は、萩市出身の浦上敏朗氏からの浮世絵と東洋陶磁の寄贈を契機に、平成8年10月14日に開館した。山口県立としては、2館目の美術館である。

浮世絵版画類約5,200件、東洋陶磁器類約460件を所蔵(平成19年3月現在)

1 施設概要

(1) 施　　設

敷地面積　11,715㎡（鉄筋コンクリート造、地下1階　地上2階）
建築面積　3,194㎡
延床面積　4,990㎡
常設展示室　441㎡
企画展示室　721㎡
収蔵庫　590㎡
図書室　73㎡
講座室　139㎡
その他　身障者用トイレ、身障者用ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ、車椅子（3台）、授乳室

(2) 所管及び管理

山口県 環境生活部 文化振興課 （平成19年4月1日、山口県教育委員会から移管）

(3) 開館時間等

開館時間 9:00～17:00
定期休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始休館 12月25日～1月1日（平成18年度）

(4) 駐車場

普通車　50台

(5) サービス施設

喫茶　131㎡ 民間委託
ショップ　68㎡ 民間委託

2 事業概要

(1) 事業方針

・本館は、山口県の北浦地域において、新しい地域文化振興の発信拠点にふさわしい、浮世絵と東洋陶磁を核とした高い専門性と機能を有する特色ある美術館として多様な活動を展開する。

・ 展示活動としては、県民の多様なニーズに応えるため、浮世絵と東洋陶磁の常設展を軸に、関連のある企画展（特別展示）を年間数回開催する。

・ また、普及教育活動としては、常設展示に関連する「美術講座」の開催や子どもたちを対象とした「ミュージアムスクール」などを積極的に行う。

・ さらに、調査収集事業も継続的に実施し、有効活用を図る。

(2) 組　　織 (平成18年4月1日)

館長(1)(非常勤嘱託)
副館長・兼総務課長(1)/副館長(1)
(総務課) 主査(1)/主事(1)/嘱託(1)
(学芸課) 課長(1)/主査(1)/主任(1)/学芸員(2)

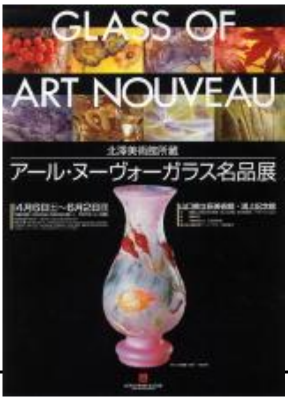
(3) 観覧料

常設展 一般：（個人）190円、（団体）160円
　　　　学生：（個人）120円、（団体）100円
特別展 展覧会ごとに変わる。
その他 70歳以上と18歳以下の方及び高等学校、盲・聾・養護学校に在学する方は無料。

(4) その他の活動

ウェブサイトでの情報発信 (作品検索システム、美術館概要、展覧会ガイド、美術講座・講演会、展覧会図録販売等)

http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp



展覧会名	北澤美術館所蔵　アール・ヌーヴォーガラス名品展
会期	平成14年4月6日(土)～6月2日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、TYSテレビ山口
協力	(財)北澤美術館
展示協力	深雪アートフラワー飯田倫子

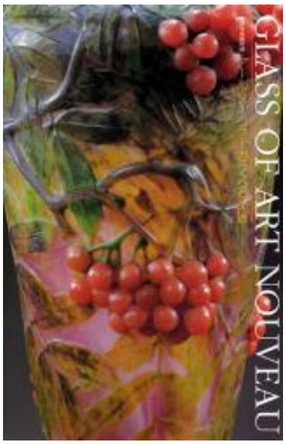
(1)趣旨

1890年頃からヨーロッパ各地で同時発生的に起こった装飾デザインの革新運動であるアール・ヌーヴォー(フランス語で「新しい芸術」を意味する)には、近代化へと加速する社会状況に対応し、新しい時代にふさわしい表現を生み出そうとする芸術家たちの強い意欲がみられます。自由奔放に流れるたおやかな曲線美を主調とした生命感あふれるこのスタイルは、都市生活者の住空間にうるおいを与える新鮮なデザインを探し求めていた彼らが、自然の草木が見せるしなやかさに注目したことにはじまります。

アール・ヌーヴォーの芸術家たちは自然の息吹を感じさせるフォルムを好み、しばしば花や昆虫を装飾に用いましたが、これには当時流行したジャポニスム(日本美術の流行現象)の影響が少なくないと考えられています。古来日本人は、陶芸や漆工などの工芸品に自然のモチーフを好んで取り入れてきました。そのような日本美術の伝統が19世紀末のフランスに紹介され、アール・ヌーヴォーのガラス工芸品に日本的な詩情を付け加えることになりました。エミール・ガレの場合、本県萩市出身の画家高島北海との交流が、墨色の微妙な濃淡を色調のニュアンスとした「黒のシリーズ」など、彼の創作に与えた影響は特筆されるものがあります。

本展覧会は、20世紀初頭の美術工芸界を風靡したアール・ヌーヴォー様式のガラス・コレクションでは世界一の質と量を誇る北澤美術館の所蔵品のなかから、ガレやドーム兄弟を中心に、デコルシュモン、ワルター、アルジィ・ルソーなど代表的な作家たちのガラス工芸作品約140点を精選して紹介いたしました。

（2）カタログ



監修　鈴木 潔(北澤美術館学芸部長)
編集　北澤美術館、毎日新聞大阪本社総合事業局事業部
発行　毎日新聞社
内容　ごあいさつ　主催者
　　　瞑想の断片／鈴木 潔(北澤美術館学芸部長)
　　　図版
　　　作品解説
　　　アール・ヌーヴォーのガラス工芸技法
　　　作家略歴
　　　エミール・ガレ、ドーム略年譜
　　　作品リスト
　　　参考文献
体裁　A4判変形　208ページ

（3）記念講演会

日時　平成14(2002)年4月6日(土)　13：30～15：00
演題　「高島北海とエミール・ガレ」
講師　鈴木 潔(北澤美術館学芸部長)

（4）ギャラリーツアー

日時　4月14日(日)、21日(日)、5月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)　11：00～
担当　石崎泰之(学芸課主任)

（5）その他

関連イベント

①鈴木 潔さんのスペシャル・ギャラリートーク

	11:00～12:00	13:30～14:30	15:30～16:30
4月7日(日)	○	—	—
4月28日(日)	—	○	○
4月29日(祝)	○	○	—
6月2日(日)	—	○	○

②眼と耳で楽しむアール・ヌーヴォー 歌とピアノの調べ－1900年前後のフランス音楽

日時　平成14(2002)年5月6日(祝)　18：00～20：00

特別鑑賞会　18：00～18：50／コンサート　19：00～20：00

出演　橋本明希(ソプラノ)、森恵美子(ピアノ)

曲目　ドビュッシー「ポール・ヴェルレーヌの詩によるパントマイム」、ラヴェル「水の戯

No.	作品名	作家名	制作年	サイズ(cm)	備考
1	グラスウェア	エミール・ガレ	1874～1884年	24.3×19.6、11.3×7.5	
2	騎士文花器	エミール・ガレ	1875年	25.0×24.5	
3	手付瓶「私は王の物」	エミール・ガレ	1884年頃	15.6×13.6	
4	ティーカップ	エミール・ガレ	1880年頃	7.6×11.2	
5	蜻蛉文皿	エミール・ガレ	1880～1890年	17.2×12.5	
6	風景文双耳壷	エミール・ガレ	1880～1890年	17×20.4	
7	昆虫文水差	エミール・ガレ	1874～1889年	19.5×15	
8	ボンビックス文壷	エミール・ガレ	1885～1895年	20×18	
9	かまきり文月光色鉢	エミール・ガレ	1884～1904年	17.5×22	
10	野草昆虫文花器	エミール・ガレ	1889年頃	24×24.4	
11	蜻蛉文花器	エミール・ガレ	1884～1889年	25×22	
12	蝉文花器	エミール・ガレ	1884～1889年頃	21.5×31	
13	双魚形花器	エミール・ガレ	1878～1890年	38×19.8	
14	龍文花器	エミール・ガレ	1890年頃	40×21.6	不出品
15	酒器「醸造所の夜の聖務」	エミール・ガレ	1889（原作）1900（複製）	28×13	
16	花文六角瓶	エミール・ガレ	1892（原作）1900（複製）	21.6×11	
17	桔梗文花器	エミール・ガレ	1900年頃	19×15.4	
18	エジプトの刈り入れ人	エミール・ガレ	1884～1889年	8.0×8.3	
19	地質学の女神	エミール・ガレ	1889年頃	24.8×11.0	
20	葡萄文花器	エミール・ガレ	1890年頃	27.8×10.3	不出品
21	古代人文花器	エミール・ガレ	1888年	18.5×8.0	
22	龍を退治する聖ゲオルギウス	エミール・ガレ	1889年頃	13.0×7.5	
23	蜉蝣に蝉文花器	エミール・ガレ	1887年頃	22.0×13.0	
24	「好かれようと気にかける」	エミール・ガレ	1989年	16.2×15.8	
25	水差「暗闇の花」	エミール・ガレ	1893年頃	23.0×20.0	
26	昆虫文鶴頸花器	エミール・ガレ	1890～1900年	34.0×12.0	不出品
27	肉食類	エミール・ガレ	1889年	24.0×15.0	
28	恋の釣糸	エミール・ガレ	1889年頃	25.7×11.0	
29	蝶と草花文花器	エミール・ガレ	1889年頃	23×11.5	
30	オキナグサ文花器	エミール・ガレ	1889～1904年	17.0×8.5	
31	ライラック	エミール・ガレ	1893年頃	60.0×23.0	
32	エリンギウム文花器	エミール・ガレ	1895年頃	13.8×12.4	
33	「中傷」	エミール・ガレ	1890～1900年	17.2×15.4	
34	プリムラ文花器	エミール・ガレ	1895～1904年	18×14.5	
35	エリンギウム文花器	エミール・ガレ	1895年頃	32.0×10.2	
36	クラゲ文花器	エミール・ガレ	1900年頃	26.0×10.0	
37	魚文瓶	エミール・ガレ	1900年頃	26.0×18.0	
38	魚と海草文高脚杯	エミール・ガレ	1895～1904年	22.0×19.5	
39	茄子	エミール・ガレ	1900年	28.6×10.4	
40	ひなげし	エミール・ガレ	1900年	18.8×11.0	
41	菫	エミール・ガレ	1900年	24.3×22.5	
42	サフラン文高脚杯	エミール・ガレ	1900年頃	35.2×11.3	
43	山芍薬文花器	エミール・ガレ	1900年頃	18.5×13.5	
44	シクラメン文花器	エミール・ガレ	1897～1904年	15×10	
45	蜉蝣文花器	エミール・ガレ	1889年頃	13.5×9.6	
46	矢車草文花器	エミール・ガレ	1900年頃	14.7×11	
47	クロッカス文花器	エミール・ガレ	1904～1914年	18×7.5	
48	シクラメン文花器	エミール・ガレ	1897～1914年	18×7.5	
49	アネモネ文花器	エミール・ガレ	1889～1900年	20.5×13.5	
50	ベゴニア文杯	エミール・ガレ	1900年頃	18.0×10.7	
51	大麦	エミール・ガレ	1902～1904年	32.8×9.0	

52	蘭文耳付花器	エミール・ガレ	1900年頃	34.0×21.0	
53	蜉蝣文鉢	エミール・ガレ	1895～1904年	8.5×18.0	
54	ひとよ茸文花器	エミール・ガレ	1900年頃	28.0×16.0	
55	羊歯文花器	エミール・ガレ	1895～1900年	31.9×14.4	
56	木立風景文花器	エミール・ガレ	1900～1904年	21.0×16.0	
57	フランスの薔薇	エミール・ガレ	1901年頃	43×33.5	不出品
58	フランスの薔薇	エミール・ガレ	1901～1904年	19.0×9.0	
59	ラベンナの松	エミール・ガレ	1903年頃	19.7×18.0	
60	蘭文花器	エミール・ガレ	1900年	22.0×9.0	
61	海馬文花器	エミール・ガレ	1903年	17.5×15.0	
62	海百合	エミール・ガレ	1903年	13.5×12	
63	貝の付いた壷	エミール・ガレ	1900年頃	12.6×11.4	
64	クニダリア文花器	エミール・ガレ	1904年頃	33.5×10.7	
65	蘭文花器	エミール・ガレ	1900年頃	23.0×14.0	
66	松	エミール・ガレ	1903年	43.2×19.0	
67	まつかさ文花器	エミール・ガレ	1900～1910年	28.5×24.4	
68	オキナグサ文脚付杯	エミール・ガレ	1897年頃	16.4×19.2	
69	蜻蛉文脚付杯	エミール・ガレ	1900～1904年	14.0×16.0	
70	罌粟文ランプ	エミール・ガレ	1900～1904年	52×26	
71	芙蓉形ランプ	エミール・ガレ	1902～1904年	43.0×19.0	
72	睡蓮形ランプ	エミール・ガレ	1902～1904年	48.0×23.5	
73	藤文ランプ	エミール・ガレ	1894～1931年	78×52	
74	甘茶文花器	エミール・ガレ	1900～1914年	43.5×28.0	
75	ホタルブクロ文ランプ	エミール・ガレ	1902～1931年	59×38	
76	フロックス文花器	エミール・ガレ	1900～31年	42.6×30	
77	風景文ランプ	エミール・ガレ	1902～1931年	78×42	
78	風景文花器	エミール・ガレ	1900～1931年	49.0×35.0	
79	石楠花文ランプ	エミール・ガレ	1918～1931年	45.6×36.6	
80	プラム文花器	エミール・ガレ	1918～31年	33.8×26.9	
81	チューリップ文花器	エミール・ガレ	1918～1931年	34.8×15.6	
82	白熊文花器	エミール・ガレ	1918～1931年	37.0×28.0	
83	ルネ二世像扁壷	ドーム	1895年頃	25×21	
84	大鷲文花器	ドーム	1892年	29×23	
85	鷺に水草文三耳付花器	ドーム	1895年頃	26.5×17	
86	雪景文花器	ドーム	1902年頃	14×13.5	
87	シクラメン文脚付杯	ドーム	1902年頃	16.7×20.8	
88	フクシャ文花器	ドーム	1895年頃	21.8×11.8	
89	一輪草文脚付花器	ドーム	1900～1910年	23.8×11.4	
90	カンパヌラ文花器	ドーム	1900年頃	16.8×14	
91	タンポポ文花器	ドーム	1898～1900年	14.2×22	
92	春草文花器	ドーム	1900年頃	33.5×16	
93	蝶文花器	ドーム	1892～1895年	29×15.5	
94	雪景文花器	ドーム	1907年頃	49.5×15.8	
95	薊文花器	ドーム	1900年頃	50×15.7	
96	罌粟文花器	ドーム	1901～1903年	53.7×19.8	
97	蘭に蜘蛛の巣文花器	ドーム	1901～1903年	53×19.2	不出品
98	風雨樹林文花器	ドーム	1895～1900年	56.3×16	
99	ライラック文花器	ドーム	1900年頃	48.8×14	
100	においあらせいとう文花器	ドーム	1900～1905年	33.5×16	
101	ヒヤシンス文花器	ドーム	1900年頃	33.6×12.6	
102	ツボサンゴ文水差	ドーム	1900～1910年	34.3×10.8	
103	魚藻文花器	ドーム	1900年頃	40×13.8	

104	ツバメ文鶴頸花瓶	ドーム	1895年頃	34.5×15	
105	蜻蛉文鶴頸花器	ドーム	1904年頃	38×15	
106	花畠文鶴頸花器	ドーム	1900年頃	31×9.5	
107	クロッカス文鶴頸花器	ドーム	1894年頃	32×9	
108	アネモネ文花器	ドーム	1900年頃	40.5×17.5	
109	アネモネ文花器	ドーム	1898年頃	40×17.3	
110	マーガレット文花器	ドーム	1897年	42×25	
111	マーガレット文花器	ドーム	1902年頃	38×14	
112	薔薇文壷	ドーム	1900年頃	22×15	
113	蘭文花器	ドーム	1900～1914年	36.5×11.5	
114	蘭文花器	ドーム	1900～1914年	42×13	
115	薔薇文花器	ドーム	1895年頃	20.5×11.5	
116	シネラリア文花器	ドーム	1914年	39.6×18.6	
117	ひなげし文花器	ドーム	1900～1914年	40×13	
118	ひまわり文花器	ドーム	1907年頃	40×15.4	
119	瓢箪形花器	ドーム	1910年頃	17.5×14.5	
120	黒苺文鉢	ドーム	1910年頃	15.5×20	
121	花形花器	ドーム	1906年	14.6×10.2	
122	クロッカス形花器	ドーム	1900年頃	37.5×11	
123	風景文脚付杯	ドーム	1900年頃	21.8×13.8	
124	アネモネ文花器	ドーム	1900～1905年	22.5×14	
125	睡蓮文鶴頸花器	ドーム	1909年	56×22	
126	ななかまど	ドーム	1902年頃	60×21.3	
127	蜻蛉に蛙文花器	ドーム	1905年	35×14	
128	蜘蛛に刺草文花器	ドーム	1910年	47×13	
129	蛇文花器	ドーム	1908～1909年	53.4×11.8	
130	藻魚台花形ランプ	ドーム	1900年頃	43.5×18	
131	タンポポ文ランプ	ドーム	1902年頃	62×28	
132	ミラベル文ランプ	ドーム	1900～1914年	46×15	
133	プリュネル文ランプ	ドーム	1900～1910年	44.5×9	
134	風景文ランプ	ミューラー	1910年頃	33×20	
135	薔薇とライラック文ランプ	ミューラー	1900年頃	55×45	
136	草花文花器	ミッシェル	1900年頃	24.5×14	不出品
137	踊り子文壷	アルジィ=ルソー	1923年	30.8×21.2	
138	酒壷を奉持する人物	アルジィ=ルソー	1924年	30.5×18	
139	ヘスペリデスのリンゴ	アルジィ=ルソー	1926年	24×16	
140	リス文花器	アルジィ=ルソー	1928年	18.4×13.3	
141	薊文花器	アルジィ=ルソー	1920年	15.6×8.8	
142	マーガレット文花器	アルジィ=ルソー	1920年	15×10.2	不出品
143	カメレオンペン皿	ワルター	1910年頃	8.2×27	
144	蜥蜴小物入	ワルター	1920～1925年	17.2×16	
145	蜥蜴皿	ワルター	1920～1925年	6×27.4	
146	髪切虫文ボンボン入	ワルター	1920～1930年	12×18.5	
147	魚文皿	ワルター	1920～1925年	9.6×19.5	
148	蛇文花器	デコルシュモン	1910～1920年	25×13	
149	髪切虫文花器	デコルシュモン	1919年	25.5×16	
150	スカラベ文花器	デコルシュモン	1916年	20.5×13	
151	松文花器	デコルシュモン	1912～1920年	18×18.5	
152	筒形花器	デコルシュモン	1904年	24.3×10.5	
153	いちょう文耳付杯	デコルシュモン	1905年	6.5×16.5	
154	花形杯	ダムーズ	1905～1910年	10×９	
155	花文杯	ダムーズ	1898～1900年	12×11.3	

156	花文杯	ダムーズ	1903年頃	12.2×11.6	
157	忘れな草文杯	ダムーズ	1902～1903年	5.6×11	
158	ヤブガラシ文杯	ダムーズ	1900年頃	5.8×11.2	
159	蜂文杯	ダムーズ	1903年頃	6×10.3	
160	薔薇文杯	ダムーズ	1905年頃	5×12	

展覧会名	オリエントの輝くうつわ ― ガラス・金銀器・ラスター彩陶器 ― Brilliant vessels of Ancient Near East - Glass, Metal and Lustre Pottery -
会期	平成14年6月8日（土）～7月14日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、ＹＡＢ山口朝日放送
後援	萩市

(1)趣旨

オリエントとは、イラン、メソポタミア、シリア、パレスティナ、小アジア、アラビアなどの西アジアにエジプトを含めた地域を示す言葉です。「日の昇る方向」「東方」を意味するラテン語“Oriens”を語源として、もともとはローマから見た東方をさしていました。オリエントはメソポタミア文明・エジプト文明といった古代文明の発祥地でもあり、他に類をみない高度な文化を築き上げ、世界中に様々な分野で大きな影響を与えてきました。この展覧会では、オリエントの歴史を華やかに彩った「輝くうつわ」に焦点を当て、紀元前から13－14世紀にかけてのガラス器を中心に、金銀器、ラスター彩陶器などもあわせて展示しました。

世界最初のガラスである古代オリエントガラス、「吹きガラス」技法に代表される今日の日常品の源流ともなったローマ・ガラス（ローマン・グラス）、ササン朝ペルシアで発達し優れたデザインをもつイスラム・ガラス、さらにガラスの装飾技法の応用によって生み出されたラスター彩陶器など、西洋・東洋を問わず多くの人々を魅了したガラス工芸品の歴史をご紹介しました。

（2）カタログ

編集　森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
発行　「オリエントの輝くうつわ」展実行委員会
内容　ごあいさつ　主催者
　　　オリエントの工芸／森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
　　　図版
　　　年表
　　　関連地図
　　　謝辞
体裁　20.5×20.5　35ページ

（3）記念講演会

日時　平成14(2002)年6月8日(土)　13：30～15：00
演題　「古代ローマの社会生活とガラス」
講師　飯島章仁(岡山市立オリエント美術館学芸員)

（4）ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　今村佳子(学芸課学芸員)

オリエントの輝くうつわ展　出品リスト

No	作品名	出土地点	年代	法量	所蔵
1	両耳付小瓶（コア・ガラス）	東部地中海沿岸地域	前6〜前4世紀	H9.6cm	個人蔵
2	両耳付小瓶（コア・ガラス）	東部地中海沿岸地域	前4〜前3世紀	H17.7cm	個人蔵
3	碗（付：金器台）	イタリア（伝カノッサ古墓出土）	前3世紀	D14.4cm	個人蔵
4	長頸瓶	シリア	1〜3世紀	L43.5cm	個人蔵
5	切子書信入		3世紀	L26.5cm	個人蔵
6	條文碗	シリア	1世紀	D12.0cm	個人蔵
7	條文碗	シリア	1世紀	D16.5cm	個人蔵
8	練込装飾條文碗	シリア	1〜2世紀	D8.3cm	個人蔵
9	皿	シリアまたはイタリア	1世紀	D15.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
10	蓋付容器（シドングラス）	シリアまたはイタリア	1世紀	H8.0cm	個人蔵
11	双把手付小壷	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H7.2cm	個人蔵
12	網目文瓶	シリアまたはイタリア	2〜3世紀	H10.0cm	個人蔵
13	双面瓶	シリアまたはイタリア	2〜3世紀	H11.5cm	個人蔵
14	注口把手付小瓶	シリアまたはイタリア	3〜4世紀	H12.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
15	把手付瓶	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	H16.5cm	個人蔵
16	双耳小壷	シリアまたはイタリア	5世紀	H9.6cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
17	双耳壷	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	H12.0cm	個人蔵
18-1	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H12.6cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
18-2	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H13.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
18-3	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H12.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
18-4	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H10.9cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
19-1	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H17.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
19-2	長頸瓶	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	H18.7cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
20-1	長頸瓶	シリアまたはイタリア	4〜6世紀	H7.9cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
20-2	長頸瓶	シリアまたはイタリア	4〜6世紀	H13.4cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
20-3	長頸瓶	シリアまたはイタリア	4〜6世紀	H19.4cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
21-1	長胴瓶	シリアまたはイタリア	2〜4世紀	H11.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
21-2	長胴瓶	シリアまたはイタリア	2〜4世紀	H16.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
22	碗	シリアまたはイタリア	1〜2世紀	D8.0cm	個人蔵
23	台付杯	シリアまたはイタリア	2〜4世紀	D11.3cm	個人蔵
24	杯	シリアまたはイタリア	2〜4世紀	H10.5cm	個人蔵
25	吊手付二連瓶	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	L15.0cm	個人蔵
26	突起装飾小壷	シリア	4〜5世紀	H11.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
27	突起装飾杯	シリア	4〜5世紀	H11.8cm	個人蔵
28	脚付杯	シリアまたはイタリア	6世紀	H7.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
29	脚付杯	シリアまたはイタリア	6世紀	H8.5cm	個人蔵
30	長胴瓶	シリアまたはイタリア	2〜4世紀	H16.5cm	個人蔵
31	條文長頸瓶	シリアまたはイタリア	3〜4世紀	H18.6cm	個人蔵
32	長頸瓶	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	H13.5cm	個人蔵
33	長頸瓶	シリアまたはイタリア	5〜6世紀	H15.0cm	個人蔵
34	双把手付瓶	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	H20.6cm	個人蔵
35	双把手付瓶	シリアまたはイタリア	4〜5世紀	H23.0cm	個人蔵
36	長頸瓶	イランまたはシリア	6世紀	H19.0cm	個人蔵
37	切子括碗	イランまたはシリア	2〜3世紀	D8.8cm	個人蔵
38	突起装飾碗	シリア	3〜4世紀	D10.7cm	個人蔵
39	突起装飾碗	シリア	3〜4世紀	D10.5cm	個人蔵
40	切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、4〜5世紀	D11.7cm	個人蔵
41	円形切子杯	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D21.6cm	個人蔵
42	円形切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D10.6cm	個人蔵
43	円形切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D10.8cm	個人蔵
44	円形切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D10.2cm	個人蔵
45	円形切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D11.0cm	個人蔵
46	二重円形切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D10.4cm	個人蔵
47	浮出切子碗	イランまたはイラク	ササン朝、6世紀	D10.0cm	個人蔵
48	貼付円形浮文瓶	イラン	7〜8世紀	H17.8cm	個人蔵
49	植物文把手付瓶	イラン	9世紀	H9.5cm	個人蔵

50	長頸瓶	イラン	9世紀	H12.5cm	個人蔵
51	長胴瓶	イラン	10〜11世紀	H14.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
52	円文把手付壷	イランまたはシリア	11〜12世紀	H12.5cm	個人蔵
53-1	切子小瓶	イラン	9〜10世紀	H6.6cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
53-2	切子小瓶	イラン	9〜10世紀	H7.5cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
54	練込装飾小瓶	イラン	12〜13世紀	H9.0cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
55	條文鉢	イラン	10〜11世紀	D10.2cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
56	碗	イラン	9〜10世紀	D9.5cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
57	切子皿	イラン	9〜10世紀	D16.8cm	個人蔵
58	二重円形切子小瓶	イラン	9〜10世紀	H8.3cm	個人蔵
59	植物文瓶	イランまたはシリア	11〜12世紀	H16.0cm	個人蔵
60	把手付壷	イラン	9〜10世紀	H15.8cm	愛知県陶磁資料館(鈴木青々コレクション)
61	渦巻文長頸瓶	イラン東部	11〜12世紀	H19.5cm	個人蔵
62	植物文長頸瓶	イラン東部	11〜12世紀	H22.5cm	個人蔵
63	動物装飾杯（金）	イラン	前13〜前11世紀	D10.0m	個人蔵
64	花文杯（金）	イラン	前9〜前8世紀	D12.5cm	個人蔵
65	杯（金）	イラン	前13〜前11世紀	D14.4cm	個人蔵
66	フィアラ杯（銀）	イラン	前8〜前4世紀	D14.4cm	個人蔵
67	アンフォラ形リュトン（銀）	イラン	アケメネス朝、前6〜前4世紀	H15.5cm	個人蔵
68	條文杯（銀）	イラン	パルティア朝、前2〜2世紀	D13.3cm	個人蔵
69	鳥文台付杯（銀・鍍金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D15.2cm	個人蔵
70	台付杯（銀）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D14.4cm	個人蔵
71	台付杯（銀）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D17.5cm	個人蔵
72	十二曲長杯（銀・鍍金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D31.2×15.0cm	個人蔵
73	鳥文舟形杯（銀・鍍金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D25.2×13.1cm	個人蔵
74	女神文長皿（銀・鍍金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D15.1×11.1cm	個人蔵
75	馬印文皿（銀・鍍金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	D22.8cm	個人蔵
76	胸飾（金）	イラン	前11〜前10世紀	L23.5cm	個人蔵
77-1	狩猟文飾板（金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	W11.0cm	個人蔵
77-2	狩猟文飾板（金）	イラン	ササン朝、5〜6世紀	W10.0cm	個人蔵
78	ラスター彩鶏文鉢	イラク	9〜10世紀	D23.9cm	個人蔵
79	ラスター彩騎馬人物文鉢	イラン	12〜13世紀	D17.1cm	愛知県陶磁資料館
80	ラスター彩人物文鉢	イラン	13〜14世紀	D19.1cm	愛知県陶磁資料館(武藤恒志氏寄贈)
81	ラスター彩人物文大皿	イラン	13世紀	D31.6cm	個人蔵
82	ラスター彩人物文大鉢	イラン	13世紀	D22.2cm	個人蔵
83	ラスター彩唐草文把手付瓶	イラン	13世紀	H19.0cm	個人蔵
84	ラスター彩文字文把手付壷	イラン	13世紀	H17.4cm	個人蔵
85	ラスター彩人物文星形タイル	イラン	13世紀	W20.7cm	個人蔵
86	ラスター彩文字タイル	イラン	13〜14世紀	W19.0×20.5cm	個人蔵
	※都合により、63・64番は出品されておりません。ご了承ください。				

展覧会名	日本陶磁5000年の至宝 愛知県陶磁資料館コレクション展
会期	平成14年7月20日（土）～9月1日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、ＴＹＳテレビ山口
後援	萩市

(1)趣旨

　現在、日本人の生活は実用的なものから観賞用のものまで多種多様な陶磁器によって彩られています。その背景には我が国の陶磁生産の長い歴史と各時代の幅広い需要者層の存在があります。この展覧会は縄文土器にはじまり現代陶芸に至る日本陶磁5000年の流れを多くのすぐれた作品によって、一堂に展観するものでした。

今回の展示作品は日本有数の陶磁資料コレクションを誇る愛知県陶磁資料館の3200点に及ぶ所蔵品の中から、重要文化財3点を含む計124点の作品を選りすぐりました。世界最古の土器ともいわれる縄文土器の独特の造形美は現在でもなお我々に新鮮さを感じさせてくれ、古墳時代の人物埴輪はシンプルながら独特の強い存在感を示し、見るものを惹きつけます。釉薬の使用が本格的に始まった猿投窯の製品では、灰釉多口瓶の金属器を写したと思われる硬質的な造形が目を引きます。また、平安時代では渥美窯の灰釉芦鷺文三耳壺が、陶器の絵画的文様を描いた最初の作品として注目されます。中世では瀬戸の施釉陶器が充実した内容を誇り、常滑、越前、信楽、丹波、備前など現在でも著名な窯業地で生産された焼締陶器は野趣に富んだ造形を見せています。日本陶磁史の一つの黄金時代ともいえる桃山時代では、美濃の黄瀬戸、志野、織部や備前、唐津など「茶の湯」文化を背景とした茶陶の魅力が味わえます。そして、江戸時代では古九谷様式や柿右衛門様式、鍋島など有田の染付磁器や色絵磁器をはじめ、色絵陶器で有名な京都の仁清の茶碗、さらに各地の「御庭焼」の数々など多彩な展開が楽しめます。そして、濱田庄司、石黒宗磨、荒川豊蔵、金重陶陽、加藤唐九郎、加藤土師萌、河本五郎、加守田章二、八木一夫など近現代の陶芸作家の作品には、現在の陶芸文化の多様性の基礎を見いだすことができます。

この展覧会は、縄文土器から現代陶芸に至る日本陶磁の通史をたどる画期的なもので、日本陶磁の真髄に触れていただけるまたとない機会といえました。

（2）カタログ

編集　愛知県陶磁資料館、中日新聞社
発行　中日新聞社
内容　ごあいさつ　主催者
愛知県陶磁資料館のコレクション
／浅田員由(愛知県陶磁資料館学芸部長)
図版
原始
古代
中世
近世・桃山
近世・江戸
近代・現代
日本陶磁通史
日本のやきもの－原始から桃山まで－
／井上喜久男(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
日本のやきもの－近世・江戸時代から近代／仲野泰裕(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
20世紀の陶芸－個性の時代のやきもの－／唐澤昌宏(愛知県陶磁資料館学芸員)

テーマ解説
日本陶磁の東アジア陶磁史における位置づけ／森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
茶の湯の水指－初期わび茶の備前と信楽／神崎かず子(愛知県陶磁資料館学芸員)
明治期の日本陶磁／佐藤一信(愛知県陶磁資料館学芸員)
日本窯業史における窯構造の変遷－窖窯・大窯・連房式登窯－
／小川裕紀(愛知県陶磁資料館学芸員)

参考資料
用語解説
年表
主要窯跡分布地図
出品目録
参考文献
体裁　A4判変形　192ページ

（3）記念講演会
①日時　平成14(2002)年7月20日(土)　13：30～15：00
演題　「日本陶磁の東アジア陶磁史における位置づけ」
講師　森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
②日時　平成14(2002)年7月27日(土)　13：30～15：00
演題　「江戸のやきもの－伊万里と京焼」
講師　荒川正明(出光美術館主任学芸員)
③日時　平成14(2002)年8月24日(土)　13：30～15：00
演題　「桃山茶陶の造形」
講師　井上喜久男(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～
担当　上田秀夫(学芸専門監)

（5）その他
関連イベント
ミュージアムコンサート「琵琶で綴る日本の物語」
日時　平成14(2002)年8月14日(水)　14：00～
出演　筑前琵琶　中村旭園

№.	作品名称	産地・作者	時代	年代	備考	法量（cm）	Acc.No.
原始							
1	円筒深鉢	縄文土器	縄文時代前期末～中期	前3000年頃	青森県三戸郡佐野出土	高67.0	1222
2	深鉢	縄文土器	縄文時代中期	前2000年頃		高57.3	2679
3	双耳深鉢	縄文土器	縄文時代中期	前2000年頃	長野県山県村出土	高31.0	192
4	朱彩浅鉢	縄文土器	縄文時代晩期	前1000-500		口径24.7-23.0	1669
5	注口土器	縄文土器	縄文時代晩期	前1000-500		高12.8	352
6	壺	弥生土器	弥生時代中期	前2-1世紀	愛知県安城市古井町出土	高23.9	390
7	人面付土器	弥生土器	弥生時代前期～中期	前4-1世紀	愛知県安城市古井町橋下遺跡出土	高16.4	2010
8	台付壺	弥生土器	弥生時代後期	2-3世紀		高27.5	2011
古代							
9	壺	土師器	古墳時代前期	4世紀		高27.6	1300
10	琴を弾く男子	埴輪	古墳時代後期	6-7世紀	伝･栃木県真岡市京泉鶏塚出土	高66.8	2315
11	装飾付台付壺	須恵器	古墳時代後期	6世紀	伝･京都府宇治市木幡古墳出土	高42.5	1415
12	皮袋形瓶	須恵器	古墳時代後期	6世紀	岐阜市上加納稲荷神社出土	高18.6	1243
13 ◎	灰釉多口瓶	猿投	平安時代初期	8世紀末	愛知県西加茂郡黒笹36号窯出土	高21.5	2287
14	灰釉鳥形平瓶	猿投	平安時代前期	9世紀	伝･愛知県矢作川河床出土	高17.0	2239
15 ○	灰釉短頸壺	猿投	平安時代	9世紀	岐阜県高山市出土	高22.6	888
16	灰釉手付瓶	猿投	平安時代	9世紀	愛知県日進市北新田地内出土	高21.5	2297
17	灰釉四足壺	東濃	平安時代	9世紀		高22.6	1634
18	緑釉経筒外容器	猿投	平安時代後期	11世紀		総高27.1	2280
中世							
19 ○	牡丹文経筒外容器	猿投	平安時代後期	11世紀		総高38.0	349
20 ◎	五輪塔形経筒外容器	湖西	平安時代末期	1146年	「久安二年」銘	総高37.7	2241
21	袈裟襷文四足経筒外容器	渥美	平安時代末期	12世紀	伝･和歌山県白浜出土(経塚)	総高33.0	157
22 ◎	灰釉芦鷺文三耳壺	渥美	平安時代末期	12世紀		高39.3	1094
23	灰釉連弁文壺	渥美	平安時代末期	12世紀		高40.5	1440
24	甕	常滑	平安時代末期	12世紀	伝･長野県飯田市東中村経塚出土	高34.7	1737
25	水瓶	常滑	平安時代末期	12世紀	**愛知県南知多町芋沢出土**	高26.2	1635
26	三筋壺	常滑	平安時代末期	12世紀	愛知県半田市椎ノ木山古窯跡出土	高23.3	1013
27	灰釉四耳壺	瀬戸	鎌倉時代初期	12世紀末		高30.4	1520
28	灰釉手付水注	瀬戸	南北朝時代	14世紀		高13.5	1845
29	灰釉画花文瓶子	瀬戸	鎌倉時代末期	14世紀		高26.7	1572
30 △	鉄釉巴文瓶子	瀬戸	鎌倉時代末期	14世紀		高26.7	889
31	鉄釉印花文三足香炉	瀬戸	南北朝時代	14世紀	愛知県瀬戸市広の田窯跡出土	口径11.0	2661
32	天目茶碗	瀬戸	室町時代	15世紀		口径14.0	1418
33	千条文擂座茶入	瀬戸	南北朝時代	14世紀	愛知県瀬戸市七曲窯跡出土	高7.2	2660
34	肩衝茶入	瀬戸	室町時代	15世紀		高5.7	1350
35	大海茶入	瀬戸	室町時代	15世紀		胴径10.8	2438
36	鉄釉四耳壺	瀬戸	室町時代	1531年	「享禄四年･･･」銘	高39.7	1554
37 ◇	灰釉狛犬	瀬戸	室町時代	14-15世紀		高18.0	1095
38 ◇	灰釉狛犬	瀬戸	室町時代	14-15世紀		高18.7	488
39	仏像鈕蓋付経筒外容器	珠洲	平安時代末期	12世紀		総高35.5	1333
40	印花文双耳壺	珠洲	鎌倉時代	14世紀	石川県輪島市町野町佐野出土	高24.6	968
41	印文壺	珠洲	鎌倉時代	13世紀		高35.6	2352
42	壺	越前	鎌倉時代	15世紀	福井県小浜市出土	高26.7	1
43	壺	越前	室町時代	15世紀		高47.2	1671
44	大甕	越前	室町時代	16世紀		高67.4	2383
45	壺	信楽	鎌倉時代	14世紀	三重県出土	高28.0	1548
46	檜垣文壺	信楽	室町時代	15世紀		高30.0	1338
47	樹文小壺	信楽	室町時代	15世紀		高19.9	1530
48	瓶子	丹波	鎌倉時代	13世紀		高29.0	2263
49	壺	丹波	南北朝時代	14世紀		高46.2	360
50	壺	丹波	室町時代	15世紀		高52.0	412
51	櫛目文壺	備前	鎌倉時代	14世紀	「三」、「十入」刻銘	高51.1	1565
52	四耳壺	備前	室町時代	15世紀		高67.0	2253
53	櫛目波状文壺	備前	室町時代	16世紀		高42.0	2216
近世･桃山							
54	黄瀬戸茶碗	美濃	桃山時代	16世紀		口径11.0	144
55	志野俵香合	美濃	桃山時代	16世紀		口径3.9	145
56	鼠志野花文向付	美濃	桃山時代	16世紀		口径15.0	152
57	志野果樹文鉢	美濃	桃山時代	16世紀		口径27.0×28.5	2467
58	織部香合	美濃	桃山時代	17世紀		口径3.7×4.6	2468
59	黒織部茶碗	美濃	桃山時代	17世紀	「＋」刻銘	口径14.6×10.0	2827
60	織部手桶茶器	美濃	桃山時代	17世紀		高10.1	142
61	織部松竹梅文手鉢	美濃	桃山時代	17世紀		高14.3	150

重要文化財‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥◎
愛知県指定文化財‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥○
重要美術品・愛知県指定文化財‥‥‥△
愛知県指定有形民俗文化財‥‥‥‥‥‥‥◇

№.	作品名称	産地・作者	時代	年代	備考	法量（cm）	Acc.No.
62	織部角向付　五客	美濃	桃山時代	17世紀		口径10.7-14.7	1573
63	織部輪花皿　五客	美濃	桃山時代	17世紀		口径15.4	2479
64	鉄絵葦文向付　五客	唐津	桃山時代	16世紀		口径12.9	1413
65	鉄絵葦文壷	唐津	桃山時代	16世紀		高15.5	1508
66	鬼桶水指	信楽	桃山時代	17世紀		高20.5	248
67	耳付水指	信楽	桃山時代	17世紀	「×」刻銘	高18.9	2384
68	耳付水指	備前	桃山時代	16世紀	馬蹄印銘	高19.0	2662

近世・江戸

№.	作品名称	産地・作者	時代	年代	備考	法量（cm）	Acc.No.
69	染付吹墨鷺文皿	有田	江戸時代前期	17世紀		口径19.3	2440
70	染付泊船文大鉢	有田	江戸時代前期	17世紀		口径47.1	2510
71	色絵芙蓉手花文皿	有田	江戸時代前期	17世紀		口径32.0	2258
72	染付芙蓉手花篭文大皿	有田	江戸時代中期	18世紀		口径42.9	213
73	染付牡丹獅子文大瓶	有田	江戸時代前期	17世紀		高49.6	1210
74	染付山水文蓋付大鉢	有田	江戸時代中期	18世紀		総高31.5	2257
75	色絵捻文丸文繋皿	有田・古九谷様式	江戸時代前期	17世紀		口径35.2	346
76	色絵（青手）花文皿	有田・古九谷様式	江戸時代前期	17世紀		口径33.2	1747
77	色絵菊文壷	有田・柿右衛門様式	江戸時代中期	18世紀		高20.8	1660
78	色絵龍虎図輪花皿	有田・柿右衛門様式	江戸時代中期	17-18世紀		口径23.5	2242
79	色絵獅子置物　一対	有田・柿右衛門様式	江戸時代中期	18世紀		高（左）21.0	1617
80	色絵美人人形置物	有田・柿右衛門様式	江戸時代中期	18世紀		高38.9	244
81	色絵・染付棕櫚葉文皿　一対	鍋島藩窯様式	江戸時代中期	17-18世紀		口径14.9	2318
82	色絵絵草紙文皿	鍋島藩窯様式	江戸時代	17-18世紀		口径20.4	820
83	色絵秋草文瓶	京都・寶山	江戸時代中期	18世紀	「寶山」印銘	高29.2	1631
84	色絵金銀菱繋文茶碗	京都・野々村仁清	江戸時代初期	17世紀	「仁清」印名	口径12.5	2678
85	銹絵桐葉大鉢	京都・高橋道八	江戸時代後期	19世紀	元治2年(1865)	口径34.6×37.8	2624
86	青磁牡丹文重箱	三田	江戸時代後期	19世紀		総高37.2	269
87	蕪に鶉香炉	備前	江戸時代後期	19世紀		高21.8	258
88	色絵龍虎文高卓	九谷・栗生屋源右衛門	江戸時代後期	19世紀	「東郊」印銘	高38.3	1661
89	角形鉢	萩	江戸時代中期	18世紀		幅25.7	1004
90	黒織部茶碗	瀬戸・伝加藤春岱	江戸時代後期	19世紀		口径10.2	109
91	祥瑞写四方猪口　　五客	瀬戸・加藤民吉	江戸時代後期	19世紀		高7.6	97
92	古染付写雲鶴文手桶形水指	瀬戸・素僊堂治兵衛	江戸時代後期	19世紀		高25.0	749
93	赤絵細水指	犬山・道平	江戸時代後期	19世紀		高17.3	113
94	色絵雲錦手片口鉢	犬山	江戸時代	19世紀		口径47.5	1507
95	金襴手茶銚　一双	京都・永楽和全	江戸末期～明治時代前期	19世紀		総高8.0	

近代・現代

№.	作品名称	産地・作者	時代	年代	備考	法量（cm）	Acc.No.
96	陽刻上絵金彩花鳥図花瓶	瀬戸・横浜・河本半助	明治時代前期	19世紀	六代	高31.8	2485
97	磁胎七宝花蝶文長頸瓶	名古屋・竹内忠兵衛	明治時代前期	19世紀		高36.5	2445
98	鉄絵砂糖黍文壷	益子・濱田庄司	昭和10-19年頃	ca.1935-44		高36.1	2251
99	黄釉筒描花と手文扁壷	京都・河井寛次郎	昭和25-34年頃	ca.1950-59		高22.0	2266
100	辰砂釉六角花瓶	瀬戸・小森忍	昭和3-9年	1928-1934		高34.5	1316
101	木葉天目大鉢	多治見・加藤幸兵衛	昭和37年	1962	五代	口径33.6	86
102	白地黒絵双魚文盆	京都・石黒宗麿	昭和15年頃	ca.1940		口径23.6	57
103	鉄絵荒蕪文盆	京都・石黒宗麿	昭和41年	1966		口径30.0	59
104	黄地紅彩菊牡丹文角鉢	横浜・加藤土師萌	昭和29年頃	ca.1954		口径18.6	73
105	吹墨色絵水禽文大皿	横浜・加藤土師萌	昭和38年	1963		口径48.0	72
106	白瓷牡丹文輪花鉢	土岐・塚本快示	昭和53年～昭和56年	1978-1981		口径24.0	2322
107	青白磁華文水盤	土岐・塚本快示	昭和53～56年頃	ca.1978-81		口径32.9	2323
108	瀬戸黒茶碗	可児・荒川豊蔵	昭和34年頃	ca.1959		口径12.3	17
109	志野波に千鳥絵鉢	可児・荒川豊蔵	昭和28年	1953		口径29.6	28
110	絵志野茶碗 銘鯨帯	名古屋・加藤唐九郎	昭和44年	1969		口径13.2	6
111	黄瀬戸輪花鉢	名古屋・加藤唐九郎	昭和33年	1958		口径24.7	8
112	耳付花入	備前・金重陶陽	昭和30年頃	ca.1955		高25.0	71
113	四方皿	備前・金重陶陽	昭和29年頃	ca.1954		幅25.7	64
114	染付薊文壷	京都・近藤悠三	昭和9年	1934		高27.5	2264
115	古稀彩秋月花瓶	京都・清水六兵衛	昭和47年	1972	六代	高43.3	2627
116	灰釉鉢	益子・加守田章二	昭和42年	1967		口径42.0	2469
117	曲線彫文壷	遠野・加守田章二	昭和45年	1970		高32.8	2343
118	壺	遠野・加守田章二	昭和51年	1976		高42.8	2324
119	草白釉釉描金銀彩遠山夕陽図八角大皿	東京・藤本能道	昭和62年頃	ca.1987		口径62.5	2328
120	青織部大鉢	日進・岡部嶺男	昭和40年頃	ca.1965		口径43.0	2268
121	色絵龍文花器	瀬戸・河本五郎	昭和48年	1973		高28.3	1700
122	獅子	京都・八木一夫	昭和39年	1964		高14.0	2325
123	碑	京都・八木一夫	昭和38年	1963		高53.0	2455
124	忘却	京都・熊倉順吉	昭和57年	1982		高55.5	2320

展覧会名	2002年日韓国民交流年記念 心のやきもの李朝 －朝鮮時代の陶磁－
会期	平成14年9月7日（土）～10月27日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、KRY山口放送
共催	財団法人地域創造
後援	萩市
特別協力	大阪市立東洋陶磁美術館
協力	日本航空

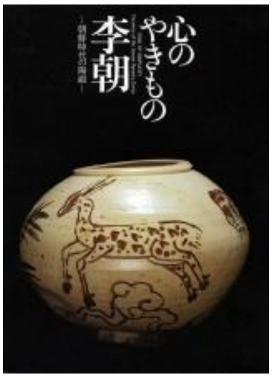
(1)趣旨

「日韓国民交流年」にあたるこの年、韓国文化の真髄である李朝(朝鮮時代)のやきものを広く紹介する特別展「心のやきもの李朝　-朝鮮時代の陶磁-」を開催しました。

李朝(1392～1910)500年余を代表する陶磁器は、わが国では「三島(みしま)」とよばれて親しまれてきた粉青(ふんせい)と白磁です。温かみのある白色の化粧土と器形や文様の自由奔放な曲線を特徴とする独特の美意識をその造形のすべてに映し出して、この時代における精神のおおらかさを表わした粉青と、端麗な白磁とその造形に清冽な雰囲気の加飾を施した青花(染付)、鉄砂、辰砂などのやきものは、中国の元や明の影響もとに多様な展開をみせつつも、この時代特有の精神を造形に反映させながら使用階層を裾野にまで広め、20世紀にいたるまで李朝工芸の中心となっていました。

本展は、清楚な白色と素朴なかたちにあらわれた李朝陶磁の美の世界を、大阪市立東洋陶磁美術館や日本民藝館をはじめとする国内外の名品121点で紹介しました。

（2）カタログ



監修　伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
編集　MOA美術館、栃木県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞大阪本社
発行　読売新聞大阪本社
内容　ごあいさつ　主催者
エッセイ
心のやきもの李朝
／伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
私の李朝／島岡達三(陶芸家、人間国宝)
やきものの思い出／ドナルド・キーン
(日本文学研究者、コロンビア大学名誉教授)
朝鮮の白磁について／李 禹煥(美術家、多摩美術大学教授)
図版
論文
李朝陶磁と日本／青木 宏(栃木県立美術館学芸課長)
朝鮮時代の官窯の成立と展開／伊藤郁太郎
粉青の造形的特質／片山まび(大阪市立東洋陶磁美術館研究員)
作品解説
用語解説
京畿道広州官窯跡分布図／田 勝昌(湖厳美術館先任研究員)
粉青・白磁窯跡分布図／張 起熏(海剛陶磁美術館学芸員)
朝鮮陶磁発掘の軌跡
Ⅰ 粉青窯の発掘成果／田 勝昌
Ⅱ 官窯の発掘成果／田 勝昌
Ⅲ 地方窯の発掘成果／張 起熏
朝鮮陶磁史年表／石崎泰之(学芸課主任)
朝鮮陶磁史文献目録／片山まび
出品目録
体裁　A4判　220ページ

（3）記念講演会
①日時　平成14(2002)年9月7日(土)　13：30～15：00
演題　「李朝陶磁の魅力」
講師　伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
②日時　平成14(2002)年9月28日(土)　13：30～15：00
演題　「韓国窯跡発掘の新知見ー朝鮮時代を中心にー」(兼・平成14年度第5回美術講座)
講師　片山まび(大阪市立東洋陶磁美術館研究員)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　石崎泰之(学芸課主任)

No.	作品名	年代	法量	所蔵先
1	粉青印花 連珠文 蓋物	15世紀中葉	h:18.4 d:18.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20666)
2	粉青印花 菊花文 壺	15世紀後半	h:36.3 d:33.9	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21494)
3	粉青印花 菊花文 鉢 (「長興庫」銘)	15世紀前半	h:7.1 d:18.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20449)
4	粉青印花 連珠文 輪花皿(「慶州長興庫」銘)	15世紀中葉	h:4.5 d:19.0	
5	粉青印花象嵌 草花文 碗	15世紀中葉	h:7.5 d:17.5	大阪市立東洋陶磁美術館(堀尾幹雄氏寄贈・Acc.No.22205)
6	粉青象嵌 花文 角杯(旧重要美術品)	15世紀前半	h:5.1 l:23.2	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21372)
7	粉青象嵌 雷文 祭器	15世紀前半	h:9.0 w:27.8×24.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20435)
8	粉青象嵌 鳳凰文 扁壺	15世紀前半	h:22.7 w:21.8	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21832)
9	粉青象嵌 魚文 瓶	15世紀前半	h:13.9 d:9.4	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21395)
10	粉青象嵌 魚文 梅瓶	15世紀前半	h:25.4 d:14.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20921)
11	粉青象嵌 蓮弁文 蓋	15世紀前半	h:18.6 d:26.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20913)
12	粉青象嵌 牡丹文 扁壺	15世紀前半	h:22.8 w:20.8×11.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20810)
13	粉青象嵌 牡丹文 瓶	15世紀中葉	h:32.3 d:18.4	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20362)
14	粉青象嵌 牡丹文 瓶	15世紀前半	h:27.0 d:17.7	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20653)
15	粉青象嵌 牡丹文 瓶	15世紀前半	h.8.9 w:6.5	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21396)
16	粉青掻落 牡丹文 梅瓶	15世紀前半	h:26.8 d:16.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20008)
17	粉青掻落鉄地 牡丹文 瓶	15世紀前半	h:34.0 d:18.0	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20209)
18	粉青掻落 牡丹文 瓶	15世紀中葉	h:32.8 d:18.0	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21500)
19	粉青掻落 牡丹文 扁壺	15世紀中葉	h:20.0 w:18.9	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.20666)
20	粉青掻落 牡丹文 扁壺	15世紀中葉	h:19.6 w:11.9×13.7	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20156)
21	粉青線刻 牡丹文 壺	15世紀後半	h:23.9 d:19.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20790)
22	粉青線刻 幾何文 扁壺	15世紀後半	h:23.5 d:11.9×20.8	
23	粉青線刻 花文 祭器	15世紀後半	h:33.9 d:19.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20781)
24	粉青線刻 飛鳥文 扁壺	15世紀後半	h:23.2 w:12.8×19.6	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21499)
25	粉青線刻 葉文 水注	15世紀後半	h:7.9 w:10.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20670)
26	粉青鉄絵 鴨文 壺	16世紀前半	h:41.8 d:24.5	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21497)
27	粉青鉄絵 葉文 俵壺	16世紀前半	h:16.7 w:11.7×24.5	
28	粉青鉄絵 牡丹文 俵壺	16世紀前半	h:16.6 w:24.3×14.3	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21498)
29	粉青鉄絵 唐草文 蓋物	16世紀前半	h:15.6 d:17.5	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20720)
30	粉青鉄絵 水禽文 瓶	16世紀前半	h:27.0 d:16.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20982)
31	粉青粉引 壺	16世紀後半	h:40.4 d:25.2	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20197)
32	粉青粉引 瓶	16世紀後半	h:18.1 w:14.9×12.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20204)
33	粉青粉引 草花文 瓶	16世紀後半	h:21.2 d:16.5	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20723)
34	黒釉 扁壺	15世紀後半	h:16.4 w:13.2×9.8	大阪市立東洋陶磁美術館(篠田博之氏寄贈・Acc.No.21267)
35	白釉 水柱	16世紀後半	h:17.8 d:14.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20256)
36	白磁象嵌 碗(「樂」銘)	15世紀中葉	h:5.2 d:12.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20762)
37	白磁象嵌 植物文 瓶	15世紀中葉	h:33.9 d:21.7	
38	白磁象嵌 牡丹文 瓶	15世紀中葉	h:32.3 d:17.4	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20534)
39	白磁 角杯	15世紀後半	d:6.7 l:18.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20730)
40	白磁 皿	15世紀後半	h:2.6 d:21.6	
41	白磁 鉢(「天」銘)	15世紀後半	h:11.2 d:21.4	
42	白磁陰刻 花文 祭器	16世紀	h:12.5 d:18.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20770)
43	白磁 祭器	17世紀中葉	h:15.3 d:21.3	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20220)
44	白磁 壺	16世紀	h:32.1 d:12.6	
45	白磁 台皿	18世紀後半	h:9.7 w:28.2×18.0	大阪市立東洋陶磁美術館(匿名氏寄贈・Acc.No.21483)
46	白磁 壺	17世紀末～1	h:53.1 d:43.6	日本民藝館
47	白磁 壺	17世紀末～1	h:45.5 d:43.6	大阪市立東洋陶磁美術館(新藤晋海氏寄贈・Acc.No.21519)
48	白磁 壺	17世紀末～1	h:47.4 d:46.8	大阪市立東洋陶磁美術館(鈴木正男氏寄贈・Acc.No.22464)
49	白磁 面取壺	18世紀前半	h:21.8 d:14.3	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20101)
50	白磁 瓢形瓶	18世紀後半	h:23.4 d:12.9	大阪市立東洋陶磁美術館(匿名氏寄贈・Acc.No.21481)
51	白磁陽刻 四君子文 角瓶	19世紀前半	h:20.1 w:10.6×10.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20548)
52	白磁陽刻 菊花芭蕉文 瓶	19世紀前半	h:24.6 d:12.9	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21805)
53	白磁 瓜形水柱	19世紀前半	h:19.6 d:14.1	大阪市立東洋陶磁美術館(匿名氏寄贈・Acc.No.21482)
54	青花 葡萄文 皿	15世紀後半	h:2.0 d:22.0	
55	青花 梅竹文 壺(「辛丑」銘)	1481年(また	h:31.3 d:29.5	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20658)
56	青花 鯉文 扁壺	16世紀後半	h:24.1 w:21.7×11.0	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21502)
57	青花 草花文 面取壺	18世紀前半	h:24.7 d:26.3	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21503)
58	青花 草花文 角鉢	18世紀前半	h:8.8 w:14.3×14.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20186)
59	青花 草花文 壺	18世紀前半	h:19.4 d:15.6	

60 青花 山水文 壺	18世紀後半	h:26.4 d:29.1	
61 青花 鹿文 壺	18世紀後半	h:18.1 d:15.7	
62 青花 花鳥文 壺	18世紀前半	h:26.5 d:21.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20380)
63 青花 双鶴文 壺	19世紀前半	h:40.2 d:29.2	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20953)
64 青花 花鳥文 瓢形瓶	18世紀後半	h:23.0 d:11.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20894)
65 青花 梅文 瓶	18世紀前半	h:36.6 d:17.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20330)
66 青花 山水文 角瓶	18世紀後半	h:17.9 w:8.8×8.9	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21431)
67 青花 吉祥文 瓶	19世紀前半	h:26.4 d:15.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20732)
68 青花 寿福字文 角瓶	19世紀前半	h:16.8 w:10.5×6.0	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20726)
69 青花 十長生文 扁壺	19世紀前半	w:21.2 d:21.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20999)
70 青花 山水文 段重	19世紀後半	h:17.6 w:12.2×12.2	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20329)
71 青花 仏手柑文 角皿	19世紀前半	h:4.7 w:21.9×18.8	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21804)
72 青花 花蝶文 皿	19世紀前半	h:4.7 d:19.3	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20514-14)
73 青花 柘榴文 皿	19世紀前半	h:4.8 d:17.3	
74 青花 魚文 鉢	19世紀前半	h:9.5 d:21.0	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20479)
75 青花 吉祥文 皿(七枚組)	19世紀前半	h:2.6 d:11.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20632)
76 瑠璃地 角瓶	19世紀前半	h:15.9 w:10.4×9.8	大阪市立東洋陶磁美術館(篠田博之・めぐみ氏寄贈・Acc.No.22263)
77 瑠璃地 花文 切子形瓶	19世紀前半	h:20.0 w:15.4	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20501)
78 瑠璃彩 花唐草文 瓶	19世紀前半	h:19.0 d:9.9	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20478)
79 鉄砂 草花文 壺	17世紀後半	h:21.6 d:29.8	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21461)
80 鉄砂 虎鹿文 壺	17世紀後半	h:28.2 d:35.0	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅英一氏寄贈・Acc.No.21129)
81 鉄砂 草花文 壺	17世紀後半	h:25.7 d:26.2	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20252)
82 鉄砂 草花文 壺	17世紀後半	h:34.0 d:32.4	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21507)
83 鉄砂 草花文 壺	17世紀後半	h:26.5 d:24.7	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20712)
84 鉄砂 茅沙器形墓誌(「崇禎紀元後四十八年」銘)	1675年	h:20.4 d:20.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20377)
85 鉄砂 文字入 瓶(「九月初一」銘)	17世紀後半	h:36.1 d:18.9	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20915)
86 鉄砂 草文 瓶	17世紀後半	h:26.8 d:13.4	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21792)
87 鉄砂 皿(「閔公」銘)	17世紀後半	h:3.6 d:14.2	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21464)
88 鉄砂 草花文 蓋物	17世紀後半	h:9.1 d:6.6	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21126)
89 鉄砂 蟹文 祭器	17世紀後半	h:13.4 w:14.1×14.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20768)
90 白磁鉄地 筒形瓶	19世紀前半	h:26.6 d:14.1	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21468)
91 白磁鉄地陽刻 牡丹文 杯・杯台	19世紀前半	(杯)h:12.6 d:113 (杯台)h:11.0 d:14.6	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21467)
92 白磁鉄地陽刻 草花文 壺	19世紀前半	h:12.3 d:14.3	
93 辰砂 松鷹文 面取瓶	18世紀	h:27.2 d:17.0	
94 辰砂 蓮花文 面取瓶	18世紀	h:36.0 d:22.2	大和文華館
95 辰砂 葡萄文 壺	18世紀	h:24.0 d:27.3	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20318)
96 辰砂 蓮花文 壺	18世紀	h:27.6 d:24.4	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20748)
97 辰砂 竹文 壺	18世紀	h:30.4 d:23.6	大阪市立東洋陶磁美術館(篠田博之・めぐみ氏寄贈・Acc.No.21271)
98 辰砂 虎鵲文 壺	18世紀	h:28.9 d:24.5	日本民藝館
99 辰砂 花文 面取瓶	18世紀	h:26.4 d:17.1	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20298)
100 白磁辰砂地 角瓶	19世紀前半	h:19.1 w:9.2×12.9	大阪市立東洋陶磁美術館(匿名氏寄贈・Acc.No.21490)
101 鉄砂辰砂 草花文 瓶	16世紀	h:33.8 d:21.7	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20647)
102 青花鉄砂 花鳥文 壺	18世紀前半	h:40.1 d:27.7	日本民藝館
103 青花鉄砂 葡萄文 壺	18世紀前半	h:37.0 d:30.2	大和文華館
104 青花鉄砂 葡萄文 壺	18世紀前半	h:40.4 d:42.3	アシュモリアン美術館(英国オックスフォード)
105 青花辰砂 牡丹文 瓶	19世紀後半	h:42.5 d:19.0	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅昭弥氏寄贈・Acc.No.21510)
106 青花辰砂 蓮花文 壺	18世紀後半	h:44.3 d:34.5	大阪市立東洋陶磁美術館(安宅英一氏寄贈・Acc.No.21128)
107 青花辰砂 鯉文 鉢	19世紀後半	h:10.3 d:25.9	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.21022)
108 白磁透彫 葡萄栗鼠文 筆筒	19世紀前半	h:15.2 d:17.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20614)
109 白磁透彫 蓮花文 筆筒	19世紀前半	h:14.1 d:15.0	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20891)
110 青花 梅竹文 神筒	18世紀前半	h:16.6 d:16.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20674)
111 青花 草花文 筆筒	18世紀前半	h:16.6 d:14.1	大阪市立東洋陶磁美術館(匿名氏寄贈・Acc.No.21486)
112 青花鉄砂透彫 宝文 筆筒	19世紀前半	h:12.6 d:9.6	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.21031)
113 青花辰砂 石竹文 筆筒	19世紀前半	h:13.5 d:13.9	大阪市立東洋陶磁美術館(李秉昌氏寄贈・Acc.No.21476)
114 青花透彫 神獣文 筆筒	19世紀前半	h:16.1 w:11.0×11.0	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21145)
115 青花透彫 蓮花葡萄文 筆筒	19世紀前半	h:16.8 w:12.2×12.2	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21184)
116 青花 草花文 水滴	18世紀前半	h:10.4 d:14.8	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21176)
117 青花鉄砂 葡萄山水文 八角形水滴(「癸卯六月日分院」銘)	1843年	h:13.1 d:19.4	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21221)
118 青花 七宝文 水滴	18世紀後半	h:6.1 d:14.4	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21252)

119 青花　三水文　水滴	18世紀後半	h:8.9	w:18.6×9.0	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21164)
120 青花　梅樹文　水滴	19世紀前半	h:7.8	w:10.8×9.4	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21146)
121 青花　蕉葉文　水滴	19世紀前半	h:7.7	w:9.3×8.4	大阪市立東洋陶磁美術館(Acc.No.21247)
122 青花鉄砂　海駝形水滴	19世紀前半	h:13.2	d:17.9×11.8	大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈・Acc.No.20925)

展覧会名	青春の浮世絵師 鈴木春信 江戸のカラリスト登場
会期	平成14年11月2日（土）～12月8日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YAB山口朝日放送
後援	萩市
協力	日本航空

(1)趣旨

鈴木春信は、錦絵創始期の第一人者として、また六大浮世絵師の一人として位置付けられる重要な絵師です。春信が好んで描いた若い恋人達、母と子、さりげない日常…、またそれに重ねられた絵暦、見立絵といった主題上の機知的な操作など、春信は小さな画面の中に、詩的で洗練されたイメージと江戸っ子らしい洒落の世界を豊かに築きあげました。またこの時代に木版によって鮮やかに色づけられた「錦絵」が誕生したことは、当時の人々にとって衝撃的なメディア革命でした。色を操り、幾層にも魅力を重ねた春信の豊かな表現は、21世紀を迎えた現在もなお我々の目には驚きであり、また同時に深い安らぎを与えてくれます。

本展は、ボストン美術館、シカゴ美術館、メトロポリタン美術館、大英博物館をはじめとする国内外に所蔵される春信作品の中から、初公開、新発見の作品を含む約200点を一堂にご覧いただきました。質・状態ともに現在望みうる最高のセレクションと、広範な調査、最新の研究に裏付けられた確かな内容による春信芸術の粋を展観しました。

（2）カタログ

監修　小林 忠(千葉市美術館館長)

編集・発行　千葉市美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

内容　ごあいさつ　主催者

青春の画家　鈴木春信／小林 忠(千葉市美術館館長)

春信の色／ロジャー・キーズ

図版

1 浮世絵界へのデビュー　Harunobu’s Ukiyo-e Debut
2 絵暦交換会の流行と錦絵の誕生　The Popularity of
3 絵を読む楽しみ　The Delight of Understanding the Image
4 江戸の雅－古典への憧れ　Edo Elegance－a Yearning for the Classics
5 青春の浮世絵師　The Ukiyo-e Master of Youth
6 江戸の人気者　An Edo Idol

春信の色の再現／立原戌基

鈴木春信「坐舗八景 台子夜雨」と「三十六歌仙 紀友則」に使用された着色料について
／下山 進(吉備国際大学社会学部文化財修復国際協力学科教授)

春信の役者絵－新出狂言絵尽と団扇絵を中心に－／浅野秀剛(千葉市美術館上席学芸員)

「夜の梅」の解釈をめぐって／吉田洋子(学芸課学芸員)

春信版画の紙と色－雅の謎／田辺昌子(千葉市美術館学芸員)

参考文献

出品目録

年表

Suzuki Harunobu－The Master of Youth／Kobayashi Tadashi

Harunobu’s Color／Roger S.Keyes

Colorants employed in Suzuki Harunobu’s Prints ‘Night Rain on the Daisu’ and ‘Ki no Tomonori’－A Report on a Non-destructive Analysis／Shimoyama Susumu

The Actor Prints of Suzuki Harunobu－A Focus on the Newly Published Kyogen ezukushi and Fan Prints／Asano Shugo
An Interpretation of Suzuki Harunobu’s Print”Woman Admiring Plum Blossoms at Night”／Yoshida Hiroko
The Enigma of Elegance－Colorants and Paper in the Woodblock prints of Suzuki Harunobu／Tanabe Masako
体裁　A4判変形　312ページ

（3）記念講演会
①日時　平成14(2002)年11月2日(土)　13：30～15：00
演題　「青春の浮世絵師　鈴木春信」
講師　小林 忠(千葉市美術館館長)
②日時　平成14(2002)年11月23日(土)　13：30～15：00
演題　「春信版画の色彩」
講師　田辺昌子(千葉市美術館学芸員)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　吉田洋子(学芸課学芸員)

（5）その他
関連イベント
①ミュージアムコンサート「江戸 宝暦 明和期の音楽事情」
日時　平成14(2002)年11月24(土)　14：00～15：30
出演　長唄工房
②こどものためのギャラリートーク「“にしきえ”ってなあに？」
日時　平成14(2002)年11月4(祝)　14：00～15：00

NO.	作品名	制作年	版型･形態	所蔵先	展示期間
1	市村亀蔵の瀬川綿ぼうし売り	宝暦10年(1760年)11月市村座	細判紅摺絵	シカゴ美術館	
2	板東彦三郎の半七	宝暦10年(1760年)6月市村座	細判紅摺絵	千葉美術館	11/2-11/17
3	「明霞名所渡」市村亀蔵　瀬川菊之丞	宝暦11年(1761年)正月市村座	横大判紅摺絵	東京国立博物館	
4	市川団十郎の高尾山の生不動　市川染五郎の制■迦童子　松本幸四郎の矜羯羅童子	宝暦12年(1761年)正月中村座	細判紅摺絵	個人蔵	11/19-12/8
5	瀬川菊之丞の梅が枝	宝暦14年(1764年)正月市村座	細判紅摺絵	シカゴ美術館	
6	瀬川菊之丞の女虚無憎	宝暦13年(1763年)頃	柱絵判紅摺絵	シカゴ美術館	
7	市村羽左右衛門の梶原源太景季	宝暦14年(1764年)正月	細判紅摺絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	
8	大谷広次の小野良実	明和元年(1764年)8月森田座	細判紅摺絵	平木浮世絵美術館	11/2-11/24
9	市川団十郎の平親王将門　市川団蔵の坂田金時	明和元年(1764年)11月中村座	細判紅摺絵	個人蔵	11/26-12/8
10	『壮士故郷錦』	宝暦11年(1764年)11月市村座	墨摺狂言絵尽、合1冊	ライデン国立民族学博物館	
11	版木(表:「板東彦三郎の曽我五郎　瀬川菊之丞の傾城玉菊　市川七重郎の禿」宝暦12年春市村座、裏「風流七小町　逢夢」明和期)	宝暦12年－明和7年(1762－70年)	版木	個人蔵	
12	花売り	宝暦(1751－64)末期	大判紅摺絵	シカゴ美術館	
13	官女玉虫	宝暦(1751－65)末期	大判紅摺絵	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
14	小野道風	宝暦(1751－66)末期	細判紅摺絵	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
15	とみよしや前	宝暦(1751－67)末期	細判紅摺絵	平木浮世絵美術館	11/2-11/24
16	見立鉢の木	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	大英博物館	
17	鳴戸	宝暦(1751－64)末期－明和元年(1764)頃	細判紅摺絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	11/26-12-8
18	朝鮮人行列	宝暦14年(1764)	横細判紅摺絵	ボストン美術館	
19	風流やつし七小町　通い	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
20	風流やつし七小町　清水	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
21	風流やつし七小町　逢夢	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
22	風流やつし七小町　雨迄	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
23	風流やつし七小町　関寺	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
24	風流やつし七小町　草紙洗	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
25	風流やつし七小町　卒都婆	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	砂子の里資料館	
26	風流やつし七小町　雨迄	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	大英博物館	
27	風流やつし七小町　関寺	宝暦(1751－68)末期	細判紅摺絵	シカゴ美術館	
28	風流やつし七小町　関寺	宝暦(1751－68)末期－明和元年(1764)頃	細判錦絵	東京国立博物館	
29	風流やつし七小町　逢夢	宝暦(1751－68)末期－明和元年(1764)頃	細判錦絵	大英博物館	
30	子猷訪戴図	明和1、2年(1764、65)頃	細判錦絵	千葉美術館	
31	松風村雨	明和1、2年(1764、66)頃	細判錦絵	個人蔵	11/2-11/10
32	源氏夕顔	明和1、2年(1764、67)頃	細判錦絵	個人蔵	11/12-11/24
33	邯鄲	明和1、2年(1764、68)頃	細判錦絵	個人蔵	11/26-12/8
34	六歌仙　在原業平	明和1、2年(1764、69)頃	細判錦絵	シカゴ美術館	
35	六歌仙　僧正遍昭	明和1、2年(1764、70)頃	細判錦絵	シカゴ美術館	
36	むかし男	明和1、2年(1764、71)頃	細判錦絵	シカゴ美術館	
37	見立太田道灌	明和1、2年(1764、72)頃	細判錦絵	シカゴ美術館	
38	見立富士見西行	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	
39	見立半託迦尊者	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	
40	見立玄宗皇帝楊貴妃	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ミネアポリス美術館	
41	見立河内越(左図)	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物、2枚のうち左	シカゴ美術館	
42	見立河内越(右図)	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物、2枚のうち右	シカゴ美術館	
43	見立三夕　西行(鴫立つ沢)	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	
44	見立三夕　定家(浦の苫屋)	もと明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	千葉美術館	
45	見立佐野の渡り	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ミネアポリス美術館	
46	見立佐野の渡り	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ライデン国立民族学博物館	
47	見立偽朝	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	千葉美術館	
48	見立孫康(窓の雪)	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	
49	見立孫康(窓の雪)	もと明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	
50	見立孟宗	もと明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	千葉美術館	
51	文読む男女(見立忠臣蔵)	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
52	見立恨の介	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
53	だるまが手を出す掛幅	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
54	だるま相合傘	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
55	採蓮美人	明和2年(1765)絵暦	横中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
56	矢場の娘	明和2年(1765)絵暦	横中判錦絵摺物、2枚続	シカゴ美術館	
57	外出の仕度	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
58	外出の仕度	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	千葉会場のみの展示となります。
59	夕立	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
60	夕立	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ボストン美術館	

61	丑の時参り	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	メトロポリタン美術館	
62	水売り	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
63	水売り	もと明和2年(1765)絵暦	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	千葉会場のみの展示となります。
64	雪中笠被る女	明和3年(1766)絵暦	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
65	見立小野道風	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	中右瑛氏蔵	11/2-11/24
66	見立小野道風	もと明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物	ミネアポリス美術館	
67	見立王質	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
68	坐舗八景 包紙	明和3年(1766)頃	包紙	シカゴ美術館	
69	坐舗八景 扇の春嵐	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
70	坐舗八景 台子の夜雨	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
71	坐舗八景 鏡台の秋月	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
72	坐舗八景 琴路の落雁	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
73	坐舗八景 行燈の夕照る	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
74	坐舗八景 手拭掛の帰帆	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
75	坐舗八景 時計の晩鐘	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
76	坐舗八景 塗桶の暮雪	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	シカゴ美術館	
77-1	座鋪八景 包紙	明和期(1764-72)頃	包紙	平木浮世絵美術館	11/2/11/17
77-2	座鋪八景 目録	明和期(1764-72)頃	目録	平木浮世絵美術館	11/2/11/17
78	座鋪八景 時計の晩鐘	明和期(1764-72)	中判錦絵	平木浮世絵美術館	11/19-12/8
79	座鋪八景 塗桶の暮雪	明和期(1764-72)	中判錦絵	平木浮世絵美術館	11/19-12/8
80	座鋪八景 鏡台の秋月	明和期(1764-72)	中判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	
81	座鋪八景 扇の春嵐	明和期(1764-72)	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
82	坐鋪八景 台子の夜雨	明和3年(1766)頃	中判錦絵摺物	千葉美術館	
83	座鋪八景 台子の夜雨	明和期(1764-72)	中判錦絵	千葉美術館	
84	見立官女玉虫	明和3、4年(1766、67)頃	中判錦絵、2枚続のうち左	ボストン美術館	
85	見立那須与一	明和3、4(1766、67)年	中判錦絵、2枚続のうち右	フィラデルフィア美術館	千葉会場のみの展示となります。
86	見立那須与一	明和3、4年(1766、77)頃	中判錦絵、2枚続のうち右	東京国立博物館	
87	見立芦葉達磨	明和2年(1765)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	11/2/11/17
88	見立夕顔	もと明和3年(1766)絵暦	中判錦絵2枚続	ホノルル美術館	
89	見立芥川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
90	見立筒井筒	明和4年(1767)頃	中判錦絵	中右瑛氏蔵	11/19-12/8
91	見立太田道灌	明和3、4年(1766、67)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
92	見立松浦佐用姫	明和3年(1766)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
93	見立牧童	明和3年(1767)	中判錦絵	大英博物館	
94	文掃く美人 見立牧童	明和4年(1767)頃	中判錦絵	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
95	いばらき屋店先(見立茨木)	明和4年(1768)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
96	見立茨木	明和4、5年(1767、78)頃	柱絵判錦絵	ホノルル美術館	
97	見立深草小将	明和4年(1767)頃	中判錦絵	ライデン国立民族学博物館	
98	船遊び男女(見立白楽天)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	
99	笛吹く男女(見立玄宗皇帝楊貴妃)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
100	三味線をひく男女(見立玄宗皇帝楊貴妃)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
101	隅田川船遊び	明和4年(1767)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
102	夜の訪れ(見立十二段草子)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
103	廊下の相撲(見立牛若丸と弁慶)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
104	牛若丸と弁慶	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
105	見立三夕 西行法師(鴫立つ沢)	明和4、5年(1767、78)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
106	見立三夕 寂連法師(槇立つ山)	明和4、5年(1767、78)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
107	見立三夕 定家(浦の苫屋)	明和4、5年(1767、78)頃	中判錦絵	大英博物館	
108	見立錏引	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
109	夜の梅	明和3年(1766)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
110	見立高砂	明和2年(1765)絵暦	中判錦絵摺物2枚続	ミネアポリス美術館	
111	見立紅葉狩	明和4年(1767)頃	中判錦絵	平木浮世絵美術館	
112	見立羽衣	明和4年(1767)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	11/2-11/10、11/26-12/8
113	見立鉢の木	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
114	見立黄石公張良	明和3、4年(1766、67)頃	中判錦絵2枚続	大英博物館	
115	見立かきつばた(見立t八橋)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
116	茶挽臼(見立放下憎)	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
117	風流うたい八景 絃上の夜雨	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
118	風流うたい八景 羽衣の落雁	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
119	風流うたい八景 三井寺の晩鐘	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
120	風流うたい八景 高砂の帰帆	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
121	風流うたい八景 えびらの晴嵐	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
122	風流うたい八景 松風の秋月	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8

123	風流うたい八景　紅葉狩の夕照	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
124	風流うたい八景　鉢の木の暮雪	明和4年(1767)頃	細判錦絵	太田記念美術館	12/3-12/8
125	風流うたい八景　紘上の夜雨	明和4年(1767)頃	細判錦絵	シカゴ美術館	
126	風流うたい八景　高砂の帰帆	明和4年(1767)頃	細判錦絵	メトロポリタン美術館	
127	風流うたい八景　松風の秋月	明和4年(1767)頃	細判錦絵	ミネアポリス美術館	
128	風流うたい見立　羽衣	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
129	風流うたい見立　景清	明和5年(1768)頃	中判錦絵	東京国立博物館	
130	三番叟	明和3、4年(1766、67)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
131	布晒舞	明和4、5年(1767、68)頃	細判錦絵	ホノルル美術館	
132	今様おどり八景　布晒の帰帆	明和5、6年(1768、69)頃	小判錦絵	王舎城美術寶物館	11/12-11/24
133	石橋	明和6年(1769)頃	大判錦絵	シカゴ美術館	
134	六玉川　高野の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
135	六玉川　井手の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
136	六玉川　調布の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
137	六玉川　擣衣の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
138	六玉川　萩の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
139	六玉川　千鳥の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
140	六玉川　高野の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
141	六玉川　井手の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
142	六玉川　調布の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
143	六玉川　擣衣の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
144	六玉川　萩の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
145	六玉川　千鳥の玉川	明和4年(1767)頃	中判錦絵	個人蔵	
146	三十六歌仙　藤原元真	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
147	三十六歌仙　伊勢	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
148	三十六歌仙　坂上是則	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
149	三十六歌仙　壬生忠見	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
150	三十六歌仙　中務	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
151	三十六歌仙　源信明朝臣	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
152	三十六歌仙　小野小町	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	千葉会場のみの展示となります。
153	三十六歌仙　藤原清正	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	大英博物館	
154	三十六歌仙　源公忠朝臣	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	王舎城美術寶物館	11/12-11/24
155	三十六歌仙　紀友則	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	千葉美術館	
156	三十六歌仙　憎正遍昭	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	平木浮世絵美術館	11/2-11/10、11/26-12/8
157	三十六歌仙　源　重之	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ライデン国立民族学博物館	
158	三十六歌仙　藤原仲文	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	千葉美術館	
159	百人一首　持統天皇	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
160	百人一首　蝉丸	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
161	百人一首　小式部内侍	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
162	百人一首　小野小町	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	
163	官女	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	大英博物館	
164	詠歌(見立紫式部)	明和4、5年(1767、68)	色紙判続本摺	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
165	五常　仁	明和4年(1767)	中判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	
166	五条　義	明和4年(1768)	中判錦絵	ホノルル美術館	
167	五条　禮	明和4年(1769)	中判錦絵	ボストン美術館	
168	五条　智	明和4年(1770)	中判錦絵	ボストン美術館	
169	五条　信	明和4年(1771)	中判錦絵	シカゴ美術館	
170	風流六哥仙　文屋康秀	明和5年(1768)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
171	風流六哥仙　在原業平	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
172	風流六哥仙　大伴黒主	明和5年(1768)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	11/26-12/8
173	風流六哥仙　憎正遍昭	明和5年(1768)頃	中判錦絵	平木浮世絵美術館	11/2-11/24
174	風流六哥仙　小野小町	明和4～5年(1767-68)	中判錦絵	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
175	風流四季哥仙　立春	明和5年(1768)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
176	風流四季哥仙　二月　水辺梅	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
177	風流四季哥仙　二月　水辺梅	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
178	風流四季哥仙　三月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館・浦上記念館	
179	風流四季哥仙　三月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
180	風流四季哥仙　弥生	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
181	風流四季哥仙　竹間鶯	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
182	風流四季哥仙　卯月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
183	風流四季哥仙　卯月　雲外郭公	明和5年(1768)頃	中判錦絵	王舎城美術寶物館	11/12-11/24
184	風流四季哥仙　五月雨	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
185	風流四季哥仙　五月雨	明和5年(1768)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	11/2-11/24

186	風流四季哥仙　水無月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
187	風流四季哥仙　水無月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
188	風流四季哥仙　立秋	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
189	風流四季哥仙　仲秋	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
190	風流四季哥仙　神無月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
191	風流四季哥仙　神無月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
192	風流四季哥仙　神楽月	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
193	風流四季哥仙　庭の雪	明和5年(1768)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
194	風流五色墨　咫尺	明和5年(1768)頃	中判錦絵	フィラデルフィア美術館	
195	風流五色墨　長水	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
196	風流五色墨　長水	明和5年(1768)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	
197	風流五色墨　宗端	明和5年(1768)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
198	林間煖酒焼紅葉	明和5年(1768)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
199	雪中相合傘	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
200	雪中相合傘	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
201	雪中相合傘	明和4年(1767)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
202	雪中相合傘	明和4年(1767)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
203	雪中相合傘	明和(1764-72)後期	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
204	蛍狩り	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
205	夜の萩	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
206	茄子畑	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
207	鞠と男女	明和4年(1767)頃	中判錦絵	千葉美術館	
208	鶏と恋人たち	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
209	縁先物語	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
210	吹矢場	もと明和2年(1765)絵暦	横中判錦絵2枚続	ボストン美術館	
211	吉原大門口	明和5、6年(1768、69)頃	柱絵判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
212	二人虚無憎	明和5、6年(1768、69)頃	柱絵判錦絵	シカゴ美術館	
213	二人虚無憎	明和6年(1769)頃	大判錦絵	ボストン美術館	
214	蚊帳の母子	明和5年(1768)頃	中判錦絵	千葉美術館	
215	蚊帳を吊る母と子	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
216	椿	明和5年(1768)頃	中判錦絵	大英博物館	
217	一本菊	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
218	若殿の外出	明和5年(1768)頃	中判錦絵	個人蔵	11/2-11/24
219	ほにほろ	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	11/2-11/24
220	子供の獅子舞	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
221	子供の相撲	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
222	子供の影絵遊び	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
223	大名行列遊び　春駒	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
224	白象と唐子	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	慶應義塾	11/26-12/8
225	あやとり	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
226	めだか掬い	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
227	船から下りる芸者	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
228	花見の駕籠	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
229	桜下の駒	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ミネアポリス美術館	
230	若衆の綱打ち	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
231	秋の風	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
232	そうめん干し	明和4年(1767)頃	中判錦絵	大英博物館	
233	高下駄の雪取り	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
234	琴を弾く女	明和4、5年(1767、68)頃	中判錦絵	千葉美術館	
235	梅の枝折り	明和4年(1767)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
236	かわら投げ	明和3、4年(1766、67)	中判錦絵	東京国立博物館	千葉会場のみの展示となります。
237	機織り	もと明和2年(1765)絵歴	中判錦絵	中右瑛氏蔵	11/2-11/24
238	掛軸を見る遊女	明和5年(1768)頃	中判錦絵	個人蔵	
239	海女	明和6年(1769)頃	柱絵判錦絵	中右瑛氏蔵	11/26-12/8
240	『絵本千代松』	明和4年(1767)正月刊	墨摺絵本、3冊	千葉美術館	11/2-11/24
241	団子を持つ笠森お仙	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	個人蔵	週ごとにページ替があります。
242	鍵屋お仙	明和6年(1769)頃	柱絵判錦絵	シカゴ美術館	
243	御宝前	明和6年(1769)頃	柱絵判錦絵	シカゴ美術館	
244	永楽屋	明和6年(1769)頃	中判錦絵	大英博物館	
245	お波お初	明和6年(1769)頃	中判錦絵	大英博物館	
246	まねえもん	明和7年(1770)頃	横中判錦絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	
247	浮世絵美人寄花　笠森の婦人　卯花	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
248	浮世絵美人寄花　楊枝屋婦　菫菜	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	

249	浮世絵美人寄花　路考娘　瞿麦	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	ホノルル美術館	
250	浮世絵美人寄花　路考娘　瞿麦	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
251	浮世絵美人寄花　南山さき屋内　元浦　八重桜	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
252	浮世絵美人寄花　南の方　松坂屋内野風　藤	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
253	浮世絵美人寄花　山城屋内はついと　萩	明和5、6年(1768、69)頃	中判錦絵	山口県立萩美術館･浦上記念館	
254	浮世絵美人寄花　丁子屋内丁山　花王	明和6年(1769)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
255	丁子屋内丁山と巡礼	明和6年(1769)頃	中判錦絵	ボストン美術館	
256	『絵本青楼美人合』	明和7年(1770)刊	彩色摺絵本、5冊	個人蔵	週ごとにページ替があります。
257	『絵本青楼美人合』	明和7年(1770)刊	彩色摺絵本、5冊	大英博物館	
258	『絵本青楼美人合』	明和7年(1770)刊	彩色摺絵本、1冊(5冊のうち)	千葉美術館	週ごとにページ替があります。
259	風流江戸八景　上野の晩鐘	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	個人蔵	11/26-12/8
260	風流江戸八景　両国橋の夕照	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	個人蔵	11/2-11/24
261	風流江戸八景　日本堤夜雨	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
262	風流江戸八景　浅草の晴嵐	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	大英博物館	
263	風流江戸八景　角田川の落雁	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	
264	風流江戸八景　品川の帰帆	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	シカゴ美術館	
265	風流江戸八景　真乳山の暮雪	明和5、6年(1768、70)頃	中判錦絵	メトロポリタン美術館	

Ⅱ＞1＞(1)　特別展示15年度

展覧会名	～歌麿や広重も描いた江戸の子宝～ 遊べや遊べ！子ども浮世絵展
会期	平成15年4月12日（土）～5月11日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、NHK山口放送局、NHKちゅうごくソフトプラン
後援	文化庁、萩市
協力	くもん子ども研究所、公文教育研究会
企画協力	NHKプロモーション

(1)趣旨

江戸時代は寺子屋での勉学も始まり、「よく遊びよく学ぶ」が広く浸透しました。庶民の「遊び」が豊かに花開いた時代です。しかし、その様子が浮世絵のなかに見事に描写されていることは意外に知られていません。本展では、くもん子ども研究所の新収品を中心に、春信、重政、清長、歌麿、北斎、広重、国芳など、当代一流の絵師が子どもの日常を描いた作品や、子どもたちが実際に遊びに使っていた「おもちゃ絵」などさまざま浮世絵作品により、江戸から明治の遊びの世界を総集するものでした。また、プレイルームには江戸玩具や、おもちゃ絵の複製を用意し、子どもたちが実際に「見て、触れて、遊べる」参加型の展覧会を目指しました。

（2）カタログ

編集　くもん子ども研究所、ＮＨＫプロモーション
発行　NHKプロモーション
内容　ごあいさつ　主催者
江戸からの呼びかけ　くもん子ども研究所
子どもの近世とその前後
／黒田日出男(東京大学史料編纂所教授)
子ども浮世絵再発見
／稲垣進一(栃木県馬頭町広重美術館館長)
寺子屋の「学びの文化」をさぐる／中城正堯
(国際浮世絵学会会員・くもん子ども研究所顧問)
図版
Ⅰ．子ども浮世絵の名品－春信や歌麿、広重－
Ⅱ．子どもの登場－錦絵以前－
Ⅲ．浮世絵に描かれた子ども－遊び学ぶ子宝たち－
Ⅳ．子どものための浮世絵、遊戯具－鑑賞と実用－
作品解説
絵師別展示作品一覧
参考文献
遊び・玩具・行事の絵引辞典
主要出品浮世絵師の作画期年表
体裁　A4判変形　171ページ

（3）記念講演会

①日時　平成15(2003)年4月12日(土)　13：30～15：00
演題　「子どもの浮世絵とは何か」
講師　稲垣進一(茨城県馬頭町広重美術館館長)
②日時　平成15(2003)年4月26日(土)　13：30～15：00
演題　「遊び模様、江戸の散歩(みちくさ)～ズッコケ先生、江戸を語る～」
講師　那須正幹(児童文学作家・ズッコケ三人組シリーズ作者)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　藤村忠範(学芸課主任)

（5）その他
関連イベント
①スペシャルギャラリートーク
日時　平成15(2003)年4月12日(土)　15：00～16：00
講師　中城正堯(国際浮世絵学会会員)
②ファミリーコンサート
日時　平成15(2003)年4月13日(日)　①13：00～ ②14：30～
出演　頼田ファミリーバンド・パッセージ
曲目　「ともだちはいいもんだ」「Smile Again」他
③影絵
日時　平成15(2003)年4月19日(土)　13：30～15：00
出演　べっぴんしゃん(NPO法人　萩子どもセンター)
演目　「ジャックと豆の木」「花さき山」他
④紙芝居
日時　平成15(2003)年4月20日(日)　13：30～15：00
出演　右手和子(声優・紙芝居実演家・子どもの文化研究所所員)
演目　「どっちだ」「モチモチの木」他
⑤わらべうたで遊ぼう
日時　平成15(2003)年4月27日(日)　13：30～15：00
出演　神野久子(福岡コダーイセンター代表)
曲目　「鬼きめ」「役交換」「減り増えるあそび」他
⑥作って遊ぼうスーパー竹とんぼ
日時　平成15(2003)年5月5日(月)　13：00～15：00
講師　秋山壯(国際竹とんぼ協会 山口県本部萩支部)

Ⅰ. 子ども浮世絵の名品(春信、歌麿、広重が描いた子どもたち)

	作品名	作者	制作年代	形状ほか	前期	後期
1	奉掛御宝前諸願成就所	作者未詳	寛文2年(1662)	墨摺絵(絵馬)	○	○
2	＜菖蒲打＞	作者未詳	宝暦(1751～1763)頃	横細判墨摺着色(丹絵)	○	○
3	＜金魚と童＞	作者未詳(鳥居派)	宝暦(1751～1763)頃	細判紅摺絵	○	○
4	＜夏姿　母と子＞	鈴木春信	明和(1764～1771)頃	中判錦絵	○	
5	＜子ども獅子舞＞	鈴木春信	明和(1764～1771)頃	中判錦絵		○
6	五常　智	礒田湖龍斎	安永3年(1774)	中判錦絵	○	
7	戯童十二気候　七月	鳥居清長	安永末(1778～1780)頃	中判錦絵		○
8	＜山姥と金太郎＞	喜多川歌麿	寛政～享和(1789～1803)頃	長大判錦絵	○	
9	当世好物八景　さわぎ好	喜多川歌麿	享和(1801～1803)頃	大判錦絵		○
10	風流てらこ吉書はじめけいこの図	歌川豊国	享和4年(1804)	大判錦絵(三枚続の内1枚)	○	
11	＜金太郎鷲掴みの図＞	勝川春朗(北斎)	寛政初年(1789～1792)頃	大判錦絵		○
12	おさな遊富士巻狩	菊川英山	文化～文政(1804～1829)頃	大判錦絵三枚続	○	○
13	風流をさなあそび(男)	歌川広重	天保初め(1830～1834)頃	横大判錦絵	○	
14	風流おさな遊び(女)	歌川広重	天保初め(1830～1834)頃	横大判錦絵		○
15	子宝遊	歌川国芳	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	○
16	山海愛度図会　乳が呑たい	歌川国芳	嘉永5年(1852)	大判錦絵	○	○
17	浮世五色合　黒	歌川豊国三代(国貞)	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵	○	○
18	双筆五十三次　日本橋	歌川広重・歌川豊国三代(国貞)	安政元年(1854)	大判錦絵	○	○

Ⅱ. 子どもの登場　錦絵以前(屏風や絵巻に見る子ども風俗と唐子)

	作品名	作者	制作年代	形状ほか	前期	後期
19	＜川遊び図屏風＞	作者未詳	江戸初期	紙本着色金泥金砂子　六曲一隻	○	○
20	松月屏風(正月屏風)	作者未詳	寛文～元禄(1661～1703)頃	紙本金地着色　六曲一双	○	○
21	＜唐子遊屏風＞	作者未詳	江戸中期	紙本着色金雲　六曲一双	○	○
22	＜唐子屏風＞	作者未詳	江戸後期	紙本着色　六曲一隻	○	○
23	＜子ども遊絵巻(絵手本)＞	作者未詳	江戸中期	紙本着色　1巻	○	○
24	年中行事絵巻	作者未詳	元禄～享保(1688～1735)頃	紙本着色　1巻	○	○
25	童子遊興之図	作者未詳	江戸中期	紙本着色　画帖1冊	○	○
26	＜唐子遊雛屏風＞	作者未詳	江戸中期	紙本金地着色　六曲一双	○	○

Ⅲ. 浮世絵に描かれた子どもー遊び遊ぶ子宝たちー

Ⅲ-①. ごっこ遊びと子ども見立て絵(春信、豊雅、重政などの初期錦絵)

	作品名	作者	制作年代	形状ほか	前期	後期
27	風流やつし七小町　草紙あらひ	鈴木春信	明和(1764～1771)頃	細判錦絵	○	
28	やつし七福神　布袋	礒田湖龍斎	明和8年(1771)	中判錦絵		○
29	うたい八番ノ内紅葉かり	石川豊雅	安永(1772～1780)頃	中判錦絵	○	
30	風流十二月　四月	石川豊雅	明和(1764～1771)頃	中判錦絵		○
31	頼光山入遊第二羅しゃうもん	作者未詳	安永(1772～1780)頃	中判錦絵	○	
32	やつし八景勢田夕照	北尾重政	安永(1772～1780)頃	中判錦絵		○
33	おさなあそび廿四孝　老莱子(三)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵	○	
34	おさな遊廿四孝　黄香(四)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵		○
35	おさなあそび廿四孝　唐夫人(九)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵	○	
36	おさな遊廿四孝　楊香(十)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵		○
37	おさなあそび廿四孝　山谷(十八)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵	○	
38	おさなあそび廿四孝　丁蘭(廿)	作者未詳(北尾重政か)	安永～天明(1772～1788)頃	中判錦絵		○
39	＜子ども遊び菓子所＞	作者未詳	寛政(1789～1800)頃	中判錦絵	○	○
40	雅遊五節供　九月	勝川春山	寛政(1789～1800)頃	大判錦絵		○
41	忠臣蔵稚遊二段目	喜多川歌麿	享和(1801～1803)頃	大判錦絵	○	○
42	＜子ども遊び大名行列＞	喜多川歌麿	寛政(1789～1800)頃	大判錦絵五枚続	○	
43	おさな遊日本橋行列之図	渓斎英泉	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続		○
44	美立菅原築地	歌川豊国三代(国貞)	嘉永(1848～1853)頃	団扇絵	○	
45	見立廿四孝之内　楊香	歌川貞虎	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
46	道中豊年子供あそび	歌川国郷	安政5年(1776)	大判錦絵三枚続	○	○

Ⅲ-②. おもちゃ遊びとわんぱくくらべ(北斎、英泉、貞虎などの子ども絵)

	作品名	作者	制作年代	形状ほか	前期	後期
47	風流十二月　十月	石川豊雅	明和(1764～1771)頃	中判錦絵	○	○
48	＜赤貝馬＞	勝川春章	安永(1772～1780)頃	細判錦絵	○	○
49	＜子ども十二月　七月＞	喜多川歌麿	天明～寛政(1781～1800)頃	中判錦絵	○	○
50	おさな遊び七小町　清水小町	文浪	享和(1801～1803)頃	間判錦絵	○	○
51	職人三十六番　たがかけ	菱川宗理	寛政後期～享和(1798～1803)頃	四つ切判摺物	○	○
52	＜松たけ狩り＞	勝川春扇	文化末(1815～1817)頃	横大判錦絵	○	○
53	四季の詠おさな遊　三月上巳花見	渓斎英泉	文政(1818～1829)頃	大判錦絵	○	
54	四季の詠おさな遊　初冬十月・十一月の詠	渓斎英泉	文政(1818～1829)頃	大判錦絵		○
55	四季の詠おさな遊　晩冬十二月年の市	渓斎英泉	文政(1818～1829)頃	大判錦絵	○	
56	木曽街道倉賀野宿烏川之図	渓斎英泉	天保後期(1840～1843)	横大判錦絵		○
57	隅田堤花盛子供遊の図	歌川貞虎	文政～天保(1818～1843)頃	大判錦絵三枚続	○	
58	向島弘法大師境内之図	歌川貞虎	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続		○
59	江都新大橋雪の朝夕子供遊の図	歌川貞虎	文政(1818～1829)頃	大判錦絵三枚続	○	○
60	稚遊四季之内　春	歌川芳虎	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	
61	＜たこ揚げ＞	歌川国彦二代(国輝)	安政2年(1856)頃	横大判錦絵	○	

62	江都勝景中洲より三つまた永代ばしを見る図	歌川国芳	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続	○	○
63	子供あそび	歌川国郷	安政4年(1857)	大判錦絵三枚続		○
64	莟花江戸子数語録	歌川国芳	安政4年(1857)	錦絵五枚継(絵双六)	○	
65	友寿々女美知具佐数語呂久	歌川広重二代	万延元年(1860)	錦絵六枚継(絵双六)		○
66	江戸名所道化尽十一　下谷御成道	歌川広景	安政6年(1859)	大判錦絵	○	○

Ⅲ－③. 母や姉とのたわむれ(歌麿、国貞、国芳などの母子絵、子宝絵)

67	＜夢にうなされる子どもと母＞	喜多川歌麿	寛政12年～享和元年(1800～1801)頃	大判錦絵	○	
68	風流子宝合　大からくり	喜多川歌麿	享和2年(1802)頃	大判錦絵		○
69	風流子宝船	喜多川歌麿	文化2年(1805)	大判錦絵三枚続	○	○
70	子宝遊 (髪結い)	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	
71	子宝遊(からくり人形)	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
72	時世　薄化粧	歌川国貞	文化～天保(1804～1843)頃	大判錦絵	○	
73	女子教訓狂歌合	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
74	時世百化鳥　風車にみみづく	歌川国貞	天保初期(1830～1835)頃	大判錦絵	○	
75	婦人一代鑑　喰初の図	歌川国貞	天保(1830～1843)	大判錦絵		○
76	誂織当世島 (金花糖)	歌川豊国三代(国貞)	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵	○	
77	妙でんす十六利勘　多弁損者	歌川国芳	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
78	当盛娘かた気	歌川国芳	天保～嘉永(1830～1853)頃	団扇絵	○	○
79	山海名産尽　紀州鯨	歌川国芳	文政(1818～1829)頃	大判錦絵	○	
80	浮世風俗子宝合	渓斎英泉	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
81	当世子宝十景　富ヶ岡の山里	渓斎英泉	文政(1818～1829)頃	大判錦絵	○	
82	東都名所女夫尽の内上野山内女夫杉	歌川貞虎	文政～天保(1818～1843)頃	大判錦絵		○
83	＜宮参り＞	柳川重信二代	文政～天保(1818～1843)頃	色紙判摺物	○	○
84	麻疹心得草	歌川芳藤	安政(1854～1859)頃	大判錦絵	○	○

Ⅲ－④. 四季の行事とお出かけ(国芳、貞広、国貞などの年中行事絵、虫聞き)

85	子宝春あそび	歌川国芳	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	○
86	雅遊五節句之内青陽	歌川国芳	天保10年(1839)頃	大判錦絵五枚組	○	
87	雅遊五節句之内弥生	歌川国芳	天保10年(1839)頃	大判錦絵五枚組	○	
88	雅遊五節句之内端午	歌川国芳	天保10年(1839)頃	大判錦絵五枚組	○	
89	雅遊五節句之内七夕	歌川国芳	天保10年(1839)頃	大判錦絵五枚組	○	
90	雅遊五節句之内菊月	歌川国芳	天保10年(1839)頃	大判錦絵五枚組	○	
91	子供四季遊　春	歌川貞広	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵四枚組		○
92	子供四季遊　夏	歌川貞広	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵四枚組		○
93	子供四季遊　秋	歌川貞広	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵四枚組		○
94	子供四季遊　冬	歌川貞広	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵四枚組		○
95	子供十二月	歌川貞升	天保(1830～1843)頃	大短冊判錦絵六丁掛二枚組(上方絵)	○	○
96	幼女四雅之内　風	歌川国貞	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵	○	○
97	風流古今十二月ノ内　弥生	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続	○	○
98	＜花見＞	渓斎英泉	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続	○	○
99	新板子供遊び相撲の図	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵三枚続	○	○
100	汐干潟弥生風景	歌川豊国三代(国貞)	安政2年(1855)	大判錦絵三枚続	○	○
101	東都茅場町図	歌川国貞	文政(1818～1829)頃	大判錦絵三枚続	○	○
102	七五三祝ひの図	歌川豊国三代(国貞)	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	○
103	今様見立士農工商　商人	歌川豊国三代(国貞)	安政4年(1857)	大判錦絵三枚続	○	○
104	東都名所　道灌山虫聞之図	歌川広重	天保12・13年(1841・1842)頃	横大判錦絵	○	○
105	准源氏教訓図会　空蝉	歌川国芳	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	
106	今様女扇	菊川英山	文化8年(1811)頃	大判錦絵		○
107	新板虫づくし	歌川重宣(広重二代)	嘉永(1848～1853)頃	大判おもちゃ絵(物づくし絵)	○	○
108	志ん板むしづくし	作者未詳	安政3年(1856)	大判おもちゃ絵(物づくし絵)	○	○

Ⅲ－⑤. 手習い、芸事も楽し(清長、国芳、広重などのお稽古絵)

109	＜草双紙＞	渓斎英泉	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	○
110	幼童諸芸教草　手習	歌川国芳	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵	○	
111	五色和歌　定家卿　赤	歌川芳虎	嘉永(1848～1853)頃	大判錦絵		○
112	＜寺子屋の図＞	作者未詳	江戸後期	絹本着色	○	○
113	文学ばんだいの宝　末の巻	一寸子花里	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵二枚組の1枚	○	○
114	風流てらこ吉書はじめけいこの図	歌川豊国	文化初年(1804～1808)	大判錦絵三枚続		○
115	幼童席書会	歌川国芳	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	
116	春興手習出精双六	歌川広重	弘化4年(1847)	錦絵二枚継(絵双六)	○	○
117	＜源成之の席書＞	鳥居清長	天明3年(1783)	大判錦絵	○	
118	＜玉花子の席書＞	鳥居清長	天明3年(1783)	大判錦絵		○
119	子供諸礼躾方 (掛物・立花)	歌川国芳	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵	○	○
120	子供諸礼躾方 (膳・給仕)	歌川国芳	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵	○	
121	子供諸礼躾方(屏風・障子)	歌川国芳	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵		○
122	諸芸稽古図会	歌川広重	天保(1830～1843)頃	四つ切判四丁掛錦絵四枚組	○※	○※
123	幼童諸芸教草 仕立もの	歌川国芳	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵	○	○
124	子供遊踊尽　石橋	渓斎英泉	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	○
125	子供　手ならい双紙	歌川貞房	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	○

126	雅舞尽	歌川貞升	天保(1830～1843)頃	中国おもちゃ絵九丁掛(上方絵)	○	○

Ⅲ-⑥. 明治の子ども遊び(春汀、昇雲の開化子ども絵)

127	小供風俗　あねさま	宮川春汀	明治29年(1896)	大判錦絵	○	
128	小供風俗　たまや	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵	○	
129	小供風俗　せんこはなび	宮川春汀	明治29年(1896)	大判錦絵	○	
130	小供風俗　おしりの用心	宮川春汀	明治29年(1896)	大判錦絵	○	
131	小供風俗　ちんちんもがもが	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵	○	
132	小供風俗　かずひろい	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵		○
133	小供風俗　たけうま	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵		○
134	小供風俗　めんこあそび	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵		○
135	小供風俗　たるみこし	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵		○
136	小供風俗　いくさごっこ	宮川春汀	明治30年(1897)	大判錦絵		○
137	子供あそひ　ままごと	山本昇雲	明治39年(1906)	横大判錦絵	○	○
138	子供遊ひ　まわりどうろう	山本昇雲	明治39年(1906)頃	横大判錦絵	○	○
139	子供あそひ　とんぼ	山本昇雲	明治40年(1907)	横大判錦絵	○	○
140	四季のなかめ　虫の声	山本昇雲	明治40年(1907)頃	横大判錦絵	○	○
141	子供あそひ　こま回し	山本昇雲	明治40年(1907)	横大判錦絵	○	○
142	子供あそひ　園の雪	山本昇雲	明治39年(1906)	横大判錦絵	○	○

Ⅳ. 子どものための浮世絵、遊戯具－鑑賞と実用－

Ⅳ-①. 昔話や妖怪物語(国芳、芳藤、芳幾の物語絵)

143	和漢準源氏　山姥会童丸　須磨	歌川国芳	安政2年(1855)	大判錦絵	○	
144	＜金太郎双六遊び＞	鳥居清満二代(清峰)	文政(1818～1829)頃	大判錦絵		○
145	＜横笛を吹く金太郎＞	鳥居清長	寛政(1789～1800)頃	大判錦絵	○	
146	坂田怪童丸	歌川国芳	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
147	金太郎尽　三月	歌川芳艶	嘉永(1848～1853)頃	大判錦絵	○	
148	和漢英雄伝　金太郎	歌川国輝	天保(1830～1843)頃	大判錦絵		○
149	＜大江山酒呑童子＞	歌川国芳	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判錦絵三枚続	○	
150	頼光四天王大江山鬼神退治之図	月岡芳年	元治元年(1864)	大判錦絵三枚続		○
151	頼光大江山帰陣の図	歌川国芳	嘉永5年(1852)	大判錦絵三枚続	○	
152	十六武蔵坊	歌川国芳	嘉永(1848～1853)頃	大判錦絵	○	
153	鬼若丸	歌川国芳	嘉永(1848～1853)頃	大判錦絵		○
154	西塔鬼若丸	歌川国芳	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵		○
155	牛若丸　僧正坊	勝川春亭	文化(1804～1817)頃	小判錦絵	○	
156	僧正坊　牛若丸	河鍋 周麿(暁斎)	文久3年(1863)	大判錦絵三枚続		○
157	五条橋	歌川国貞	天保(1830～1843)頃	大判錦絵	○	
158	御曹子牛若丸　武蔵坊弁慶	歌川芳藤	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵二枚続		○
159	＜安宅の関＞	歌川貞秀	天保～弘化(1830～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	○
160	九州岸柳島において宮本六三四佐々木岸柳仕合之図	歌川芳虎	弘化(1844～1847)頃	大判錦絵三枚続	○	○
161	桃太郎雷退治	歌川国貞	文化～天保(1804～1843)頃	大判錦絵	○	
162	昔噺鬼ヶ嶋入	歌川芳幾	安政(1854～1859)頃	大判錦絵三枚続	○	
163	昔ばなし一覧図会	歌川重宣(広重二代)	安政4年(1857)	大判錦絵三枚続		○
164	五拾三次之内猫之怪	歌川芳藤	嘉永1、2年頃(1848・1849)頃	大判錦絵		○
165	新板化物づくし	歌川芳員	嘉永5年(1852)	大判おもちゃ絵(物づくし絵)	○	
166	新板おばけ尽	歌川貞房	弘化4年(1847)	大判おもちゃ絵(物づくし絵)		○
167	百種怪談妖物双六	歌川芳員	安政5年(1858)	錦絵四枚継(絵双六)	○	
168	朝比奈島遊び	歌川貞秀	万延元年(1860)	大判錦絵三枚続		○

Ⅳ-②. 紙工作と物づくし(芳藤、国郷、重宣のおもちゃ絵)

169	新板雛だな組立	歌川国直	文化(1804～1817)頃	大判おもちゃ絵(組上絵)	○	
170	おひなさま両めん合	歌川藤よし	元治元年(1864)	大判おもちゃ絵(組上絵)		○
171	＜内裏びな＞	歌川豊国三代(国貞)	安政2年(1855)	大判おもちゃ絵(ひな絵)*二枚続*	○	
172	＜武者着せ替え＞	歌川芳虎	嘉永～安政(1848～1859)頃	大判おもちゃ絵(着せ替え絵)	○	
173	＜鎧冑組上げ＞	歌川芳重	嘉永6年(1853)	大判おもちゃ絵(組上絵)		○
174	＜牛若丸と弁慶＞	歌川国芳	天保(1830～1843)頃	大判おもちゃ絵(幟絵)		○
175	しん板おざしきこしらえ形	歌川芳藤	慶応3年(1867)	大判おもちゃ絵(組上絵)	○	
176	組上とうろふ(越後獅子)	歌川国政三代(国貞二代)	嘉永(1848～1853)頃	大判おもちゃ絵(組上絵)		○
177	舌切雀桃太郎一代記	長谷川貞信二代	明治24年(1891)	大判おもちゃ絵(組上絵)六枚組	○※	○※
178	新板八嶋だんのうらきりぐみとふろうゑ	歌川国長	享和文化(1801～1817)頃	大判おもちゃ絵(組上絵)二枚組	○	○
179	しん板あね様づくし	歌川芳藤	文久(1861～1863)頃	大判おもちゃ絵(姉様絵)	○	○
180	新板相撲東西両面合	作者未詳	慶応(1865～1867)頃	大判おもちゃ絵(相撲両面絵)	○	
181	新板角力尽し	歌川国郷	安政4年(1857)	大判おもちゃ絵(相撲絵)		○
182	新板昔々さるかに咄し	歌川国郷	嘉永～安政(1848～1859)頃	大判おもちゃ絵(物語こま絵)	○	
183	昔咄しさるかに合戦	歌川芳綱	嘉永6年(1853)	大判おもちゃ絵(物語こま絵)		○
184	朝比奈嶋めぐり	歌川重歳	文久元年(1861)	大判おもちゃ絵(物語こま絵)	○	
185	新板鳥さし十六むさし	歌川周重	明治2年(1869)	大判おもちゃ絵(ゲーム絵)		○
186	いろはかるた	歌川芳藤	文久元年(1861)	大判おもちゃ絵(かるた絵)	○	
187	紙鳶登　天上双六	歌川芳藤	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	錦絵四枚継(絵双六)		○
188	新板おもちゃ双六	歌川芳藤	文久元年(1861)	大判おもちゃ絵(絵双六)	○	

189	＜武勇三題＞	歌川芳藤	安政3年(1856)	大判おもちゃ絵(物語絵)		○
190	道外上下見ノ図	歌川芳虎	文久1，2年(1861・1862)	大判錦絵(上下絵)三枚組	○	○
191	五子十童図	歌川貞景	天保(1830～1843)頃	大判おもちゃ絵(だまし絵)	○	○
192	越後方武者揃	歌川芳綱	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判おもちゃ絵(武者づくし絵)	○	
193	合馬づくし	歌川芳藤	安政2年(1855)	大判おもちゃ絵(物づくし絵)		○
194	新板世たい道具尽し	歌川重宣(広重二代)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判おもちゃ絵(物づくし絵)	○	
195	新板鳥づくし	歌川重宣(広重二代)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判おもちゃ絵(物づくし絵)		○
196	新板魚づくし	歌川重宣(広重二代)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判おもちゃ絵(物づくし絵)	○	
197	新板鉢植づくし	歌川重宣(広重二代)	弘化4年～嘉永5年(1847～1852)頃	大判おもちゃ絵(物づくし絵)		○

Ⅳ-③. 貝合わせと百人一首(上流子女の遊戯具と教養)

198	＜貝合わせ調度＞		江戸初期	貝桶一対　合わせ貝二百個 袱紗一枚　1式	○	○
199	潮干の都登	喜多川歌麿	寛政6年版(1794)	色摺絵入狂歌本　1冊	○	○
200	ふたみのうら	伊勢貞丈著	文政12年版(1828)	墨摺絵本 1冊	○	○
201	百人一首かるた	作者未詳	江戸中期	かるた 着色　1式	○	○
202	小倉百人一首	作者未詳	江戸後期	かるた 色摺　1式	○	○
203	百人一首　全	土佐光貞	文化5年(1808)	色摺絵本 1冊	○	○
204	新版栄寿百人一首双六	歌川芳虎	嘉永(1848～1853)頃	錦絵四枚継(絵双六)　1枚	○	○
205	百人一首かるた	作者未詳	天保(1830～1843)頃	大判おもちゃ絵八枚組(かるた絵) 8枚組	○	○

※は、組物を前期・後期に分けて展示。

展覧会名	河村コレクション 竹久夢二展
会期	平成15年5月17日（土）～7月13日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、KRY山口放送、美術館連絡協議会
後援	萩市
協 賛	花王株式会社

---

(1)趣旨

大正ロマンを代表する画家、竹久夢二（1884～1934）は、『宵待草』の歌人として知られ、デザインやイラスト、装丁などの分野でも多彩な活動をしています。

大きな瞳で独特の憂愁と情緒をたたえた〝夢二美人〟とよばれる女性像は、多くの人々の脳裏に深く刻み込まれ、今もなお多くの人を魅了しつづけています。

その夢二の生前を知り、長年にわたり貴重な作品を収集した、山口県下関市出身の実業家、故河村幸次郎氏のコレクションによる、本格的な竹久夢二の展覧会を開催しました。

今回は、多岐にわたる夢二の活動のなかでも特に、その主軸となる絵画を中心として、日本画、油絵、水彩画、楽譜表紙原画、ペン画、スケッチなどを中心とする作品によって、画家竹久夢二の足跡をたどりました。

（2）カタログ

編集　河村コレクション　森谷緑子
発行　株式会社グラナダ
内容　ごあいさつ　主催者
　　　夢二に会った頃／河村幸次郎
　　　日本画家　夢二
　　　夢二の洋画
　　　　長崎十二景
　　　　女十題
　　　デザイナー　夢二
　　　挿絵作家　夢二
　　　夢二の素描
　　　書簡
　　　夢二のモデルとなった女性達
　　　年譜
　　　注釈
体裁　A4判　116ページ

（3）記念講演会

①日時　平成15(2003)年5月17日(土)　13：30～15：00
　演題　「竹久夢二の芸術と生涯」
　講師　石川桂子(竹久夢二美術館主任学芸員)
②日時　平成15(2003)年6月7日(土)　13：30～15：00
　演題　「竹久夢二と子どもの文化」(兼・平成１５年度第2回美術講座)
　講師　中村美幸(下関市立美術館学芸係長)

（4）ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　吉田洋子(学芸課学芸員)

（5）その他
関連イベント
特別鑑賞会とミュージアムコンサート「大正ロマンの香り〜日本の歌曲と地酒の夕べ〜」
日時　平成15(2003)年6月1日(日)　18：00〜20：00
特別鑑賞会 18：00〜18：45／コンサート 19：00〜20：00
出演　有冨美子(アルト)、山本修次(ピアノ)

展示NO.	図録NO.	作品名	分　類	技　法	制作年	展示替
1	38	みょうが	水彩画	墨・淡彩・紙		
2	39	チューリップ	水彩画	水彩・紙		
3	40	雪野	水彩画	水彩・紙	1911年頃	
4	41	被布の女	水彩画	水彩・紙	1914年頃	
5		カフェーの女(未完成)	水彩画	油彩・キャンパス	1915年頃	
6	43	山の娘	水彩画	油彩・キャンパス	1916年頃	
7	44	初夏(蔵)	水彩画	油彩・キャンパス	1917年頃	
8	45	浅間山	水彩画	油彩・板	1920年頃	
9	46	娘	水彩画	水彩・紙	1930年頃	
10	48	黄八丈	水彩画	油彩・キャンパス	1931年	
11	185	橋のたもと	スケッチ	水彩・紙		
12	184	冬の広場	スケッチ	水彩・紙		
13	183	京の別荘	スケッチ	水彩・紙		
14	191	ピエロ	スケッチ	水彩・紙		
15	192	玉乗り	スケッチ	水彩・紙		
16	193	土佐太夫	スケッチ	水彩・紙		
17	194	浅草十二階	スケッチ	水彩・紙		
18	195	浅草風景1	スケッチ	水彩・紙		
19	196	浅草風景2	スケッチ	水彩・紙		
20	197	浅草風景3	スケッチ	水彩・紙		
21	198	浅草風景4	スケッチ	水彩・紙		
22	187	三味線月	スケッチ	水彩・紙		
23	188	泣く妻	スケッチ	墨・紙		
24	189	宿の女	スケッチ	水彩・紙		
25	190	待合室	スケッチ	水彩・紙		
26	202	島田髷	素描	水彩・鉛筆・紙		
27	203	オルガン	素描	水彩・鉛筆・紙		
28	204	柳の芽	素描	水彩・鉛筆・紙		
29	205	黒衿	素描	水彩・鉛筆・紙		
30	206	吉原の女	素描	水彩・鉛筆・紙		
31	207	赤い帯	素描	水彩・鉛筆・紙		
32	208	娘の顔	素描	鉛筆・紙		
33	219	木馬	素描	水彩・鉛筆・紙		
34	220	湯上がりの子供	素描	水彩・鉛筆・紙		
35	223	ピアノ	素描	インク・紙	1932年9月17日	
36	224	スケッチブック	スケッチ･素描		1923年	
37	199	東京震災　馬車	スケッチ	インク・紙	1923年	
38	200	東京震災　浅草五区	スケッチ	インク・水彩・紙	1923年	
39	201	大震災風物　白骨の山	スケッチ	インク・紙		
40	218	クラリネット	素描	インク・紙		
41	210	芸妓	素描	水彩・鉛筆・紙		
42	211	寝顔	素描	水彩・鉛筆・紙		
43	213	顔	素描	水彩・鉛筆・紙	1920年	
44	51	長崎十二景　サボテンの花	水彩画	水彩・紙	1920年	
45	52	長崎十二景　ネクタイ	水彩画	水彩・紙	1920年	
46	53	長崎十二景　十字架	水彩画	水彩・紙	1920年	
47	54	長崎十二景　燈籠流し	水彩画	水彩・紙	1920年	
48	55	長崎十二景　化粧台	水彩画	水彩・紙	1920年	
49	56	長崎十二景　出島	水彩画	水彩・紙	1920年	
50	57	長崎十二景　浦上天主堂	水彩画	水彩・紙	1920年	
51	58	長崎十二景　凧揚げ	水彩画	水彩・紙	1920年	
52	59	長崎十二景　眼鏡橋	水彩画	水彩・紙	1920年	
53	50	長崎十二景　青い酒	水彩画	水彩・紙	1920年	6/28～展示
54	60	長崎十二景　阿片窟	水彩画	水彩・紙	1920年	
55	61	長崎十二景　丘の青楼	水彩画	水彩・紙	1920年	
56	62	女十題　北方の冬	水彩画	水彩・紙	1921年	
57	64	女十題　産衣	水彩画	水彩・紙	1921年	
58	65	女十題　紅梅	水彩画	水彩・紙	1921年	
59	63	女十題　朝の光へ	水彩画	水彩・紙	1921年	6/28～展示
60	66	女十題　黒猫	水彩画	水彩・紙	1921年	
61	67	女十題　ネルの感触	水彩画	水彩・紙	1921年	
62	71	女十題　木馬の娘	水彩画	水彩・紙	1921年	6/28～展示
63	68	女十題　逢状	水彩画	水彩・紙	1921年	
64	69	女十題　舞姫	水彩画	水彩・紙	1921年	
65	70	女十題　三味線堀	水彩画	水彩・紙	1921年	
66	49	青春譜	油彩画	油彩・キャンパス	1930年	
67	127	封筒　便箋(春の山)	木版画	木版・紙		
68	124	メニュー図案　宝船	メニュー図案	水彩・紙		

展示NO.	図録NO.	作品名	分類	技法	制作年	展示替
69	125	メニュー図案　宿場	メニュー図案	水彩・紙		
70	126	宝船	木版画	木版・紙・軸装	1929年	
71	128	千代紙(散らし絵)	木版画	木版・紙		
72	129	千代紙(マッチ棒)	木版画	木版・紙		
73	130	千代紙(藤の花)	木版画	木版・紙		
74	91	波浮の港	楽譜表紙原画	水彩・紙		
75		中山晋平民謡曲4　波浮の港	楽譜	木版画	1928年	
76	94	不壊の白珠	楽譜表紙原画	水彩・紙		
77		中山晋平作曲全集　不壊の白珠	楽譜	木版画	1930年7月20日刊行	
78	95	唐人お吉	楽譜表紙原画	水彩・紙		
79		中山晋平作曲全集　唐人お吉の唄	楽譜	木版画	1930年7月20日刊行	
80	96	須坂小唄	楽譜表紙原画	水彩・紙		
81		中山晋平作曲全集　須坂小唄	楽譜	木版画	1930年7月20日刊行	
82	90	信濃の雪	楽譜表紙原画	水彩・紙	1927年	
83	92	舞鶴小唄	楽譜表紙原画	水彩・紙		
84	93	京の舞妓	楽譜表紙原画	水彩・紙		
85	98	童謡小曲　第十五集	楽譜表紙原画	水彩・紙		
86	99	秩夫小唄	楽譜表紙原画	水彩・紙		
87	101	スキー節	楽譜表紙原画	水彩・紙		
88	103	西尾小唄	楽譜表紙原画	水彩・インク・紙		
89	105	戸倉温泉	楽譜表紙原画	水彩・紙		
90	104	十和田湖の女	楽譜表紙原画	水彩・紙		
91	106	白久温泉	楽譜表紙原画	水彩・紙		
92	107	札所巡り	楽譜表紙原画	水彩・紙		
93	108	長瀞	楽譜表紙原画	水彩・紙		
94	109	聯合ハルモニカ楽譜	楽譜表紙原画	水彩・紙	1920年代	
95	110	故郷の廃屋	楽譜表紙原画	水彩・紙		
96	112	麗しき天然	楽譜表紙原画	墨・紙	1924年	
97	113	SENOW. GAKFU(楕円に点)	楽譜表紙原画	水彩・紙	1927年頃	
98	114	SENOW. GAKFU(楕円に菱形)	楽譜表紙原画	水彩・紙	1927年頃	
99	115	SENOW. GAKFU(風景)	楽譜表紙原画	水彩・紙	1925年	
100	119	SENOW. GAKFU(ピアノ)	楽譜表紙原画	水彩・紙		
101	118	扉	楽譜表紙原画	墨・紙	1924年	
102	116	やまと少女の歌	楽譜表紙原画	水彩・紙	1924年	
103	120	蘭燈	楽譜	石版	1921年/再版	
104	121	スヰートホーム	楽譜	石版	1928年/8版	
105	123	ふるさとの海	楽譜	石版	1920年/再版	
106	225	永井兼代(お葉)宛書簡	書簡		1919年	
107	78	夢二画集　春の巻	著作本		1910年/5版	
108		夢二画集　春の巻	復刻本		1985年	
109	79	夢二画集　夏の巻	著作本		1910年/3版	
110		絵ものがたり　京人形	著作本		1911年	
111	84	どんたく	著作本		1913年	
112		草画	著作本		1914年	
113	85	小夜曲	著作本		1915年	
114	80	三味線草	著作本		1915年/3版	
115		草の実	著作本		1915年/3版	
116	83	暮笛(『絵入歌集』の増補改訂)	著作本		1916年	
117	81	夜の露台	著作本		1916年/再版	
118	82	夜の露台(増補改訂前)	著作本		1919年/再版	
119		春の鳥	著作本		1917年	
120		山へよする	著作本		1919年	
121		山へよする	復刻本		1985年	
122	86	砂がき	著作本編集		1940年	
123		高信幸治著　光ちゃん	装幀本		1913年	
124		大平八郎著　ハトポッポ	装幀本		1914年	
125		有本芳水著　芳水詩集	装幀本		1914年/5版	
126	89	長田幹彦著　鴨川情話	装幀本		1915年	
127	88	長田幹彦著　情話新集第二編　舞妓姿	装幀本		1915年/4版	
128	87	吉井　勇著　東京赤燈集	装幀本		1916年	
129		木版画(10点)	版画	木版画		
130	72	初春	雑誌表紙原画	水彩・紙	1926年	
131	73	家庭日記	雑誌表紙原画	水彩・紙	1931年	
132	74	少女世界　新年号	雑誌表紙原画	墨・紙	1927年	
133	75	少女世界　11月号	雑誌表紙原画	墨・紙	1926年	
134	76	民謡詩人	雑誌表紙原画	インク・紙	1928年	
135	77	チョコレート	雑誌表紙原画	墨・紙		
136	131	メリーさん	挿絵	インク・紙		

展示NO.	図録NO.	作品名	分類	技法	制作年	展示替
137	132	芽生	挿絵	インク・紙	1925年	
138	133	レイちゃんの目覚め	挿絵	インク・紙	1926年	
139	134	眼鏡のおばさん(哀れな兄弟)	挿絵	インク・紙	1925年	
140	135	鳩	挿絵	インク・紙	1926年	
141	136	電車の中	挿絵	インク・紙	1926年	
142	137	女優	挿絵	インク・紙	1925年	
143	138	棒名への夢	挿絵	インク・紙		
144	142	姉の入院	挿絵	インク・紙	1925年	
145	143	わくら葉	挿絵	インク・紙	1927年	
146	144	可愛いプリマドンナ	挿絵	インク・紙	1926年	
147	145	姉さんさよなら	挿絵	インク・紙		
148	146	ヴァイオリン	挿絵	インク・紙	1926年	
149	147	めぐりあい	挿絵	インク・紙	1925年	
150	148	蘇州の夏	挿絵	インク・紙	1925年	
151	149	朝鮮だより	挿絵	インク・紙	1925年	
152	151	彼の家	挿絵	インク・紙	1925年	
153	152	炉ばたの話	挿絵	インク・紙	1925年	
154	153	別ればなし	挿絵	インク・紙	1925年	
155	154	秋の刈入れ(左)	挿絵	インク・紙		
156	157	新しい先生	挿絵	インク・紙	1925年	
157	158	給仕さん	挿絵	インク・紙	1926年	
158	160	姉妹	挿絵	インク・紙	1926年	
159	161	いちょうの落葉(秋の校庭)	挿絵	インク・紙	1926年	
160	163	花束	挿絵	インク・紙		
161	164	停車場	挿絵	インク・紙		
162	165	教会(聖境)	挿絵	インク・紙		
163	166	階段の道	挿絵	インク・紙	1926年	
164	167	公園のベンチ	挿絵	インク・紙		
165	168	母娘(影絵)	挿絵	インク・紙		
166	170	恐怖(B)ピストルの影	挿絵	墨・インク・紙		
167	172	ピストル	挿絵	墨・紙		
168	173	おびえる	挿絵	墨・紙		
169	174	御座敷	挿絵	墨・紙		
170	175	青い酒	挿絵	墨・紙		
171	178	奉公に行く	挿絵	墨・紙		
172	181	クリスマスイブ	挿絵	墨・紙		
173	182	ギター	挿絵	墨・紙		
174	1	春の野	日本画	絹本着色・軸装	1911年	
175	2	待宵	日本画	絹本着色・軸装	1912年頃	
176	3	ぬれつばめ	日本画	絵本墨画淡彩・軸装	1912年頃	
177	4	桑畑	日本画	絵本墨画淡彩・軸装	1912年頃	
178	5	郷愁	日本画	絵本墨画淡彩・軸装	1913年頃	
179	6	青い衣物の女	日本画	紙本着色・軸装	1913年頃	
180	8	切支丹波天連渡来之図	日本画	紙本着色・軸装	1914年頃	
181	9	室之津懐古	日本画	紙本着色・軸装	1917年頃	
182	10	阿蘭陀屋敷春宵	日本画	紙本着色・軸装	1914年頃	
183	11	木によれる女	日本画	紙本着色・軸装	1915年頃	
184	12	爪切り	日本画	紙本着色・軸装	1919年頃	
185	13	春遠からじ	日本画	紙本着色・軸装	1920年頃	
186	14	扇を持つ舞妓	日本画	紙本着色・軸装	1921年頃	
187	16	夕粧	日本画	紙本着色・軸装	1927年頃	
188	17	鞍馬風	日本画	紙本着色・軸装	1928年頃	
189	20	南枝早春	日本画	紙本着色・軸装	1928年	
190	21	秘落紫雲	日本画	紙本着色・軸装	1928年頃	
191	22	流水	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
192	23	春を舞う	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
193	24	紅衣扇舞	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
194	25	榛名湖	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
195	26	鳥海山暮雪	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
196	27	錦秋	日本画	紙本着色・軸装	1929年頃	
197	28	雪に埋る	日本画	紙本着色・軸装	1930年頃	
198	29	二人舞妓	日本画	紙本着色・軸装	1931年	
199	30	庭石(七夕)	日本画	紙本着色・軸装	1931年	
200	32	洗髪	日本画	絹本・着色		
201	33	夢二の歌(榛名山歌碑拓本)	拓本	紙・軸装		
202	31	旅	日本画	紙本着色・パステル・二曲一隻・屏風	1931年	

展覧会名	ホノルル美術館所蔵　浮世絵風景画名品展 Masterpieces of Landscape Ukiyo-e Prints from the Honolulu Academy of Arts
会期	平成１５年7月１９日（土）～8月１７日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、 TYSテレビ山口
後援	アメリカ大使館、萩市
協 力	日本航空
企画協力	産経新聞社

---

(1)趣旨

風景画は浮世絵において美人画や役者絵とともに主要なテーマでありました。江戸時代の初期から名所風景が描かれ、西洋の遠近法を用いた浮絵や陰影法を使って西洋風に表現した作品も制作されましたが、風景画がジャンルとして確立されたのは天保期（１８３０～１８４４）に入ってからでした。

この時期に最も活躍したのが葛飾北斎と歌川広重で、二人の代表作である「富嶽三十六景」と「東海道五拾三次之内」は浮世絵風景画を完成させた象徴的な作品となりました。そして、同時期の多くの浮世絵師も趣向をこらした作品を発表して一大ブームが起こり、風景画は黄金時代を迎えます。

当展覧会では、浮世絵の収蔵において、質、量ともに世界的に知られるホノルル美術館のジェイムズ・Ａ・ミッチナー・コレクションなどから、葛飾北斎や歌川広重を中心に、溪斎英泉、歌川国貞、歌川国芳、魚屋北溪、昇亭北寿など、当代の人気絵師が描いた風景画の名品３００点を選んで展観しました。「江戸名所」「富嶽三十六景」「諸国名所」「道中絵」「説話の風景」といった５つの主題別に、江戸時代後期における風景画の魅力を紹介しました。

（2）カタログ

監修・作品選定　小林 忠(学習院大学教授・千葉市美術館館長)
編集　キャロル・シャンケル(英文)
編集　藤澤 紫、樋口利之(和文)
発行　(有)国際アート
内容　ごあいさつ　主催者
はじめに　ホノルル美術館館長 ステフェン・リトル
謝辞
ホノルル美術館の浮世絵版画コレクション
／ジュリア・Ｍ・ホワイト(ホノルル美術館・東洋美術部長)
The Ukiyo-e Print Collection at the Honolulu Academy of Arts
／Julia M. White
浮世絵風景画の魅力／小林 忠(学習院大学教授・千葉市美術館館長)
The Allure of Ukiyo-e Landscape Prints／Kobayashi Tadashi
富嶽三十六景－刷りと版－故ピーター・モースを回想して
／ハワード・Ａ・リンク(ホノルル美術館名誉東洋美術部長)
Thirty-six Views of Mount Fuji：Inpressions and States
(In Memory of the late Peter Morse)／Howard A. Link
ミッチナー夫妻とハワイ、そして日本／樋口利之(国際アート)
地図「六十余州」
図版
江戸名所
富嶽三十六景
諸国名所
道中絵
逸話の風景

図版解説／藤澤 紫
北斎および北渓・北寿・岳亭の風景画／浅野秀剛(千葉市美術館上席学芸員)
広重・国芳・英泉の風景画について／鈴木浩平(学芸課主査)
絵師略伝
用語解説
出品目録
体裁　Ａ４判変形 264ページ

（3）記念講演会
①日時　平成15(2003)年7月19日(土)　13：30～15：00
演題　「浮世絵風景画の魅力」
講師　小林 忠(学習院大学教授・千葉市美術館館長)
②日時　平成15(2003)年7月26日(土)　13：30～15：00
演題　「写楽版画の再検討」(兼・平成15年度第3回美術講座)
講師　浅野秀剛(千葉市美術館学芸課長)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　鈴木浩平(学芸課主査)

（5）その他
関連イベント
①ミュージアムコンサート「音と舞で味わう　日本の風景」(日本舞踊と箏によるコンサート)
日時　平成15(2003)年7月27日(日)　14：00～15：30
出演　花柳寿寛(舞踊)、山野安珠美(箏・十七絃)、山野歌奈女(箏・三絃)、津田蒼幻(尺八)
演目　「春の海」「お江戸日本橋」「瀬音」「風の歌」他
②親子ギャラリーツアー「来て見て探して！江戸風景探索ウォークラリー」
日時　平成15(2003)年8月14日(木)　14：00～15：30

1 江戸名所

前期展示　○印
後期展示　無印
版木（No. 151）全期間展示

No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	
1	葛飾北斎	新版浮絵八ッ山花盛群集之図	横大判	伊勢屋利兵衛	文化中期	
2	葛飾北斎	浮絵東叡山中堂之図	横大判	西村屋与八	天明8年～寛政初期頃	
3	葛飾北斎	浅草金龍山観世音境内之図	横大判	西村屋与八	天明期～寛政初期頃	○
4	歌川広重	東都名所　芝浦汐干之図	横大判	川口屋正蔵	天保2年頃	○
5	歌川広重	江戸名所之内　両国花火	横大判	和泉屋市兵衛	天保5～6年頃	
6	歌川広重	東都名所　亀戸天満宮境内雪	横大判	佐野屋喜兵衛	天保3～10年頃	
7	歌川広重	江戸近郊八景之内　羽根田落雁	横大判	佐野屋喜兵衛	天保8, 9年頃	○
8	歌川広重	江戸近郊八景之内　池上晩鐘	横大判	佐野屋喜兵衛	天保8, 9年頃	
9	歌川広重	江戸近郊八景之内　吾嬬杜夜雨	横大判	佐野屋喜兵衛	天保8, 9年頃	○
10	歌川広重	江戸名所坂つくし之内　昌平坂御茶ノ水	横大判	山田屋庄次郎	天保末頃	
11	歌川広重	東都名所之内　隅田川八景　今戸夕照	横間判	佐野屋喜兵衛	天保11～13年頃	○
12	歌川広重	東都名所　日本橋雪中	横大判	増田屋銀次郎	天保末頃	
13	歌川広重	江戸名所　上野不忍ノ池弁天ノ社	横大判	山田屋庄次郎	嘉永6年8月	○
14	歌川広重	東都名所　上野東叡山中清水堂花見	中短冊判	藤岡屋彦太郎	天保中・後期	○
15	歌川広重	東都名所　新吉原衣紋阪秋月	中短冊判	藤岡屋彦太郎	天保中・後期	
16	歌川広重	東都名所　柳しま妙見	中短冊判	藤岡屋彦太郎	天保中・後期	○
17	歌川広重	東都名所　真乳知山雪晴	中短冊判	（藤岡屋彦太郎）	天保中・後期	
18	歌川広重	新板東都名所　永代ばし	中短冊判	村田屋治郎兵衛	天保11年頃	○
19	歌川広重	東都名所　不忍池朝之景　隅田川渡舟時雨之図（版下絵）	38.2×20.4 cm		天保後期	○
20	歌川広重	東都八景　上野晩鐘	横間判	藤岡屋彦太郎	天保中期	○
21	歌川広重	東都八景　洲崎晴嵐	横間判	藤岡屋彦太郎	天保中期	
22	歌川広重	東都八景　不忍落雁	横間判	（藤岡屋彦太郎）	天保中期	○
23	歌川広重	東都八景　佃嶋帰帆	横間判	藤岡屋彦太郎	天保中期	
24	歌川広重	東都八景　浅艸夕照	横間判	西村屋与八・藤岡屋彦太郎	天保中期	○
25	歌川広重	東都八景　高輪秋月	横間判	藤岡屋彦太郎	天保中期	
26	歌川広重	東都八景　真乳夜雨	横間判	藤岡屋彦太郎	天保中期	○
27	歌川広重	東都八景　両国暮雪	横間判	西村屋与八・藤岡屋彦太郎	天保中期	
28	歌川広重	隅田川三景　橋場の月	団扇絵判	版元印あり（未詳）	嘉永2～5年	○
29	歌川広重	東都名所　佃月夜之図	団扇絵判	伊場屋久兵衛	天保10年頃	
30	歌川広重	首尾の松（版下絵）	23.5×35.2 cm	由辰	天保後期～弘化頃	
31	歌川広重	高輪海上袖か浦（版下絵）	24.5×30.5 cm		嘉永年間	○
32	歌川広重	竹芝の浦増上寺遠景（版下絵）	24.1×30.4 cm		嘉永4年	
33	歌川広重	名所雪月花　小かね井つゝみの花盛	横大判	丸屋甚八	弘化年間	○
34	歌川広重	名所雪月花　多満川秋の月あゆ猟の図	横大判	丸屋甚八	弘化年間	
35	歌川広重	名所雪月花　井の頭の池弁財天の社雪の景	横大判	丸屋甚八	弘化年間	
36	歌川広重	名所江戸百景　亀戸梅屋舗	大判	魚屋栄吉	安政4年11月	○
37	二代歌川広重	名所江戸百景　赤坂桐畑雨中夕けい	大判	魚屋栄吉	安政6年4月	
38	歌川広重	名所江戸百景　大はしあたけの夕立	大判	魚屋栄吉	安政4年9月	○
39	歌川広重	名所江戸百景　大はしあたけの夕立	大判	魚屋栄吉	安政4年9月	○
40	歌川広重	名所江戸百景　深川須崎十万坪	大判	魚屋栄吉	安政4年閏5月	
41	歌川広重	名所江戸百景　王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判	魚屋栄吉	安政4年9月	
42	昇亭北寿	東都日本橋風景	横大判	西村屋与八	文政年間	○
43	昇亭北寿	東都御茶之水風景	横大判	山本屋平吉	文政年間	
44	昇亭北寿	武州千住大橋之景	横大判	山本屋平吉	文政年間	○
45	昇亭北寿	東都浅草川　山谷堀入口向牛島之景	横大判	山本屋平吉	文政年間	
46	昇亭北寿	東都両国之風景	横大判	山本屋平吉	文政年間	○
47	昇亭北寿	東都深川洲崎従弁天望海上	横大判	山本屋平吉	文政年間	
48	昇亭北寿	東都三円山増上寺図	横大判	山本屋平吉	文政年間	○
49	昇亭北寿	東都品川宿高輪大木戸	横大判	山本屋平吉	文政年間	
50	溪斎英泉	江都梅屋舗臥龍梅之図	横大判	川口屋宇兵衛	天保年間	○

51	溪斎英泉	江都三囲稲荷之前堤之景	横大判	川口屋宇兵衛	天保年間	
No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	
52	溪斎英泉	江都浅草金龍山観世音境内之図	横大判		天保年間	○
53	溪斎英泉	東都名所尽　愛宕山遠望図	横大判	万屋吉兵衛	天保年間	
54	溪斎英泉	東都名所尽　芝神明宮祭礼生姜市之景	横大判	万屋吉兵衛	天保年間	○
55	溪斎英泉	江戸名所尽　不忍池弁財天蓮看之景	横大判	万屋吉兵衛	天保年間	
56	溪斎英泉	江戸八景　隅田川の落雁	横大判	山本屋平吉	弘化年間	
57	歌川国貞	霧中ノ山水	横大判	山口屋藤兵衛	天保年間	○
58	歌川国貞	紅葉かりノ図	横大判	山口屋藤兵衛	天保年間	
59	歌川国貞	東都月の名所　真乳山冬の月	大判	蔦屋吉蔵	天保年間	○
60	歌川国芳	東都御厩川岸之図	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期	
61	歌川国芳	東都宮戸川之図	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期	○
62	歌川国芳	東都橋場之図	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期	
63	歌川国芳	東都名所　かすみが関	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	○
64	歌川国芳	東都名所　するがだひ	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	
65	歌川国芳	東都名所　新吉原	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	○
66	歌川国芳	東都名所　浅草今戸	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	
67	歌川国芳	東都名所　両国柳ばし	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	○
68	歌川国芳	東都名所　両国の涼	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	
69	歌川国芳	東都名所　佃嶋	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	○
70	歌川国芳	東都名所　てつぽふづ	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	
71	歌川国芳	東都名所　洲崎初日出の図	横大判	加賀屋吉右衛門	天保前期	○
72	歌川国芳	隅田川三景　三囲の富士	団扇絵判	版元印あり(未詳)	嘉永5年4月	○
	2 富嶽三十六景					
73	葛飾北斎	富嶽三十六景　神奈川沖浪裏	横大判	西村屋与八	天保前期	
74	葛飾北斎	富嶽三十六景　凱風快晴	横大判	西村屋与八	天保前期	○
75	葛飾北斎	富嶽三十六景　山下白雨	横大判	西村屋与八	天保前期	
76	葛飾北斎	富嶽三十六景　深川万年橋下	横大判	西村屋与八	天保前期	○
77	葛飾北斎	富嶽三十六景　東都駿台	横大判	西村屋与八	天保前期	○
78	葛飾北斎	富嶽三十六景　青山円座松	横大判	西村屋与八	天保前期	
79	葛飾北斎	富嶽三十六景　武州千住	横大判	西村屋与八	天保前期	○
80	葛飾北斎	富嶽三十六景　武州玉川	横大判	西村屋与八	天保前期	
81	葛飾北斎	富嶽三十六景　甲州犬目峠	横大判	西村屋与八	天保前期	○
82	葛飾北斎	富嶽三十六景　尾州不二見原	横大判	西村屋与八	天保前期	
83	葛飾北斎	富嶽三十六景　東都浅艸本願寺	横大判	西村屋与八	天保前期	○
84	葛飾北斎	富嶽三十六景　武陽佃嶋	横大判	西村屋与八	天保前期	
85	葛飾北斎	富嶽三十六景　相州七里浜	横大判	西村屋与八	天保前期	○
86	葛飾北斎	富嶽三十六景　相州梅沢左	横大判	西村屋与八	天保前期	
87	葛飾北斎	富嶽三十六景　甲州石班沢	横大判	西村屋与八	天保前期	
88	葛飾北斎	富嶽三十六景　甲州三嶋越	横大判	西村屋与八	天保前期	○
89	葛飾北斎	富嶽三十六景　信州諏訪湖	横大判	西村屋与八	天保前期	○
90	葛飾北斎	富嶽三十六景　駿州江尻	横大判	西村屋与八	天保前期	
91	葛飾北斎	富嶽三十六景　遠江山中	横大判	西村屋与八	天保前期	○
92	葛飾北斎	富嶽三十六景　常州牛堀	横大判	西村屋与八	天保前期	
93	葛飾北斎	富嶽三十六景　江都駿河町三井見世略図	横大判	西村屋与八	天保前期	○
94	葛飾北斎	富嶽三十六景　御厩川岸より両国橋夕陽見	横大判	西村屋与八	天保前期	
95	葛飾北斎	富嶽三十六景　五百らかん寺さゞゐどう	横大判	西村屋与八	天保前期	○
96	葛飾北斎	富嶽三十六景　礫川雪ノ旦	横大判	西村屋与八	天保前期	
97	葛飾北斎	富嶽三十六景　下目黒	横大判	西村屋与八	天保前期	○
98	葛飾北斎	富嶽三十六景　隠田の水車	横大判	西村屋与八	天保前期	
99	葛飾北斎	富嶽三十六景　相州江の嶋	横大判	西村屋与八	天保前期	○
100	葛飾北斎	富嶽三十六景　東海道江尻田子の浦略図	横大判	西村屋与八	天保前期	
101	葛飾北斎	富嶽三十六景　東海道吉田	横大判	西村屋与八	天保前期	○
102	葛飾北斎	富嶽三十六景　上総ノ海路	横大判	西村屋与八	天保前期	
103	葛飾北斎	富嶽三十六景　江戸日本橋	横大判	西村屋与八	天保前期	○
104	葛飾北斎	富嶽三十六景　隅田川関屋の里	横大判	西村屋与八	天保前期	

No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	
105	葛飾北斎	富嶽三十六景　登戸浦	横大判	西村屋与八	天保前期	○
106	葛飾北斎	富嶽三十六景　相州箱根湖水	横大判	西村屋与八	天保前期	
107	葛飾北斎	富嶽三十六景　甲州三坂水面	横大判	西村屋与八	天保前期	○
108	葛飾北斎	富嶽三十六景　東海道程ケ谷	横大判	西村屋与八	天保前期	
109	葛飾北斎	富嶽三十六景　本所立川	横大判	西村屋与八	天保前期	○
110	葛飾北斎	富嶽三十六景　従千住花街眺望ノ不二	横大判	西村屋与八	天保前期	
111	葛飾北斎	富嶽三十六景　東海道品川御殿山ノ不二	横大判	西村屋与八	天保前期	○
112	葛飾北斎	富嶽三十六景　相州仲原	横大判	西村屋与八	天保前期	
113	葛飾北斎	富嶽三十六景　甲州伊沢暁	横大判	西村屋与八	天保前期	○
114	葛飾北斎	富嶽三十六景　身延川裏不二	横大判	西村屋与八	天保前期	
115	葛飾北斎	富嶽三十六景　駿州大野新田	横大判	西村屋与八	天保前期	○
116	葛飾北斎	富嶽三十六景　駿州片倉茶園ノ不二	横大判	西村屋与八	天保前期	
117	葛飾北斎	富嶽三十六景　東海道金谷ノ不二	横大判	西村屋与八	天保前期	○
118	葛飾北斎	富嶽三十六景　諸人登山	横大判	西村屋与八	天保前期	
119	歌川広重	不二三十六景　相模七里が浜風波	横中判	佐野屋喜兵衛	嘉永4～5年	○
120	歌川広重	不二三十六景　相模大山来迎谷	横中判	佐野屋喜兵衛	嘉永5年	
121	歌川広重	富士三十六景　東都御茶の水	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	○
122	歌川広重	富士三十六景　武蔵小金井	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	
123	歌川広重	富士三十六景　さがみ川	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	○
124	歌川広重	富士三十六景　甲斐大月の原	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	
125	歌川広重	富士三十六景　下総小金原	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	○
126	歌川広重	富士三十六景　房州保田ノ海岸	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	
127	歌川広重	富士三十六景　駿河薩タ之海上	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	○
128	歌川広重	富士三十六景　伊勢二見か浦	大判	蔦屋吉蔵	安政6年	
129	歌川国芳	東都富士見三十六景　昌平坂の遠景	横大判	村田屋治郎兵衛	弘化1年頃	
130	歌川国芳	東都富士見三十六景　新大はし橋下の眺望	横大判	村田屋治郎兵衛	弘化1年頃	○
131	歌川国芳	東都富士見三十六景　隅田堤の夕富士	横大判	村田屋治郎兵衛	弘化1年頃	
	３ 諸国名所					
132	葛飾北斎	諸国名橋奇覧　足利行道山くものかけはし	横大判	西村屋与八	天保4～5年頃	
133	葛飾北斎	諸国名橋奇覧　飛越の堺つりはし	横大判	西村屋与八	天保4～5年頃	○
134	葛飾北斎	諸国名橋奇覧　すほうの国きんたいはし	横大判	西村屋与八	天保4～5年頃	
135	葛飾北斎	諸国瀧廻り　東都葵ヶ岡の滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	○
136	葛飾北斎	諸国瀧廻り　相州大山ろうべんの滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	
137	葛飾北斎	諸国瀧廻り　下野黒髪山きりふりの滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	○
138	葛飾北斎	諸国瀧廻り　木曾海道小野ノ瀑布	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	
139	葛飾北斎	諸国瀧廻り　木曾路の奥阿弥陀ヶ滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	○
140	葛飾北斎	諸国瀧廻り　美濃ノ国養老の滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	
141	葛飾北斎	諸国瀧廻り　東海道坂ノ下清滝くわんおん	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	○
142	葛飾北斎	諸国瀧廻り　和州吉野義経馬洗滝	大判	西村屋与八	天保3～4年頃	
143	葛飾北斎	琉球八景　臨海湖声	横大判	森屋治兵衛	天保3～4年頃	○
144	葛飾北斎	琉球八景　筍崖夕照	横大判	森屋治兵衛	天保3～4年頃	
145	葛飾北斎	雪月花　隅田	横大判	西村屋与八	天保4～5年頃	○
146	葛飾北斎	雪月花　淀川	横大判	西村屋与八	天保4～5年頃	
147	葛飾北斎	勝景奇覧　上州榛名山	団扇絵判		天保5～6年頃	○
148	葛飾北斎	勝景奇覧　甲州湯村	団扇絵判		天保5～6年頃	
149	葛飾北斎	勝景奇覧　信州諏訪湖	団扇絵判		天保5～6年頃	○
150	歌川広重	近江八景之内　瀬田夕照	横大判	竹内孫八	天保5年頃	
151	歌川広重	近江八景之内　瀬田夕照(版木)	24.0×41.0×1.2 cm			全期
152	歌川広重	近江八景之内　三井晩鐘	横大判	竹内孫八	天保5年頃	
153	歌川広重	近江八景之内　石山秋月	横大判	竹内孫八	天保5年頃	○
154	歌川広重	近江八景之内　比良暮雪	横大判	竹内孫八	天保5年頃	○
155	歌川広重	京都名所之内　あらし山満花	横大判	川口屋正蔵	天保5年頃	○
156	歌川広重	日本湊尽　相州浦賀	横大判	丸屋清次郎	天保後期	○
157	歌川広重	山海見立相撲　上総鹿埜山	横大判	丸屋甚八	安政5年7月	○
No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	

158	歌川広重	山海見立相撲　越後新潟	横大判	丸屋甚八	安政5年8月	
159	歌川広重	山海見立相撲　摂津有馬山	横大判	丸屋甚八	安政5年7月	○
160	歌川広重	山海見立相撲　備前偸賀山	横大判	丸屋甚八	安政5年8月	
161	歌川広重	六十余州名所図会　信濃　更科田毎月鏡台山	大判	越村屋平助	嘉永6年8月	○
162	歌川広重	六十余州名所図会　丹後　天の橋立	大判	越村屋平助	嘉永6年12月	
163	歌川広重	阿波鳴門之風景	大判3枚続	岡沢屋太平治	安政4年4月	
164	歌川広重	武陽金沢八勝夜景	大判3枚続	岡沢屋太平治	安政4年7月	○
165	歌川広重	木曾路之山川	大判3枚続	岡沢屋太平治	安政4年8月	
166	歌川広重	諸国名所　武陽小金井橋満花　駿州富士川之景　甲陽猿橋之図	横大判3丁掛	山口屋藤兵衛	天保中期	○
167	歌川広重	富士川上流雪景	大判竪2枚続	佐野屋喜兵衛	天保後期	
168	歌川広重	日本三景之内　陸奥松島	団扇絵判		天保後期～弘化頃	○
169	歌川広重	相州鎌倉七里のはま	団扇絵判	丸屋甚八	安政2年2月	
170	葛飾北斎	諸国六玉河　紀伊高野之玉河(版下絵)	24.0×26.8 cm		嘉永～安政	
171	魚屋北溪	諸国名所　武蔵隅田川	横大短冊判	(印なし)西村屋与八・中村屋勝五郎	天保前期	○
172	魚屋北溪	諸国名所　上州三国越不動峠	横大短冊判	西村屋与八・中村屋勝五郎	天保前期	
173	魚屋北溪	諸国名所　下野日光山裏見ヶ瀧	横大短冊判	西村屋与八・中村屋勝五郎	天保前期	○
174	魚屋北溪	諸国名所　越中立山	横大短冊判	西村屋与八・中村屋勝五郎	天保前期	
175	昇亭北寿	江之嶋七里ヶ浜	横大判	西村屋与八	文政年間	
176	昇亭北寿	下総銚子浦鰹釣舟之図	横大判	西村屋与八	文政年間	○
177	昇亭北寿	甲斐国猿橋ノ真写之図	横大判	山本屋平吉	文政年間	
178	昇亭北寿	東海道薩・峠之図	横大判	山本屋平吉	文政年間	○
179	岳亭五岳	天保山勝景一覧　天保山万船入津の図	横大判	(塩屋喜助)	天保5年1月	○
180	岳亭五岳	天保山勝景一覧　大阪安治川新山雨やとり	横大判	(塩屋喜助)	天保5年1月	
181	岳亭五岳	天保山勝景一覧　大阪天保山夕立の景	横大判	(塩屋喜助)	天保5年1月	○
182	岳亭五岳	天保山勝景一覧　天保山末広橋月夜の図	横大判	(塩屋喜助)	天保5年1月	
183	溪斎英泉	日光山名所之内　素麺之瀧	大判	山本屋平吉	天保14年～弘化3年	○
184	溪斎英泉	日光山名所之内　裏見ヶ滝　三滝之其一景	大判	山本屋平吉	天保14年～弘化3年	
185	歌川国貞	二見浦曙の図	横大判	山口屋藤兵衛	天保年間	
186	歌川国貞	紅毛油画名所尽　真崎	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期頃	○
187	歌川国貞	紅毛油画風　王子権現稲荷両社	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期頃	
188	歌川国貞	紅毛油画風　成田山不動	横大判	山口屋藤兵衛	天保前期頃	○
189	歌川国芳	相州大山道田村渡の景	横大判	若狭屋与市	天保10年頃	○
190	歌川国芳	大山石尊大瀧之図	横大判	若狭屋与市	天保10年頃	
	4 道中絵					
191	葛飾北斎	東海道五十三次　藤川	中判	(伊勢屋利兵衛)	文化中期頃	○
192	葛飾北斎	東海道五十三次　岡崎	中判	(伊勢屋利兵衛)	文化中期頃	
193	葛飾北斎	東海道　品川	横四つ切判		享和4(文化1)年頃	○
194	葛飾北斎	東海道　蒲原	横四つ切判		享和4(文化1)年頃	
195	葛飾北斎	東海道　由井	横四つ切判		享和4(文化1)年頃	○
196	葛飾北斎	東海道　島田	横四つ切判		享和4(文化1)年頃	
197	葛飾北斎	東海道　浜松	横四つ切判		享和4(文化1)年頃	○
198	葛飾北斎	東海道　日本橋	横九つ切倍判		享和4(文化1)年頃	
199	葛飾北斎	東海道　原	横九つ切倍判		享和4(文化1)年頃	○
200	葛飾北斎	東海道　岡崎	横九つ切倍判		享和4(文化1)年頃	
201	葛飾北斎	東海道　宮	横九つ切倍判		享和4(文化1)年頃	○
202	歌川広重	東海道五拾三次之内　日本橋　朝之景	横大判	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4～5年	
203	歌川広重	東海道五拾三次之内　箱根　湖水図	横大判	竹内孫八	天保4～5年	○
204	歌川広重	東海道五拾三次之内　三島　朝霧	横大判	竹内孫八	天保4～5年	○
205	歌川広重	東海道五拾三次之内　原　朝之富士	横大判	竹内孫八	天保4～5年	
206	歌川広重	東海道五拾三次之内　蒲原　夜之雪	横大判	竹内孫八	天保4～5年	○
No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	
207	歌川広重	東海道五拾三次之内　蒲原　夜之雪(後摺)	横大判	竹内孫八	天保4～5年	○

208	歌川広重	東海道五拾三次之内　鞠子　名物茶屋	横大判	竹内孫八・鶴屋喜右衛門	天保4～5年	
209	歌川広重	東海道五拾三次之内　庄野　白雨	横大判	竹内孫八	天保4～5年	
210	歌川広重	東海道五拾三次之内　京師　三條大橋	横大判	竹内孫八	天保4～5年	
211	歌川広重	東海道五十三次　十一　箱根	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	○
212	歌川広重	東海道五十三次　十四　原	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	
213	歌川広重	東海道五十三次　廿一　鞠子	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	○
214	歌川広重	東海道五十三次　廿八　袋井	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	
215	歌川広重	東海道五十三次　三十　はま松	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	○
216	歌川広重	東海道五十三次　三十七　赤坂	横大判	丸屋清次郎	嘉永4年頃	
217	歌川広重	東海道五十三次之内　鞠子	横間判	江崎屋	天保12年～弘化1年頃	○
218	歌川広重	東海道五十三次之内　藤枝　瀬戸川歩行渡	横間判	江崎屋吉兵衛	天保12年～弘化1年頃	
219	歌川広重	東海道五十三次之内　見附　天龍川舟渡し	横間判	（江崎屋辰蔵）	天保12年～弘化1年頃	○
220	歌川広重	東海道五十三次之内　赤阪	横間判	江崎屋辰蔵	天保12年～弘化1年頃	
221	歌川国貞	東海道五十三次之内　浜松ノ図	中判	佐野屋喜兵衛	天保7年頃	○
222	歌川国貞	東海道五十三次之内　新井ノ図	中判	佐野屋喜兵衛	天保7年頃	
223	歌川国貞	東海道五十三次之内　藤川ノ図	中判	佐野屋喜兵衛	天保7年頃	○
224	歌川国貞	東海道五十三次之内　池鯉鮒ノ図	中判	佐野屋喜兵衛	天保7年頃	
225	歌川国芳	東海道五拾三次人物志　川崎	横大判	海老屋林之助	嘉永2年頃	○
226	歌川国芳	東海道五拾三駅四宿名所　日本橋　品川　川崎　神奈川	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
227	歌川国芳	東海道五拾三駅四宿名所　保土ヶ谷　戸塚　藤沢　平塚	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
228	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所　大磯　小田原　箱根　三島　沼津	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
229	歌川国芳	東海道五拾三駅三宿名所　原　吉原　蒲原	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
230	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所　由井　興津　江尻　府中　鞠子	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
231	歌川国芳	東海道五拾三駅四宿名所　岡部　藤枝　島田　金谷	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
232	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所　日坂　掛川　袋井　見附　浜松	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
233	歌川国芳	東海道五拾三駅六宿名所　舞坂　荒井　白須賀　二川　吉田　御油	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
234	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所　赤坂　藤川　岡崎　池鯉鮒　鳴海	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
235	歌川国芳	東海道五拾三駅四宿名所　宮　桑名　四日市　石薬師	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
236	歌川国芳	東海道五十三駅五宿名所　庄野　亀山　関　坂ノ下　土山	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	
237	歌川国芳	東海道五拾三駅五宿名所　水口　石部　草津　大津　京	横大判	鶴屋喜右衛門・蔦屋吉蔵	天保5～6年頃	○
238	溪斎英泉	木曾街道　続ノ一　日本橋雪之曙　第一	横大判	竹内孫八	天保中期	
239	溪斎英泉	木曾街道　倉賀野宿　烏川之図　十三	横大判	竹内孫八	天保中期	○
240	歌川広重	木曾海道六十九次之内　高崎　十四	横大判	竹内孫八	天保中期	
241	歌川広重	木曾海道六十九次之内　軽井沢　十九	横大判	竹内孫八・伊勢屋利兵衛	天保中期	○
242	溪斎英泉	木曾街道　追分宿　浅間山眺望　廿一	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	
243	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　望月　廿六	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	○
244	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　長久保　二十八	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	
245	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　洗馬　三十二	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	
246	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　宮ノ越　三十七	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	○
247	溪斎英泉	木曾路駅　野尻　伊奈川橋遠景　四十一	横大判	竹内孫八	天保中期	
248	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　中津川　四十六	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	○
249	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　大井　四十七	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	○
250	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　大久手　四十八	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	
251	溪斎英泉	木曾街道　鵜沼ノ駅従犬山遠望　五十三	横大判	竹内孫八	天保中期	○
252	溪斎英泉	岐阻路ノ駅　河渡長柄川鵜飼船　五十五	横大判	竹内孫八	天保中期	
No.	絵師	作品名	判型	版元	発行年月	
253	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　関が原　五十九	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	○
254	歌川広重	木曾海道六拾九次之内　恵智川　六十六	横大判	伊勢屋利兵衛	天保中期	

５ 説話の風景

255	歌川広重	行平と松風村雨	団扇絵判	伊場屋仙三郎	天保後期～弘化頃	○
256	歌川広重	牛若図会　五條はし千人きり	団扇絵判	伊場屋仙三郎	嘉永2～5年	
257	歌川国貞	朝妻ふね	横大判	山口屋藤兵衛	天保年間	○
258	歌川国芳	高祖御一代略図　文永八鎌倉霊山ヶ崎雨祈	横大判	伊勢屋利兵衛	天保前期～中期	
259	歌川国芳	高祖御一代略図　佐州塚原雪中	横大判	伊勢屋利兵衛	天保前期～中期	○
260	歌川国芳	高祖御一代略図　甲斐国石和川鵜飼亡魂化導	横大判	伊勢屋利兵衛	天保前期～中期	
261	歌川国芳	高祖御一代略図　文永十一五月廿八日小室山法輪石	横大判	伊勢屋利兵衛	天保前期～中期	○
262	歌川国芳	仮手本忠臣蔵四段目　由良之助　市川団蔵	横大判	江戸屋松五郎	天保6年	
263	歌川国貞	忠雄義臣録　第五	横大判	山本屋平吉	嘉永初年頃	
264	葛飾北斎	仮名手本忠臣蔵　八段目	横大判	鶴屋金助	文化3年	○
265	歌川国芳	忠臣蔵十一段目夜討之図	横大判	（山口屋藤兵衛）	天保前期	○
266	歌川国芳	二十四孝童子鑑　郭巨	横大判	若狭屋与市	弘化年間	
267	歌川広重	六玉河之内　陸奥野田	中短冊判	藤岡屋彦太郎	天保中期	○
268	歌川広重	六玉河之内　武蔵調布	中短冊判	藤岡屋彦太郎	天保中期	
269	歌川広重	六玉河之内　摂津擣衣	中短冊判	川口屋正蔵	天保中期	○
270	歌川広重	六玉河之内　紀伊高野	中短冊判	（川口屋正蔵）	天保中期	
271	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき　天智天皇	横大判	西村屋与八	天保6～7年頃	○
272	葛飾北斎	百人一首乳母かゑとき　柿本人麿	横大判	西村屋与八	天保6～7年頃	
273	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき　山辺の赤人	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	○
274	葛飾北斎	百人一首乳母かゑとき　猿丸太夫	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	
275	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき　安倍仲麿	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	○
276	葛飾北斎	百人一首乳母か絵説　在原業平	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	
277	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき　藤原繁行朝臣	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	○
278	葛飾北斎	百人一首うはかえとき　源宗干朝臣	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	
279	葛飾北斎	百人一首うはかゑとき　藤原義孝	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	○
280	葛飾北斎	百人一首うはか縁説　権中納言定家	横大判	伊勢屋三次郎	天保6～7年頃	
281	歌川広重	和漢朗詠集　月明山水	大判	上州屋金蔵	天保後期	○
282	歌川広重	和漢朗詠集　湖上浦泊	大判	上州屋金蔵	天保後期	
283	歌川広重	和漢朗詠集　雪中山水	大判	上州屋金蔵	天保後期	○
284	魚屋北溪	唐詩画譜之内　山下泉	中判		天保年間	
285	魚屋北溪	唐詩画譜之内　山寺秋霽	中判		天保年間	○
286	魚屋北溪	唐詩画譜之内　渡黄河	中判		天保年間	
287	魚屋北溪	唐詩画譜之内　答･博士	中判		天保年間	○
288	魚屋北溪	唐詩画譜之内　江郵夜帰	中判		天保年間	
289	魚屋北溪	唐詩画譜之内　登柳州峨山	中判		天保年間	○
290	葛飾北斎	詩哥写真鏡　在原業平	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	○
291	葛飾北斎	詩哥写真鏡　融大臣	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	
292	葛飾北斎	詩哥写真鏡　春道のつらき	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	○
293	葛飾北斎	詩哥写真鏡　木賊苅	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	
294	葛飾北斎	詩哥写真鏡　清少納言	長大判	（森屋治兵衛）	天保4～5年頃	
295	葛飾北斎	詩哥写真鏡　安倍の仲麿	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	○
296	葛飾北斎	詩哥写真鏡　安倍の仲麿（校合摺）	長大判	（森屋治兵衛）	天保4～5年頃	○
297	葛飾北斎	詩哥写真鏡　白楽天	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	
298	葛飾北斎	詩哥写真鏡　李白	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	○
299	葛飾北斎	詩哥写真鏡　少年行	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	
300	葛飾北斎	詩哥写真鏡　東坡	長大判	森屋治兵衛	天保4～5年頃	

展覧会名	YAB山口朝日放送開局10周年記念 特別展 陶の詩人　小山冨士夫の眼と技 Koyama Fujio, a Potter's Dream
会期	平成15年8月23日（土）～10月26日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、 YAB山口朝日放送
後援	（社）日本陶磁協会、萩市、KBC九州朝日放送

(1)趣旨

世界的な陶磁学者として知られる小山冨士夫（こやま ふじお）（1900-1975）の研究者としての眼、多彩な交友、作家としての技という三つの視点から構成される本展では、研究対象となった重要文化財5点を含む中国宋代の陶磁や韓国陶磁などの東洋古美術の名品と、親交のあった石黒宗麿（いしぐろ むねまろ）をはじめとする現代作家の作品、そして、小山自身の腕の冴えを示す自作の陶磁器など133点の作品資料を展示しました。

小山冨士夫は、中国の定窯古窯址（ていようこようし）の発見者として世界に知られた中国陶磁研究者でしたが、そのほかにも日本中世の六古窯（ろくこよう）の研究や、正倉院蔵の奈良三彩の調査など重要な古陶磁研究を数多く発表し、韓国や中近東、ヨーロッパの陶磁器にも深い造詣を示しました。研究以外の分野においては、文化財保護委員として国宝、重要文化財指定の業務に従事し、現在の文化財保護制度の骨格を作り上げたことは特筆されることでしょう。また、各国の陶磁研究者をはじめ、石黒宗麿や荒川豊蔵（あらかわ とよぞう）といった「人間国宝」や、川喜田半泥子（かわきた はんでいし）や北大路魯山人（きたおうじ ろさんじん）などの在野の作家などとも幅広い交流を持っていました。文化財保護委員を辞職した後は、ふたたび作陶に没頭し、地域の伝統や約束事にとらわれない自由な造形を追求しました。その天衣無縫な作風は、現代陶芸の中で確たる地位を築き、今日でも高い評価を受けています。

小山冨士夫の美術品鑑賞の跡や陶芸家との交友関係、作陶の成果、そして古陶磁研究の業績を回顧するなかで、日本の古陶磁研究の歩みを辿るとともに、現代の陶芸を考えようとする展覧会でした。

（2）カタログ

監修　長谷部楽爾、西田宏子、弓場紀知、森 孝一
編集　朝日新聞事業本部文化事業部
発行　朝日新聞社
内容　ごあいさつ　主催者
　　謝辞
　　あたたかい心とつめたい目／森孝一(日本陶磁協会主任研究員)
　　小山先生の古陶磁研究／長谷部楽爾(財 出光美術館理事)
　　図版
　　骨董百話の世界
　　ゆかりの宋磁
　　ゆかりの朝鮮陶磁
　　六古窯の名品など
　　小山冨士夫の作品
　　陶芸家との交友
　　旧蔵品・自作の酒器など
　　資料
　　陶の詩人 小山冨士夫の陶芸／林屋晴三(栗田美術館長)
　　小山冨士夫の朝鮮・中国陶磁学への道／弓場紀知(京都橘女子大学文学部教授)
　　小山冨士夫略年譜／森孝一
　　出品目録
体裁　A4判変形　194ページ

（3）記念講演会
①日時　平成15(2003)年8月23日(土)　13：00～14：30
演題　「小山冨士夫の生涯」
講師　長谷部楽爾(当館顧問・財 出光美術館理事)
②日時　平成15(2003)年10月4日(土)　13：30～15：00
演題　「現代日本陶芸と小山冨士夫」(兼・平成15年度第4回美術講座)
講師　金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)
③日時　平成15(2003)年10月11日(土)　13：30～15：00
演題　「小山冨士夫の陶磁学～その歩みと今日的意義～」(兼・平成15年度第5回美術講座)
講師　弓場紀知(京都橘女子大学教授)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　石崎泰之(学芸課主任)

（5）その他
関連イベント
ミュージアム寄席「噺で利くやきもの」
日時　平成15(2003)年9月14日(土)　14：00～15：30
出演　春風亭正朝 師匠
演題　「はてなの茶碗」他

出品目録 List of Exhibits

H.は高さ、TH.は蓋なども含めた総高、PH.は一部が欠損して制作当時とは異なる現在高、D.は胴径などの最大径、MD.は口径、BD.は底径、Lは長さ、W.は幅もしくは奥行を意味する。

●国宝 National Treasure
◎重要文化財 Important Cultural Property

NO.	品名／TITLE	窯	時代／作家	法量(cm)	所蔵先	萩
骨董百話の世界 One Hundred Antique Tales						
1	粉青線刻幾何文扁壷 **Flat-Sided Jar** Decorated with geometric patterns carved through the white slip to the body		朝鮮時代 15世紀後半	H.23.5 W.11.9×20.8	個人蔵	
2	色絵牡丹文陶片 **Fragment of Dish** Decorated with peony spray design in overglaze red and green	磁州窯	金時代・ 12～13世紀	H.6.0 W.11.9×9.5	個人蔵	○
3	伝徽宗筆「晴竹図」 **Bamboo** Painted in color on silk Attributed to Emperor Huizong		南宋～元時代 13～14世紀	L..123.7 W.54.8	個人蔵	
4	染付山水図茶碗 **Tea Bowl** Decorated with landscape design in underglaze blue		明時代 17世紀	H.8.2 MD.11.1-13.9	畠山記念館	○
5	サム・フランシス画「魯山人の顔」 **Portrait of Rosanjin** Painted in ink on paper By Sam Francis		1965年	L..27.0 W.24.0	個人蔵	○
6	白釉碗 **Bowl** Transparent glaze over a white slipped body	定窯	隋時代 7世紀	H.6.8 MD.12.2	出光美術館	○
7	自然釉壷 Jar With angular shoulder,natural wood ash glaze	信楽窯	室町時代 15世紀初頭	H.38.8D.34.8 MD.13.2 BD.15.9	箱根美術館	○
8	柿形茶入 **Tea Caddy** Persimmon shaped,covered with red-brown glaze		南宋時代 12世紀	H.4.5 MD.6.2	高山寺	
9	白磁面取瓶 **Porcelain Vase** With long neck and faceted sides		朝鮮時代 18世紀	H.19.8 D.13.1	根津美術館 (秋山順一氏寄贈)	
10	染付陶片 **Fragments of Dishes** Decorated in underglaze blue	景徳鎮窯	元時代 14世紀中葉	H.1.1-3.6 W.7.1-11.2× 8.6-13.5	出光美術館	○
11	色絵瓜台鉢図皿 **Dish** Decorated with design of melons on a footed dish in overglaze green,yellow and purple	有田古久谷 様式	江戸時代 17世紀中葉	H.5.8 MD.26.4	出光美術館	○
12	粉青象嵌葉文四耳壷 **Covered Jar with Four Handles** Decorated with sgraffito design of leaves		朝鮮時代 15世紀中葉	H.38.0 D.33.0	出光美術館	○
13	松絵陶片 **Fragments of Dish** Decorated with design of pine tree in underglaze iron-brown	唐津焼	桃山時代 16世紀末～17世紀 初頭	H.3.0 W.35.0×38.0	個人蔵	○
14	向付陶片 2片 **Fragments of *Mukozuke* Dishes** Decorated with design of arrows and persimmons in underglaze iron-brown and copper-green glaze	織部焼	桃山時代 17世紀初頭	H.10.3/9.3 BD.5.5/5.5	多治見工業高校 岐阜県陶磁資料館寄託	○
15	色絵枝梅文碗 **Tea Bowl** Decorated with design of plum and bamboo in overglaze red,green and yellow	壺屋焼	江戸時代 19世紀初頭	H.7.4 MD.14.5	沖縄県立博物館	○
16	飴釉角瓶 **Squared Vase** Iron-brown glaze		朝鮮時代 17世紀	H.26.6 W.13.0×13.2	大阪市立東洋 陶磁美術館 (住友グループ寄贈)	○
17	コプトつづれ織「女人図」 **Fragments of Coptic Textile** With design of woman woven with black,red and brown wool and white linen		エジプト・キリスト教 時代 4～5世紀	L..20.0 W.26.0	個人蔵	○
ゆかりの宗磁 Koyama Fujio's Dreams From The Song Dynasty						
18	◎白磁刻花蓮唐草文鉢 **Important Cultural Property:Porcelain Bowl** With foliated rim,decorated inside with corved scrolling lotus flower design	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.8.7 MD.24.6	個人蔵	
19	◎白磁刻花蓮花文輪花鉢 **Important Cultural Property:Porcelain Bowl** With lobed sides and foliated rim,decorat-ed inside and outside with corved lotus flower design	定窯	北宋時代 11世紀後半～ 12世紀初頭	H.11.1 MD.26.5	静嘉堂文庫美術館	
20	白磁刻花龍文盤 **Porcelain Dish** With metal bound rin,decorated with corved design of dragon	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.5.6 MD.29.6	個人蔵	
21	白磁印花花喰鳥文稜花盤 **Porcelain Dish** With foliated rin and ribbed well,decorated in the center with molded design of a pair of birds	定窯	金時代 12世紀	H.2.5 MD.21.7	大阪市立東洋 陶磁美術館 (住友グループ)	
22	白磁綉花蓮花文盤 **Porcelain Dish** With flat metal bound rin,decorated with lotus flower design carved through the iron brown slip to the body	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.1.8 MD.15.8	個人蔵	
23	◎白磁綉花牡丹唐草文瓶 **Important Cultural Property:Porcelain Bottle** With globular body and dish-shaped mouth on short neck, decorated with scrolling peony design carved through the iron brown slip to the body,covered with cream color glaze	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.17.3 D.19.5	大阪市立東洋 陶磁美術館 (住友グループ寄贈)	○
24	◎白磁金彩水禽文碗 **Important Cultural Property:Porcelain Bowl** Decorated with design of waterfowls and flowers painted in gold overglaze enamel	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.5.6 MD.17.6	東京国立博物館 (井上恒一・ 冨美子氏寄贈)	
25	◎柿釉金彩蝶牡丹文碗 **Important Cultural Property:Shallow Red-Brown Glazed Bowl** Decorated with design of peony and butterflies painted in gold overglaze enamel	定窯	北宋時代 11～12世紀	H.3.6 MD.12.9	東京国立博物館 (井上恒一・ 冨美子氏寄贈)	○

26	◎柿釉金銀彩牡丹文碗 **Important Cultural Property:Shallow Red-Brown Glazed Bowl** Decorated with a peony design painted in gold and silver overglaze enamel	定窯	北宋時代 11〜12世紀	H.4.2 MD.12.9	東京国立博物館 （井上恒一・ 冨美子氏寄贈）	
27	◎黒釉金彩瑞花文碗 **Important Cultural Property:Shallow Brown** Decorated with an auspicious floral design painted in gold enamel over iron-black glaze	定窯	北宋時代 11〜12世紀	H.5.6 MD.19.1	MOA美術館	
28	◎青磁砧形瓶 **Important Cultural Property:Celadon Vase** In the shape of a mallet	官窯	南宋時代 12〜13世紀	H.25.4 D.13.0	個人蔵	
29	◎青磁輪花鉢 **Important Cultural Property:Celadon Bowl** With foliated and metal bound rim,with glaze crackles	官窯	南宋時代 12〜13世紀	H.9.1 MD.26.1	東京国立博物館 （横河民輔氏寄贈）	○
30	◎青磁琮形瓶 **Important Cultural Property:Celadon Vase** In the shape of an ancient ritual jade vessel, with glaze crackles	官窯	南宋時代 12〜13世紀	H.19.7 D.12.7	東京国立博物館 （広田松繁氏寄贈）	
31	青磁壺 **Celadon Jar** With globular body and splayed foot,and glaze crackles	官窯	南宋時代 12〜13世紀	H.36.5 D.28.2 MD.18.9	MOA美術館	
32	青磁盤 **Celadon Dish** With everted rim and fine glaze crackles	汝窯	北宋時代 11世紀末	H.3.0 MD.17.2	個人蔵	
33	◎青磁牡丹唐草文深鉢 **Important Cultural Property:Celadon Covered Jar** In the shape of a drum,with molded decoration of peony scroll applied	龍泉窯	南宋〜元時代 13世紀	H.19.5 D.24.6	静嘉堂文庫美術館	
34	◎白磁黒掻落牡丹文瓶 **Important Cultural Property:*Meiping* Style Vase** Decorated with a peony spray design carved through an iron-black glaze to the white slipped body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 11〜12世紀	H.40.2 D.19.8	永青文庫	
35	白磁黒掻落牡丹文瓶 **Meiping Style Vase** Decorated with a peony design carved through an iron-black glaze to the white slipped body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 12世紀	H.33.0 D.20.7	五島美術館	○
36	◎白磁黒掻落龍文瓶 **Important Cultural Property:Meiping Style Vase** Decorated with a dragon design carved through an iron-black glaze to the white slipped body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 12世紀	H.40.8 D.21.5	白鶴美術館	
37	白掻落唐草文深鉢 **Cylindrical Jar** Decorated with a vine scroll design bordered with a checkerboard pattern carved through the white slip to the body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 11世紀後半	H.13.8 MD.14.4	根津美術館	○
38	白磁黒掻落牡丹唐草文瓶 **Bottle** With globular body and dish-shaped mouth on the short neck,decorated with peony design carved through an iron-black glaze to the white slipped body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 12世紀前半	H.19.0 D.19.4	逸翁美術館	
39	白掻落唐草文水注 **Covered Ewer** Decorated with a vine scroll design on the body,and overlapping petals on the shoulder carved through the white slip to the body,covered with transparent glaze	磁州窯	北宋時代 10〜11世紀	H.20.4 D.8.2	東京国立博物館 （横河民輔氏寄贈）	
40	白磁皮嚢壷 **Porcelain Flask** With handle,in the shape of a leather bag	定窯 もしくは 佻窯	遼時代 10〜11世紀	H.23.7 D.20.7	出光美術館	○
41	白掻落鉄彩牡丹唐草文壷 Vase With globular body and dish-shaped mouth on the short neck,decorated with peony scroll design carved through the white slip to the body,background painted with iron-black pigment	乾瓦窯	遼時代 11〜12世紀	H.37.5 D.33.0	出光美術館	○
42	三彩刻花芍薬文壷 **Jar** Decorated with carved peony design,carved with brown and green lead glaze		遼時代 12世紀	H.22.0 D.26.5	出光美術館	○
ゆかりの朝鮮陶磁 Koyama Fujio's Dreams From Korea						
43	◎青磁蓮唐草文水瓶 **Important Cultural Property:Celadon Covered Sprinkler** With long neck and short spout,with design of curved lotus scroll		高麗時代 12世紀中葉	H.36.5 BD.8.8	根津美術館 （根津嘉一郎氏旧蔵）	
44	青磁象嵌葡萄文瓢形水注 **Celadon Ewer** Gourd-shaped with twisted handle,decorated with inlaid design of sacred bird and rebbit on the neck,children among grapevine scroll on the body		高麗時代 12世紀後半	TH.38.5 D.16.5 BD.10.3	大阪市立美術館 （広田松繁氏 寄贈）	
45	◎青磁象嵌唐子宝相華文水注 **Important Cultural Property:Celadon Ewer With Handle** Decorated with carved design of a climbing child among vine scroll,background inlaid with white slip		高麗時代 12世紀中葉	H.19.0 D.24.0	大阪市立東洋 陶磁美術館 （住友グループ寄贈）	○
46	青磁陽刻筍形水注 **Celadon Ewer** In the shape of bamboo shoot with carved design		高麗時代 12世紀前半	TH.22.5 D.21.3	大阪市立東洋 陶磁美術館 （住友グループ寄贈）	○
47	大井戸茶碗　銘「有楽」 **Tea Bowl** *Ido type* ,known as"Uraku"(name of the former owner in Momoyama Period), with glaze crackles		朝鮮時代 16世紀	H.9.3 MD.15.0	東京国立博物館 （松永安左ヱ門氏寄贈）	
48	鉄砂虎鹿文壷 **Jarl** With design of tiger and deer in underblaze iron-brown		朝鮮時代 17世紀後半	H.28.2 D.35.0	大阪市立東洋 陶磁美術館 （安宅英一氏寄贈）	○
49	白磁大壷 **Porcelain Jar** With globular body		朝鮮時代 17世紀末	H.45.5 D.43.6	大阪市立東洋 陶磁美術館 （新藤晋海氏寄贈）	
50	粉青印花菊花文壷 **Jar** With angular shoulder,decorated with stamped design of chrysanthemum inlaid with white slip		朝鮮時代 15世紀中葉	H.36.3 D.33.9	大阪市立東洋 陶磁美術館 （安宅昭弥氏寄贈）	○
51	粉青掻落牡丹文扁壷 **Flat-Sided Jar** With peony spray design carved through the white slip to the body		朝鮮時代 15世紀	H.22.9 D.20.5×15.5	個人蔵	
52	粉青面象嵌牡丹唐草文厨子 **Shrine** In the shape of a cottage with fish tail rooftiles,with carved design of peony spray and scroll inlaid with slip		朝鮮時代 15世紀	H.15.4 W.20.3x9.9	根津美術館 （根津嘉一郎氏旧蔵）	
六古窯の名品など　Koyama Fujio's Dreams From the Six Ancient Kilns						
53	◎三彩蓋付壷 **Important Cultural Property:Celadon Jar** Decorated with three-color lead glaze		奈良時代 8世紀	TH.21.3 MD.13.6 D.25.3 BD.14.7	倉敷考古館 伝岡山県津山 近郊出土	
54	●秋草文壷 **National Treasure:Jar** With everted neck,decorated with carved design of pampas grass, melons and a dragonfly	渥美窯	平安時代 12世紀	H.40.5 MD.17.6 D.28.0 BD.14.2	慶應義塾 東京国立博物館寄託 神奈川県川崎市幸区 北加瀬出土	
55	灰釉刻線文壷 **Jar** With everted rin and globular body,incised with double borders cross harched patterns	渥美窯	平安時代 12世紀前半	H.37.4 MD.16.3 D.32.2 BD.14.5	個人蔵 愛知県陶磁 資料館寄託	○

56	猫掻き文自然釉大甕 **Jar** With wide mouth and small base,decorated with so-called“cat scratct”pattern,natural wood ash glaze	常滑窯	平安時代 12世紀	H.61.5 MD.34.6 D.52.5 BD.12.3	常滑市立陶芸研究所 愛知県半田市板山町 西椎ノ木古窯址出土	○
57	◎灰釉魚文瓶子 **Important Cultural Property:Vase in *Meiping* Style** With carved design of fish on wavy pattern,carved with yellowish glaze	瀬戸窯	鎌倉時代 14世紀	H.36.2 MD.9.4 D.25.1 BD.12.0	名古屋市博物館	○
58	巴文叩大壷 **Unglazed Jar** With *tomoe* pattern on the shoulder,paddle marks on the body	珠州窯	平安時代 12世紀	PH.53.5 MD.19.3 D.42.6 BD.13.5	個人蔵 伝石川県 輪島市内出	○
59	仏像鈕蓋付経筒外容器 **Unglazed Cylindrical Jar** With figures of Buddha on lid,incised with wavy lines on the body	珠州窯	平安時代 12世紀	TH.35.5 MD.20.7 D.24.3 BD.18.0	愛知県 陶磁資料館	○
60	自然釉壷 **Jar** With angular shoulder,natural greenish wood ash glaze	越前窯	鎌倉時代 13世紀	H.42.5 D.38.5 BD.14.3	福井県陶芸館(水野古陶館旧蔵)福井県丹生郡宮崎村小曽原出土	○
61	四耳壷 **Jar with Four Loop Handles** Incised with kiln mark on the shoulde	越前窯	室町時代 16世紀	H.24.3 MD.9.2 D.24.4 BD.15.2	個人蔵	○
62	檜垣文壷 **Jar** With angular shoulder,decorated with incised cross hatch border pattern	信楽窯	南北朝時代 14世紀	H.45.0 MD.14.5 D.37.7 BD.13.0	個人蔵	
63	自然釉壷 **Jar** With angular shoulder and long body,natural wood ash glaze	丹波窯	鎌倉時代 14世紀	H.46.4 MD.15.0 D.34.8 BD.16.9	丹波古陶館	○
64	菊花文三耳壷 **Jar with Three Loop Handles** With design of carved chrysanthemums and flower buds	丹波窯	平安時代 12世紀後半	H.30.5 MD.9.8 D.19.7 BD.8.7	個人蔵 愛知県陶磁資料館 寄託	○
65	櫛目波状文壷 **Unglazed Jar** With straight neck and turned over lip,decorated with incised wavy lines	備前窯	室町時代 15世紀	H.49.3 MD.19.8 D.39.6 BD.23.5	岡山県立博物館	○
小山冨士夫の作品 Works by Koyama Fujio						
66	青泥釉面取壷 **Jar** With long and faceted body,covered with bule matte glaze		小山冨士夫 1930年ごろ	H.36.0 D.22.0	出光美術館	○
67	白磁壷 **Porcelain Jar** With globular body	梅野窯	小山冨士夫 1964年	H.28.6 D.27.4	出光美術館	○
68	種子島扁壷 **Unglazed Jar** With everted neck and splayed foot		小山冨士夫 1972年	H.20.5 D.16.7	出光美術館	○
69	種子島面取壷 **Unglazed Vase** With faceted sades and everted neck,with flamemarks and wood ash		小山冨士夫 1974年	H.19.8 D.19.8	出光美術館	○
70	種子島鶴首花生 **Unglazed Flower Vase** With long neck,with flamemarks		小山冨士夫 1965年～74年	H.26.5 D.18.2	出光美術館	○
71	白掻落秋草文壷 **Vase** With globular body,with autumn plant design covered through white slip to the body		小山冨士夫 1974年	H.25.0 D.22.5	出光美術館	○
72	青白磁耳付壷 **Porcelain Jar** With loop decorations around the neck and translucent blue glaze	塚本快山窯	小山冨士夫 1975年	H.20.0 D.18.8	出光美術館	○
73	白磁鎬文壷 **Porcelain Jar** With carved ridge design		小山冨士夫 1975年	H.18.5 D.19.4	出光美術館	○
74	絵唐津鉦鉢 **Basin** Decorated with brushed lines in underglaze iron-brown		小山冨士夫 1971年	H.8.0 MD.23.5	出光美術館	○
75	色絵大鉢 **Dish** With splash design in overglaze red and green		小山冨士夫 1973年	H.7.8 MD.33.5	出光美術館	○
76	白磁八角台鉢 **Porcelain Dish** Octagonal with pedestal	塚本快山窯	小山冨士夫 1970年	H.10.2 MD.31.0	岡山県立美術館	○
77	色絵金彩花茶碗 **Tea Bowl** Decorated in the center with the character“花”(flower)in gold inside double		小山冨士夫 1974年	H.7.5 MD.14.5	個人蔵	○
78	朝鮮唐津茶碗 **Tea Bowl** Covered partly with iron-black glaze over white ash glaze		小山冨士夫 1973年	H.7.4 MD.13.7-15.8	個人蔵	○
79	種子島茶碗 **Unglazed Tea Bowl** With splayed foot and flamemarks		小山冨士夫 1973年	H.7.6 MD.12.8-15.4	個人蔵	○
80	書 個展あいさつ **Greetings for an exhibition** Ink on paper		小山冨士夫 1964年	L..37.0 W.100.5 額装	個人蔵	○
81	書 「深山無花」 **Calligraphy:“No Flower in the Deep Mountain”** Ink on paper,hanging scroll		小山冨士夫 1969年	L..121.0 W.31.6 軸装	個人蔵	○
82	書 「陶磁」 **Calligraphy:“Ceramics”** Ink on paper,hanging scroll		小山冨士夫	L..137.0 W.68.0 軸装	個人蔵	○
83	書 「無一物」 **Calligraphy:“Having Nothing”** Ink on paper		小山冨士夫	L..34.3 W.134.0 額装	土岐市	○
84	書 良寛詩 「草庵雪夜」 **Calligraphy:“Snowy Night in Hermitage”(Tired with distinction between good and evil, aged over 70) Poetry by Ryokan** Ink on paper,hanging scroll		小山冨士夫	L..26.8 W.23.5 軸装	個人蔵	○
陶芸家と交友 Works by Koyama Fujio's Friends						
85	彩磁柿文壷お預かり **Jar** With globular body,decorated with design of persimmons in overglaze red and black		石黒宗麿 1959年	H.18.7 D.17.5	東京国立 近代美術館	○
86	失透釉鉄流文壷 **Jar** With globular body,decorated with iron-brown drops over white ash glaze		石黒宗麿 1959年	H.27.0 D.25.5	富山県 水墨美術館	○
87	彩磁鳥文盆 **Plate** With desibn of birds in pink slip over white slipped body		石黒宗麿 1962年	H.5.1 MD.44.0	愛知県 陶磁資料館	○
88	鉄絵筒茶碗 **Tea Bowl** With cylindrical body,decorated with vertical lines and spots in underglaze		石黒宗麿 1965年	H.8.6 D.9.3	東京国立 近代美術館	○
89	千点文茶碗 **Tea Bowl** With shallow body,decorated with oblique dots cut through the iron-black slip		石黒宗麿 1940年ごろ	H.9.0 MD.11.2	個人蔵	○
90	書 「親分栩 子分古山子」 **Calligraphy:Signed as“Chief Ishiguro,Follower Koyama”** Ink on paper,hanging scroll		宗麿 小山 1950年代	L..38.0 W.51.0 軸装	個人蔵	○
91	粉引茶碗 銘 「雪の曙」 **Tea Bowl** Known as “ *Yuki no Akebono* ”(Snowy dawn)Covered with pinkish white slip		川喜田半泥子	H.10.0 MD.14.3	個人蔵	○

92	黒茶碗　銘「すず虫」 **Tea Bowl**　Known as "*Suzumushi*"(an autumn)Covered with iron-black glaze, decorated with design of autumn grass in gold and silver		川喜田半泥子 1944年	H.5.0 MD.11.8	個人蔵	○
93	黄瀬戸竹花生 **Flower Vase**　Bamboo-shaped,covered with iron-yellow pine ash glaze		荒川豊蔵 1960年	H.23.0 D.12.0	東京国立 近代美術館	○
94	志野水指 **Fresh Water Jar**　With feldspathic-white glaze		荒川豊蔵 1958年	H.18.2 D.21.5	東京国立 近代美術館	○
95	志野茶碗　銘「耶登能烏梅」 **Tea Bowl**　Known as "*Yado-no Ume*"(a reference to poem praising plum blossoms in the garden by Yamanoueno Okura in the *Manyoshu*),with intentional slash mark,covered with feldspathic-white glaze partly showing iron-red		荒川豊蔵 1970年	H.10.2 MD.13.8	豊蔵資料館	○
96	雲錦朝桜夕楓鉢 **Bowl**　With design of maple leaves and cherry blossoms in underglaze iron-brown and overglaze red,green and white		北大路魯山人	H.12.0 MD.29.6	個人蔵	○
97	織部四方皿 **Square dish**　Covered with bluish-green copper glaze		北大路魯山人	H.5.0-6.3 W.27.5x28.0	個人蔵	
98	備前秋草文四方皿 Unglazed Square Dish　With incised autumn plant design		北大路魯山人	H.4.2 W.26.8x26.8	個人蔵	○
99	書　良寛詩「自来円通寺」 **Calligraphy:"Since I visited Entsu-ji temple"(Reflection on his days of training to be a monk)**　Ink on paper,hanging scroll		北大路魯山人	L..17.5 W.39.0 軸装	個人蔵	
100	黄瀬戸輪花鉢 **Bowl**　With foliated rim,decorated with splashes of iron-brown and copper-green,covered with iron-yellow ash glaze		加藤唐九郎 1982年	H.11.4 MD.32.7	個人蔵	○
101	黒織部茶碗　銘「古株」 **Tea Bowl**　Known as "*Kokabu*"(old tree stump),covered with iron-black glaze		加藤唐九郎 1966年	H.8.2 D.13.5	個人蔵	○
102	志野茶碗 **Tea Bowl**　Covered with feldspathic-white glaze,decorated with brushed iron-brown design		加藤唐九郎 1973年	H.8.8 MD.14.0	個人蔵	○
103	備前砧形花入 **Unglazed Flower Vase**　In the shape of mallet,with flamemarks		金重陶陽 1956～57年	H.23.9 D.13.9	岐阜県現代 陶芸美術館	○
104	備前手鉢 **Unglazed**　Dish with handle　With flamemarks		金重陶陽 1964年	H.13.6 D.25.8	岡山県立美術館	○
105	備前盃 **Unglazed Sake Cup**　With flamemarks	金重陶陽窯	小山冨士夫 1963年	H.3.7 MD.7.9	個人蔵	○
106	備前壷 **Unglazed Jar**　With globular body and flamemarks		藤原　啓 1965～75年	H.33.3 D.28.8	藤原啓記念館	○
107	備前窯変擂座花生 **Unglazed Flower Vase**　With ornamental knobs around the neck and flamemarks		藤原　啓 1965～75年	H.28.2 D.12.5	藤原啓記念館	○
108	備前窯変水盤 **Unglazed Basin**　With flamemarks		藤原　啓 1962年	H.14.5 MD.38.8	東京国立 近代美術館	○
109	書「節酒節煙」 **Calligraphy:"Drink less,smoke less"**　Ink on paper,hanging scroll		藤原　啓	L..21.5 W.77.0 軸装	個人蔵	○
110	備前徳利 **Unglazed Sake Bottle**　With flamemarks	藤原　啓窯	小山冨士夫	H.12.2 D.9.2	岡山県立美術館	○
111	白磁輪花鉢 **Porcelain Bowl**　With foliated rim		塚本　快示 1977～80年	H.9.0 MD.21.0	岐阜県現代 陶芸美術館	○
112	青白磁花彫水盤 **Porcelain Bowl**　With foliated rim and translucent blue glaze,decorated inside and outside with carved floral design		塚本　快示 1979～81年	H.10.0 MD.32.9	愛知県陶磁 資料館	○
113	青白磁壷 **Porcelain Jar**　With globular body and translucent blue glaze	塚本快山窯	小山冨士夫	H.20.1 D.24.3	個人蔵	○
114	書　塚本快示宛「焼成と削りの御願ひ」 **Calligraphy:"Request on Firing and Trimming"**　Ink on paper,framed		小山冨士夫 1965年	L..30.8 W.87.3 額装	個人蔵	○
115	柿釉壷 **Jar**　With red-brown glaze and vertical carved marks on the oval body		清水卯一 1957年	H.33.1 D.25.4	京都国立 近代美術館	○
116	柿釉鉢　一対 **Set of Bowls**　With red-brown glaze		小山冨士夫	H.8.0/4.5 MD.27.5/20.8	個人蔵	○
117	朝鮮唐津花生 **Flower Vase**　With cylindrical body and distorted mouth,covered with iron-black glaze over white ash glaze		西岡小十 1982年	H.24.0 D.14.0	個人蔵	○
118	絵唐津壷 **Jar**　With globular body,decorated with brushed design in underglaze iron-brown	西岡小次郎窯	小山冨士夫 1974年	H.21.8 D.26.0	個人蔵	○
119	唐津南蛮扁壷　一対 **Pair of underglaze flat sided jars**　With flamemarks and wood ash		中里　隆 1989年 1992年	H.32.5 W.27.7×14.0 H.33.0 W.30.0×12.3	個人蔵	○
120	種子島筒花生 **Unglazed Flower Vase**　With flamemarks and wood ash		小山冨士夫 1972年	H.24.7 D.18.4	個人蔵	○
旧蔵品、自作の酒器など　Having a Drink With Koyama Fujio						
121	斑唐津盃 **Sake Cup**　Covered with white ash glaze	高取焼 山田窯	桃山時代 16世紀末～17世紀初頭	H.4.6 MD.7.5-7.9	個人蔵 小山冨士夫旧蔵	○
122	色絵五龍盃 **Sake Cup**　Decorated with five dragon design in overglaze red		江戸時代 19世紀前半 青木木米	H.4.0 MD.5.7-6.2	個人蔵 石黒宗麿 小山冨士夫旧蔵	○
123	白磁馬上盃 **Porcelain Stemmed Cup**		朝鮮時代 16世紀	H.7.2 MD.9.3	個人蔵 小山冨士夫旧蔵	○
124	朝鮮唐津徳利　銘「鬼の腕」 **Sake Bottle**　With leaning neck,known as "*Oni no Ude*"(demon'sarm),covered with iron-black glaze over white ash glaze		西岡小十	H.15.8 D.11.8-12.2	個人蔵 小山冨士夫旧蔵	○
125	寂問宛消息 **Letter to Jakumon from Ryokan**		江戸時代 19世紀前半 良寛	L..15.0 W.54.0	個人蔵 小山冨士夫旧蔵	
126	色絵筋文徳利 **Sake Bottle**　With design of horizontal lines in red and green overglaze enamels		小山冨士夫	H.15.7 D.10.2	個人蔵	○
127	粉引徳利 **Sake Bottle**　With white slipped body,covered with transparent glaze		小山冨士夫	H.12.4 D.9.3	個人蔵	○

128	備前徳利 **Unglazed Sake Bottle**		小山冨士夫	H.14.5 D.8.0	個人蔵	○
129	斑唐津徳利 **Pair of Sake Bottle** Covered with white ash glaze		小山冨士夫	H.14.6/15.8 D.11.2/11.6	個人蔵	○
130	色絵盃 **Sake Cup** With line design in red and green overglaze enamels		小山冨士夫	H.4.8 MD.7.8	個人蔵	○
131	色絵金彩花字盃 **Sake Cup** Decorated in the center with the character“花”(flower)in gold inaside double circle in red and green overglaze enamels		小山冨士夫 1973年	H.3.8 MD.8.6	個人蔵	○
132	色絵花字盃 **Sake Cup** Decorated in the center with the character“花”(flower)inaside a circle in red and green overglaze enamels		小山冨士夫	H.3.5 MD.8.9	個人蔵	○
133	色絵紅毛盃 **Sake Cup** With design of horizon stripes in Delft blue,purple and yellow		小山冨士夫	H.4.0 MD.7.2	個人蔵	○
134	色絵紅毛盃 **Sake Cup** With design of horizon stripes in Delft blue,purple and yellow		小山冨士夫	H.3.9 MD.8.3	個人蔵	○
135	色絵紅毛盃 **Sake Cup** With design of horizon stripes in Delft blue and purple		小山冨士夫	H.4.6 MD.6.4	個人蔵	○
136	白釉盃 **Sake Cup** With white matte glaze	米・クリーヴランド	小山冨士夫 1964年	H.3.2 MD.7.6	個人蔵	○
137	青白磁盃 **Sake Cup** With translucent blue glaze	塚本快山窯	小山冨士夫 1968年	H.4.2 MD.6.8-7.3	個人蔵	○
138	青白磁盃 **Sake Cup** With translucent blue glaze	塚本快山窯	小山冨士夫 1965年	H.5.0 MD.6.6-7.0	個人蔵	○
139	青磁盃 **Celadon Sake Cup** Ink on paper,hanging scroll		小山冨士夫 1966年	H.3.9 MD.7.0	個人蔵	○
140	白磁盃 **Porcelain Sake Cup**	梅野窯	小山冨士夫 1964年	H.4.3 MD.7.0	個人蔵	○
141	白覆輪油滴天目盃 ***Tenmoku*** **Sake Cup** With white slipped rin,decorated with silvery spots on iron-black glaze		小山冨士夫 1966年	H.3.0 MD.7.6-7.8	個人蔵	○
142	柿釉盃 **Sake Cup** With red-brown glaze		小山冨士夫	H.3.2 MD.8.4	個人蔵	○
143	呉須刷毛目盃 **Sake Cup** Brushed on the rim with cobalt-blue		小山冨士夫	H.4.7 MD.8.1	個人蔵	○
144	絵唐津盃 **Sake Cup** With brushed design in iron-brown		小山冨士夫	H.5.0 MD.7.7	個人蔵	○
145	唐津皮鯨盃 **Sake Cup** Brushed on the rim with iron-brown	中里太郎 右衛門窯	小山冨士夫 1964年	H.3.5 MD.8.1	個人蔵	○
146	斑唐津盃 **Sake Cup** With white ash glaze		小山冨士夫	H.3.7 MD.8.5	個人蔵	○
147	信楽盃 **Sake Cup**	高橋楽斎窯	小山冨士夫 1964年	H.3.1 MD.6.9	個人蔵	○
148	備前盃 **Unglazed Sake Cup**		小山冨士夫 1965年	H.4.3 MD.6.4-7.0	個人蔵	○
149	備前盃 **Unglazed Sake Cup** With flamemarks		小山冨士夫 1966年	H.3.2 MD.6.6	個人蔵	○
150	南蛮盃 **Unglazed Sake Cup**		小山冨士夫 1964年	H.3.9 MD.5.6-6.0	個人蔵	○
151	南蛮盃 **Unglazed Sake Cup**		小山冨士夫 1964年	H.3.5 MD.8.0-8.9	個人蔵	○
152	黒志野盃 **Sake Cup**		小山冨士夫 1965年	H.4.4 MD.6.0-6.6	個人蔵	○
153	粉引盃 **Sake Cup**		小山冨士夫	H.4.1 MD.8.0-8.6	個人蔵	○
154	伊賀盃 **Sake Cup**	平野敏子窯	小山冨士夫	H.4.0 MD.7.6	個人蔵	○
155	萩盃 **Sake Cup**	脇本幻窯	小山冨士夫 1965年	H.3.1 MD.7.4	個人蔵	○
156	萩盃 **Sake Cup**	坂倉 新兵衛窯	小山冨士夫 1964年	H.3.8 MD.6.7	個人蔵	○
資料 Koyama Fujio's Written Legacy						
157	小山冨士夫頭像 **Head of *Fujio Koyama***		高田博厚 1982年	H.19.0 W.15.5×22.5	豊科 近代美術館	○
158	単行本『宋磁』 聚落社刊 **Book** “*Soji*”(Song Dynasty Ceramics)		小山冨士夫 1943年	L..36.8 W.25.8	個人蔵	○
159	a.単行本『支那青磁史稿』文中堂刊 b.同草稿 **a.Book“ *Shina Tojishi Ko* ”(A Study on the History of Chinese Ceramics)** **b.Manuscript**		小山冨士夫 1943年	L..21.5 W.16.0 L..25.7 W.36.3	個人蔵	○
160	小山冨士夫「定窯址発見について」 収録雑誌『ブレチン・オブ・イースタン・アート』23、24合併号 **“On the Discovery of the Ruins of Tingyao ”** Carried in “Bulletin of Eastern Art”no.23-24, Nov.& Dec.1941 Publishsd by The Society on Friends of Eastern Art		1941年 11-12月号	L..25.6 W.18.4	個人蔵	○
161	小山冨士夫採取 定窯陶片 9片 **Fragments of Ding Wara**	定窯	宋時代	W.2.0×4.0- 5.4×9.0	根津美術館	○
162	北京滞在日記(コピー) **Diary from Beijing(Photo Copy)**		小山冨士夫 1941年3月29日 ～4月9日	L..20.5 W.32.0	個人蔵	○
163	カムサッカ記 **Diary from Kamchatka**		小山冨士夫 1923年5月28日 ～9月2日	L..20.7 W.16.6	個人蔵	○
164	スケッチ帳とノート(京都での陶工修業時代) 5冊 a.スケッチ帳「泥中陶相式」 b.ノート c.スケッチ帳「悦」 e.和とじノート **Notes and sketches from Koyama's Training as a Potter in Kyoto** a.Sketchbook 1925, b.Notebook 1928-29, c.Sketchbook 1923-29, d.Sketchbook ca.1923-30, e..Notebook ca.1923-30,		小山冨士夫 1923～30年	a.L..23.2 W.15.4 b.L..19.8 W.14.3 c.L..15.3 W.23.5	個人蔵	○

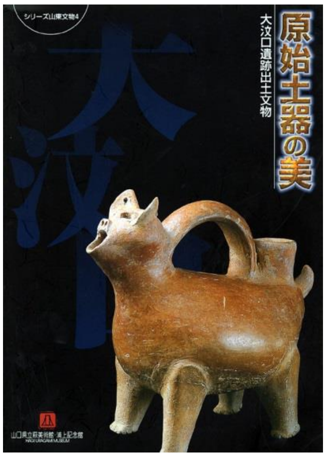
165	『骨董百話』草稿 「宋赤絵牡丹文陶片」「隋・唐の定窯 **Anuscripts of " *Kotto Hyakuwa* "(One Hundrerd Antique Tales) "Fragments of dish with peony spray design in overglaze red enamel" "Ding wares in the Sui & Tang dynasties"**	小山冨士夫 1969～70年	L..25.4 W.18.0	個人蔵	○
166	手帳「信仰の鑑識」 **Notebook** "Study on Religion"	小山冨士夫 1920年ごろ	L..20.0 W.12.6	個人蔵	○

展覧会名	シリーズ山東文物４ 原始土器の美展 -大汶口遺跡出土文物-
会期	平成15年11月1日(土)～平成16年2月1日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、 朝日新聞、YAB山口朝日放送
後援	萩市

---

(1)趣旨

　今回の展覧会は、山東省泰安市の大汶口遺跡の土器を紹介いたします。大汶口文化は、紀元前約4000年～2500年にかけて現在の山東省の地域に展開した新石器時代の文化です。大汶口文化の土器には、紅陶、灰陶、黒陶、白陶、彩陶があって、色とりどりであった上に、土器の種類も豊富で、現在のわたしたちが想像する以上に豊かな文化を創造していました。大汶口文化発見のきっかけとなったのは、その文化名のもとともなった大汶口遺跡の発掘で、検出された墓地やその出土品は中国古代文明の成立過程を考察する上で多くの資料を提供し、多くの学者を魅了してきました。本展覧会では、山東省博物館、山東省文物考古研究所、済南市博物館が所蔵する大汶口遺跡の土器106点を通して、中国文明揺籃期の土器製作技術と古人の創造性あふれる造形力、そして豊かな新石器時代社会を紹介します。



（2）カタログ

監修　張 従軍(山東省文化庁外事処処長)
編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館
内容　ごあいさつ　山口県立萩美術館・浦上記念館
中国新石器時代のなかの大汶口文化
大汶口文化と大汶口遺跡／于 秋偉(山東省博物館館員)
大汶口遺跡の土器／于 秋偉
中国新石器時代における「動物形容器」の概要
／今村佳子(学芸課学芸員)
第一次調査(1959年)遺構配置図
第二、三次調査(1974、1978年)遺構配置図
図版・作品解説
出品目録
体裁　A4判　90ページ

（3）記念講演会

①日時　平成15(2003)年11月1日(土)　13：30～15：00
演題　「黄河文明と大汶口文化」
講師　張 従軍(山東省文化庁外事処処長)
②日時　平成15(2003)年11月29日(土)　13：30～15：00
演題　「大汶口文化の社会」
講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

（4）ギャラリーツアー

日時　第1・3日曜日　11：00～12：00
担当　今村佳子(学芸課学芸員)

出品番号	名称	時代	法量(cm)	発掘年・地点	収蔵場所
1	紅陶罐形鼎	大汶口文化前期	通高19.8、鼎高14.5、口径10.8、胴部最大径15.5、足高5.0	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
2	紅陶単把罐形鼎	大汶口文化前期	通高12.4、口径7.8、胴部最大径10.2、足高4.6	1978、泰安大汶口遺址、M2018	山東省文物考古研究所
3	紅陶豆	大汶口文化前期	高17.3、口径20.8、圏足径13.2	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
4	灰陶豆	大汶口文化前期	高24.4、口径20.6、圏足径14.5	1978、泰安大汶口遺址、M2008	山東省文物考古研究所
5	彩陶豆	大汶口文化前期	高22.0、口径26.4、圏足径16.2	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
6	紅陶器座	大汶口文化前期	高12.2、上径14.6、下径19.8	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
7	紅陶三足鉢	大汶口文化前期	高11.2、口径21.8、足高6.0	1974、泰安大汶口遺址、M2014	山東省文物考古研究所
8	彩陶盆	大汶口文化前期	高14.0、口径38.0、底径9.0	1978、泰安大汶口遺址、M2009	山東省文物考古研究所
9	彩陶盆	大汶口文化前期	高20.4、口径31.0、胴部最大径29.9、底径7.0	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
10	紅陶単把鉢	大汶口文化前期	高10.0、口径18.4、底径5.5、把手長4.0	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
11	紅陶壺	大汶口文化前期	高16.8、口径8.8、胴部最大径14.7、底径4.8	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
12	紅陶双耳壺	大汶口文化前期	高14.2、口径9.0、胴部最大径15.5、底径5.5	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
13	紅陶双耳壺	大汶口文化前期	高25.5、口径11.8、頚部高4.0、底径6.0	1974、泰安大汶口遺址、M2014	山東省文物考古研究所
14	黒陶刻花三足罐	大汶口文化前期	高8.6、口径6.2、足高2.0	1978、泰安大汶口遺址、M2018	山東省文物考古研究所
15	黒皮陶觚形杯	大汶口文化前期	高29.4、口径14.6、底径8.2、足高3.7、柄径2.7	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
16	黒皮陶觚形杯	大汶口文化前期	高28.5、口径13.4、底径8.0、足高3.2	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
17	黒皮陶觚形杯	大汶口文化前期	高29.0、口径15.2、底径8.5、足高3.5	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
18	灰陶觚形杯	大汶口文化前期	高28.0、口径14.8、底径7.0	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
19	灰陶觚形杯	大汶口文化前期	高27.4、口径13.8、底径7.0、足高2.0	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
20	灰陶觚形杯	大汶口文化前期	高28.6、口径14.0、底径6.0、足高2.0	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
21	黒皮陶高柄杯	大汶口文化前期	通高35.0、杯高22.0、口径7.8、足径9.2、蓋径9.6、蓋高13.1	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
22	黒皮陶高柄杯	大汶口文化前期	残高34.8、杯高22.2、口径8.6、足径11.3	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
23	黒皮陶高柄杯	大汶口文化前期	高15.3、口径6.4、底径7.6	1978、泰安大汶口遺址、M2005	山東省文物考古研究所
24	黒皮陶高柄杯蓋	大汶口文化前期	高15.0、口径9.1	1978、泰安大汶口遺址、M2007	山東省文物考古研究所
25	黒皮陶高柄碟	大汶口文化前期	高20.2、碟径8.8、圏足径11.2	1978、泰安大汶口遺址、M2018	山東省文物考古研究所
26	黒皮陶高柄碟	大汶口文化前期	高21.2、碟径9.2、圏足径9.2、柄孔径4.2	1978、泰安大汶口遺址、M2018	山東省文物考古研究所
27	紅陶折腹鼎	大汶口文化前期	高17.6、口径13.2、底径7.4、足高9.5	1959、泰安大汶口遺址、M54	山東省博物館
28	紅陶折腹鼎	大汶口文化前期	通高28.2、器高18.4、口径13.0、胴部最大径16.5、蓋径12.4、鈕高7.6	1959、泰安大汶口遺址、M38	山東省博物館
29	紅陶圓腹鼎	大汶口文化前期	高12.7、口径11.2、底径3.8、足高5.2	1959、泰安大汶口遺址、M73	山東省博物館
30	紅陶圓腹鼎	大汶口文化前期	通高26.5、器高18.4、口径13.6、胴部最大径17.5、蓋径14.2、鈕高9.4	1959、泰安大汶口遺址、M106	済南市博物館
31	彩陶鼎	大汶口文化前期	高11.4、口径11.2、底径5.9、足高4.0	1959、泰安大汶口遺址、M65	山東省博物館
32	灰陶罐式盤豆	大汶口文化前期	高17.2、口径8.4、底径10.4、柄径9.8	1959、泰安大汶口遺址、M80	山東省博物館
33	灰陶罐式盤豆	大汶口文化前期	鈕高9.4	1959、泰安大汶口遺址、M54	山東省博物館
34	紅陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高16.9、口径17.5、圏足径11.0、圏足高12.7	1959、泰安大汶口遺址、M73	山東省博物館
35	紅陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高14.8、口径18.2、圏足径13.2、圏足高7.2	1959、泰安大汶口遺址、M102	山東省博物館
36	灰陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高23.5、口径22.6、圏足径17.8、圏足高16.0	1959、泰安大汶口遺址、M11	山東省博物館

37	灰陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高15.8、口径17.4、圈足径12.3、圈足高8.0	1959、泰安大汶口遺址、M130	山東省博物館
38	灰陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高19.8、口径21.0、圈足径13.0、圈足高12.1	1959、泰安大汶口遺址、M53	山東省博物館
39	灰陶大鏤孔豆	大汶口文化前期	高17.1、口径18.8、圈足径12.2、圈足高9.6	1959、泰安大汶口遺址、M49	山東省博物館
40	紅陶器蓋	大汶口文化前期	高14.6、口径19.6、鈕高8.0	1959、泰安大汶口遺址、M130	山東省博物館
41	紅陶器蓋	大汶口文化前期	高9.1、口径15.0、鈕高4.4	1959、泰安大汶口遺址、M59	山東省博物館
42	灰陶筒形杯	大汶口文化前期	高11.3、口径10.0、底径6.1	1959、泰安大汶口遺址、M59	山東省博物館
43	単把彩陶杯	大汶口文化前期	高10.9、口径10.5、底径6.5、把手長3.9	1959、泰安大汶口遺址、M54	山東省博物館
44	単把觚形杯	大汶口文化前期	高28.4、口径14.9、底径9.7、足高2.8	1959、泰安大汶口遺址、M48	山東省博物館
45	単把双鼻壶	大汶口文化前期	高18.6、口径9.0、胴部最大径15.2、底径6.3	1959、泰安大汶口遺址、M59	山東省博物館
46	彩陶壶	大汶口文化前期	高18.0、口径7.8、胴部最大径14.5、底径6.3	1959、泰安大汶口遺址、M8	山東省博物館
47	彩陶壶	大汶口文化前期	高15.2、口径8.4、胴部最大径15.2、底径8.0	1959、泰安大汶口遺址、M63	山東省博物館
48	彩陶背壶	大汶口文化前期	高17.4、口径7.4、底径5.7	1959、泰安大汶口遺址、M11	山東省博物館
49	灰陶罐	大汶口文化前期	高10.4、口径10.6、胴部最大径15.5、底径5.6	1959、泰安大汶口遺址、M58	山東省博物館
50	灰陶折腹罐	大汶口文化前期	高10.4、口径10.6、胴部最大径13.8、底径6.1、把手高3.1、把手幅2.3	1959、泰安大汶口遺址、M121	山東省博物館
51	彩陶罐	大汶口文化前期	高8.9、口径11.2、胴部最大径15.1、底径5.7	1959、泰安大汶口遺址、M8	山東省博物館
52	灰陶三足盉	大汶口文化前期	高12.2、口径10.4、胴部最大径16.5、底径8.2、足高8.6	1959、泰安大汶口遺址、M90	山東省博物館
53	紅陶平底盉	大汶口文化前期	高13.8、口径13.5、胴部最大径21.4、底径10.0、流長4.5、流径4.4	1959、泰安大汶口遺址、M130	山東省博物館
54	彩陶平底盉	大汶口文化前期	高13.0、口径9.8、胴部最大径17.2、底径8.6、流長3.6、流径3.8	1959、泰安大汶口遺址、M59	山東省博物館
55	灰陶尊	大汶口文化前期	高12.1、口径14.2、底径5.2	1959、泰安大汶口遺址、M63	山東省博物館
56	灰陶圏足尊	大汶口文化前期	高21.3、口径17.9、圏足径12.6、圏足高4.2	1959、泰安大汶口遺址、M90	山東省博物館
57	紅陶実足鬹	大汶口文化前期	残高24.0、口長径8.2、口短径4.5、底径6.8、把手長10.2、把手幅5.0	1959、泰安大汶口遺址、M130	山東省博物館
58	紅陶実足鬹	大汶口文化前期	高23.4、口長径6.7、胴部最大径16.0、足高9.2	1959、泰安大汶口遺址、M79	山東省博物館
59	灰陶実足鬹	大汶口文化前期	高13.5、流長6.0、足高6.4、胴部最大径14.6、柄長7.6、柄高3.9	1959、泰安大汶口遺址、M98	山東省博物館
60	灰陶大口尊	大汶口文化前期	高31.8、口径37.5	1959、泰安大汶口遺址、M59	山東省博物館
61	紅陶獣形器	大汶口文化前期	高21.6、全長22.7、胴部短径12.6、足高8.0	1959、泰安大汶口遺址、M9	山東省博物館
62	紅陶鼎	大汶口文化前期	通高13.2、器高8.6、口径10.8、胴部最大径11.0、足高1.7、鈕高1.4	1959、泰安大汶口遺址、M10	済南市博物館
63	紅陶折腹鼎	大汶口文化前期	高15.2、口径14.5、胴部最大径16.0、底径9.4、足高7.8	1959、泰安大汶口遺址、M17	山東省博物館
64	白陶細柄豆	大汶口文化前期	高14.4、口径20.0、圏足径13.2、圏足高8.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
65	白陶細柄豆	大汶口文化前期	高16.8、口径19.6、圏足径13.4、柄高11.4	1959、泰安大汶口遺址、M100	山東省博物館
66	白陶細柄豆	大汶口文化前期	高16.4、口径21.0、圏足径12.7、圏足高9.0	1959、泰安大汶口遺址、M123	山東省博物館
67	黒陶双層盤豆	大汶口文化前期	高10.3、口径17.4、圏足径9.8、圏足高4.5	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
68	灰陶筒形豆	大汶口文化前期	高14.0、口径9.0、底径7.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
69	灰陶筒形豆	大汶口文化前期	高9.9、口径7.7、底径7.0	1959、泰安大汶口遺址、M124	山東省博物館
70	白陶筒形豆	大汶口文化前期	通高20.6、器高13.4、口径11.6、底径9.2	1959、泰安大汶口遺址、M126	山東省博物館
71	白陶筒形豆	大汶口文化前期	高16.0、口径10.3、底径8.6	1959、泰安大汶口遺址、M126	山東省博物館
72	白陶壶	大汶口文化前期	高18.0、口径10.0、胴部最大径15.3、底径7.1	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
73	白陶寛肩壶	大汶口文化前期	高26.8、口径13.4、底径7.9、肩幅20.1	1959、泰安大汶口遺址、M117	山東省博物館
74	白陶寛肩壶	大汶口文化前期	高14.4、口径8.4、底径5.0、頚長7.3	1959、泰安大汶口遺址、M64	山東省博物館

75	白陶寛肩壺	大汶口文化前期	高30.8、口径15.6、胴部最大径27.0、底径11.0、頚長9.4	1959、泰安大汶口遺址、M10	済南市博物館
76	白陶壺	大汶口文化前期	高10.0、口径8.2、胴部最大径10.6、底径5.3	1959、泰安大汶口遺址、M126	山東省博物館
77	白陶壺	大汶口文化前期	高8.0、口径8.0、胴部最大径10.5、底径3.7	1959、泰安大汶口遺址、M10	済南市博物館
78	灰陶背壺	大汶口文化前期	高17.7、口径9.1、胴部長径14.0、胴部短径13.6、底径6.7、耳高2.5	1959、泰安大汶口遺址、M105	山東省博物館
79	灰陶背壺	大汶口文化前期	高18.4、口径8.3、胴部長径14.5、胴部短径13.4、底径6.6、耳高2.2	1959、泰安大汶口遺址、M121	山東省博物館
80	白陶背壺	大汶口文化前期	高15.7、口径6.0、胴部最大径11.8、底径6.0、耳高2.6	1959、泰安大汶口遺址、M118	山東省博物館
81	白陶背壺	大汶口文化前期	高12.7、口径6.5、胴部長径11.0、胴部短径10.7、底径7.1、耳高1.9	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
82	白陶背壺	大汶口文化前期	高20.2、口径10.8、胴部長径15.2、胴部短径14.4、底径6.6、耳高1.8	1959、泰安大汶口遺址、M10	済南市博物館
83	白陶背壺	大汶口文化前期	高20.2、口径9.8、胴部長径14.0、胴部短径13.4、底径6.2、耳高2.2	1959、泰安大汶口遺址、M10	済南市博物館
84	彩陶壺	大汶口文化前期	高12.3、口径8.6、胴部最大径12.8、底径6.5	1959、泰安大汶口遺址、M3	山東省博物館
85	灰陶罐	大汶口文化前期	通高22.0、器高17.0、口径12.1、胴部最大径27.3、底径10.8、蓋径14.7	1959、泰安大汶口遺址、M104	山東省博物館
86	黒陶鳥嘴状突飾罐	大汶口文化前期	高7.7、口径7.4、胴部最大径9.6、底径6.6、突飾高1.2	1959、泰安大汶口遺址、M5	山東省博物館
87	灰陶杯	大汶口文化前期	高6.1、口径6.4、底径2.9、圏足高1.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
88	黒陶高柄杯	大汶口文化前期	通高24.5、器高17.8、口径7.8、圏足径6.6、柄高8.8、蓋高7.0、蓋径8.2	1959、泰安大汶口遺址、M25	山東省博物館
89	紅陶高柄杯	大汶口文化前期	高12.9、口径5.4、圏足径7.4、圏足高9.8	1959、泰安大汶口遺址、M124	山東省博物館
90	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高13.8、口径7.1、圏足径7.9、圏足高10.2	1959、泰安大汶口遺址、M1	山東省博物館
91	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高16.9、口径10.1、圏足径9.7、圏足高11.5	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
92	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高10.0、口径10.0、底径8.6、鈕幅2.8、鈕高2.8	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
93	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高8.5、口径9.6、底径8.3、鈕高2.5	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
94	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高10.3、口径7.2、底径5.4、圏足高2.1、胴部最大径8.5、鈕高2.6	1959、泰安大汶口遺址、M72	山東省博物館
95	白陶高柄杯	大汶口文化前期	高14.1、口径7.7、底径6.4、圏足高4.4、鈕高1.9	1959、泰安大汶口遺址、M25	山東省博物館
96	紅陶袋足鬹	大汶口文化前期	残高23.6、袋足高13.4、袋足径7.5、流長6.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
97	白陶袋足鬹	大汶口文化前期	高23.0、口径10.0、流長7.3、足高8.7、胴部最大径16.2	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
98	白陶袋足鬹	大汶口文化前期	高15.6、口長径6.0、口短径4.1、胴部最大径9.5、流長5.2、足高5.4	1959、泰安大汶口遺址、M117	山東省博物館
99	白陶三足盉	大汶口文化前期	高15.6、口径13.0、胴部最大径17.3、底径9.5、流長8.4、足高5.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
100	白陶三足盉	大汶口文化前期	残高16.2、口径13.5、胴部最大径20.4、流長8.0	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
101	紅陶匜	大汶口文化前期	高5.3、口径12.8、底径5.0、流長1.3、流幅3.7	1959、泰安大汶口遺址、M25	山東省博物館
102	平底白陶尊	大汶口文化前期	高16.0、口径16.2、底径8.0、口縁端部幅1.3	1959、泰安大汶口遺址、M72	山東省博物館
103	平底白陶尊	大汶口文化前期	高17.4、口径16.8、底径8.6、口縁端部幅1.6	1959、泰安大汶口遺址、M4	山東省博物館
104	平底白陶尊	大汶口文化前期	高11.7、口径9.7、底径7.8、圏足高3.3	1959、泰安大汶口遺址、M47	山東省博物館
105	黒陶瓶	大汶口文化前期	高28.2、口径15.7、胴部最大径16.6、底径12.4	1959、泰安大汶口遺址、M126	山東省博物館
106	黒陶瓶	大汶口文化前期	高20.4、口径11.8、胴部最大径11.4、底径9.1	1959、泰安大汶口遺址、M126	山東省博物館
参考出展1	卵殻黒陶高柄杯	龍山文化	高17.0、口径8.4、底径6.4		山口県立萩美術館・浦上記念館（HUM/T380）
参考出展2	白陶鬹	龍山文化	高33.4、口径10.9		山口県立萩美術館・浦上記念館（HUM/T334）

*M1は1号墓という意味。Mは墓葬を中国語読み（Muzang）した頭文字。

展覧会名	初期伊万里展 ー染付と色絵の誕生ー
会期	平成16(2004)年4月13日(火)～ 5月23日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、NHK山口放送局、NHKちゅうごくソフトプラン、朝日新聞社、YAB山口朝日放送
後援	萩市
特別協力	佐賀県立九州陶磁文化館
制作協力	NHKプロモーション

(1)趣旨

中世以来、中国陶磁を輸入し珍重していたわが国で、初めて磁器の焼成に成功したのは、江戸初期の1610年代頃のことです。その快挙を成し遂げたのは肥前国（佐賀県・長崎県）有田窯でした。朝鮮渡来の技術を用いて新しく窯業地となったこの地は、中国景徳鎮の染付磁器を目指しながら、力強くおおらかな表現に独自性の感じられる磁器を生み出しました。この17世紀前半に染付を中心として製作された肥前磁器は「初期伊万里」とよばれています。その作風には茶陶を主とした桃山陶芸の妙趣をとどめつつ、生活に適した機能性が感じられます。

また、1640年代には新たに中国から色絵の技術が導入されました。景徳鎮磁器を手本としながらも、中国様式を和様の創意で展開するという独自の画境を拓いた肥前磁器の初期の色絵は、品格のある色調と力強い筆致によって絵付けされた意匠で、わが国の色絵磁器のなかでも独特の光彩を放っています。

本展では、今日でも陶磁愛好家に高い評価を受けている、これら肥前磁器の草創期から初期における染付と色絵を紹介しました。さらに、江戸初期の日本海航路によって佐渡、越後、出羽に流通し、近年の調査で初めて明らかになった伝世作例と出土資料を併せて展示し、「初期伊万里」の魅力に新たな視座から迫りました。

(2)カタログ

監修　大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)
　　　荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)

編集　NHKプロモーション、田中明美、重名桜

発行　NHKプロモーション

内容　ごあいさつ　主催者
　　肥前磁器誕生と発展／大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)
　　図版

第一章　十七世紀の肥前磁器
　染付誕生
　初期伊万里の華
　初期伊万里の粋
　初期伊万里の茶陶
　祥瑞手の世界
　初期色絵の世界
　コラム　絵画資料にみる初期伊万里

第二章　越後・出羽・佐渡に招来した肥前磁器
　コラム　大名、幕府要人にまつわる初期伊万里
　初期伊万里にみえる唐様の意匠ー『八種画譜』と人物図を中心にー
　　／荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)
　初期伊万里の技法ー装飾技法を中心にー／藤原友子(佐賀県立九州陶磁文化館学芸員)
　作品解説
　初期伊万里年表
　一六一〇～五〇年代の肥前磁器と肥前初期色絵の出土分布図

コラム　初期伊万里について
初期伊万里古窯跡分布図
近世の主な湊と航路
コラム　北前船について
謝辞
体裁　A4判変形　220ページ

(3)記念講演会
①日時　平成16(2004)年4月3日(土)　13:30～15:00
演題「肥前磁器－誕生と発展」
講師　大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)
②日時　平成16(2004)年4月29日(祝)　14:30～16:00
演題「初期伊万里の魅力と謎にせまる」
講師　荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)

(4)ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11:00～12:00
担当　石崎泰之(学芸課主任)

「初期伊万里展－染付と色絵の誕生－」山口会場　出品作品リスト

章名		新No.	指定	作品名	年代	所蔵	件数	点数	萩展	高	口径	高台径
第1章	染付誕生	1		染付草花文大皿	1610-1630年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	11	36.6	13
第1章	染付誕生	2		染付蓮花文大皿	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	1	○	10	37	10.6
第1章	染付誕生	3		染付葡萄文大皿	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	9.4	36.7	10.7
第1章	染付誕生	4		染付楼閣人物文皿	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	1	○	5.3	20	7.3
第1章	染付誕生	5		染付松文皿	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	1	○	4.3	20.5	7.8
第1章	染付誕生	6		染付吹墨騎牛笛吹童子文皿	1610-1630年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	3.2	19.4	9.1
第1章	染付誕生	7		染付吹墨山羊文皿	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	2.5	17.5	6.6
第1章	染付誕生	8		染付菊花文皿	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	3.9	21	8.8
第1章	染付誕生	9		染付山水文皿	1610-1630年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	4.6	19	6.9
第1章	染付誕生	10		染付唐花葡萄文皿	1610-1630年代	今泉吉博氏（東京）	1	1	○	3.2	21.4	8.9
第1章	染付誕生	11		染付蓮花如意頭文皿	1610-1630年代	今泉吉博氏（東京）	1	1	○	2.1	14.5	6.3
第1章	染付誕生	12		染付福字唐草文輪花皿	1610-1630年代	大久保俊男氏（東京）	1	5	○	3.5	14.8	6.2
第1章	染付誕生	13		染付波文葉形皿	1610-1640年代	九州陶磁文化館	1	5	○	3.3	14.0×15.3	6
第1章	染付誕生	14		瑠璃釉染付菊唐草文小碗	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	5	○	6	9	3.9
第1章	染付誕生	15		染付菊花文壺	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	1	○	14	6.9	6.1
第1章	染付誕生	16		染付菊唐草文壺	1610-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	16.6	6.8	7
第1章	初期伊万里の華	17		染付山水文大鉢	1630-1640年代	東京国立博物館	1	1	○	13.2	44.9	12.8
第1章	初期伊万里の華	18	重文	染付山水文大鉢	1630-1640年代	大和文華館	1	1		12.5	45.4	
第1章	初期伊万里の華	19		染付楼閣山水文大鉢	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	12.8	45.8	13.4
第1章	初期伊万里の華	20		染付唐獅子文大鉢	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	13.3	45.7	12.2
第1章	初期伊万里の華	21		染付花鳥文輪花大鉢	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	8.5	34.7	10.4
第1章	初期伊万里の華	22		染付草花文大鉢	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	10.5	37.5	11.1
第1章	初期伊万里の華	23		染付山水文大鉢	1610-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	10.6	41	11.8
第1章	初期伊万里の華	24		染付山水文大鉢	1630-1640年代	清野盈夫氏（山形）	1	1	○	10	36.6	10.7
第1章	初期伊万里の華	25		染付草花文大鉢	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	14.1	48.1	12.8
第1章	初期伊万里の華	26		染付山水文稜花形大皿	1610-1630年代	熊沢正幸氏（東京）	1	1	○	10.2	38.2	12.2
第1章	初期伊万里の華	27		染付人物文大皿	1620-1640年代	九州陶磁文化館寄託／池田健作氏蔵	1	1	○	9.6	37.5	10.2
第1章	初期伊万里の華	28		染付折枝花菊唐草文大鉢	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	14.2	36.6	11.3
第1章	初期伊万里の華	29		染付果木文大鉢	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	15.5	38.1	11.8
第1章	初期伊万里の華	30		染付山水文深鉢	1630-1640年代	サントリー美術館	1	1	○	19.9	34.2	16.2
第1章	初期伊万里の華	31		染付菊花文皿	1630-1640年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	3.3	22	8.8
第1章	初期伊万里の華	32		染付吹墨兎文皿	1620-1630年代	清野盈夫氏（山形）	1	1	○	3.2	19.3	6.3
第1章	初期伊万里の華	33		染付走兎文皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	2.5	20	9.1
第1章	初期伊万里の華	34		染付辰砂草花文皿	1620-1640年代	清野盈夫氏（山形）	1	1	○	3.9	21.6	8.8
第1章	初期伊万里の華	35		染付辰砂草花蝶文皿	1630-1640年代	清野盈夫氏（山形）	1	1	○	3.1	18.2	6.9
第1章	初期伊万里の華	36		染付亀甲菊詰文皿	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	4.9	21.3	8.3
第1章	初期伊万里の華	37		染付山水文皿	1630-1640年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	3.8	20.1	7
第1章	初期伊万里の華	38		染付山水文皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	3.4	21	10.4
第1章	初期伊万里の華	39		染付牡丹文菊花形皿	1630-1640年代	大久保俊男氏（東京）	1	1	○	4	19.2	7.7
第1章	初期伊万里の華	40		染付花卉文皿	1630-1640年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	4.2	21.2	7
第1章	初期伊万里の華	41		染付沢瀉文皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ（栗林勇二郎氏）	1	1	○	2.4	21.7	8.2

第1章	初期伊万里の華	42			染付獅子唐草文皿	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	5.6	24.2	8.8
第1章	初期伊万里の華	43			染付如意頭人物文小皿	1630-1640年代	大久保俊男氏(東京)	1	1	○	6.8?	15.1	
第1章	初期伊万里の華	44			染付菊花文小皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	3.5	15.8	6.5
第1章	初期伊万里の華	45			染付兎文小皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	2.9	15.1	6.4
第1章	初期伊万里の華	46			染付松竹梅文面取壺	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	14.8	7.5	6.9
第1章	初期伊万里の華	47			染付雲龍文三耳付壺	1620-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	22.1	9.9	9.4
第1章	初期伊万里の華	48			染付丸文壺	1630-1640年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	22	9.1	8.7
第1章	初期伊万里の粋	49			銹釉青磁染付鳳凰銀杏文三足皿	1640-1650年代	滝川峰晴堂(大阪)	1	1	○	7	23	5.7
第1章	初期伊万里の粋	50			染付花実文皿	1640年代頃	大阪市立東洋陶磁美術館	1	1	○		26.4	
第1章	初期伊万里の粋	51			瑠璃釉魚文大皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○		25.4	8
第1章	初期伊万里の粋	52			青磁魚文大鉢	1630-1640年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	12.8	40.8	11.2
第1章	初期伊万里の粋	53			銹釉青磁瑠璃釉葡萄文皿	1640年代	今泉吉博氏(東京)	1	1	○	3.3	16.1×13.8	10.7×7.6
第1章	初期伊万里の粋	54			銹釉瑠璃釉羽扇形皿	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	3.8		7.5
第1章	初期伊万里の粋	55			青磁染付芦鷺文四方皿	1630-1640年代	サントリー美術館	1	1	○	4.9	21.9×21.7	
第1章	初期伊万里の粋	56			青磁鉄釉染付山水文壺	1630-1650年代	九州陶磁文化館	1	1	○	25.4	10.3	11.4
第1章	初期伊万里の粋	57			銹釉瑠璃釉青磁花鳥風月字文瓶	1630-1640年代	岩尾對山窯	1	1	○	20.1	2.4	7.9
第1章	初期伊万里の粋	58			銹釉染付独楽文瓢形瓶	1630-1640年代	九州陶磁文化館寄託／富樫次男氏蔵	1	1	○	29.2	3.1	10.2
第1章	初期伊万里の茶陶	59			白磁碗	1610-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	8.1	14.4	6.2
第1章	初期伊万里の茶陶	60			染付花唐草文碗	1630-1640年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	6.2	11.1	4.6
第1章	初期伊万里の茶陶	61			染付雲蝶梅文碗	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	5.9	14.3	
第1章	初期伊万里の茶陶	62			染付辰砂花卉文碗	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	8.2	9.9	5.3
第1章	初期伊万里の茶陶	63			染付梅文碗	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	8.4	9.7	5.9
第1章	初期伊万里の茶陶	64			染付雲龍婦人文碗	1630-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	6	13	6
第1章	初期伊万里の茶陶	65			染付山水文胴締水指	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	17.2	12	9.7
第1章	初期伊万里の茶陶	66			染付山水文水指	1610-1630年代	九州陶磁文化館	1	1	○	16.4	14.2×14.8	10.5
第1章	初期伊万里の茶陶	67			染付山水文水指	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	18.7	14.8	10.8
第1章	初期伊万里の茶陶	68			染付蔓草文水指	1610-1630年代	今泉吉博氏(東京)	1	1	○	16.3	14.5	13
第1章	初期伊万里の茶陶	69			染付人物文角水指	1610-1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	13.4	14.2×14.2	10.7
第1章	初期伊万里の茶陶	70			染付山水文茶入	1610-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	6.2	4	3.6
第1章	初期伊万里の茶陶	71			染付網目文中次茶入	1620-1640年代	岡仙汲古堂(新潟)	1	1	○	7	蓋上面5.1	3.9
第1章	初期伊万里の茶陶	72			青磁辰砂彫文水指	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	14.6	16.3	8.8
第1章	初期伊万里の茶陶	73			染付辰砂蓮弁文香炉	1620-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	6.3	6.6	4.6
第1章	初期伊万里の茶陶	74			青磁獅子香炉	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	8.6	11.1x8.6	6.0x5.2
第1章	初期伊万里の茶陶	75			染付辰砂鶴形香合	1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○			
第1章	初期伊万里の茶陶	76			色絵鳥形香合	1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	8.6	5.5×3.8	3.6×2.8
第1章	初期伊万里の茶陶	77			染付松梅文掛花生	1620-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	24.6	6	6.2
第1章	初期伊万里の茶陶	78			染付山水文掛花生	1620-1640年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	22.8	6	5.8
第1章	初期伊万里の茶陶	79			青磁楼閣鶏耳花生	1630-1640年代	川内利昭氏	1	1	○	20.4	8．1×8.0	6．7×6.5
第1章	初期伊万里の茶陶	80			染付蔓草文手鉢	1630-1640年代	MOA美術館	1	1		17.3	21.4	9.7
第1章	初期伊万里の茶陶	81		重文	染付花卉文瓶	1610-1630年代	MOA美術館	1	1		32	5.3	10.6
第1章	初期伊万里の茶陶	82			染付花卉文大瓶	1630-1640年代	熊沢正幸氏(東京)	1	1	○	44.1	5.7	14.7
第1章	初期伊万里の茶陶	83			染付果木芦文瓶	1620-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	24.6	5.2	10.3
第1章	初期伊万里の茶陶	84			染付果木文瓢形瓶	1630年代	青毬庵ｺﾚｸｼｮﾝ(栗林勇二郎氏)	1	1	○	26.5	3.5	8.5

第1章	初期伊万里の茶陶	85			染付松竹梅文手付水注	1620-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	19.8	3.7	7.3
第1章	初期伊万里の茶陶	86			浮彫菊散文瓢形瓶	1630-1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	26.5	3	8.1
第1章	初期伊万里の茶陶	87			染付蘭文小坏	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	4.8	6.8	2.8
第1章	祥瑞手の世界	88			色絵山水花鳥文輪花大皿(色絵祥瑞)	1620-1640年代	鍋島報效会	1	1	○	5.1	34.1	22.5
第1章	祥瑞手の世界	89			色絵山水花鳥文輪花大皿	1640年代	鍋島報效会	1	1	○	7	34.5	22.5
第1章	祥瑞手の世界	90			色絵花鳥丸文輪花皿	1640-1650年代	出光美術館	1	1	○	5.2	22.4	13.2
第1章	祥瑞手の世界	91			色絵山水丸文蛤形皿	1640-1650年代	出光美術館	1	1	○	5.4	24.5	10.0×14.5
第1章	祥瑞手の世界	92			染付唐人文輪花皿	1640年代	今泉吉博氏(東京)	1	1	○	6.1	21.6	11.6
第1章	祥瑞手の世界	93			染付馬文捻輪花台皿	1640年代	今泉吉博氏(東京)	1	1	○	6.5	22.7	10.5
第1章	初期伊万里の華	94			染付欄干人物文皿	1640-1650年代	大久保俊男氏(東京)	1	5	○	3.8	21.2	12.1
第1章	祥瑞手の世界	95			色絵山水舟人物文鉢	1640年代	東京国立博物館	1	1	○	7	26.9	
第1章	祥瑞手の世界	96			色絵舟人物文鉢	1640年代	出光美術館	1	1	○		22.8	
第1章	祥瑞手の世界	97			色絵松人物文輪花大皿	1640年代	九州陶磁文化館	1	1	○	9.5	31.8	18.3
第1章	祥瑞手の世界	98			染付鴛鴦文大皿	1650年代頃	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	10.5	42	18.5
第1章	祥瑞手の世界	99		重文	染付山水文輪花大皿	1640-1650年代	九州陶磁文化館	1	1	○	10.1	39.4	21
第1章	初期色絵の世界	100			色絵菱畳地瓢箪文大皿	1640-1650年代	大阪市立東洋陶磁美術館	1	1			35.8	
第1章	初期色絵の世界	101			色絵幾何学文壺	1640年代	柳　孝氏(京都)	1	1	○	28	12.2	12.3
第1章	初期色絵の世界	102			色絵山水文八角大皿	1640-1650年代	熊沢正幸氏(東京)	1	1	○	5.6	31.8	20.3
第1章	初期色絵の世界	103			色絵水辺人物文九角大皿	1640-1650年代	MOA美術館	1	1			33.6	
第1章	初期色絵の世界	104			色絵栗鶉文八角台皿	1640-1650年代	サントリー美術館	1	1	○	5.6	29.2	17.9
第1章	初期色絵の世界	105			色絵牡丹蝶文捻花形皿	1640-1650年代	サントリー美術館	1	1	○	4.7	29.2	18.7
第1章	初期色絵の世界	106			色絵鴛鴦文捻花形大皿	1640-1650年代	熊沢正幸氏(東京)	1	1	○	5.9	30	18.8
第1章	初期色絵の世界	107			色絵鶴丸文大皿	1640-1650年代	熊沢正幸氏(東京)	1	1	○	4.5	32.5	18.2
第1章	初期色絵の世界	108			色絵山水花鳥文大皿	1640-1650年代	九州陶磁文化館	1	1	○	8.3	39.7	21.2
第1章	初期色絵の世界	109			色絵桐文深鉢	1640-1650年代	九州陶磁文化館	1	1	○	23.1	31.2	14.4
第1章	初期色絵の世界	110			色絵畦道文角皿	1650年代	繭山龍泉堂	1	1	○			
第1章	初期色絵の世界	111			色絵花唐草文台皿	1640年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	8.3	23.4	10.8
第1章	初期色絵の世界	112			色絵山水牡丹唐草文大皿	1650年代	今右衛門古陶磁美術館	1	1	○	6.9	32.2	14.5
第1章	初期色絵の世界	113			色絵菱文大皿	1650年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	8	31.1	14.8
第1章	初期色絵の世界	114			色絵菊文輪花大皿	1650年代	今泉吉博氏(東京)	1	1	○	7.2	33.6	18.6
第1章	初期色絵の世界	115			色絵藤文皿	1650年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	3.2	21	11.2
第1章	初期色絵の世界	116			色絵葉文皿	1650年代	柳　孝氏(京都)	1	1	○	9.5	23.1	12.1
第1章	初期色絵の世界	117			色絵牡丹文輪花皿	1650年代	柳　孝氏(京都)	1	1	○	5.4	25.7	14.4
第1章	初期色絵の世界	118			色絵瓢箪文大皿	1650年代	柳　孝氏(京都)	1	1	○	9.4	40.4	17
第1章	初期色絵の世界	119			色絵藤文大皿	1650年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	8	39.5	18.1
第1章	初期色絵の世界	120			色絵波鳥文大皿	1650年代頃	九州陶磁文化館	1	1	○	9.1	34.9	18.2
第1章	初期色絵の世界	121			色絵双蝶文大皿	1650-1660年代	清野盈夫氏(山形)	1	1	○	9.3	42.3	22
第1章	初期色絵の世界	122			色絵山水文瓶	1650-1660年代	熊沢正幸氏(東京)	1	1	○	32	4.2	9.8
第2章		123			染付花唐草文小皿	1610-1630年代	柴澤一仁氏(新潟)	1	7	○	4.2	13.9	5.1
第2章		124			染付葡萄文小皿	1610-1630年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	6	○	3	14.3	5.3
第2章		125			染付山水文小皿	1610-1630年代	佐渡民藝館	1	5	○	3	14	4.9
第2章		126			染付亀甲菊花文小皿	1620-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	5	○	3.9	14.1	5.3
第2章		127			染付唐人文小皿	1610-1630年代	笹川太郎氏(新潟)	1	1	○	4.1	14.2	5.1

第2章		128			染付菊文皿	1610-1630年代	吉澤喜一氏(新潟)	1	1	○	3.4	18.8	7.1
第2章		129			染付吹墨兎文皿	1620-1630年代	岡仙汲古堂(新潟)	1	1	○	4	19	7.9
第2章		130			染付竹梅文面取瓶	1610-1630年代	笹川太郎氏(新潟)	1	1	○	20.2	4.5	6.4
第2章		131			染付松竹梅文瓶	1610-30年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	2	○	19.6(右)18.8(左)	3.2(右)3.1(左)	7.4(右)7.4(左)
第2章		132			染付牡丹唐草文瓶	1620-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	21.1	5.5	6.6
第2章		133			染付唐花唐草文水指	1610-1630年代	岡仙汲古堂(新潟)	1	1	○	16.3	内径14.3肩径15.9	10.9
第2章		134			鉄釉碗	1630-1640年代	吉澤喜一氏(新潟)	1	1	○	6.9	11.8	5.2
第2章		135			染付吹墨梅鶯文小皿	1630-1640年代	岡仙汲古堂(新潟)	1	5	○	3.6	13.7	5.7
第2章		136			染付吹墨月兎蔦文小皿	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	5	○	2.4	13.7	6.1
第2章		137			染付飛鳥文小皿	1630-1640年代	佐渡民藝館	1	5	○	3.1	13.4	4.4
第2章		138			染付家鶏文小皿	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	3.5	14.6	5.3
第2章		139			染付木葉七宝地文小皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	4.1	15	4.9
第2章		140			染付花盆文小皿	1630-1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	3.9	12.3	5.4
第2章		141			染付鳥文小皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	3.6	13.8	5.3
第2章		142			染付兎文小皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	3	15.5	7
第2章		143			染付鷺文六角小皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	2.7	15.8	5
第2章		144			青磁銹釉梅貼付三足皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	5	○	4.3	19.3	4.8
第2章		145			青磁宝文皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	5	○	3.1	17	6
第2章		146			染付竹文皿	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	3.8	22.2	9.1
第2章		147			染付山水文皿	1630-1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	2.5	19.8	8
第2章		148			染付椿文皿	1630-1640年代	吉澤喜一氏(新潟)	1	1	○	3.6	19.9	7.5
第2章		149			染付菊唐草文皿	1630-1640年代	吉澤喜一氏(新潟)	1	1	○	2.7	18.7	7.7
第2章		150			染付草花文大鉢	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	12.6	43.6	11.7
第2章		151			染付草花文大鉢	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	10.2	40.7	12.2
第2章		152			染付山水文輪花大皿	1630-1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	6.3	34.5	12.8
第2章		153			染付鳥竹文瓶	1630-1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	19.8	5.7	6.8
第2章		154			染付菊唐草文瓶	1630-1640年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	21.5	5.7	6.3
第2章		155			染付山水文瓶	1640-1650年代	岡仙汲古堂(新潟)	1	1	○	28.2	4.6	12.5
第2章		156			青磁染付藤文瓶	1630-1640年代	上杉神社稽照殿(米沢)	1	2		22.8	5.4	6.9
第2章		157			青磁菊弁文瓶	1630-1640年代	笹川太郎氏(新潟)	1	1	○	18	4.3	6.6
第2章		158			染付折枝牡丹文壺	1630-1640年代	笹川太郎氏(新潟)	1	1	○	総高16.4 身高15.8	7.4	7.3
第2章		159			染付葡萄文壺	1630-1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	18.2	9.2	8
第2章		160			染付菊詰文皿	1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	3	20.1	9.3
第2章		161			染付芋葉文皿	1640-1650年代	佐渡民藝館	1	1	○	3.5	20.2	8.5
第2章		162			染付樹木鳥文皿	1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	2.8	18.2	8.8
第2章		163			染付蔦文皿	1640年代	佐渡民藝館	1	1	○	2.5	19.2	9.4
第2章		164			染付樹鳥文皿	1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	2.8	19.8	9
第2章		165			染付山水鳥文皿	1640-1650年代	菊地正志氏(新潟)	1	1	○	2.7	21.6	11.2
第2章		166			色絵芦鳥文小皿	1640-1650年代	柴澤一仁氏(新潟)	1	1	○	2.3	15.8	7.2
第2章		167			色絵柘榴桃文皿	1640-1650年代	柴澤一仁氏(新潟)	1	1	○	3.2	16.3	7.8
第2章		168			色絵菊鳥文輪花皿	1640-1650年代	柴澤一仁氏(新潟)	1	1	○	3.4	20	13.9
第2章		169			色絵牡丹鳥文皿	1640年代	東北民藝館(新発田)	1	1	○	2.5	21	10
第2章		170			色絵葡萄文皿	1640-1655年	岡仙汲古堂(新潟)	1	1	○	3.1	19.9	8.8

第2章		171			色絵菊文大皿	1650年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	9.6	36.6	17.4
第2章		172			色絵葉文大皿	1650年代	佐々木良文氏(佐渡)	1	1	○	7.5	32.8	16.6
第2章	出土品	173	1		染付蘭文小坏	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	4.3	6.5	2.4
第2章	出土品	173	2		染付寿字文小坏	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.8	5.6	2.3
第2章	出土品	173	3		白磁小坏	1610-1630年代	相川町教育委員会	1	1	○	4.4	7.3	3.6
第2章	出土品	173	4		染付蓮文碗	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	7.6	10.5	4.8
第2章	出土品	173	5		染付龍文碗	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	7.1	11.2(残長)	5
第2章	出土品	173	6		染付花卉文碗	1620-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	7.7	10.7	5
第2章	出土品	173	7		染付花卉文碗	1640-1650年代	相川町教育委員会	1	1	○	6.1	10.4	5.2
第2章	出土品	173	8		染付松竹梅文小碗	1640-1650年代	相川町教育委員会	1	1	○	6.7	9.2	4.4
第2章	出土品	173	9		染付蓮文小皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.6	12.5	4.9
第2章	出土品	173	10		染付花唐草文皿	1610-1630年代	相川町教育委員会	1	1	○		長軸10.3	5.8
第2章	出土品	173	11		染付山水文小皿	1610-1630年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.8	15.3	6
第2章	出土品	173	12		染付山水文皿	1610-1630年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.3	16.1	5.8
第2章	出土品	173	13		染付牡丹蝶文小皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.2	13.7	5.3
第2章	出土品	173	14		染付芦文小皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.5	13.7	6.2
第2章	出土品	173	15		染付牡丹文小皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3	13.5	6
第2章	出土品	173	16		染付太湖石草花蝶文小皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.6	13.4	6.6
第2章	出土品	173	17		染付山水文大皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	10.1	残長21.5	
第2章	出土品	173	18		青磁椿文三足皿	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	5.4	20.1	7
第2章	出土品	173	19		染付丸文皿	1640年代	相川町教育委員会	1	1	○		残長18.7	9
第2章	出土品	173	20		染付鳥文碗	1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	6.7	7.8	4.4
第2章	出土品	173	21		染付竹梅花散文小鉢	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	4.2	推定8.5	4.9
第2章	出土品	173	22		染付山水人物文小香炉	1610-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	6.7	7.0(外口径)	3.7
第2章	出土品	173	23		染付花唐草文小壺	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	8.4	8.4	4.8
第2章	出土品	173	24		染付松文壺蓋	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	3.4	最大径9.1	
第2章	出土品	173	25		白磁菊弁文瓶	1630-1640年代	相川町教育委員会	1	1	○	19		6.5
第2章	出土品	174	1		染付蘭文小坏	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	4.1	6.3	2.7
第2章	出土品	174	2		白磁小坏	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	3.7	5.9	2.4
第2章	出土品	174	3		染付小坏	1630-1650年代	山形市教育委員会	1	1	○	4.5	6.7	2.2
第2章	出土品	174	4		染付草文碗	1610-1630年代	山形市教育委員会	1	2	○	7.5	長軸12.0	5.7
第2章	出土品	174	5		染付福字文碗	1610-1630年代	山形市教育委員会	1	1	○	8		
第2章	出土品	174	6		染付唐草文碗	1630-1650年代	山形市教育委員会	1	1	○	6.2	10.5	4.6
第2章	出土品	174	7		青磁碗	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	6.9	長軸11.5	5.2
第2章	出土品	174	8		白磁碗	1610-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○		長軸11.0	5.2
第2章	出土品	174	9		鉄釉小鉢	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	5.6		4.9
第2章	出土品	174	10		染付芦文手塩皿	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○			
第2章	出土品	174	11		染付菊花文手塩皿	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	2.3	8.5	3.3
第2章	出土品	174	12		染付山水文手塩皿	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	1.9	8.9	3.7
第2章	出土品	174	13		染付水文手塩皿	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	2.7	9.8	3.7
第2章	出土品	174	14		染付手塩皿	1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	2.6	残長径8.5	3.8
第2章	出土品	174	15		染付草文小皿	1640-1650年代	山形市教育委員会	1	1	○	3	12.5	5
第2章	出土品	174	16		染付笹文瓶	1630-1640年代	山形市教育委員会	1	1	○	18		底長軸6.3

第2章	出土品	174	17		色絵葉文碗	1640-1650年代	山形市教育委員会	1	1	○		長軸9.8	4.6
第2章	出土品	174	18		色絵梅文碗	1640-1650年代	山形市教育委員会	1	1	○	4.2	長軸9.5	
第2章	出土品	175	1		染付山水鳥文碗	1610-1630年代	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	残高5.7		5.7
第2章	出土品	175	2		染付岩草蝶文皿	1630-1640年代	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	4.6	長軸18.0	7.6
第2章	出土品	175	3		染付圏線文皿(色絵素地か)	1640年代頃	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	3.4	長軸16.5	
第2章	出土品	175	4		染付祥瑞手輪花大皿	1640年代頃	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○		長軸10.6	
第2章	出土品	175	5		染付松梅文掛花生	1630-1640年代	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	残高13.1		6.7
第2章	出土品	175	6		色絵花卉文小坏	1650年代頃	山形県埋蔵文化財センター	1	2	○		残長6.8	
第2章	出土品	175	7		色絵松文小皿	1640年代	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	3.2	12.9	5.2
第2章	出土品	175	8		色絵花卉文皿	1640年代	山形県埋蔵文化財センター	1	1	○	3.1	長軸8.0	
第2章	出土品	176	1		染付蘭文小坏	1630-1640年代	上越市教育委員会	1	1	○			
第2章	出土品	176	2		染付菊唐草文皿	1630-1640年代	上越市教育委員会	1	1	○			
第2章	出土品	176	3		染付松文皿	1630-1640年代	上越市教育委員会	1	1	○			
第2章	出土品	176	4		青磁鉄釉壺	1630-1640年代	上越市教育委員会	1	1	○			
								227件	286点				

展覧会名	受贈記念 松村實コレクション展
会期	平成16(2004)年4月13日(火)～ 5月23日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館
後援	萩市

(1)趣旨

このたび、山口県出身の故・松村實氏が生涯かけて収集されたコレクション49点を、ご遺志により本県にご寄贈いただくことになりました。

玖珂郡出身の松村實氏は、旧制山口高等学校、京都帝国大学を卒業後、日本興業銀行に入行し、昭和30年より協和発酵工業株式会社の専務取締役などを歴任された実業家です。美術をこよなく愛された松村氏は、卓越した審美眼をもったコレクターとして優れた作品を収集され、平成12年に94歳で他界されました。このコレクションは、中国陶磁32点、朝鮮陶磁2点、日本陶磁12点、日本絵画3点と幅広い範囲に及ぶもので、まさに東洋古美術の精粋ともいうべき珠玉の数々です。

このコレクションが山口県立萩美術館・浦上記念館の収蔵品に加わることで、美術館コレクションの厚みが増すことはいうまでもありません。本県としては望外の喜びであり、松村實氏のご厚意に感謝を捧げるとともに、愛惜あるご尊父の形見を、公共の財産に付する決意をされた寺田邦子氏、中尾裕子氏、松村昌彦氏に心からお礼申しあげる次第です。これらの作品が、美術館を訪れる多くの方々に愛され続けることを願って止みません。

（2）カタログ

編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館
内容　ごあいさつ　山口県知事　二井関成
祖父の東洋陶磁のこと／中尾幸子
中国陶磁［図版・作品略解］
朝鮮陶磁［図版・作品略解］
日本陶磁［図版・作品略解］
日本絵画［図版・作品略解］
東アジア略年表
体裁　A4判　48ページ

番号	作品名	生産窯・作者・分類	時代	世紀	法量	館蔵番号
中国陶磁（32点）						
1	灰釉双耳壷		前漢時代	3rd cent.B.C.～1st A.D.	h. 34.6cm	HUM/T399(MM)
2	灰釉長頚壷		前漢時代	3rd cent.B.C.～1st A.D.	h. 30.6cm	HUM/T400(MM)
3	三彩薫炉		唐時代	8th cent.	h. 6.8cm	HUM/T401(MM)
4	黄褐釉鶏		唐時代	7～8th cent.	h. 12.8cm	HUM/T402(MM)
5	白磁壷		唐時代	8th cent.	h. 10.1cm	HUM/T403(MM)
6	青磁印花宝相華文碗	耀州窯	北宋時代	11～12th cent.	d. 10.7cm	HUM/T406(MM)
7	白磁合子	定窯系	北宋時代	11～12th cent.	w. 6.6cm	HUM/T404(MM)
8	青白磁瓜形合子	景徳鎮窯	北宋時代	11～12th cent.	w. 7.3cm	HUM/T405(MM)
9	黒釉堆線文壷		北宋～金時代	12～13th cent.	h. 10.4cm	HUM/T407(MM)
10	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋時代	13th cent.	h. 27.0cm	HUM/T408(MM)
11	青磁不遊環牡丹文瓶	龍泉窯	元時代	14th cent.	h. 27.5cm	HUM/T409(MM)
12	青磁算木文香炉	龍泉窯	元時代	14th cent.	h. 8.9cm	HUM/T410(MM)
13	瑠璃釉慈姑文壷	景徳鎮窯系	明時代	16th cent.	h. 17.4cm	HUM/T411(MM)
14	青花牡丹唐草文鉢	景徳鎮官窯	明時代・宣徳在銘	(1426～1435)	d. 20.8cm	HUM/T412(MM)
15	五彩龍文角鉢	景徳鎮官窯	明時代・嘉靖在銘	(1522～1566)	d. 15.2cm	HUM/T413(MM)
16	五彩八仙人文鉢	景徳鎮官窯	明時代・萬暦在銘	(1572～1620)	d. 17.1cm	HUM/T414(MM)
17	五彩鴛鴦文皿	景徳鎮官窯	明時代・萬暦在銘	(1572～1620)	d. 14.8cm	HUM/T415(MM)
18	五彩鳳凰文皿	景徳鎮窯系（天啓赤絵）	明時代・天啓在銘	(1621～1627)	d. 16.2cm	HUM/T416(MM)
19	五彩山水人物文皿	景徳鎮窯系（天啓赤絵）	明時代・天啓在銘	(1621～1627)	d. 16.3cm	HUM/T417(MM)
20	五彩菊花文皿	景徳鎮窯系（天啓赤絵）	明時代	17th cent.	d. 16.3cm	HUM/T418(MM)
21	五彩四馬文皿	景徳鎮窯系（天啓赤絵）	明時代	17th cent.	d. 16.3cm	HUM/T419(MM)
22	五彩花蝶文皿	景徳鎮窯系	明時代・天啓佳器銘	17th cent.	d. 16.3cm	HUM/T420(MM)
23	五彩花鳥文壷	・（ｻﾝｽﾞｲ＋章）州窯系(呉州赤絵)	明時代	16～17th cent.	h. 7.1cm	HUM/T421(MM)
26	青花人物文角鉢	景徳鎮窯系	明時代	16～17th cent.	w. 20.0cm	HUM/T422(MM)
24	青花五位鷺文稜花鉢	景徳鎮窯系	明時代	16～17th cent.	d. 20.2cm	HUM/T423(MM)
25	青花山水文馬上杯	景徳鎮窯系	明時代	16～17th cent.	d. 8.3cm	HUM/T424(MM)
27	青花潮汲文皿	景徳鎮窯系	明時代	17th cent.	d. 19.7cm	HUM/T425(MM)
28	青花騎牛帰路文皿	景徳鎮窯系（古染付）	明時代	17th cent.	d. 19.7cm	HUM/T426(MM)
29	青花仙人文皿	景徳鎮窯系（古染付）	明時代	17th cent.	d. 19.7cm	HUM/T427(MM)
30	青花梅鶯春字文皿	景徳鎮窯系（古染付）	明時代	17th cent.	d. 19.7cm	HUM/T428(MM)
31	青花山水文六角三足皿	景徳鎮窯系（古染付）	明時代	17th cent.	w. 25.5cm	HUM/T429(MM)
32	青花喜報春魁文輪花皿	景徳鎮窯系（祥瑞）	明時代	17th cent.	d. 19.7cm	HUM/T430(MM)

朝鮮陶磁（2点）

33	白磁壷	広州官窯	朝鮮時代	17th cent.後半～18th cent.前半	h. 36.3cm	HUM/T431(MM)
34	青花山水文角瓶	広州官窯	朝鮮時代	18th cent.	h. 16.4cm	HUM/T432(MM)

日本陶磁（12点）

35	染付山水独釣文皿	有田（初期伊万里様式）	江戸時代	17th cent. 前半	d. 20.1cm	HUM/T433(MM)
36	染付山水文皿	有田（初期伊万里様式）	江戸時代	17th cent. 前半	d. 20.4cm	HUM/T434(MM)
37	染付芦雁文皿	有田（初期伊万里様式）	江戸時代	17th cent. 前半	d. 20.1cm	HUM/T435(MM)
38	染付葡萄蝶文皿	有田（初期伊万里様式）	江戸時代	17th cent. 前半	d. 19.5cm	HUM/T436(MM)
39	染付七宝葉文葉形皿	有田	江戸時代	17th cent. 後半	12.6×14.8cm	HUM/T437(MM)
40	色絵朝顔鶉唐草文長四方皿	有田（古九谷様式）	江戸時代	17th cent. 後半	11.0×13.0cm	HUM/T438(MM)
41	色絵丸文角瓶	有田	江戸時代	17th cent. 後半	h. 18.7cm	HUM/T439(MM)
42	色絵牡丹竹文角瓶	有田	江戸時代	17th cent. 後半	h. 16.6cm	HUM/T440(MM)
43	色絵花卉文皿	有田（柿右衛門様式）	江戸時代	17th cent. 後半	d. 21.5cm	HUM/T441(MM)
44	色絵粟鶉文八角鉢	有田（柿右衛門様式）	江戸時代	17th cent. 後半	d. 23.8cm	HUM/T442(MM)
45	色絵鳳凰文皿	有田（柿右衛門様式）	江戸時代	17th cent. 後半	d. 25.5cm	HUM/T443(MM)
46	色絵鳥形置物	有田（柿右衛門様式）	江戸時代	17th cent. 後半	h. 18.7cm	HUM/T444(MM)

日本絵画（3点）

47	竹石図	山本梅逸	江戸時代	天保12年（1841）　絹本墨画	141.9×41.7cm	HUM/C34(MM)
48	山林暮雪図	日根対山	江戸時代	安政5年（1858）　絹本墨画淡彩	133.6×51.2cm	HUM/C35(MM)
49	倣伊孚九　層巒秋晴図	田能村直入	江戸時代	明治38年（1905）　絹本墨画淡彩	127.1×42.5cm	HUM/C36(MM)

展覧会名	出光コレクション 肉筆浮世絵名品展
会期	平成16(2004)年5月29日(土)～7月19日(月・祝)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、KRY山口放送
後援	萩市
出品協力	財団法人 出光美術館

(1)趣旨

幅広い分野にわたって優れた美術作品を収集してきた出光美術館は、全国的にも数少ない肉筆浮世絵のコレクションを所蔵しています。これは、江戸初期の寛文美人図をはじめ、浮世絵の創始期にあたる菱川師宣から幕末の歌川派まで、主要な浮世絵師の作品を網羅し、肉筆浮世絵の歴史を概観することのできる貴重なコレクションです。喜多川歌麿「更衣美人図」(重要文化財)や菱川師平「春秋遊楽図屏風」(重要美術品)等の指定文化財にとどまらず、宮川長春「立姿美人図」、勝川春章「美人鑑賞図」、同「桜下三美人図」、歌川国芳「役者夏之夜図」など、各絵師の代表作ともいうべき美術的価値の高い作品群からなっているのが大きな魅力です。

この展覧会ではコレクションの主要作品103点により、ときめき栄えた江戸の粋の世界を紹介しました。中国地方ではほとんど開催されることのなかった肉筆浮世絵の展覧会となりました。

(2)記念講演会

①日時　平成16(2004)年5月29日(土)　13:30～15:00
　演題　「出光コレクションの肉筆浮世絵」
　講師　内藤正人(財 出光美術館主任学芸員)

②日時　平成16(2004)年6月19日(土)　13:30～15:00
　演題　「冨嶽三十六景の青－浮世絵版画を非破壊分析する－」
　　　(兼・平成16年度第2回美術講座)
　講師　下山 進(吉備国際大学教授)

③日時　平成16(2004)年6月26日(土)　13:30～15:00
　演題　「浮世絵版画の保存・修復」(兼・平成16年度第3回美術講座)
　講師　山領まり(絵画修復家・山領絵画修復工房)

(3)ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11:00～12:00
担当　藤村忠範(学芸課主任)

(4)その他

関連イベント
ミュージアム寄席「吉原細見　お江戸人情噺」
日時　平成16(2004)年6月6日(日)　12:30～14:00
出演　春風亭正朝 師匠
演目　「幾代餅」他

番号	作者	作品名	員数・形態	技法・材質	制作年代	備考(空欄は軸装)
1	筆者不詳	立姿美人図	一幅	紙本着色	寛文頃	
2	筆者不詳	花持美人図	一幅	紙本着色	寛文頃	
3	筆者不詳	読書美人図	一面	紙本着色	寛文頃	額装
4	筆者不詳	若衆図	一幅	絹本着色	寛文頃	
5	筆者不詳	見立伊勢物語・河内越図	一幅	紙本着色	寛永～寛文	
6	菱川師宣	江戸風俗図巻	二巻	絹本着色	元禄前期	巻子本
7	菱川師宣	遊楽人物図貼付屏風	六曲一隻	絹本着色	元禄前期	屏風
8	菱川師宣	遊里風俗図	一巻	絹本着色	寛文12年 (1672)	巻子本
9	菱川師宣	遊里風俗図	一幅	絹本着色	元禄前期	
10	菱川師宣	遊里風俗図	一幅	絹本着色	元禄前期	
11	菱川師宣	秋草美人図	一幅	絹本着色	元禄前期	
12	伝・菱川師宣	二美人図	一幅	絹本着色	元禄前期	
13	菱川師房	三美人図	一幅	絹本着色	元禄前期	
14	菱川師平	春秋遊楽図屏風	六曲一双	紙本着色	元禄前期	屏風、重要美術品
15	古山師重	吉原遊興図屏風	六曲一双	紙本着色	元禄	屏風
16	伝・杉村治兵衛	立姿美人図	一幅	紙本着色	元禄	
17	菱川師保	やじろべえをもつ美人図	一幅	紙本着色	正徳頃	
18	懐月堂安度	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
19	懐月堂安度	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
20	懐月堂安度	立姿美人図	一幅	絹本着色	宝永～正徳	
21	懐月堂安度	川中島合戦図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
22	伝・懐月堂安度	遊女と禿図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
23	長陽堂安知	見返り美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
24	懐月堂度繁	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
25	懐月堂度辰	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
26	懐月堂度種	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
27	懐月堂度秀	風前美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
28	梅翁軒永春	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～享保	
29	梅祐軒勝信	縁台美人図	一幅	紙本着色	正徳～享保	
30	東川堂里風	立姿美人図	一幅	絹本着色	正徳～享保	
31	松野親信	立姿美人図	一幅	紙本着色	宝永～正徳	
32	嬋毫堂俊信	立姿美人図	一幅	紙本着色	享保	
33	田村水鷗	文読美人図	一幅	絹本着色	宝永～正徳	
34	山崎龍女	蚊帳美人図	一幅	紙本着色	享保	
35	山崎龍女	水仙をもつ若衆図	一幅	紙本着色	享保	
36	奥村政信	中村座歌舞伎芝居図屏風	六曲一隻	紙本着色	享保16年 (1731)	屏風
37	奥村政信	文使い図	一幅	絹本着色	正徳～享保前期	
38	奥村政信	遊女と嫖客図	一幅	紙本着色	正徳～享保	
39	奥村利信	遊女と禿図	一幅	絹本着色	享保～寛延	
40	奥村利信	騎馬侍と奴図	一幅	紙本着色	享保～元文	
41	川又常行	聞香美人図	一幅	紙本着色	元文～寛保	
42	川又常正	見立紫式部図	一幅	紙本着色	寛延～宝暦	
43	川又常正	風に悩む美人図	一幅	紙本着色	寛延～宝暦	
44	川又常正	羽根つき美人図	一幅	絹本着色	宝暦	
45	西川祐信	柳下納涼美人図	一幅	紙本着色	享保～元文	
46	西川祐信	詠歌美人図	一幅	紙本着色	享保～元文	
47	西川祐信	納涼美人図	一幅	絹本着色	享保～元文	
48	西川祐信	立姿美人図	一幅	絹本着色	享保～元文	
49	月岡雪鼎	騎牛吹笛美人図	一幅	絹本着色	明和2年(1765)～安永1年(1772)	
50	月岡雪斎	立姿美人図	一幅	紙本着色	文化～文政	
51	宮川長春	立姿美人図	一幅	絹本着色	享保	
52	宮川長春	立姿美人図	一幅	絹本着色	享保	
53	宮川長春	江戸風俗図巻	一巻	絹本着色	享保	巻子本
54	宮川長春	読書美人図	一幅	絹本着色	享保	
55	宮川一笑	吉原歳旦図	一幅	紙本着色	延享～寛延	

番号	作者	作品名	員数・形態	技法・材質	制作年代	備考（空欄は軸装）
56	宮川一笑	歌留多遊戯図	一幅	絹本着色	享保後期	
57	宮川一笑	曲芸図	一幅	絹本着色	享保	
58	宮川一笑	遊女と禿図	一幅	紙本着色	享保	
59	礒田湖龍斎	石橋図	一幅	絹本着色	安永後期	
60	礒田湖龍斎	箒持美人図	一幅	絹本着色	天明	
61	一筆斎文調	笠森稲荷社頭図	一幅	紙本着色	安永	
62	窪俊満	太夫道中図	一幅	絹本着色	天明後期	
63	窪俊満	藤娘と鬼念仏図	一幅	絹本着色	天明	
64	窪俊満	太夫春装図	一幅	絹本着色	寛政末期～文化	
65	北尾政美（鍬形蕙斎）	羽根つき美人図	一幅	絹本着色	寛政～文化	
66	北尾政美（鍬形蕙斎）	隅田川眺望図	一幅	絹本着色	天明	
67	勝川春章	美人鑑賞図	一幅	絹本着色	寛政1～4年(1789～1792)頃	
68	勝川春章	桜下三美人図	一幅	絹本着色	天明7～8年(1787～1788)頃	
69	勝川春章	柳下納涼美人図	一幅	絹本着色	天明3～4年(1783～1784)頃	
70	勝川春章	雪中傘持美人図	一幅	絹本着色	天明7～8年(1787～1788)頃	
71	勝川春暁	団扇をもつ立美人図	一幅	紙本着色	寛政	
72	勝川春潮	蛍狩美人図	一幅	絹本着色	天明～寛政	
73	喜多川歌麿	更衣美人図	一幅	絹本着色	享和3～文化1年(1803～1804)頃	重要文化財
74	喜多川歌麿	美人遊戯図	一幅	絹本着色	文化1～2年(1804～1805)頃	
75	鳥文斎栄之	蚊帳美人図	一幅	絹本着色	寛政8～9年(1796～1797)	
76	鳥文斎栄之	二美人図	一幅	絹本着色	寛政後期～享和	
77	鳥文斎栄之	雪中太夫歩行図	一幅	絹本着色	文化～文政	
78	鳥文斎栄之	舟遊図	一幅	絹本着色	文化～文政	
79	鳥文斎栄之	乗合船図	一幅	絹本着色	文化	
80	鳥文斎栄之	吉原通い図巻	一巻	絹本着色	享和1年(1801)頃	巻子本
81	葛飾北斎	月下歩行美人図	一幅	紙本着色	文化初期	
82	葛飾北斎	春秋美人図	双幅	絹本着色	文化中期	双幅
83	葛飾北斎	春秋山水図	双幅	絹本着色		双幅
84	葛飾北斎	鐘馗騎獅図	一幅	紙本着色	弘化1年(1844)	
85	蹄斎北馬	墨堤二美人図	一幅	絹本着色	天保頃	
86	蹄斎北馬	蛍狩美人図	双幅	絹本着色	天保頃	双幅
87	蹄斎北馬	桟橋美人図	一幅	絹本着色	天保頃	
88	蹄斎北馬	傾城舟遊図	一幅	絹本着色	天保頃	
89	蹄斎北馬	五節句図	一幅	絹本着色	天保頃	
90	葛飾北岱	立姿美人図	一幅	絹本着色	文化～文政	
91	菱川宗理	遊女と禿図	一幅	絹本着色	享和～文化	
92	安田雷洲	夏姿美人図	一幅	紙本着色	弘化4年(1847)	
93	歌川豊春	芸妓と嫖客図	一幅	絹本着色	寛政前期	
94	酒井抱一	遊女と禿図	一幅	絹本着色	天明7年(1787)	
95	歌川豊国	円窓美人図	一幅	絹本着色	寛政10年(1798)頃	
96	歌川豊国	海浜美人図	一幅	絹本着色	文化末～文政前期	
97	歌川豊広	真崎稲荷参詣図	一幅	絹本着色	寛政初期	
98	歌川豊広	万歳図	一幅	絹本着色	享和～文政	
99	歌川国芳	役者夏之夜図	一幅	絹本着色	天保前期	
100	歌川国貞	岩井半四郎・悪婆の図	一幅	絹本着色	文政末～天保	
101	歌川国政	遊女と禿図	一幅	紙本墨画淡彩	寛政～文化	
102	歌川広重	煙管をもつ立美人図	一幅	絹本着色	文政後期	
103	歌川広重	鬼念仏と美人図	一幅	紙本墨画淡彩	弘化～安政	
						以 上

展覧会名	唐三彩展　洛陽の夢
会期	平成16年7月24日（土）～9月5日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YAB山口朝日放送、河南省文物管理局
後援	中華人民共和国国家文物局、中国大使館、萩市
特別協賛	トヨタ輸送株式会社
特別協力	長岡造形大学
企画協力	大広

(1)趣旨

唐三彩とは、中国で唐時代の７世紀から８世紀に焼成された鉛釉陶器のことで、鉛釉を掛けた上に、酸化銅、酸化鉄、酸化コバルトなど掛け分けることによって、緑、褐色、藍色などの発色を得る色彩豊かな陶器です。白、緑、褐の三色のものが多いのですが、藍が加わった四色のもの、二色のものなども含めて唐三彩と称されます。

唐時代には首都が長安（現在の陝西省西安市）にありましたが、河南省の洛陽は東の副都として栄え、女帝・則天武后の時代には首都となったこともあります。唐三彩は河南省を故郷とし、おおよそ則天武后の治世の頃に大きく発展したやきものです。しかし、唐三彩がいつ誕生し、どのような様式的変化を遂げつつ展開したのかについて、多くの謎に包まれていました。

洛陽は、全国でも唐三彩が最も集中して出土する地域です。唐三彩の著名な産地として、洛陽の東50kmのところにある黄冶窯があります。黄冶窯は唐三彩を焼成する数ある窯の中で最も高品質な製品を生産した窯として知られ、洛陽近郊の唐墓で出土する唐三彩の多くが黄冶窯の製品であることが判明しています。近年、黄冶窯の本格的な発掘調査が行なわれ、唐三彩の製作技術や造型・装飾などの発展について多くのことが明らかになってきています。

本展では、洛陽市安菩墓、偃師市哀皇后墓、偃師市張思忠墓、孟津県屈突季札墓、鞏義市北窯湾唐墓、鞏義市黄冶窯址など、洛陽を中心とする地域から出土した最新の発掘資料を通して、唐三彩の誕生と展開の謎に迫りました。また、唐王朝の貴族文化の煌びやかさや、シルクロードによる西方文化との交流の痕跡などとも合わせて、華麗で独創性あふれる唐三彩の魅力を余すところなく紹介しました。

（2）カタログ

監修　孫 新民(河南省文物考古研究所)
上田秀夫(山口県立萩美術館・浦上記念館)
出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館)
達也(愛知県陶磁資料館)

編集　朝日新聞社、大広
発行　大広
内容　則天武后と唐三彩の時代
ごあいさつ　主催者
ごあいさつ　河南省文物管理局局長　常 俟傳
河南省出土の唐三彩における造型と装飾について／張 文軍(河南博物院院長)
鞏義市黄冶唐三彩窯跡の新発見／孫 新民(河南省文物考古研究所所長)
図版・解説
第一章 唐三彩への道(漢～隋)
第二章 恭陵・哀皇后墓のやきもの(唐・垂拱三年－687年－)
第三章 華麗なる唐三彩の世界(初唐～盛唐)
第四章 三彩・その後(中唐～北宋・金)
第五章 三彩・参考資料

作品関連の墓
河南省出土の唐三彩／出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長)
唐三彩の展開／森 達也(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
日本出土の唐三彩／生田和宏(東北歴史博物館学芸員)
中国唐三彩出土一覧
中国年表
唐三彩出土遺跡分布図
作品目録
　体裁　A4判変形　200ページ

（3）記念講演会
　①日時　平成16(2004)年7月24日(土)　13：30～15：00
　　演題　「則天武后と唐三彩の時代」
　　講師　森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
　②日時　平成16(2004)年7月31日(土)　13：30～15：00
　　演題　「唐時代の俑についてー長安と洛陽を中心にー」(兼・平成16年度第4回美術講座)
　　講師　小林 仁(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

（4）ギャラリーツアー
　日時　毎週日曜日　11：00～12：00
　担当　今村学芸員(学芸課学芸員)

（5）その他
　関連イベント
　ミュージアムコンサート
　「中国悠久の響き～唐時代から現代まで～中国楽器によるコンサート」
日時　平成16(2004)年8月14日(土)　14：00～15：30
出演　江 舟(琴・古筝)、揚 藝(二胡)、周 暁丹(揚琴)
曲目　春江花月夜、梅花三弄、春到清江、空山鳥語、蘇州夜曲　他

作品目録 List of Exhibits

NO.	作品名	時代	出土年／出土地	法量	所蔵先
1	緑褐釉桃都樹 Brown and green glazed pottery of mythical tree (Tao-du tree).	西漢後期 前1世紀	1969年済源市泗澗溝8号墓	高(h)69.3cm 底部幅(bottom w.)15.0cm	河南博物院
2	緑褐釉梟形壺一対 Brown and green glazed pottery flask in the shape of owl.	西漢後期 前1世紀	1969年済源市泗澗溝16号墓	高(h)16.4cm 幅(w)10.7×10.6cm 高(h)16.7cm 幅(w)10.7×10.3cm	河南博物院
3	褐釉楽舞俑5点 Brown glazed pottery figures of a dancer and musicians.	西漢後期 前1世紀	1969年済源市泗澗溝8号墓	高(h)16.0cm 幅(w)6.5×10.6cm 高(h)20.3cm 幅(w)12.0×9.9cm 高(h)20.5cm 幅(w)12.6×8.3cm 高(h)20.6cm 幅(w)12.6×8.3cm 高(h)21.3cm 幅(w)12.5×8.1cm	河南博物院
4	黄釉緑彩三耳壺 Yellow and green glazed pottery jar with three lugs.	北斉・武平六年 (575)	1971年安陽市洪河屯範粋墓	高(h)11.9cm 口径(md)4.6cm 胴径(D)12.0cm 底径(bd)5.5cm	河南博物院
5	黄釉緑彩四耳壺 Yellow and green glazed pottery jar with four lugs.	北斉・武平七年 (576)	1958年濮陽県李雲墓	高(h)23.5cm 口径(md)8.7cm 胴径(D)22.0cm 底径(bd)9.5cm	河南博物院
6	褐釉楽舞文扁壺 Brown glazed pottery pilgrim flask with musicians and dancers.	北斉・武平六年 (575)	1971年安陽市洪河屯範粋墓	高(h)20.2cm 口径(md)6.2×5.2cm 胴径(D)16.0×8.8cm 底径(bd)10.5×6.0cm	河南博物院
7	黄釉鎮墓獣 Yellow glazed pottery figure of tomb guardian.	初唐 7世紀前半	1990年鞏義市魯庄鎮採集	高(h)41.8cm 幅(w)14.3cm 長(l)19.5cm	鞏義市博物館
8	緑褐釉駱駝 Green and brown glazed pottery camel.	隋-初唐 6世紀末-7世紀前半		高(h)49.5cm 長(l)48.0cm 台(base):長(l)32.5cm 幅(w)16.5cm	洛陽博物館
9	藍釉長頸瓶 Blue lead glazed pottery bottle.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)25.0cm 口径(md)9.9cm 底径(bd)8.6cm 胴径(D)12.6cm	洛陽博物館
10	褐釉長頸瓶 Brown glazed pottery bottle.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)26.0cm 口径(md)9.0cm 底径(bd)9.2cm	偃師商城博物館
11	藍釉鉢 Blue lead glazed pottery bowl.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)7.6cm 口径(md)17.1cm 底径(bd)10.1cm	偃師商城博物館
12	藍釉高脚盤 Blue lead glazed pottery stemmed tray.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)6.4cm 口径(md)21.1cm 底径(bd)13.5cm	偃師商城博物館
13	白釉高脚盤 White glazed pottery tray on a flaring foot.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)6.8cm 口径(md)21.1cm 底径(bd)13.7cm	偃師商城博物館
14	緑釉高脚盤 Green glazed pottery tray on a flaring foot.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)7.1cm 口径(md)21.1cm 底径(bd)14.2cm	偃師商城博物館
15	濃緑釉四耳壺 Bluish green glazed pottery jar with four lugs.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)25.1cm 口径(md)6.6cm 胴径(D)15.0cm 底径(bd)7.4cm 底部高(fh)1.2cm	洛陽博物館
16	褐釉四耳壺 Brown glazed pottery jar with four lugs.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市唐恭陵哀皇后墓	高(h)28.4cm 口径(md)10.3cm 胴径(D)23.5cm 底径(bd)11.4cm	洛陽博物館
17	濃緑釉瓢形瓶 Bluish green glazed pottery bottle in the shape of gourd.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)21.6cm 口径(md)2.6cm 胴径(D)16.4cm 底径(bd)7.4cm	偃師商城博物館
18	白釉瓢形瓶 White glazed pottery bottle in the shape of gourd.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)21.3cm 口径(md)2.9cm 胴径(D)16.3cm 底径(bd)7.2cm	偃師商城博物館
19	褐釉有蓋壺 Brown glazed pottery jar with lid.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	総高(H)32.0cm 口径(md)13.5cm 胴径(D)25.6cm 底径(bd)11.3cm	洛陽博物館
20	濃緑釉盤口壺 Bluish green glazed pottery jar.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)14.8cm 口径(md)8.9cm 胴径(D)16.5cm 底径(bd)11.7cm	洛陽博物館
21	濃緑釉龍耳瓶 Bluish green glazed pottery jar.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)32.2cm 口径(md)9.2cm 胴径(D)18.8cm 幅(w)20.5cm 底径(bd)8.2cm	洛陽博物館
22	三彩水注 Three-color glazed pottery ewer.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	高(h)8.7cm 胴径(D)7.6cm 底径(bd)4.5cm	洛陽博物館
23	三彩瓶 Three-color glazed pottery bottle.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市唐恭陵哀皇后墓	高(h)12.0cm 口径(md)4.6cm 胴径(D)7.4cm 底径(bd)4.7cm	洛陽博物館

NO.	作品名	時代	出土年／出土地	法量	所蔵先
24	三彩高脚杯 Three-color glazed pottery bowl on a flaring foot.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市唐恭陵哀皇后墓	高(h)7.8cm 口径(md) 13.0cm 底径(bd) 8.1cm	洛陽博物館
25～28	加彩騎馬俑 Painted pottery horse and rider.	唐・垂拱三年 (687)	1998年偃師市恭陵哀皇后墓	25:高(h)35.6cm 26:高(h)36.8cm 長(l)33.5cm 27:高(h)35.8cm 長(l)32.0cm 台(base):長(l)15.1cm 幅(w) 9.5cm 28:高(h)37.4cm 長(l)32.5cm	偃師商城博物館
29・30	三彩文官俑 Three-color glazed pottery figure of an official.	唐・大周天授二年 (691)	1992年孟津屈突季札墓	29:高(h)66.5cm 幅(w) 16.0cm 長(l)14.5cm 30:高(h)66.5cm 幅(w) 16.0cm 長(l)16.0cm	河南博物院
31・32	三彩武士俑 Three-color glazed pottery figure of a warrior.	唐・大周天授二年 (691)	1992年孟津屈突季札墓	31:高(h)69.0cm 幅(w) 27.0cm 長(l)19.0cm 台高(base h.)7.5cm 32:高(h)69.0cm 最大幅(w) 27.7cm 長(l)14.5cm 台高(base h.)7.5cm	河南博物院
33・34	三彩鎮墓獣 Three-color glazed pottery figure of tomb guardian.	唐・大周天授二年 (691)	1992年孟津屈突季札墓	33:高(h)69.0cm 幅(w) 22.0cm 長(l)22.0cm 34:高(h)63.5cm 幅(w) 22.0cm 長(l)23.5cm	河南博物院
35・36	三彩鎮墓獣 Three-color glazed pottery figure of tomb guardian.	唐・長安三年 (703)	1985年偃師市張思忠墓	35:高(h)70.0cm 36:高(h)62.9cm	偃師商城博物館
37	三彩文官俑 Three-color glazed pottery figure of an official.	唐・長安三年 (703)	1985年偃師市張思忠墓	高(h)71.0cm	偃師商城博物館
38	三彩文官俑 Three-color glazed pottery figure of an official.	唐・長安三年 (703)	1985年偃師市張思忠墓	高(h)67.0cm	偃師商城博物館
39	三彩武士俑 Three-color glazed pottery figure of a warrior.	唐・長安三年 (703)	1985年偃師市張思忠墓	高(h)65.2cm	偃師商城博物館
40	三彩天王俑 Three-color glazed pottery figure of heavenly king.	唐・長安三年 (703)	1985年偃師市張思忠墓	高(h)88.8cm	偃師商城博物館
41	三彩鎮墓獣 Three-color glazed pottery figure of tomb guardian.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)101.0cm 幅(w) 31.9cm 台(base):幅(w) 23.5cm長(l)21.0cm	洛陽博物館
42	三彩鎮墓獣 Three-color glazed pottery figure of tomb guardian.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)105.3cm	洛陽博物館
43	三彩文官俑 Three-color glazed pottery figure of an official.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)111.0cm	洛陽博物館
44	三彩天王俑 Three-color glazed pottery figure of heavenly king.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)112.2cm	洛陽博物館
45	三彩駱駝・三彩牽駝俑 Three-color glazed pottery figure and camel.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	駱駝(camel):高(h)88cm 長(l)71.2cm 台(base)56.0×24.5cm 牽駝俑(man):高(h)65.2cm 台(base)15.5×11.0cm	洛陽博物館
46	三彩馬・三彩牽馬俑 Three-color glazed pottery figure and horse.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	馬(horse):高(h)68.1cm 長(l)80.2cm 台(base)33.6×23.5cm 牽駝俑(man):高(h)61.5cm 幅(w) 22.5cm 台(base)12.5×10.5cm	洛陽博物館
47	三彩騎馬女子俑 Three-color glazed pottery horse and riding woman.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)40.2cm 長(l)35.0cm 台(base)12.4×9.5cm	洛陽博物館
48	三彩黒釉馬・三彩牽馬俑 Three-color and black glazed pottery horse and figure.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	馬(horse):高(h)73.5cm 長(l)84.5cm 台(base)31.5×21.1cm 牽駝俑(man):高(h)61.1cm 幅(w) 21.1cm	洛陽博物館
49	緑釉男子俑 Green glazed pottery man.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)29.1cm 台(base)7.5×6.5cm	洛陽博物館
50	三彩騎馬男子俑 Three-color glazed pottery horse and rider.	唐・景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)40.3cm 長(l)35.8cm 台(base)13.5×10.5cm	洛陽博物館

NO.	作品名	時代	出土年／出土地	法量	所蔵先
51･52	三彩女子俑 Three-color glazed pottery woman.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	51:高(h)33.0cm 52:高(h)32.8cm	洛陽博物館
53	三彩男装女子俑 Three-color glazed pottery woman in man's costume.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)36.2cm　台(base)9.8×8.5cm	洛陽博物館
54	褐釉駱駝 Brown glazed pottery camel.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)26.1cm　台(base)10.2×7.2cm	洛陽博物館
55	褐釉牛 Brown glazed pottery cow.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)13.3cm　台(base)7.2×5.3cm	洛陽博物館
56	白釉鵞鳥 White glazed pottery goose.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)9.6cm　幅(w)9.2cm	洛陽博物館
57	三彩鶏 Three-color glazed pottery fowl.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)16.1cm　幅(w)14.9cm	洛陽博物館
58	褐釉馬 Brown glazed pottery horse.	唐･景龍三年 (709)	1981年洛陽市安菩夫婦墓	高(h)19.9cm　台(base)10.5×6.2cm	河南博物院
59	藍釉浄瓶 Blue lead glazed kundika.	唐 7-8世紀	洛陽東郊唐墓	高(h)23.0cm	河南博物院
60	三彩長頸瓶 Three-color glazed pottery vase.	唐 7-8世紀	1953年洛陽龍門香山寺3号墓	高(h)21.4cm　口径(md)6.8cm 胴径(D)10.4cm　底径(bd)8.0cm	河南博物院
61	三彩花文枕 Three-color glazed pottery pillow with blossom design.	唐 7-8世紀		高(h)4.9cm　幅(w)11.2×9.1cm	鞏義市博物館
62	三彩鴛鴦文枕 Three-color glazed pottery pillow with mandarin duck design.	唐 7-8世紀	1971年洛陽市孟津朝陽郷李村 唐墓	高(h)5.6cm　幅(w)12.0×10.1cm	洛陽博物館
63	黄釉絞胎枕 Brown glazed marble pottery pillow.	唐 7-8世紀	偃師市五岔溝村収集	高(h)7.3cm　幅(w)15.6×10.9cm	偃師商城博物館
64	三彩銭櫃 Three-color glazed pottery treasure chest.	唐 7-8世紀	1930年洛陽市金家溝	高(h)17.8cm　幅(w)21.5×16.6cm	河南博物院
65	三彩貼花宝相華文有蓋三足壺 Three-color glazed pottery tripod jar with applied ornaments.	唐 7-8世紀	洛陽市朱家湾唐墓	総高(H)20.2cm　高(h)17.0cm 口径(md)12.4cm　胴径(D)20.4cm	洛陽博物館
66	三彩有蓋三足壺 Three-color glazed tripod pottery jar.	唐 7世紀	1988年鞏義市芝田二電廠 89号墓	総高(H)20.0cm　高(h)16.3cm 口径(md)14.3cm　胴径(D)21.2cm	鞏義市博物館
67	三彩宝相華文盤 Three-color glazed pottery tray with stamped floral design.	唐 7-8世紀	1979年鞏義市北山口郷 鉄匠炉村採集	高(h)2.7cm　口径(md)18.8cm	鞏義市博物館
68	三彩飛雁文盤 Three-color glazed pottery tray with stamped bird design.	唐 7-8世紀	洛陽市鋼廠59号墓	高(h)6.2cm　口径(md)29.1cm	洛陽博物館
69	三彩宝相華文洗 Three-color glazed pottery deep dish with stamped floral design.	唐 7-8世紀	1988年鞏義市芝田二電廠 38号墓	高(h)7.0cm　口径(md)25.1cm	鞏義市博物館
70	三彩九星盤 Three-color glazed pottery tray with nine cups.	唐 7-8世紀	1995年鞏義市第二紙廠 2号墓	総高(H)6.2cm　径(w)24.8cm 杯(cup):高3.8cm　口径(md)6.5cm 足高(foot　h.)1.0cm	鞏義市博物館
71	三彩盤口壺 Three-color glazed pottery jar.	唐 7世紀	1988年鞏義市芝田二電廠 66号墓	高(h)10.5cm　口径(md)6.7cm 胴径(D)10.5cm　底径(bd)6.8cm 足高(foot　h.)1.0cm	鞏義市博物館
72	三彩高脚杯 Three-color glazed pottery tray on a high flaring foot.	唐 7-8世紀	洛陽市関林配件廠第四倉庫 60号墓	高(h)11.2cm　口径(md)18.9cm 底径(bd)12.5cm	洛陽博物館
73	三彩水盂 Three-color glazed shell shaped pottery cup.	唐 7世紀	1988年鞏義市芝田二電廠 89号墓	高(h)4.3cm　幅(w)9.4cm	鞏義市博物館
74	三彩鴨形水盂 Three-color glazed duck shaped pottery cup.	唐 7世紀	1988年鞏義市芝田二電廠 89号墓	高(h)7.0cm　幅(w)12.0×7.7cm	鞏義市博物館
75	三彩孔雀形角杯 Three-color glazed pottery rhytom in the shape of peacock.	唐 7世紀	1976年鄭州市西郊后庄王	高(h)7.0cm　口径(md)7.0cm 長(l)14.0cm　幅(w)7.0cm	河南博物院

NO.	作品名	時代	出土年／出土地	法量	所蔵先
76	緑釉三足奩 Green glazed pottery of tripod cylindricl jar.	唐 7-8世紀	1993年河南省文物商店征集	高(h)19.5cm 口径(md)17.8cm 胴径(D)18.5cm 底径(bd)17.7cm	河南博物院
77	三彩壺 Three-color glazed jar.	唐 7-8世紀	1998年鞏義市北官庄村採集	高(h)30.0cm 口径(md)8.2cm 胴径(D)20.0cm 底径(bd)9.0cm	鞏義市博物館
78	三彩獣首瓶 Three-color glazed animal head ewer.	唐 7-8世紀	1981年洛陽市■山葛家嶺	高(h)27.7cm 胴径(D)12.6cm 底径(bd)9.1cm	洛陽博物館
79	三彩鳳首瓶 Three-color glazed phoenix-head ewer.	唐 7-8世紀	1965年洛陽市東郷塔湾村	高(h)32.3cm 口径(md)5.32cm 幅(w)16.2cm 底径(bd)9.5cm	河南博物院
80	三彩獣文扁壺 Three-color glazed pottery flask with stamped animal and human design.	唐 7-8世紀	1996年洛陽市電話設備廠 C5M1045墓	高(h)19.7cm 幅(w)15.0cm 底径(bd)11.4cm	洛陽博物館
81	三彩燭台 Three-color glazed pottery candlestand.	唐 7-8世紀	1992年鞏義市芝田二電廠 4号墓	高(h)24.1cm 口径(md)4.6cm 底径(bd)14.3cm	鞏義市博物館
82	三彩灯 Three-color glazed pottery lamp.	唐 7-8世紀	1987洛陽市吉利区唐墓	高(h)45.5cm 口径(md)9.6cm 底径(bd)22.4cm	洛陽博物館
83･84	三彩武士俑 Three-color glazed pottery figure of a warrior.	唐 7-8世紀	1931年洛陽市唐墓	83:高(h)87.3cm 幅(w)32.0cm 84:高(h)86.0cm 幅(w)32.0cm	河南博物院
85	三彩駱駝･三彩牽駝俑 Three-color glazed pottery figure and camel.	唐 7-8世紀	1931年洛陽市唐墓	駱駝(camel):高(h)56.0cm 長(l)39.4cm 幅(w)15.0cm 牽駝俑(man):高(h)41.6cm 幅(w)14.6cm	河南博物院
86	三彩馬･三彩牽馬俑 Three-color glazed pottery horse and figure.	唐 7-8世紀	1930年洛陽市唐墓	馬(horse):高(h)78.0cm 幅(w)84.0cm 厚26.0cm 牽駝俑(man):高(h)62.0cm 厚18.0cm	河南博物院
87	三彩騎馬撃鼓俑 Three-color glazed pottery horse and drumming rider.	唐 7-8世紀	1981年洛陽市龍門地質隊唐墓	高(h)38.6cm 長(l)34.5cm 台(base)17.0×9.0cm	洛陽博物館
88	三彩騎馬楽人俑 3点 Three-color pottery horses and riding musicians.	唐 7-8世紀	1954年洛陽市収集	1:高(h)39.0cm 長(l)36.0cm 幅(w)11.3cm 2:高(h)39.5cm 長(l)33.0cm 幅(w)10.8cm 3:高(h)39.6cm 長(l)35.0cm 幅(w)11.3cm	河南博物院
89	緑釉魚文長曲杯 Green glazed pottery oval cup with fish design.	唐 8-9世紀	鞏義市小黄冶窯址	高(h)4.0cm 口径(md)14.0×11.0cm 底径(bd)5.7×4.0cm	河南博物院
90	三彩水注 Three-color glazed pottery ewer.	唐 8-9世紀	1977年鞏義市賀窯	高(h)10.8cm 口径(md)4.6cm 最大径(D)9.4cm 底径(bd)5.2cm	河南博物院
91	黄釉緑彩有蓋壺 Yellow and green glazed pottery jar with rid.	唐 8-9世紀	1992年鞏義市北窯湾17号墓	総高(H)21.3cm 高20.0cm 口径(md)8.4cm 胴径(D)17.5cm 底径(bd)10.0cm	河南省文物考古 研究所
92	褐釉壺 Brown glazed pottery jar.	唐･大中五年 (851)	1992年鞏義市北窯湾1号墓	高(h)16.7cm 口径(md7.0cm 底径(bd)6.6cm	河南省文物考古 研究所
93	三彩壺 Three-color glazed pottery jar.	唐･大中五年 (851)	1992年鞏義市北窯湾1号墓	高(h)16.7cm 口径(md)7.0cm 胴径(D)12.8cm 底径(bd)7.4cm	河南省文物考古 研究所
94	緑釉壺 Green color glazed pottery jar.	唐･大中五年 (851)	1992年鞏義市北窯湾18号墓	高(h)16.4cm 口径(md)7.2cm 胴径(D)11.3cm 底径(bd)7.3cm	河南省文物考古 研究所
95	三彩塔形壺 Green and brown glazed pottery	唐･大中五年 (851)	1992年鞏義市北窯湾18号墓	総高(H)33.0cm 胴径(D)16.3cm 底径(bd)14.0cm 口径(md)7.5cm 蓋(cover):高(h)7.5cm 径(d)8.4cm	河南省文物考古 研究所
96	緑褐釉刻花牡丹文枕 Green and brown glazed potterypillow with the incised peony design.	北宋-金 11-12世紀	1959年輝県梅渓1号墓	高(h)10.6cm 幅(w)27.8×19.5cm	河南省文物考古 研究所
97	三彩弾琴図枕 Three-color glazed pottery pillow with decoration of playing chinese zither.	金 12世紀	1976年済源市鎮安寺	高(h)17.5cm 幅(w)63.2×25.0cm 底幅(w)(bw)61.0×17.5cm	河南博物院
98	三彩舎利匣 Three-color glazed pottery reliquary in the shape of a shrine dated 998.	北宋･咸平元年 (998)	新密市法梅寺塔地宮	総高(H)47.2cm 胴高(D)41.0cm 幅(w)33.2×33.2cm	河南博物院
99	三彩舎利塔 Three-color glazed pottery reliquary in the shape of a tower dated 999.	北宋･咸平二年 (999)	新密市法梅寺塔地宮	高(h)98.5cm 幅(w)30.5cm	河南博物院

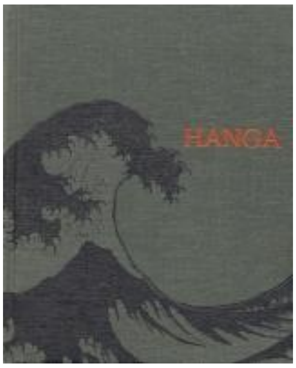
NO.	作品名	時代	出土年／出土地	法量	所蔵先
100	三彩高脚杯 Three-color glazed pottery bowl on a flaring foot.	唐	1987年鞏義市大黄冶窯址採集	高(h)7.7cm 口径(md) 14.1cm 底径(bd) 7.5cm	鞏義市博物館
101	三彩双耳鉢 Three-color glazed pottery bowl with two handles.	唐	1976年鞏義市小黄冶窯址	高(h)11.9cm 口径(md) 14.8cm 底径(bd) 7.2cm	河南博物院
102	三彩三足壺 Three-color glazed pottery tripod jar.	唐	1976年鞏義市小黄冶窯址	高(h)13.8cm 口径(md) 14.8cm 胴径(D)21.6cm	河南省文物考古研究所
103	三彩貼花花文三足壺 Three-color glazed pottery tripod jar with applied ornaments..	唐	1976年鞏義市小黄冶窯址	高(h)16.5cm 口径(md) 15.1cm 胴径(D)22.0cm	河南博物院
104	緑釉注口付鉢 Green glazed pottery bowl with soput.	唐	1976年鞏義市小黄冶窯址	高(h)8.0cm 口径(md) 8.6cm 胴径(D)11.4cm 底径(bd) 6.1cm	河南博物院
105	三彩貼花花文香炉 Three-color glazed pottery censer with applied ornaments(shard).	北宋	1989年宝豊県清涼寺窯址	高(h)18.7cm 口径(md) 17.8cm 胴径(D)21.6cm	河南省文物考古研究所
106 ～109	三彩陶片 Three-color glazed pottery shards.	唐	2002年鞏義市小黄冶窯址		河南省文物考古研究所
110	陶範(杯) Mold of cup.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	径14.5×13.8cm 高(h)6.5cm	鞏義市博物館
111	陶範(杯) Mold of cup.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	径11.2×10.7cm 高(h)5.0cm	鞏義市博物館
112	陶範(杯) Mold of cup.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	幅(w) 12.7×7.3cm 高(h)2.5cm	鞏義市博物館
113	陶範(鳥) Mold of bird.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	幅(w) 8.0×7.4cm 高(h)2.8cm	鞏義市博物館
114	陶範(碗) Mold of bowl.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	径11.1cm 高(h)4.0cm	鞏義市博物館
115	陶範(人面) Original model of mold, human face.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	径6.5×7.2cm 高(h)3.4cm	鞏義市博物館
116	陶範(鬼面) Original model of mold, demon.	唐	1987年鞏義市小黄冶窯址採集	径6.8cm 高(h)2.5cm	鞏義市博物館
117･118	三彩陶片 Three-color glazed pottery shards.	宋-金	1980年済源市勛掌窯址 北宋117-1､2 2002年修武県当陽峪窯址 北宋-金117-3､4 1989年宝豊県清涼寺窯址 北宋 117-5､118		河南省文物考古研究所

展覧会名　HANGA
東西交流の波
Hanga：Waves of East-West Cultural Interchange
会期　平成16(2004)年9月11日(土)～10月24日(日)
会場　山口県立萩美術館・浦上記念館
主催　山口県立萩美術館・浦上記念館、東京芸術大学、毎日新聞社、ＴＹＳテレビ山口
後援　萩市
出品協力　東京国立近代美術館

(1)趣旨
２００４年の日本における版画年を記念し、版画を通して東西文化の交流を振り返る展覧会でした。東京芸術大学には版画の東西文化交流を象徴する一台の銅版画プレス機が所蔵されています。フランスの医師ガッシェ博士が愛用していた１７世紀型木製銅版画プレス機で、版画家長谷川潔氏が息子ポールから譲りうけ、東京芸術大学教授の故駒井哲郎氏の尽力によって、１９７６年同大学の所蔵となったものです。

ガッシェ博士はフィンセント・ファン・ゴッホの最後を看取った人であるとともにアマチュアの画家・版画家としても制作し、印象派の良き理解者であったことが知られています。ファン・ゴッホが生涯でただ一枚制作した銅版画「ガッシェ博士の肖像」はこのプレス機で刷られたものです。

本展の第１部「近世・近代版画の歴史的展開」ではこのプレス機とゴッホの作品を核に、ゴーガン、マネ、ロートレック、北斎、広重など、１９世紀後半の印象派と浮世絵から２０世紀前半までの東西交流の流れを、第２部「現代版画の展開」では東京国際版画ビエンナーレなど国際版画展の受賞作品を中心に現代までいたる版画の多様性を展観し、作品数約１７０点による２部構成で版画における近現代の相互交流の流れを紹介しました。



（2）カタログ
編集　東京芸術大学美術学部版画研究室
東京芸術大学大学美術館
東京新聞
発行　東京新聞
内容　ごあいさつ　主催者
謝辞
「HANGA・東西交流の波」展
／中林忠良(東京芸術大学美術学部教授)
Ⅰ部　近世・近代版画の歴史的展開
版画をめぐる東西イメージの交流－浮世絵の成立とその印象派への影響
／新関公子(東京芸術大学大学美術館教授)
1章　鎖国下の海外情報から学んだ浮世絵系遠近法と蘭学・洋風画系遠近法
2章　浮世絵の全盛期と印象派、印象派の支援者ガッシェ博士のプレス機
3章　幕末・明治の西洋的景観、キヨソーネらが描いた日本風俗と新たな印刷出版文化
4章　創作版画運動－純粋な芸術表現と前衛芸術運動のあいだで揺れる表現
5章　江戸小紋型紙の洗練の極みとその影響
Ⅱ部　現代版画の展開
戦後の版画－70年代を中心に／本江邦夫(多摩美術大学教授・府中市美術館館長)
1章　版画とは何であったか？
2章　版画とは何でありうるのか
版画の種類／技法・用語解説／木戸 均編
東西交流関連年表／山口純寛編
作家索引／野田哲也編
体裁　22.0×17.5cm　239ページ

（3）記念講演会
①日時　平成16(2004)年9月11日(土)　13：30〜15：00
演題　「医師ガッシェ旧蔵の木製銅版画プレス機を巡って
－ファン・ゴッホ、長谷川潔、駒井哲郎」
講師　中林忠良(東京芸術大学教授)
②日時　平成16(2004)年9月23日(祝)　13：30〜15：00
演題　「上方役者絵の歴史と特徴」
講師　北川博子(阪急学園池田文庫研究員)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00〜12：00
担当　鈴木浩平(学芸課主査)

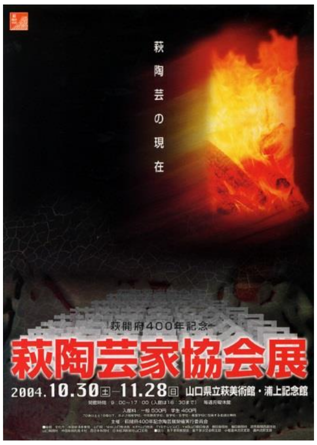
（5）その他
関連イベント
①特別鑑賞会とミュージアムコンサート「版画にみる音の心象－現代箏曲による調べ－」
日時　平成16(2004)年9月12日(日)　18：00〜20：00
展覧会特別鑑賞会　18：00〜18：50／コンサート　19：00〜20：00
出演　福永千恵子(箏曲家)、小泉浩(フルート)
②公開制作「日本の水性木版画の技法」
日時　平成16(2004)年10月10日(日)・17日(日)　①10：00〜12：00／②13：30〜15：30
講師　金 兌赫(版画家)

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	寸法	所蔵先	図録No.
1	奥村政信	両国橋夕涼見浮絵根元	1744年	木版、筆彩	33.0×45.6 cm	東京芸術大学大学美術館	3
2	伝円山応挙	京三条大橋	1759年頃	木版、筆彩	20.0×26.6 cm	町田市立国際版画美術館	6
3	宋紫石	『宋紫石画譜』	1765年刊	木版	27.2×16.8 cm	東京芸術大学附属図書館	8
4	鈴木春重(司馬江漢)	縁端美人	1770-71年頃	木版	27.5×20.6 cm	東京芸術大学大学美術館	9
5	歌川豊春	浮絵和国景跡 江戸深川八幡之図	1770年代	木版	25.0×37.8 cm	東京芸術大学大学美術館	10
6	歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	1772-88年	木版	25.0×36.8 cm	町田市立国際版画美術館	11
7		反射式覗き眼鏡(西洋眼鏡絵付)	18世紀		H65.0×67.0 ×39.3cm	町田市立国際版画美術館	13
8	司馬江漢	三囲之景図	1787年	エッチング、筆彩	25.8×37.8 cm	三重県立美術館	15
9	司馬江漢	サーペンタイン池図	1785年	エッチング、筆彩	24.8×35.9 cm	東京芸術大学大学美術館	16
10		ヨハン・ヨンストン著『自然誌』より「犀」	1657年刊	エッチング	36.0×24.0 cm	東京芸術大学附属図書館	17
11	宇田川玄真編 (挿図作画・版刻:亜欧堂田善)	『医範提綱内象銅版図』	1808年刊	エッチング	30.0×21.0 cm	東京芸術大学附属図書館	22
12	鈴木春信	坐鋪八景　時計の晩鐘	1765年	木版	28.5×20.2 cm	東京芸術大学大学美術館	23
13	喜多川歌麿	高名美人六歌撰　辰巳路考	1795-96年頃	木版	38.8×25.0 cm	東京芸術大学大学美術館	25
14	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	マルセル・ランデ嬢　胸像	1895年	リトグラフ	31.8×23.4 cm	株式会社 丸井	26
15	葛飾北斎	『北斎漫画　十一編』	1823-33年刊	木版	22.8×15.7 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	27
16	葛飾北斎	『福徳和合神積』	制作年不詳	木版	22.4×15.6 cm	東京芸術大学大学美術館	28
17	葛飾北斎	富嶽三十六景　凱風快晴	1831-34年	木版	25.3×37.3 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	29
18	葛飾北斎	富嶽三十六景　神奈川沖浪裏	1831-34年	木版	25.4×37.3 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	30
19	葛飾北斎	富嶽三十六景　尾州不二見原	1831-34年	木版	24.5×36.7 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	31
20	歌川広重	東海道五十三次之内　庄野	1833-34年	木版	24.3×37.4 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	32
21	歌川広重	東海道五十三次之内　御油	1833-34年	木版	24.5×37.6 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	33
22	歌川広重	名所江戸百景　猿わか町よるの景	1856年	木版	36.0×24.2 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	34
23	歌川広重	名所江戸百景　大はしあたけの夕立	1857年	木版	36.3×24.1 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	35
24	歌川広重	名所江戸百景　亀戸梅屋舗	1857年	木版	37.4×25.6 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	36
25	歌川広重	名所江戸百景　京橋竹がし	1857年	木版	36.3×25.0 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	37
26	渓斎英泉	花魁	1830-46年	木版	70.4×24.5 cm	及川茂氏蔵	38
27		『パリ・イリュストレ』誌表紙	1886年刊	リトグラフ	45.2×33.5 cm	個人蔵	39
28	歌川国芳	唐土廿四孝	1848-53年	木版	24.7×17.4 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	40
29	歌川貞秀	大道具大仕掛	1847年	木版	37.0×50.7 cm	東京芸術大学大学美術館	65
30	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1893年	リトグラフ	79.4×61.3 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	41
31	フェリックス・ブラックモン	たげりと小鴨(『腐食銅版画家協会』集第1巻第6集より)	1863年	エッチング	25.8×19.5 cm	町田市立国際版画美術館	43
32	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	イタリアの思い出(『腐食銅版画家協会』集第1巻第8集より)	1863年	エッチング	29.4×22.0 cm	町田市立国際版画美術館	44
33	ポール・ゴーガン	神々の食物	1894-95年	木版(後刷)	18.1×20.2 cm	東京芸術大学大学美術館	45
34	シャルル・メリヨン	屍体公示所	1854年	エッチング	23.0×22.6 cm	町田市立国際版画美術館	47
35	エドゥアール・マネ	オランピア(『30点のオリジナル銅版画集』より)	1905年	エッチング	13.3×18.4 cm	兵庫県立美術館	48
36	カミーユ・ピサロ	水辺牧牛	1890年	エッチング	20.0×13.4 cm	横浜美術館	52
37	二代歌川広重	英吉利西龍道大港	1862年	木版	37.0×73.5 cm	マスプロ美術館	60
38	二代歌川広重	亜墨利加賑之図	1861年	木版	37.0×75.0 cm	マスプロ美術館	61
39	二代歌川広重	横浜風景一覧・神奈川野毛横浜	1861年	木版	37.0×148.0 cm	マスプロ美術館	62
40	三代歌川広重	東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉化石商家盛栄之図	1874年	木版	35.5×72.5 cm	マスプロ美術館	64
41	橋口五葉	此美人	1911年	リトグラフ	101.7×71.6 cm	平木浮世絵美術館	68
42	C.H.デ・フィレネーフェ	石橋助左衛門像(F.v.シーボルト著『NIPPON』フランス語版より)	1835年	リトグラフ	40.0×25.6 cm	東京芸術大学大学美術館	69
43	オットマン・スモリック	坂東彦三郎	1875年	リトグラフ、筆彩	34.9×23.3 cm	町田市立国際版画美術館	71
44	ジョルジュ・ビゴー	『MA-TA』(『日本風俗写生画帖』第3集)	1883-84年刊	エッチング	29.5×21.5 cm	東京芸術大学附属図書館	72
45	チャールズ・ワーグマン	『ジャパン・パンチ』	1883年刊	木版	37.0×26.0 cm	東京芸術大学附属図書館	73
46	エドアルド・キヨソーネ	勲一等贈正二位右大臣大久保公	1879年	エングレーヴィング、メゾチント	51.5×39.6 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	74
47	アントニオ・フォンタネージ	春の太陽	1870年代 (1975/76年の後刷)	エッチング	18.9×12.5 cm	東京国立近代美術館	75
48	合田　清	一日の終り(原画:E. アダン)	1885年頃	木口木版	19.7×30.8 cm	東京芸術大学大学美術館	76
49	小林清親	明治十四年二月十一日夜大火 久松町ニ而見る出火	1881年	木版	20.5×31.5 cm	山口県立萩美術館・浦上記念館	77

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	寸法	所蔵先	図録No.
50	ヘレン・ハイド	東京の桜時	1914年	木版	40.2×25.4 cm	千葉市美術館	79
51	フィンセント・ファン・ゴッホ	ガッシェ博士の肖像	1890年	エッチング	17.8×14.4 cm	東京芸術大学大学美術館	53
52	長谷川 潔	二つのアネモネ	1934年	アクアチント	24.2×19.0 cm	横浜美術館	54
53	駒井哲郎	R夫人像	1950年	アクアチント、モノタイプ	17.6×14.5 cm	個人蔵	55
54	駒井哲郎	R夫人像	1970年	アクアチント、モノタイプ	17.6×14.5 cm	個人蔵	57
55	駒井哲郎	R夫人像	1970年頃	アクアチント	17.7×14.9 cm	東京都現代美術館	58
56	アルフォンス・ミュシャ	ジョブ	1898年	リトグラフ	141.0×94.0 cm	三重県立美術館	81
57	ウジェーヌ＝サミュエル・グラッセ	グラフトン画廊での展覧会のためのポスター	1893年	リトグラフ	147.0×106.0cm	東京芸術大学大学美術館	82
58		『方寸』第2巻第1号表紙（表紙絵「猿」：山本鼎）	1908年刊		30.2×22.5 cm	千葉市美術館	85
59	山本 鼎	漁夫（『明星』合本より）	1904年	木版	16.3×11.0 cm	えびな書店	86
60	山本 鼎	「漁夫」の版木	1904年		16.7×11.3 cm	上田市山本鼎記念館	87
61	山本 鼎	ブルトンヌ	1920年	木版	36.9×28.4 cm	千葉市美術館	89
62	石井柏亭	木場	1914年	木版	23.8×17.6 cm	千葉市美術館	90
63	平塚運一	東京震災跡風景　あさくさ	1923年	木版	28.5×22.3 cm	町田市立国際版画美術館	95
64	岸田劉生	怒れるアダム（「天地創造」2）	1914年（1975年の後刷）	エッチング	12.5×12.5 cm	個人蔵	96
65	フランク・ブラングィン（版刻：漆原木虫）	セントニコラス聖堂	1907年	木版	36.1×28.2 cm	東京芸術大学大学美術館	97
66	戸張弧雁	玉のり	1913/14年	木版	35.2×25.3 cm	千葉市美術館	99
67	エドヴァルト・ムンク	マドンナ	1895年（1902年後刷）	リトグラフ、木版	60.5×44.5 cm	株式会社 丸井	100
68	永瀬義郎	風景	1916年	木版	20.5×14.5 cm	東京国立近代美術館	102
69	藤森静雄	亡びゆく肉（公刊『月映』Ⅳ[死によりてあげらるる生]より）	1914年	木版	18.3×12.7 cm	小野忠重版画館	103
70	オディロン・ルドン	アントワーヌ：これらすべてのものの目的は何か？　悪魔：目的なんてありはしない。（版画集『聖アントワーヌの誘惑』第3集より）	1896年	リトグラフ	59.0×47.0 cm	東京芸術大学版画研究室	104
71	オディロン・ルドン	幻視（版画集『夢の中で』よりⅧ）	1879年	リトグラフ	27.4×19.8 cm	岐阜県美術館	106
72	長谷川 潔	黄道十二宮と女性（『日夏耿之介定本詩集』第3巻装画3）	1926/27年	エッチング	25.4×20.3 cm	千葉市美術館	107
73	竹久夢二	『山へよする』表紙	1919年	木版	15.8×11.0 cm	竹久夢二美術館	108
74	恩地孝四郎	抒情 太陽額に照る（公刊『月映』Ⅴより）	1915年	木版	26.6×20.0 cm	小野忠重版画館	109
75	恩地孝四郎	抒情　あかるい時（公刊『月映』Ⅴより）	1915年	木版	26.5×20.0 cm	小野忠重版画館	110
76	恩地孝四郎	公刊『月映』Ⅵ表紙	1915年	木版	25.5×18.9 cm	小野忠重版画館	111
77	恩地孝四郎	裸膚白布	1929年	木版	23.0×38.4 cm	東京芸術大学大学美術館	112
78		『白樺』第1巻第1号（創刊号）/第1巻第2号（表紙絵：児島喜久雄）	1910年刊		各22.3×15.3 cm	小野忠重版画館	113
79	織田一磨	東京風景　目白坂下	1916年	リトグラフ	45.5×29.9 cm	千葉市美術館	92
80		雑誌『エッチング』合本	1933－34年		27.0×19.5 cm	東京芸術大学大学美術館	114
81	ジェームズ・ホイッスラー	ブラック・ライオン埠頭	1859年	エッチング	15.2×22.8 cm	町田市立国際版画美術館	116
82	関野準一郎	滞船	1936年	エッチング、ドライポイント	28.0×36.3 cm	東京都現代美術館	118
83	駒井哲郎	河岸	1940年頃	エッチング	16.4×24.0 cm	東京都現代美術館	119
84	パブロ・ピカソ	貧しき食事（「サルタンバンク・シリーズ」より）	1904年	エッチング	46.3×37.6 cm	株式会社 丸井	120
85	ワシリー・カンディンスキー	白樺（森の中の女たち）	1907年	木版	14.8×19.1 cm	東京芸術大学大学美術館	122
86	ワシリー・カンディンスキー	「小さな世界」Ⅲ（版画集『小さな世界』より）	1922年	リトグラフ	27.8×23.0 cm	富士ゼロックス株式会社	123
87	岡田龍夫	『形成画報』創刊号表紙	1928年刊		47.0×31.5 cm	小野忠重版画館	125
88	ライオネル・ファイニンガー	干拓地の風車	1919年	木版	42.5×43.5 cm	東京芸術大学版画研究室	126
89	エーリッヒ・ヘッケル	吹雪	1914年	木版	74.5×60.0 cm	東京芸術大学版画研究室	127
90	ケーテ・コルヴィッツ	カール・リープクネヒト追悼	1920年	木版	35.1×50.1 cm	個人蔵	128
91	周煕（周江豊）	労働	1931年	木版	19.3×15.4 cm	神奈川県立近代美術館	129
92	李樺	真夜中の恐怖	制作年不詳	木版	24.3×36.2 cm	神奈川県立近代美術館	130
93	北岡文雄	新しい寡婦 奉天収容所にて	1947年	木版	19.5×17.0 cm	三重県立美術館	131
94	小野忠重	『三代ノ死団』より	1931年	木版	14.9×22.6 cm	小野忠重版画館	132
95	パーヴェル・リュバルスキー	救世騎士（『娼婦』より）	1919-20年	リノカット（後刷）	13.8×8.7 cm	小野忠重版画館	133
96	ワルワーラ・ブブノワ	自画像	1930年代	リトグラフ	22.7×15.4 cm	小野忠重版画館	134

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	寸法	所蔵先	図録No.
97		網に錨文、他　　全９点	江戸時代	型紙	21.0～32.6× 41.8～44.5 cm	東京芸術大学大学美術館	135
98	ソニア・ドローネー	構図(「構図・色彩・構想」より)	1930年	ステンシル	各27.7×21.7 cm	東京芸術大学大学美術館	136
99	アンリ・マティス	『ジャズ』 より	1947年刊	ステンシル	42.2×65.1 cm	株式会社 丸井	137
100	棟方志功	二菩薩釈迦十大弟子	1939-40/48年	木版	各101.5×38.0 cm	町田市立国際版画美術館	138
101	斎藤　清	凝視(花)	1950年	木版	60.0×41.2　cm	東京国立近代美術館	139
102	駒井哲郎	束の間の幻影	1951年	エッチング	18.9×29.2 cm	東京芸術大学大学美術館	140
103	浜田知明	初年兵哀歌(歩哨)	1954年	エッチング、アクアチント	23.8×16.3 cm	東京都現代美術館	141
104	浜口陽三	パリの屋根	1956年	メゾチント	18.4×18.5 cm	東京国立近代美術館	142
105	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1976年	メゾチント	29.0×33.0 cm	富士ゼロックス株式会社	143
106	スタンリー・ウィリアム・ヘイター	ケーユクス	1956年	エッチング、エングレーヴィング	23.7×39.1 cm	東京都現代美術館	144
107	瑛　九	旅人	1957年	リトグラフ	37.5×52.3 cm	東京国立近代美術館	145
108	萩原英雄	悪の華―仇花―	1960年	木版	87.0×58.0 cm	東京芸術大学大学美術館	147
109	菅井　汲	青	1960年	リトグラフ	65.5×44.7 cm	東京国立近代美術館	148
110	加納光於	星　反芻学 I	1962年	インタリオ	33.0×67.3 cm	東京国立近代美術館	150
111	池田満寿夫	動物の婚礼	1962年	ドライポイント、エッチング	36.5×33.7 cm	東京都現代美術館	152
112	池田満寿夫	化粧する女	1964年	ドライポイント、エッチング	37.0×34.5 cm	東京都現代美術館	153
113	池田満寿夫	愛の瞬間	1966年	ドライポイント、エッチング	45.8×41.0 cm	三重県立美術館	154
114	ロバート・ラウシェンバーグ	スカイガーデン	1969年	リトグラフ、スクリーンプリント	213.4×91.5 cm	東京芸術大学大学美術館	158
115	宮下登喜雄	作品A	1964年	木版、インタリオ	53.7×29.0 cm	東京国立近代美術館	159
116	日下賢二	作品43	1966年	木版	54.5×77.0 cm	東京国立近代美術館	162
117	金宗学	歴史(B)	1966年	木版	73.5×51.0 cm	作家蔵	163
118	吹田文明	新らしい星	1967年	木版	91.3×60.8 cm	東京国立近代美術館	164
119	ポール・ヴンダーリッヒ	家で一人で	1967年	リトグラフ	55.0×75.3 cm	東京芸術大学大学美術館	165
120	アンディ・ウォーホル	マリリン・モンロー(10点組)	1967年	スクリーンプリント	各91.5×91.5 cm	東京都現代美術館	166
121	永井一正	作品 C	1968年	エンボッシング	40.2×50.4 cm	東京国立近代美術館	167
122	野田哲也	日記 1968年8月22日	1968年	木版、スクリーンプリント	81.6×81.6 cm	東京芸術大学大学美術館	168
123	野田哲也	日記 1968年9月11日	1968年	木版、スクリーンプリント	81.6×81.6 cm	東京芸術大学大学美術館	169
124	吉原英雄	シーソー1	1968年	リトグラフ、エッチング	100.0×100.0 cm	東京国立近代美術館	170
125	横尾忠則	責め場 A	1969年	スクリーンプリント	90.8×67.8 cm	東京都現代美術館	171
126	横尾忠則	責め場 B	1969年	スクリーンプリント	90.8×67.8 cm	東京都現代美術館	172
127	横尾忠則	責め場 C	1969年	スクリーンプリント	90.8×67.8 cm	東京都現代美術館	173
128	靉　嘔	「レインボー北斎」ポジションA	1970年	スクリーンプリント	90.0×135.0 cm	東京国立近代美術館	175
129	黒崎　彰	闇のコンポジションA	1970年	木版、コラグラフ	80.0×55.0 cm	東京都現代美術館	176
130	天野邦弘	記憶の彼方－4	1970年	木版	76.0×79.0 cm	作家蔵	177
131	日和崎尊夫	卵1(詩画集『卵』より)	1970年	木口木版	22.2×26.1 cm	東京都現代美術館	178
132	田村文雄	夢想記一夜	1970年	リトグラフ	47.6×40.0 cm	東京芸術大学大学美術館	179
133	木村光佑	アウト オブ タイム-25	1970年	リトグラフ、スクリーンプリント	76.0×53.3 cm	東京都現代美術館	180
134	木村光佑	現在位置 フレーミング A	1970年	リトグラフ、スクリーンプリント	74.4×106.8 cm	東京都現代美術館	181
135	船坂芳助	作品S7-1970	1970年	木版	96.0×92.0 cm	京都国立近代美術館	182
136	吉田克朗	Work 9	1970年	スクリーンプリント	78.5×82.0 cm	吉田椠子氏蔵	183
137	高松次郎	THE STORY (2冊のバインダー)	1972年	コピー	36.5×26.0 cm	東京都現代美術館	190
138	二村裕子	Zone <72-9> II	1972年	スクリーンプリント	163.0×189.0 cm	作家蔵	191
139	原　健	No Focus 72-25,26	1972年	リトグラフ	150.0×100.0 cm	京都国立近代美術館	192
140	上矢　津	黒い辞書―CLOSE	1972年	スクリーンプリント	42.5×65.6 cm	東京都現代美術館	193
141	小作青史	私の動物園より(鳥)	1973年	リトグラフ	60.0×90.5 cm	東京都現代美術館	196
142	松谷武判	OBJECT-3	1974年	金属凸版	63.0×52.5 cm	東京都現代美術館	197
143	若江漢字	鉛筆-74-III	1974年	写真、コラージュ	123.5×93.0cm	東京都現代美術館	198
144	島　州一	シーツとふとん	1974年	スクリーンプリント	240.0×160.0 cm	東京都現代美術館	199
145	松本　旻	風景5(Printing 1)	1974年	スクリーンプリント	80.0×87.0 cm	東京都現代美術館	200
146	木村秀樹	Pencil 2-3	1974年	スクリーンプリント	70.0×100.0 cm	東京国立近代美術館	201
147	斉藤　智	Untitle C	1976年	スクリーンプリント	56.5×70.0 cm	東京都現代美術館	203

No.	作家名	作品名	制作年代	技法	寸法	所蔵先	図録No.
148	井田照一	石と紙と石	1976年	リトグラフ	94.0×69.0 cm	作家蔵	204
149	田中　孝	Corner	1978年	スクリーンプリント	70.0×90.7 cm	作家蔵	207
150	李禹煥	関係項 B	1979年	木版	59.5×81.0 cm	東京都現代美術館	209
151	李禹煥	＜遺跡地にて＞より	1984年	リトグラフ	74.5×100.0 cm	富士ゼロックス株式会社	210
152	榎倉康二	一つのしみ No.4	1979年	スクリーンプリント	91.0×116.5 cm	東京都現代美術館	211
153	河口龍夫	関係-質	1979年	ラスト(錆)プリント	64.8×98.6 cm	東京国立近代美術館	212
154	アラン・グリーン	中心から緑へ—黒ー緑	1979年	ドライポイント、ソフトグランド・エッチング	70.0×68.5 cm	国立国際美術館	213
155	長岡国人	ISEKI/PY ⅩⅪ	1979年	エッチング	53.3×71.0 cm	作家蔵	216
156	天野純治	EDGE 80-E-25	1980年	スクリーンプリント	56.5×76.5 cm	作家蔵	217
157	河内成幸	Produce (Ⅰ)	1981年	木版	60.5×90.8 cm	作家蔵	218
158	中林忠良	転位'82-地-Ⅱ(秋)	1982年	エッチング、アクアチント	57.0×49.0 cm	作家蔵	219
159	中林忠良	転位'85-地-Ⅰ	1985年	エッチング、アクアチント	57.0×49.0 cm	作家蔵	220
160	キース・へリング	無題	1983年	木版	65.0×50.0 cm	個人蔵	221
161	園山晴巳	d'encres-k	1984年	リトグラフ	79.0×55.0 cm	作家蔵	222
162	小山愛人	My Landscape J-12-87	1987年	スクリーンプリント	71.0×92.0 cm	作家蔵	224
163	池田良二	再生される扉	1988年	フォト・エッチング、ドライポイント、メゾチント	69.5×57.5 cm	東京国立近代美術館	226
164	河東　哲	福岡からの手紙	1989年	エッチング、コラージュ	65.6×50.0 cm	三重県立美術館	228
165	ホルスト・ヤンセン	拾得	1990年	エッチング	59.5×49.4 cm	坂本直昭氏蔵	230
166	尹明老	ANONYMOUS LAND 9101	1991年	リトグラフ	70.0×100.0 cm	東京芸術大学版画研究室	231
167	山口啓介	繭の記憶	1991年	エッチング	156.0×180.0 cm	町田市立国際版画美術館	232
168	小林敬生	蘇生の刻-白い朝-92-12-	1992年	木口木版	100.0×85.0 cm	作家蔵	234
169	廖　修平	ガーデン・パーティ ＃９	1992年	スクリーンプリント、エンボッシング	62.7×90.5 cm	作家蔵	235
170	ウォルター・ジュール	Measurement of Void ; A device to accelerate wear-2	1996年	エッチング、リトグラフ	108.0×78.2 cm	作家蔵	236
171	秋岡美帆	光の間 99-8-23-2	1999年	NECOプリント	218.0×275.0 cm	三重県立美術館	237
		17世紀型木製銅版画プレス機				東京芸術大学大学美術館	



展覧会名　萩開府400年記念
萩陶芸家協会展
-萩陶芸の現在-

会期　平成16(2004)年10月30日(土)～11月28日(日)

会場　山口県立萩美術館・浦上記念館

主催　萩開府400年記念陶芸展開催実行委員会

後援　文化庁、中国経済産業局、山口県、NHK山口放送局、KRY山口放送、TYSテレビ山口、YAB山口朝日放送、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、山口新聞社、中国新聞防長本社、西日本新聞社、日本経済新聞社山口支局

協力　表千家萩教授会、裏千家淡交会萩支部、小堀遠州流萩支部、遠州流萩支部

---

(1)趣旨

茶の湯の世界での「一楽、二萩、三唐津」という品等が知られるように、従来の「萩焼」観は茶碗・水指などの茶陶制作が主流とされています。しかし、この四百年におよぶ作陶の歴史を振り返るとき、そこには碗・皿・鉢といった普段使いの各種の器や細工を凝らした置物など、茶陶以外にも多様な造形の展開があったことが認められます。この地で造られた施釉陶器の「萩焼」としての認知は、早くは17世紀半ばの茶会記に記載の初見例としての茶碗もありますが、一般的に広く知られるようになったのは明治以降のことでしょう。その頃から現在通用しているような「萩焼」観が形成されてきたものとおもわれます。

慶長九年(1604)に防長二国(現在の山口県域と同じ)を領有する毛利藩での施釉陶器生産は、その城下町萩に御用窯「窯薪山御用焼物所」として開かれた松本焼(萩市)にはじまります。以後、17世紀半ばに領内大津郡に「三之瀬焼物所」を開窯して深川焼(長門市)が興され、江戸中期には松本でも御用窯生産態勢の拡張と強化が図られています。また幕末には萩の小畑地区で磁器焼成がおこなわれるなど、幕藩体制下における有力な窯業地の一つとして旺盛な生産活動が繰り広げられていました。この地における江戸期の作陶の態様が、時機に応じた進取のスタイルを取り込みつつ、独自性のある造形をめざしていたことは、古窯や消費地遺跡からの出土資料や、近年調査が進んだ伝世品におけるバリエーションの豊富さからも明らかになっています。

旧藩の庇護を失った明治以降、一時的には近代的窯業の大量生産品に圧倒されて廃業する窯元もありました。それでも松本や深川をはじめ、小畑や新たに開窯した宮野(山口市)では、生産管理の行き届いた御用窯の系譜にふさわしい独自の気品と風格を伝える茶陶の精品を制作し、「萩焼」として内国勧業博覧会やパリ万国博覧会など各種の博覧会や共進会へ積極的に出展するなかで販路の拡大を図るなど、この地の作陶の近代は、苦境下にあっても精力的な生産・販売活動を繰り広げることでその命脈を保っていこうとしました。このことが現在の「萩焼」観、つまり茶陶という趣味性の高い陶器に特化した「萩焼」というイメージを形成していくことに繋がっていきます。

20世紀に入った大正後半以降の近代的個人作家意識の昂りのなかで、わが国の作陶の方向性は大きな転換点をむかえます。「萩焼」においても産地の伝統的な素材や技術を拠り所としながら、作陶に個人的な造形的表現を求める作家活動、つまり明確な芸術意識による創作活動としての陶芸が展開されるようになりました。これには陶工から陶芸家へという作陶環境の条件整備も必要でしたが、先ずなによりも「萩焼」の古技法を修得するうちに知覚し得た閾を超えようとする自己との壮絶な闘いがありました。この超克こそが自己の表現意欲を省察し、そして率直な造形を表出する方向へと醇化させていったのです。とくに太平洋戦争後には産地での自由な制作や地域にとらわれない制作など、従来の「萩焼」の素材や技術を研究・開発するなかで、それらを単に伝承するというのではなく、自己の造形思考や生活感情のなかで創造的に活用し、表現目的の重要な部分として再構築するなど、より拡がりをもった作陶活動として結実しています。わが国陶芸の20世紀を代表する三輪休和(十代休雪)や吉賀大眉、そして現代陶芸の最高峰として斯界を牽引する三輪壽雪(十一代休雪)の造形は、その先進的な活動例といえるでしょう。

萩開府四百年を記念して開催されるこのたびの展覧会は、進取の気分が風土化したなかで営々と培われてきた作陶の伝統を受け継ぎながら、造形的表現に新たな地平を拓こうと志す、萩陶芸家協会所属の陶芸家たちを一望する展観です。素材と技術を造形思考の出発点としながら、個人的表現を模索するなかで立ち上げた、陶芸的造形の意欲作をご覧いただきたい。

（2）記念講演会
日時　平成16年10月30日(土)　13：30～15：00
演題　「現代陶芸入門」
講師　金子賢治氏(東京国立近代美術館　工芸課長)

（3）その他
関連イベント
呈茶席
日時　会期中の土曜・日曜・祝日　10：30～
協力　表千家萩教授会、裏千家淡交会萩支部、
小堀遠州流萩支部、遠州流萩支部

図録番号	作品名称	氏名	高さ(cm)	径(cm)		展示場所
1	ジョッキ（五客組）	五十嵐　茂典	19.0〜16.0	19.5×12..2〜 16.5×12.2		3
2	沈黙碗	伊藤　廣幸	11.0	13.7		6
3	ルンルン香合	今道　佳子	12.0〜5.0	7.0〜3.5		6
4	芦花	岩﨑　真理子	110.0	150.0		2階ロビー
5	鯉	植草　達郎	25.0･27.0	W50.0×32.0･ 57.0×39.0		3
6	初秋の朝	内村　幹雄	57.0	W29.5×14.0		3
7	彩色壷	浦　裕	33.0	43.0		4
8	白釉窯変壷	岡田　裕	35.0	35.0		6
9	GO	桶屋　勝枝	42.0	W30.0×30.0		3
10	緑釉花器	小田　光治	17.0	48.0		4
11	彫文鉢	小野　光龍	9.5	49.0		3
12	結晶釉窯変壷「山水」	片山　貴夫	40.0	48.0		3
13	ココロノカケラ	金子　司	127.5	W23.0×20.5		5
14	天空の華	金子　信彦	15.0	93.0		5
15	灰被水指	兼田　佳炎	16.5	15.3		6
16	白釉耳付水指	兼田　三左衛門	18.7	18.6		6
17	風文鉢	兼田　知明	9.5	50.5		3
18	WORK’04「峻」	兼田　昌尚	107.0	W47.0×46.0		6
19	灰釉花器	黒田　岳	22.0	17.0		6
20	挽歌	小久保　凌雲	52.0	W55.0×38.0		3
21	組曲	厚東　孝明	27.0	20.0	W26	6
22	陶彩景秋草図八角陶筥	坂　髙麗左衛門	13.8	37.7	37.7	5
23	白萩釉窯変壷	佐久間　正和	26.0	26.0		6
24	龍彫文窯変大皿	柴田　武師	12.0	58.0		3
25	萩粉引鬼熊川茶盌	清水　啓功	8.5	14.0		6
26	en	庄　圭一郎	74.0	W40.0×40.0		3
27	青雲彩輪花鉢	仙石　哲心	11.5	43.0		3
28	遥	竹下　敬三	40.0	35.0		3
29	鼓動	田中　真一	33.0	30.0		4
30	萩深鉢	玉村　松月	18.5	42.0		3
31	萩掛分壷	玉村　信一	41.5	28.6		3
32	紅萩茶盌	玉村　登陽	8.8	12.5		6
33	白萩鉄流紋鉢	止原　伸郎	14.3	52.5		3
34	白萩茶盌	中原　國輔	10.5	13.7		6
35	「侘び。寂」	中村　眞一	40.3	W42.0×53.5		3
36	つぼ	西村　正陸	30.0	34.0		6
37	青萩流文大皿	納冨　晋	7.5	55.0		3
38	寿老人置物	納冨　鳥雲	30.0	W5.0×32.0		6
39	萩刀刻組皿（5客）	納冨　尚子	3.0	20.0		3
40	萩黒彩結晶大皿	野坂　和左	11.5	46.0		3
41	萩伊羅保釉茶盌	野坂　康起	10.0	13.0		6
42	ホピの警告-第五世界への美しい移行	秦　奈生美		195.0		2階ロビー
43	萩緋色鉢	波多野　善蔵	14.8	50.2		3
44	萩緋色壷	波多野　英生	38.0	39.7		4
45	萩獅子置物	服部　要萩	40.0	W30.0×25.0		6
46	化粧掛分窯変花器	樋口　大桂	44.5	31.0		4
47	花器	福光　京子	45.0	40.0		4
48	MOVEー天空ー	船崎　透	90.0	W60.0×20.0		3
49	予感（春）	ペアソン　ニィルス　ベアティル	23.0	W71.0×16.0		6
50	白萩窯変四方皿	外園　元萩	10.0	W32.0×48.0		3
51	響	増野　陶花	57.0	W15.0×32.0		4

図録番号	作品名称	氏名	高さ(cm)	径(cm)		展示場所
52	白萩櫛目流紋月耳花器	松浦　洞心	40.0	27.0		4
53	星雲天目黒萩茶盌	松浦　無元	9.5	13.0		6
54	灰釉花器　草原のいぶき	松尾　邑華	4.0	39.0		4
55	龍雲仙人之図大皿	松尾　優子	7.0	53.5		3
56	黒陶緋色花器	松野　龍司	39.0	W47.5×19.0		4
57	ノン・タイトル	丸山　陶心	50.0	W100.0×50.0		3
58	花冠	三輪　和彦	10.5	W28.0×28.5		5
59	卑弥呼の書	三輪　休雪	24.0	W42.0×58.0		5
60	鬼萩割高台茶碗	三輪　壽雪	10.9	17.2		6
61	茶盌	三輪　敏之	6.5	15.5		6
62	妙	三輪　華子	13.5	22.2	21.7	3
63	萩茶盌	椋原　佳俊	9.3	14.8		6
64	萩櫛目篦彫茶碗	守繁　徹	9.5	13.5		6
65	面取くりぬき花入	森島　一伸	27.0	W17.5×15.0		6
66	息子	守田　唐七	12.5	W84.0×63.0		3
67	壺中天	藪下　康一	48.0	41.0		4
68	萩茶盌	山根　清玩	9.2	14.5		6
69	茶碗	山本　京山	9.5	14.8		6
70	Wan's	吉岡　恵	10.5～10.0	17.0		3
71	壺	梅田　泰彦	28.5	33.0		6
72	白萩長方皿	大谷　雅彦	10.0	W50.5×34.5		3
73	化粧抜き花器	大野　誠二	46.6	W41.0×22.2		4
74	ノコサレシMONONO風景	小川　浩延	200.0	(幅)800.0	(奥)150.0	1階ロビー
75	萩茶盌	金本　明夫	10.0	13.0		6
76	面取大鉢	坂倉　和人	11.0	40.0		3
77	灰被四方花器	坂倉　新兵衛	30.0	W14.0×14.0		6
78	萩剥離窯変花器	坂田　泥華　(慶造)	31.5	36.0		5
79	萩剥離釉窯変鶴首花入	坂田　泥珠　(十四代泥華)	25.0	17.5		6
80	萩白釉窯変盒	新庄　貞嗣	15.3	40.5		3
81	萩灰被一重口水指	田原　陶兵衛	15.0	18.0×17.5		6
82	彩土化粧櫛目文花器	上田　敦之	54.0	W44.0×15.5		4
83	線刻薊文壷	大井　正則	31.0	32.0		6
84	宙	川口　裕子	40.0	W140.0×100		3
85	裂面白摘壺	齊藤　美明	35.5	41.5		3
86	列状文花生	田中　講平	32.0	30.0		6
87	萩灰被花入	田村　悟朗	28.5	18.0×20.0		6
88	羊頭鉢	永地　博正	25.5	50.0×41.0		3
89	焼〆刻文水指	大和　潔	21.0	W25.0×20.0		6
90	粉引炎彩花器	大和　努	40.0	W50.0×40.0		4
91	萩井戸型茶碗	大和　敏男	9.0	W15.7～15.8		6
92	萩彩色深鉢	大和　信昭	10.5	43.0		3
93	YUKI FORME OF ART	大和　稔	23.0	W75.0×42.0		3
94	波濤海流文長方陶筥	大和　保男	15.5	W53.5×18.0		3
95	窯変掛分皿	大和　祐二	7.0	51.0		3
96	萩茶碗	大和　吉孝	9.0	15.0		6
97	実	横山　知仔	30.0	W36.0×40.0		3
98	萩炭化鉢	吉野　桃李	11.8	43.4		3
99	萩井戸茶盌	脇本　定三	9.2	15.2		6
100	CASANOVA	アッヅォリ　エリック	55.0	21.0		3
101	象嵌角扁壺	伊藤　一華	45.0	W20.0×8.5		4
102	isolation fixity	岩佐　ゆく	46.0	(幅)114.0	(奥)5.0	4
103	萩焼透彫菊花文花瓶	嶋本　葉介	25.0	25.0		6

図録番号	作品名称	氏名	高さ(cm)	径(cm)		展示場所
104	萩彩泥六面壺	末次　観節	31.0	W39.5×36.0		4
105	1959年生まれのアニミズム	中島　大輔	55.0	35.0×23.0		3
106	井戸茶盌	平野　豊成	8.3	15.2		6
107	灰被壺	宮田　佳典	26.0	24.0		3
108	種の記憶	森野　清和	48.0	57.0×60.0		3

展覧会名	シリーズ山東文物５ 小さな御仏たち展
会期	平成16(2004)年12月11日(土) ～平成17(2005)年3月13日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、 朝日新聞社、YAB山口朝日放送
後援	萩市

(1)趣旨

博興(はっこう)県の位置する山東省中北部、黄河下流の平原地帯は、4世紀後半から5世紀半ばにかけて、鮮卑(せんぴ)族拓跋(たくばつ)氏の興した北魏(ほくぎ)王朝によって徐々にその版図となり、以後この地域は6世紀末に北周(ほくしゅう)から出た隋(ずい)によって中国の統一が成されるまで、東魏(とうぎ)、北斉(ほくせい)と華北の東半を領有する北朝系の王朝が盛衰を繰り返しました。

中国の南北朝時代には、大伽藍の仏寺に在家を含む衆生の信仰が集中するなかで、仏教的来世観に現世への福音をあわせて期待するところから、仏寺への奉献を目的として数多くの仏像が制作されています。それらは大小の石仏であったり、また掌上に載るほどの小さな金銅仏であったりしました。

今回の展覧会では、博興県郊外の崇徳(すうとく)村など数村にまたがる広大な龍華寺(りゅうげじ)遺址発見の、北魏から隋に至る南北朝時代の金銅仏のなかから、紀年銘があり、かつ美術史的価値の高い作例を中心に73件を展示し、中国仏教美術の珠玉ともいえる造形的表現を紹介しました。

（2）カタログ

監修　舒 立臣(山東省博興県博物館館長)
編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館
内容　ごあいさつ　山口県立萩美術館・浦上記念館
はじめに／舒 立臣(山東省博興県博物館館長)
龍華寺遺址／張 淑敏(山東省博興県博物館副館長)
博興県出土の金銅仏について／張 淑敏
山東省博興県金銅仏の造形的特徴について
－線的造形と塊量的造形－
／岩井共二(山口県立美術館専門学芸員)
図版
作品解説
年表
出品目録
体裁　A4判　88ページ

（3）記念講演会

日時　平成16(2004)年12月11日(土)　13：30～15：00
演題　「博興県龍華寺遺址出土の小金銅仏について」
講師　張 淑敏(山東省博興県博物館副館長)

（4）ギャラリーツアー

日時　12月12日(日)・26日(日)・1月9日(日)・23日(日)・2月13日(日)・27日(日)
3月13日(日)　11：00～12：00
担当　石崎泰之(学芸課主任)

No.	名称	時代	制作年	西暦	文物級別	通高(cm)	幅(cm)	像高(cm)	出土地	出土年
1	王上造二仏並坐像	北魏	太和二年	478	1	14.6	7.7	4.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
2	落陵委造観音菩薩立像	北魏	太和二年	478	2	15.8	6.7	4.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
3	仏立像	北魏	太和八年	484	2	11.3	4.5	5.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
4	程暈造仏坐像	北魏	太和九年	485	3	8.5	3.8	2.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
5	丁花造仏立像	北魏	太和二十一年	497		(残高)10.1	6.2	6.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
6	石景之造二仏並坐像	北魏	景明元年	500	2	13.4	6.2	4.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
7	朱徳元造観音菩薩立像	北魏	正始二年	505	2	15.0	6.5	6.6	陳戸鎮崇徳村	1983年
8	□世基造二仏並坐像	北魏	正始二年	505	3	12.2	5.5	3.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
9	張鉄武造二仏並坐像	北魏	正始四年	507	3	13.3	6.0	4.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
10	明敬武造観音菩薩立像	北魏	永平四年	511	2	17.0	8.0	6.7	陳戸鎮崇徳村	1983年
11	仏坐像	北魏	熙平二年	517	2	13.9	5.6	4.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
12	項寄造仏坐像	北魏	正光四年	523	3	7.0	2.5	2.6	陳戸鎮崇徳村	1983年
13	紀智□造仏立像	北魏	永安二年	529	3	8.1	3.6	4.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
14	紀和遵造仏立像	北魏	永安二年	529	3	7.7	3.8	3.9	陳戸鎮崇徳村	1983年
15	仏立像	北魏	永安二年	529	3	8.0	3.6	4.3	陳戸鎮崇徳村	1983年
16	仏立像	北魏	永安三年	530	3	7.4	6.3	3.6	陳戸鎮内村落	1984年
17	孔雀造弥勒三尊像	北魏	普泰二年	532	2	23.0	9.5	(主尊)8.3、(脇侍)6.4	陳戸鎮崇徳村	1983年
18	馮貳郎造三尊像	北魏	太昌元年	532	1	24.0	9.0	(主尊)8.5、(脇侍)6.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
19	二仏並坐像	北魏			3	12.5	5.8	3.3	陳戸鎮崇徳村	1983年
20	仏坐像	北魏			3	(残高)10.0	4.2	5.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
21	仏坐像	北魏			3	18.0	7.5	7.8	陳戸鎮崇徳村	1983年
22	薛明陵造仏坐像	東魏	興和二年	540	3	7.0	2.7	1.8	陳戸鎮崇徳村	1983年
23	項智坦造仏坐像	東魏	興和四年	542	3	12.2	5.0	4.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
24	程次男造観音菩薩立像	東魏	武定三年	545	2	13.7	5.4	6.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
25	昧妙造仏立像	東魏			2	21.0	10.5	11.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
26	仏三尊像	東魏			2	9.7	4.1	(主尊)4.9、(脇侍)2.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
27	仏立像	東魏～北斉				(残高)7.0	2.8	3.8	陳戸鎮崇徳村	1983年
28	仏立像	東魏				15.0	5.8	7.5	湖濱鎮河東村	1981年
29	張茄喜造菩薩半跏像	東魏			2	13.5	6.0	8.3	陳戸鎮崇徳村	1983年
30	菩薩立像	東魏			3	12.3	4.2	10.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
31	菩薩立像	東魏			3	6.0	2.5	5.3	陳戸鎮崇徳村	1983年
32	菩薩立像	東魏				7.0	2.3	6.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
33	薛明陵造菩薩立像	北斉	天保五年	554	1	17.7	6.5	7.6	陳戸鎮崇徳村	1983年
34	孔昭俤造弥勒交脚像	北斉	河清三年	564	2	28.0	26.0	9.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
35	□思保造仏立像	北斉	河清三年	564	2	16.2	6.0	5.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
36	孫天ゆう造観音菩薩立像	北斉	武平元年	570	3	13.4	4.2	4.2	陳戸鎮崇徳村	1983年
37	劉樹い造観音菩薩三尊像	北斉	武平二年	571	2	13.3	7.1	(主尊)4.0、(脇侍)3.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
38	仏立像	北斉			3	15.0	5.8	11.5	湖濱鎮河東村	1981年
39	仏立像	北斉			3	15.5	6.1	6.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
40	仏三尊像	北斉			3	16.5	8.0	(主尊)8.4、(脇侍)5.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
41	菩薩三尊像	北斉			3	11.0	4.9	(主尊)3.4、(脇侍)2.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
42	観音菩薩三尊像	北斉				(残高)14.3	6.5	(主尊)4.0、(脇侍)2.7	陳戸鎮崇徳村	1983年
43	菩薩三尊像	北斉			3	11.5	5.0	(主尊)3.3、(脇侍)2.4	陳戸鎮崇徳村	1983年
44	菩薩立像	北斉～隋			3	10.3	3.2	8.9	陳戸鎮崇徳村	1983年
45	菩薩立像	北斉			3	16.7	4.0	13.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
46	光背	北斉				(残高)12.5	(残幅)12.9		陳戸鎮崇徳村	1983年
47	台座	北斉				2.5	(頂径)4.0、(底径)7.2		陳戸鎮崇徳村	1983年
48	仏立像	隋	開皇七年	587	3	13.6	4.4	4.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
49	張見造観音菩薩三尊像	隋	仁寿元年	601	2	21.2	11.2	(主尊)8.6、(脇侍)6.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
50	仏三尊像	隋	仁寿三年	603	3	13.2	4.8	(主尊)4.5、(脇侍)4.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
51	藺鉄造仏立像	隋			1	20.7	7.0	11.4	陳戸鎮崇徳村	1983年
52	仏倚坐像	隋			2	26.0	9.2	19.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
53	仏立像	隋			3	16.0	3.1	13.5	陳戸鎮崇徳村	1983年
54	比丘立像	隋			3	6.5	1.1	4.7	陳戸鎮内村落	1984年
55	仏立像	隋	開皇三年	583		5.9	2.9	2.8	陳戸鎮内村落	1984年
56	仏坐像	隋			3	(残高)10	4.2	6.3	陳戸鎮崇徳村	1983年
57	仏坐像	隋				(残高)9.5	4.5	6.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
58	仏坐像	隋			3	8.3	2.9	2.4	陳戸鎮内村落	1984年
59	仏立像	隋			3	8.7	2.5	3.0	陳戸鎮崇徳村	1983年
60	仏三尊像	隋			3	(残高)10.9	10.5	(主尊)6.3、(脇侍)6.1	陳戸鎮崇徳村	1983年
61	仏三尊像	隋			3	15.0	6.2	(主尊)5.3、(脇侍)3.6	湖濱鎮河東村	1981年
62	仏三尊像	隋			2	19.0	11.0	(主尊)6.0、(脇侍)5.8	湖濱鎮河東村	1981年
63	菩薩立像	隋			3	10.0	3.0	3.3	陳戸鎮崇徳村	1983年

64	菩薩立像	隋		18.0	5.0	12.5	湖濱鎮河東村 1981年
65	菩薩立像	隋		20.0	4.8	18.2	陳戸鎮崇徳村 1983年
66	菩薩立像	隋	3	(残高)18.8	4.8	13.7	陳戸鎮崇徳村 1983年
67	観音菩薩立像	隋	3	22.8	5.5	18.2	陳戸鎮崇徳村 1983年
68	菩薩立像	隋	3	14.0	5.2	7.5	陳戸鎮崇徳村 1983年
69	菩薩立像	隋	3	19.0	6.5	10.5	陳戸鎮崇徳村 1983年
70	菩薩立像	隋	2	20.8	7.0	12.1	陳戸鎮崇徳村 1983年
71	天王立像	隋	3	11.0	3.2	9.8	陳戸鎮崇徳村 1983年
72	菩薩立像	隋		(残高)6.0	2.6	5.0	陳戸鎮内村落 1984年
73	托山力士	隋		(残高)5.3	2.5		陳戸鎮崇徳村 1983年

展覧会名	2005年日本国際博覧会開催記念 瀬戸陶芸の精華展
会期	平成17年4月23日（土）～6月12日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、瀬戸市、NHK山口放送局、読売新聞西部本社、KRY山口放送、NHKちゅうごくソフトプラン
後援	文化庁、㈶2005年日本国際博覧会協会、萩市
協力	日本通運
企画協力	NHK中部ブレーンズ

(1)趣旨

2005年3月25日から9月25日まで「2005年日本国際博覧会」が開催されました。博覧会の会場となる愛知県瀬戸市の南東部に広がる東部丘陵地帯は、古代から現代に至るまで「やきもの」づくりを先導する地として発展してきました。これは、良質な原料を大量に埋蔵していたことや、永い歴史と伝統により生み出された技術力・発想力・美的感覚によって、「瀬戸陶芸」が花開いたからです。

10世紀後半に初めて窯が築かれて以来、進化を続けてきた瀬戸陶芸は、中世唯一の施釉陶器「古瀬戸」、茶の湯の文化とともに発展した「黄瀬戸」・「志野」・「織部」、写実的で華麗な「瀬戸染付」など、時代ごとにその芸術性を昇華させ、陶芸史に独自の存在感を示すことになります。これらの瀬戸陶芸は、国内のみならず海外にも数多く旅立っていきました。

本展は、歴史の中で移り変わっていきながら、日本のやきものづくりをリードしていった「瀬戸陶芸」を、多彩な作品によって紹介するものでした。

（2）カタログ

編集　瀬戸市美術館、NHK名古屋放送局、NHK中部ブレーンズ
発行　NHK名古屋放送局、NHK中部ブレーンズ
内容　ごあいさつ　主催者
はじめに
Ⅰ．瀬戸陶芸の始まりと発展　奈良時代－室町時代
Ⅱ．瀬戸陶芸の多様化　安土桃山時代－江戸時代
Ⅲ．瀬戸陶芸の世界への旅立ち　明治時代
Ⅳ．瀬戸陶芸の新たな挑戦　大正時代－現在
世界の陶都　瀬戸
瀬戸陶芸の発祥／藤澤良祐(愛知学院大学文学部教授)
瀬戸陶芸の多様化／仲野泰裕(愛知県陶磁資料館学芸部長兼学芸課長)
近代の瀬戸陶芸／服部文孝(瀬戸市美術館学芸員)
瀬戸陶芸の展開－明治後半から今日まで－
／唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課主任研究官)
作家紹介・略歴
年表
参考文献
作品リスト
The Birth of Seto Ceramics／Fujisawa Ryosuke
The Diversification of Seto Ceramics／Nakano Yasuhiro
Seto Ceramics in the Modern Age／Hattori Fumitaka
The Development of Seto Ceramics
－From the End of the Meiji Period to the Present Day／Karasawa Masahiro
Brief Biography
List of Works
体裁　A4判変形　236ページ

（3）記念講演会
①日時　平成17(2005)年4月23日(土)　13：30～15：00
演題　「瀬戸陶芸の歴史と魅力」
講師　服部文孝(瀬戸市美術館学芸員)
②日時　平成17(2005)年5月14日(土)　13：30～15：00
演題　「瀬戸陶芸の展開ー明治後半から今日までー」(兼・平成17年度第1回美術講座)
講師　唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課主任研究官)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　藤村忠範(学芸課主任)

No	コーナー	指定	作品名	制作年代	作者名	法量 高さ	口径	胴径	底径	所蔵先
1	Ⅰ		須恵器長頸瓶	古墳時代後期(7世紀後期)	猿投窯(愛知県一宮市浅井町尾関「岩塚古墳」出土)	45.9	17.8	29.2	14.8	一宮市博物館
2	Ⅰ	中津川市指定文化財	須恵器水瓶	奈良時代(8世紀後期)	猿投窯(岐阜県中津川市阿木出土)	21.7	4.6	10.2	6.6	中津川市教育委員会
3	Ⅰ	愛知県指定文化財	灰釉短頸壺	奈良時代(8世紀後期)	猿投窯(愛知県名古屋市守山区小幡緑地公園出土)	23.6	12.4	30.2	17.5	愛知県陶磁資料館
4	Ⅰ		灰釉鳥形平瓶	平安時代(9世紀前期)	猿投窯(伝　矢作川川底出土)	17.0	7.9	19.8	三脚	愛知県陶磁資料館
5	Ⅰ		灰釉宝相華文浄瓶	平安時代(9世紀前期)	猿投窯(千葉県市原市「荒久遺跡」出土)	31.3	—	11.6	7.7	市原市教育委員会
6	Ⅰ	重要有形民俗文化財	灰釉縄手付瓶	平安時代(11世紀後期)	愛知県瀬戸市広久手町「広久手F窯跡」出土	26.7	10.8	17.6	—	瀬戸市歴史民俗資料館
8	Ⅰ		灰釉手付水注	鎌倉時代(13世紀前期)	神奈川県鎌倉市「若宮大路周辺遺跡群」出土					鎌倉市教育委員会
9	Ⅰ		灰釉瓶子(一対)	鎌倉時代(13世紀後期)		35.5	5.5	21.7	10.7	個人
10	Ⅰ		灰釉魚文四耳壺	鎌倉時代(14世紀前期)		31.6	11.5	21.8	11.2	名古屋市博物館
11	Ⅰ		灰釉花文突帯広口壺	鎌倉時代(13世紀後期)		24.5	10.0	21.2	10.7	マスプロ美術館
14	Ⅰ	重要文化財	灰釉瓶子	正和元年(1312)	岐阜県白鳥町長瀧白山神社出土	30.4	7.3	19.2	12.0	長瀧白山神社
15	Ⅰ	重要文化財	灰釉魚文梅瓶	鎌倉時代(14世紀前期)	岩手県西磐井郡花泉町「宝寿院」伝世	36.0	9.3	26.2	12.0	名古屋市博物館
16	Ⅰ		鉄釉蕨手文梅瓶	鎌倉時代(14世紀前期)		25.0		16.9		名古屋市博物館
18	Ⅰ		灰釉草葉文梅瓶	鎌倉時代(14世紀前期)		25.2	4.8	17.6	9.7	マスプロ美術館
19	Ⅰ		鉄釉花唐草文花瓶(一対)	鎌倉時代(14世紀前期)		28.7	11.0	13.5	9.7	瀬戸市歴史民俗資料館
20	Ⅰ		灰釉魚文盤	鎌倉時代(14世紀前期)		8.1	30.4	—	19.5	愛知県陶磁資料館
21	Ⅰ		大海茶入	室町時代(15世紀前期)		4.7	4.7	8.4	3.6	瀬戸市歴史民俗資料館
22	Ⅰ		祖母懐茶壺	永正九年(1512)		35.0	12.9	34.2	14.0	東京国立博物館
24	Ⅰ		黄天目茶碗	室町時代(16世紀前期)		6.7	12.5	—	4.8	真田宝物館
26	Ⅰ		緑釉徳利	室町時代(16世紀後期)	滋賀県蒲生郡安土町「安土十六遺跡」出土	20.1	5.9	11.3	8.1	安土町教育委員会
27	Ⅱ		黄瀬戸つる花文兜鉢	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	4.9	15.0	—	7.1	マスプロ美術館
29	Ⅱ		瀬戸黒茶碗　銘・鳴門	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	7.9	11.0	11.4	5.4	細見美術館
30	Ⅱ		志野茶碗	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	9.8	13.5	—	5.4	土岐市美濃陶磁歴史館
31	Ⅱ		志野橋亀甲暦文茶碗	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	7.7	13.8	—	7.2	マスプロ美術館
34	Ⅱ		志野宝珠香合	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	4.0	—	5.0	—	細見美術館
35	Ⅱ		志野草花文大鉢	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	6.5	28.0	—	21.2	岐阜市歴史博物館
36	Ⅱ		鼠志野草文鉢	桃山時代(16世紀末期)	美濃窯	4.9	23.0×19.9	—	12.1×10.4 四脚	マスプロ美術館
37	Ⅱ	重要有形民俗文化財	鉄釉四耳壺	慶長元年(1596)	美濃窯	24.6	10.0	23.2	11.0	瀬戸市歴史民俗資料館
38	Ⅱ		黒織部沓形茶碗	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	6.7	10.7	12.9	6.0	細見美術館
39	Ⅱ		織部茶入　銘・八橋	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	10.1	3.0		5.0	土岐市美濃陶磁歴史館
40	Ⅱ		青織部菊兜香合	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	4.6	—	5.2	—	細見美術館
42	Ⅱ		青織部梅花唐草文水注	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	19.5	6.9	15.6	—	岐阜市歴史博物館
43	Ⅱ		美濃伊賀水指	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	12.4	10.2	18.4	三脚	土岐市美濃陶磁歴史館
44	Ⅱ		赤織部舟形向付	桃山時代(17世紀初期)	美濃窯	4.6	20.7×9.4	—	四脚	愛知県陶磁資料館
45	Ⅱ		御深井釉立鼓花生	江戸時代(17世紀前期)	美濃窯	22.2	14.7	—	14.0	土岐市美濃陶磁歴史館
46	Ⅱ		御深井釉木菟香炉	江戸時代(17世紀前期)	美濃窯	10.5	—	6.7	—	名古屋市博物館

No.	コーナー	指定	作品名	制作年代	作者名	法量 高さ	法量 口径	法量 胴径	法量 底径	所蔵先
47	Ⅱ		御深井釉花形向付	江戸時代(17世紀前期)	美濃窯	3.8	17.0	—	—	名古屋市博物館
48	Ⅱ		段付白天目茶碗	江戸時代(17世紀中期～後期)		8.6	12.0	—	4.9	岐阜市歴史博物館
49	Ⅱ		鉄釉茶入	江戸時代(17世紀中期～後期)	愛知県瀬戸市「瓶子窯跡」出土	7.6	2.8	5.7	3.8	愛知県陶磁資料館
50	Ⅱ		安南写茶碗	江戸時代(17世紀中期～後期)	陳元贇(御深井窯)	9.3	12.2			名古屋市博物館
51	Ⅱ		色絵蓮華文角形香炉	寛政11年(1799)		9.0	13.5×9.8	—	四脚	個人
52	Ⅱ	重要有形民俗文化財	鉄絵唐獅子牡丹文砧形花生	江戸時代(18世紀後期)		19.3		10.2		瀬戸市歴史民俗資料館
53	Ⅱ		緑釉瓢形花生	江戸時代(18世紀後期～19世紀前期)	加藤春丹	36.0	4.0	15.9	8.6	瀬戸市歴史民俗資料館
54	Ⅱ		染付雲龍文薄端三足花生	江戸時代(19世紀前期)	加藤春岱	26.2	34.2	—	三脚	個人
55	Ⅱ	重要有形民俗文化財	三島写「不老長生」大皿	江戸時代(19世紀前期)	伝・加藤春岱	11.5	53.2	—	23.1	瀬戸市歴史民俗資料館
56	Ⅱ		萩写手鉢	江戸時代(19世紀前期)	加藤春岱	11.9	23.1×23.3	—	10.2	個人
57	Ⅱ		鉄絵山水図大皿	江戸時代(19世紀前期)	横井金谷 画	7.6	42.0	—	20.2	瀬戸市歴史民俗資料館
58	Ⅱ		緑釉鶴牡丹文手焙	江戸時代(19世紀前期)		27.7	—	28.4	22.2	瀬戸市歴史民俗資料館
59	Ⅱ		蓋付碗(麦藁手、木賊手、鉄絵草花)	江戸時代(19世紀前期)		9.5	12.6	—	5.2	愛知県陶磁資料館 瀬戸市歴史民俗資料館
60	Ⅱ	重要有形民俗文化財	染付山水図水指	江戸時代(19世紀前期)		16.6	11.5	—	9.8	瀬戸市歴史民俗資料館
61	Ⅱ		染付祥瑞写手桶形水指	江戸時代(19世紀前期)	伝・加藤民吉	19.7	17.0	—	18.5	個人
62	Ⅱ	重要有形民俗文化財	染付山水図筒花生	江戸時代(19世紀前期)	伝・加藤忠治	35.9	15.8	—	15.2	瀬戸市歴史民俗資料館
63	Ⅱ		染付唐草文茶臼	江戸時代(19世紀前期)	加藤吉右衛門	22.3	19.2	35.4	23.3	個人
64	Ⅱ		染付竜巻波頭薄端花生	江戸時代(19世紀前期)	摶僊堂(三代川本治兵衛)	20.7	31.7	—	15.7×12.8	個人
65	Ⅱ		古染付写雲鶴文手桶形水指	江戸時代(19世紀前期)	摶僊堂(三代川本治兵衛)	26.2	—	21.8	16.5	個人
66	Ⅱ		染付山水図四段重	江戸時代(19世紀前期)	横井金谷 画	26.4	15.4	—	—	個人
67	Ⅱ		磁胎蒔絵内染付鳥図四段重	江戸時代(19世紀中期)	伝・四代川本半助	26.1	—	15.0×15.0	—	個人
68	Ⅱ		染付山水図八角蓋物	江戸時代(19世紀中期)	五代川本半助	総14.8	18.8	21.8	13.5	瀬戸市歴史民俗資料館
69	Ⅱ		三島写(藤袴)茶碗	江戸時代(19世紀前期)	御深井窯	11.0	8.0	9.0	5.7	個人
70	Ⅱ		焼締瓢掛花生	江戸時代(19世紀前期)	東山窯	52.0				名古屋市博物館
71	Ⅱ		織部松皮菱手鉢	江戸時代(19世紀前期)	平澤九朗	14.3	26.5×25.5			個人
72	Ⅱ		青磁手桶形水指	江戸時代(19世紀前期)	大橋秋二	16.8	16.2	—	14.8	愛知県陶磁資料館
73	Ⅱ		赤絵金彩龍鳳文茗碗	江戸時代(19世紀前期)	亀井半二	4.6	7.2	—	3.7	個人
74	Ⅱ		銅板染付西洋風景人物図水屋甕	江戸時代(19世紀中期)	川名窯	22.6				名古屋市博物館
75	Ⅲ		染付新羅三郎下向図磁板	明治7年(1874)	初代加藤勘四郎・大出東皐 画	2.0	62.0×41.2	—	—	瀬戸市歴史民俗資料館
76	Ⅲ	瀬戸市指定文化財	染付花鳥図獅子鈕蓋付大飾壺	明治9年(1876)頃	初代川本桝吉	MH96.0	—	53.0		瀬戸市歴史民俗資料館
77	Ⅲ		染付草花図三足花瓶	明治時代(19世紀後期)	初代川本桝吉	38.1	15.2	23.6	三脚	瀬戸市歴史民俗資料館
78	Ⅲ		染付透彫唐草文花瓶	明治11年(1878)頃	六代加藤紋右衛門	52.6	18.3	23.4	15.3	個人
79	Ⅲ		釉下彩花鳥図花瓶(一対)	明治時代(19世紀後期)	二代加藤杢左衛門	92.0	37.0	62.0	27.0	個人
80	Ⅲ		染付花鳥図花瓶	明治時代(19世紀後期)	二代加藤杢左衛門	90.2	32.6	40.0	27.0	個人

No	コーナー	指定	作品名	制作年代	作者名	法量 高さ	法量 口径	法量 胴径	法量 底径	所蔵先
81	Ⅲ		染付鶏図飾壺	明治時代(19世紀後期)	四代加藤五助	54.0	11.1	23.5	四脚	瀬戸市歴史民俗資料館
82	Ⅲ		染付菊牡丹文四方磁板	明治時代(19世紀後期)	三代加藤善治	0.4	30.0×30.0	—	—	個人
83	Ⅲ		染付胎七宝唐草文花瓶	明治時代(19世紀後期)	二代加藤繁十・竹内忠兵衛	38.0	11.8	16.0	11.0	瀬戸市歴史民俗資料館
84	Ⅲ		緑地陽刻花鳥図獅子鈕蓋付大飾壺	明治時代(19世紀後期)	初代本桝吉	64.5	22.1	38.8	五脚	個人
85	Ⅲ		上絵金彩花鳥図花瓶	明治時代(19世紀後期)	初代川本桝吉・曽我徳丸画	43.6	17.4	20.9	11.8	個人
86	Ⅲ		上絵金彩妖怪図耳付花瓶	明治時代(19世紀後期)	初代川本桝吉・七宝会社(千章)画	32.8	17.7	23.4	13.4	個人
87	Ⅲ		青地陽刻上絵金彩花鳥図花瓶	明治時代(19世紀後期)	六代川本半助・田代商店画	31.6	13.7	20.0	10.8	瀬戸市歴史民俗資料館
88	Ⅲ		青地上絵金彩陽刻鷹図耳付花瓶(一対)	明治時代(19世紀後期)	六代川本半助・濤川惣助画	30.8	8.8	15.1	9.5	瀬戸市歴史民俗資料館
89	Ⅲ		青磁上絵金彩窓絵蓋付壺	明治時代(19世紀後期)	三代加藤三平・瓢池園画	総35.6	14.0	22.4	14.6	瀬戸市歴史民俗資料館
90	Ⅲ		柿釉花鳥図花瓶	明治時代(19世紀後期)	加藤與六	36.4	12.6	18.8	11.5	個人
91	Ⅲ		上絵金彩鳳凰文ティーセット	明治時代(19世紀後期)	四代加藤五助	ポット 16.4	6.4	17.6	7.5	瀬戸市歴史民俗資料館
92	Ⅲ		金盛りジュール人物図花瓶	明治24年～明治44年(1891～1911)	日本陶器合名会社	31.0		15.8		個人
93	Ⅲ		盛り上げ桃図リス取手葉巻入れ	明治24年～明治44年(1891～1911)	日本陶器合名会社	19.1	—	13.0		個人
94	Ⅲ		虎置物	明治時代(19世紀後期)	六代川本半助	17.5	—	30.0×22.0	—	愛知県陶磁資料館
95	Ⅲ	重要有形民俗文化財	鳳凰耳付粉彩菱形花瓶	明治時代(19世紀末期～20世紀初期)	六代川本半助	63.6	26.0×20.9	39.6	四脚	瀬戸市歴史民俗資料館
96	Ⅲ		釉下彩四季図折敷	明治28年(1895)頃	二代川本桝吉・大島霞城画	4.0	37.7×37.7	—	—	名古屋市博物館
97	Ⅲ		釉下彩鳳凰文花瓶	明治時代(19世紀末期～20世紀初期)	二代川本桝吉	30.1	10.5	23.3	19.8	個人
98	Ⅲ		染付菊図花瓶	明治時代(19世紀末期～20世紀初期)	六代加藤紋右衛門	41.8	15.2	21.6	14.0	個人
99	Ⅲ		黒釉百合図花瓶	明治時代(19世紀末期～20世紀初期)	六代加藤紋右衛門	30.8	11.8	18.6	10.8	個人
100	Ⅲ		釉彩鳥図額皿	明治時代～大正時代(20世紀前期)	二代高島徳松	6.0	62.0	—	52.0	個人
101	Ⅲ	重要有形民俗文化財	マット釉鳳凰図花瓶	明治時代～大正時代(20世紀前期)	二代高島徳松	32.5	15.0	27.0	15.9	瀬戸市歴史民俗資料館
102	Ⅳ		人物文花瓶	大正2年(1913)頃	日野厚	28.8	8.1	16.6	12.0	愛知県立瀬戸窯業高等学校
103	Ⅳ		天女文花瓶	大正7年(1918)頃	愛知県立陶器学校	55.5	22.6	37.7	20.7	愛知県立瀬戸窯業高等学校
104	Ⅳ		唐子文壺	大正13年(1924)	加藤土師萌					東京国立近代美術館寄託
105	Ⅳ		倣朝窯唐草文花壺	昭和4年(1929)	矢野陶々	28.0	17.0	23.6	14.0	個人
106	Ⅳ		青華設彩枇杷文花瓶	昭和10年代(1935～1944)	河本礫亭	50.0	26.5	35.0	29.0	愛知県陶磁資料館
107	Ⅳ		花文花瓶	昭和3～10年(1928～1935)頃	長江明治	21.0	14.0	23.4	14.3	瀬戸市歴史民俗資料館
108	Ⅳ		白萩鉄絵文壺	昭和17年(1942)	加藤菁山	28.0	11.5	37.0	13.0	愛知県立瀬戸高等学校

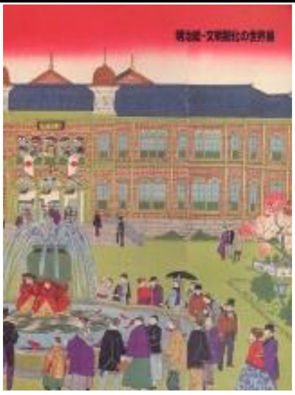
No	コーナー	指定	作品名	制作年代	作者名	法量 高さ	法量 口径	法量 胴径	法量 底径	所蔵先
109	Ⅳ		釉彩花鳥文大皿	昭和17年(1942)	大江文象	7.8	49.1	—	27.5	愛知県陶磁資料館
110	Ⅳ		牡丹文碧瓷鉢	昭和21年(1946)	加藤華仙	10.0	48.5	—	三脚	瀬戸市美術館
111	Ⅳ	重要有形民俗文化財	釉下彩鶏図花瓶	明治時代(19世紀末期～20世紀初期)	加藤友太郎	38.4	11.5	21.6	11.0	瀬戸市歴史民俗資料館
112	Ⅳ		緑斑釉揺落花文組皿	昭和3年～昭和9年(1928～1934)頃	小森忍・日根野作三	1.5	—	37.8	—	個人
113	Ⅳ		赤楽イッチン石榴模様皿	昭和7年(1932)	富本憲吉	5.8	28.9	—	17.0	個人
114	Ⅳ		櫛目薊文皿	昭和10年頃(1935)	藤井達吉	6.0	33.0	—		瀬戸市美術館
115	Ⅳ		白磁鶏 (一対)	昭和21年～昭和25年(1946～1950)頃	沼田一雅	6.8/18.0	—	12.2×7.4/16.5×9.0	—	愛知県陶磁資料館
116	Ⅳ		旅	昭和25年(1950)	イサム・ノグチ	70.2	—	17.0	—	瀬戸市美術館
117	Ⅳ		螳螂文陶筥	昭和24年(1949)	田沼起八郎	8.0	—	30.5×28.0	—	愛知県陶磁資料館
118	Ⅳ		黄瀬戸輪花鉢	昭和35年(1960)	加藤唐九郎	7.0	23.2	25.2	17.0	瀬戸市美術館
119	Ⅳ		湖上の月	昭和35年(1960)	加藤舜陶	64.0	35.0	38.0	12.8	愛知県陶磁資料館
120	Ⅳ		色絵龍文花器	昭和48年(1973)	河本五郎	21.0		39.0×28.3	四脚	愛知県陶磁資料館
121	Ⅳ		黒釉金箔鳥文鉢	昭和49年(1974)	加藤滝川	6.5	34.8	—	11.8	愛知県陶磁資料館寄託
122	Ⅳ		搔落花紋壺	昭和56年(1981)	加藤英一	27.4	11.4	34.0	13.2	瀬戸市美術館
123	Ⅳ		練込　開	昭和58年(1983)	水野双鶴	15.0	37.3	39.2	12.0	瀬戸市美術館
124	Ⅳ		彩砂磁錦蘭盤	昭和59年(1984)	鈴木青々	18.0	41.0×28.0	—	三脚	瀬戸市美術館
125	Ⅳ		織部俎皿	平成3年(1991)	加藤作助	8.3	—	53.0×30.6	—	愛知県陶磁資料館寄託
126	Ⅳ		鉄釉花器「條」	平成4年(1992)	加藤釥	33.5	25.0	29.4	20.0	愛知県陶磁資料館
127	Ⅳ		赤絵金彩字文壺	平成13年(2001)	栗木伎茶夫	23.2	5.5	23.9	19.3	作家
128	Ⅳ		作品９９－３	平成11年(1999)	加藤清之	94.5	—	44.8×21.8	—	作家
129	Ⅳ		壁	平成16年(2004)	亀井勝	39.0	—	49.8×31.5	—	作家
130	Ⅳ		織部花弁紋鉢	平成16年(2004)	加藤伸也	14.9	43.5	—	29.2	作家
131	Ⅳ		焼き〆椅子	平成14年(2002)	鈴木五郎	122.5	—	59.0×54.0	—	作家
132	Ⅳ		玄雲の筥	平成16年(2004)	加藤令吉	40.0	—	43.8×30.4	—	作家
133	Ⅳ		反るかたち	平成16年(2004)	長江重和	14.6	—	45.4×45.4	—	作家
134	Ⅳ		熱花擁－Vase mixed R	平成16年(2004)	河本太郎	67.0	—	52.0×60.0	45.0×41.0	作家
1	参考		陶祖肖像画	昭和初期(20世紀前期)						瀬戸市歴史民俗資料館
2	参考	市指定	織田信長の制札	永禄6年(1563)						個人
3	参考		せと窯風景	江戸時代末期(19世紀中期)	小田切春江					個人
4	参考		磁祖肖像画	20世紀初						瀬戸市歴史民俗資料館
5	参考		圖案帖	明治37年(1904)	瀬戸陶磁工商同業組合			幅42.0×31.0		瀬戸市歴史民俗資料館
6	参考		瀬戸図案集	大正7年(1918)	瀬戸図案研究会					瀬戸市歴史民俗資料館
7	参考		ベルギー独立100年記念国際博覧会「グランプリ」賞状	昭和5年(1930)	長江明治					瀬戸市歴史民俗資料館

展覧会名	明治絵　ー文明開化の世界展
会期	平成17年6月18日（土）～7月10日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、TYSテレビ山口
後援	萩市

(1)趣旨
明治維新によって旧時代の江戸から新都・東京を中心に、急速に西欧文明をとりいれて変貌していく社会の様相をすばやく絵画化し版行したのが、開化錦絵ともよばれた明治絵でした。西洋風建築や橋梁、銀座煉瓦街などの建造物、鉄道や電信の開通、殖産興業政策による博覧会の開催、洋装の風俗など、次から次へと登場する文明開化の足跡を描きとめた作品が今日まで大量に残されています。

かつて、化学染料の強烈な赤色から「赤絵」と称され、芸術的価値が低いと評価されてきた明治絵は、近年になって文化史的メディア的観点から、明治の文化を知るうえで貴重な史料として新たな評価を受けるようになってきています。三代歌川広重、月岡芳年、三代歌川国貞、落合芳幾、豊原国周、楊洲周延、小林清親、井上安治など、明治を代表する浮世絵師たちは競うようにして作品を描き続けたのです。彼らが残した明治絵には桜が満開に咲いて大勢の人々で賑わう光景が多く描かれています。その光景はまるで文明開化の世界を来るべき春の季節になぞらえたような明るく華やか世界に彩られており、浮世絵師たちが意識的に演出していったのではないかとさえ思えるほどです。

本展覧会では当館の所蔵する明治絵のなかから１２２点を選び、時代の流れに即して、第１章：明治元～９年（1868～1876）、第２章：明治１０～１９年（1877～1886）、第３章：明治２０～３０年代（1887～1906）の３部構成にわけて、浮世絵師たちが近代化への新しい息吹を描き伝えた文明開化の世界を紹介しました。



（2）カタログ
編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館
内容　ごあいさつ　山口県立萩美術館・浦上記念館
明治絵についてー文明開化の世界を描いた錦絵を中心に
／鈴木浩平(学芸課長)
第1章　明治元～9年(1868～1876)
天皇東幸・築地ホテル館・新嶋原遊郭・招魂社競馬会・博覧会・鉄道の開通・三井組バンクハウス・第一国立銀行・為替バンク三井組・万代橋・浅草橋・銀座煉瓦街・江戸橋駅逓寮・錦絵新聞・日本橋・奥羽巡幸

第2章　明治10～19年(1877～1886)
西南戦争・第一回内国勧業博覧会・東京勧業場・岡山城内博覧会・大日本物産図会・御所絵・赤坂仮皇居・三菱蔵・大蔵省印刷局・第二回内国勧業博覧会・鉄道馬車・束髪・イタリア人チャリネ大曲馬
第3章 明治20～30年代(1887～1906)
洋装の風俗・吾妻橋・吾妻亭・枢密院会議・大日本帝国憲法発布・第三回内国勧業博覧会・凌雲閣・国会仮議事堂・銀婚式・奠都三十年祭・皇太子婚礼・新潟県主催一府十一県聯合共進会
出品目録・作品解説
出品絵師略伝
主要参考文献一覧
体裁　A4判変形　120ページ

（3）記念講演会

①日時　平成17(2005)年6月18日(土)　13：30～15：00
　演題　「錦絵に見る乗り物の発展」
　講師　齊藤俊彦(文学博士、日本ペンクラブ会員)

②日時　平成17(2005)年7月2日(土)　13：30～15：00
　演題　「明治錦絵の魅力ー熱き思いに生きた画工・版元たちー」
　　　　(兼・平成17年度第2回美術講座)
　講師　岩切信一郎(東京文化短期大学教授)

（4）ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　鈴木浩平(学芸課長)

（5）その他

関連イベント
アンティーク着物で美術館・町めぐり
日時　平成17(2005)年6月18日(土)・19日(日)
内容　①アンティーク着物の着付け　18日(土)11：00～15：00、19日(日)10：00～15：00
　　　②人力車試乗会　12：30～16：00

出品作品一覧

No.	絵師名	作品名	判型・形態	制作年	館蔵品番号
1	月岡芳年	明治天皇御東幸千代田城御入城之図	大判錦絵3枚続	明治1年(1868)	U3469
2	三代歌川広重	東京名勝図会　築地ホテル館	大判錦絵	明治1年(1868)	U1125(TU)
3	三代歌川広重	東京名勝図会　ホテル館庭上の図	大判錦絵	明治1年(1868)	U1124(TU)
4	歌川芳虎	東京築地ホテル館	大判錦絵3枚続	明治3年(1870)	U3229
5	二代歌川国輝	東京鉄炮洲新嶋原全盛之図	大判錦絵3枚続	明治2年(1869)	U2935
6	三代歌川広重	東京三十六景　品川沖蒸気船	大判錦絵	明治3年(1870)	U3039
7	昇斎一景	東京於招魂社境馬図	大判錦絵3枚続	明治3年(1870)	U4435
8	歌川芳虎　二代立祥	東都高縄蒸気車往来之図	大判錦絵3枚続	明治4年(1871)	U3223
9	二代歌川国輝	東京高輪往来車尽行合之図	大判錦絵3枚続	明治4年(1871)	U2922
10	昇斎一景	元ト昌平阪聖堂ニ於テ博覧会図	大判錦絵3枚続	明治5年(1872)	U4432
11	歌川芳虎	東都八景之内　TAKANAWANOKIHAN	大判錦絵	明治4年(1871)	U3205
12	三代歌川広重	東京高輪海岸蒸気車鉄道ノ図	大判錦絵3枚続	明治4年(1871)	U3117
13	昇斎一景	六合陸蒸気車鉄道之全図	大判錦絵3枚続	明治4年(1871)	U4433
14	三代歌川広重	東京横浜名所一覧図会　横浜道ひらぬま新地	大判錦絵	明治5年(1872)	U3035
15	歌川芳虎	鉄道開業新橋夜景図	大判錦絵3枚続	明治5年(1872)	U3224
16	二代歌川国貞	東京高縄品川口蒸気車往来之図	大判錦絵3枚続	明治5年(1872)	U2810
17	歌川芳虎	鉄道独案内　川崎	大判錦絵	明治5年(1872)	U3215
18	二代歌川国輝	東京高輪鉄道蒸気車全栄図	大判錦絵3枚続	明治5年(1872)	U2921
19	三代歌川広重	東京三井組バンクハウス五階之図	大判錦絵3枚続	明治5年(1872)	U3081
20	二代歌川国輝	東京名所海運橋五階造真図	大判錦絵3枚続	明治6年(1873)	U2928
21	三代歌川広重	東京名勝図会　よろひばしの雪降	大判錦絵	明治6年(1873)	U3019
22	二代歌川国輝	東京各大区之内　海運橋第一国立銀行	大判錦絵	明治6年(1873)	U2916
23	三代歌川広重	東京名勝図会　汐留鉄道館	大判錦絵	明治6年(1873)	U3018
24	三代歌川広重	東京高輪真景蒸気車鉄道之図	大判錦絵3枚続	明治6年(1873)	U3116
25	三代歌川広重	東京駿河衛国立銀行繁栄図	大判錦絵3枚続	明治6年(1873)	U3083
26	二代歌川国輝	東京第一大学区開成学校開業式之図	大判錦絵3枚続	明治6年(1873)	U2920
27	二代歌川国輝	東京各大区之内　日本橋電信局	大判錦絵	明治6年(1873)	U2915
28	二代歌川国輝	東京各大区之内　よろつ代はし	大判錦絵	明治6年(1873)	U2914
29	二代歌川国貞	神田昌平橋模様換掛替目鏡橋要路光景之真図	大判錦絵3枚続	明治6年(1873)頃	U2812
30	三代歌川広重	東京名勝尾張町通煉化石之図	大判錦絵3枚続	明治7年(1874)	U3096
31	二代歌川国輝	東京府下自漫競　浅草はし	大判錦絵	明治7年(1874)	U2917
32	三代歌川国貞	東京開化名景競　新橋鉄道	大判錦絵	明治7年(1874)	U2892
33	二代歌川国輝	第一大区従京橋新橋迄煉瓦石造商家蕃昌貴賤藪沢盛景	大判錦絵3枚続	明治7年(1874)頃	U2931
34	二代歌川国輝	東京府下煉化石従商家京橋観之図	大判錦絵3枚続	明治7年(1874)	U2932
35	二代歌川国輝　三代歌川国貞	総州銚子港燈台略図	大判錦絵3枚続	明治7年(1874)頃	U2938
36	三代歌川広重	東京開化三十六景　江戸橋駅逓寮図　竹橋内近衛兵営	横中判錦絵2丁掛	明治7年(1874)	U3000
37	三代歌川広重	東京開化三十六景　京ばしヨリ銀座の図　品川沖	横中判錦絵2丁掛	明治7年(1874)	U2994
38	落合芳幾	東京日々新聞　百十一号	大判錦絵	明治7年(1874)	U4006
39	落合芳幾	東京日々新聞　二百二十号	大判錦絵	明治7年(1874)	U4008
40	落合芳幾	東京日々新聞　四百九十一号	大判錦絵	明治7年(1874)	U1157(TU)
41	月岡芳年	郵便報知新聞　第四百八十一号	大判錦絵	明治8年(1875)	U1755(TU)
42	三代歌川広重	東京名所之内　日本橋より江戸ばしの風景	大判錦絵3枚続	明治8年(1875)頃	U3090
43	三代歌川広重	東海名所改正道中記　一　伝信局　日本橋新橋迄十六町	大判錦絵	明治8年(1875)	U3049
44	三代歌川広重	東海名所改正道中記　四　六郷川鉄道　川崎神奈川迄二り半	大判錦絵	明治8年(1875)	U3050
45	歌川芳虎	新開名所　大坂町商社	大判錦絵	明治8年(1875)	U3211
46	歌川芳虎	自江戸橋新築国立銀行一覧之図	大判錦絵3枚続	明治8年(1875)	U3220
47	三代歌川広重	東京名所石橋一覧之図	大判錦絵3枚続	明治8年(1875)	U3101
48	小林清親	東京江戸橋之真景	大判錦絵3枚続	明治9年(1876)	U4564
49	三代歌川広重	奥羽御巡奉　日光山御巡覧ノ図	大判錦絵3枚続	明治9年(1876)	U3078

50	楊洲周延	征韓論之図	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U2587(TU)
51	月岡芳年	明治小史年間紀事　鹿児島県下賊徒蜂起之事件	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U1631(TU)
52	楊洲周延	鹿児嶋追討之図	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U4365
53	歌川芳虎	鹿児島士族熊本安政橋戦争ノ図	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U3232
54	楊洲周延	鹿児島戦記　安政橋大合戦	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U1819(TU)
55	年光	上野公園地博覧会御開業図　下	大判錦絵6枚続の左	明治10年(1877)	U4703
56	年光	東京勧業場開業式之図	大判錦絵3枚続	明治12年(1879)	U4705
57	岡本常彦	岡山城内博覧会図	大判錦絵5枚続	明治12年(1879)	U4706
58	三代歌川広重	大日本物産図会　羽後国養蚕之図七　羽後秋田疑冬之図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2979
59	三代歌川広重	大日本物産図会　陸中国養蚕之図六　陸中国牧牛之図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2963
60	三代歌川広重	大日本物産図会　岩代国会津蠟実採ノ図　同蠟ヲ製ス図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2969
61	三代歌川広重	大日本物産図会　駿河国竹細工製ノ図　駿河半紙漉場ノ図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2956
62	三代歌川広重	大日本物産図会　備前岡山石筆製図　備前国白魚漁之図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2989
63	三代歌川広重	大日本物産図会　周防国香蕈製之図　同国岩蕈採之図	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2983
64	三代歌川広重	大日本物産図会　阿波国藍製之図一　阿波国藍玉製之図二	横中判錦絵2丁掛	明治10年(1877)	U2966
65	長谷川竹葉	東京名勝開化真景　日本橋	大判錦絵	明治10年(1877)	U4576
66	長谷川竹葉	東京名勝開化真景　新橋鉄道	大判錦絵	明治10年(1877)	U4577
67	長谷川竹葉	東京名勝開化真景　銀座町煉化石	大判錦絵	明治10年(1877)	U4578
68	二代長谷川貞信	坂府新名所　天保山燈台　十三川鉄道橋	横中判錦絵2丁掛	明治13年(1880)	U4033
69	歌川芳虎	新聞綿撒糸製造の図	大判錦絵3枚続	明治10年(1877)	U3230
70	二代歌川国明	菊花遊覧之図	大判錦絵3枚続	明治11年(1878)	U3132
71	三代歌川広重	東京名所之内　浅草金龍山ノ図	大判錦絵3枚続	明治12年(1879)	U3093
72	歌川国利	墨水の花遊ひ	大判錦絵3枚続	明治13年(1880)	U3194
73	楊洲周延	金龍山浅艸寺の図	大判錦絵3枚続	明治15年(1882)	U4318
74	三代歌川広重	府県名所図会　北海道　函館支庁	中判錦絵	明治13年(1880)頃	U3125
75	三代歌川広重	府県名所図会　大分県　豊後佐賀ノ関	中判錦絵	明治13年(1881)頃	U3126
76	歌川国利	東京名所　赤坂仮皇居	横大判錦絵	明治13年(1882)	U3188
77	三代歌川広重	東京名所之内　江戸橋三菱蔵郵便局	横大判錦絵	明治14年(1881)	U3016
78	三代歌川広重	東京名所之内　常盤ばし内印刷局	横大判錦絵	明治14年(1882)	U3017
79	三代歌川広重	上野公園内国勧業第二博覧会美術館并猩々噴水器之図	大判錦絵3枚続	明治14年(1883)	U3103
80	楊洲周延	第二回内国勧業博覧会之図	団扇絵判錦絵	明治14年(1884)	U4855
81	三代歌川広重	東京名所之内　銀座通煉瓦造鉄道馬車往復図	大判錦絵3枚続	明治15年(1882)	U3088
82	歌川国利	東京市街鉄道馬車万世橋通行ノ景	大判錦絵3枚続	明治15年(1882)	U3195
83	三代歌川広重	於隅田川海軍之端舟競走水雷火試発天覧之図	大判錦絵3枚続	明治16年(1883)	U3079
84	三代歌川広重	古今東京名所　江戸橋土手蔵日本橋　江戸橋三つ菱の荷蔵	横中判錦絵2丁掛	明治16年(1884)	U2943
85	三代歌川広重	古今東京名所　尾張町恵比寿や布袋屋呉ふく店　おはり町日々新聞日報社	横中判錦絵2丁掛	明治17年(1884)	U2944
86	三代歌川広重	古今東京名所　神田祭礼九段坂田安御門ねり込　九段坂みはらし高燈籠	横中判錦絵2丁掛	明治16年(1883)	U2946
87	楊洲周延	上野不忍之池競馬会社之図	大判錦絵3枚続	明治17年(1884)	U1900(TU)
88	三代歌川広重	東京名所神田区大通アサヒヤ商店繁栄之真図	大判錦絵3枚続	明治17年(1885)	U3110
89	三代歌川広重	東京深川公園ニ於テ下総成田不動尊并芝山仁王像宗吾霊像開帳参詣群集之図	大判錦絵3枚続	明治18年(1885)	U3084
90	安達吟光	大日本婦人束髪図解	大判錦絵3枚続	明治18年(1886)	U4428
91	豊原国周	婦人束髪会	大判	明治18年(1887)	U3919

92	歌川政信	伊太利亜国チャリ子世界第一大曲馬遊覧之図	大判錦絵3枚続	明治19年(1886)	U4717
93	三代歌川広重	東京名所之内　日本橋区小伝馬町祖師堂鬼子母堂諸人参詣群集之図	大判錦絵3枚続	明治20年(1887)	U3089
94	三代歌川国貞	野州柏倉鞍掛山琴平神社境内之図	大判錦絵3枚続	明治20年(1887)頃	U2876
95	楊洲周延	踏舞会　上野桜花観遊ノ図	大判錦絵3枚続	明治20年(1887)	U4357
96	筆者未詳	日本婦人束髪雛形	大判錦絵	明治20年(1887)	U4724
97	井上安治	皇国泰平鑑　仮装会　舞楽	横中判錦絵2丁掛	明治20年(1887)	U2951
98	井上安治	皇国泰平鑑　宮中　花火	横中判錦絵2丁掛	明治20年(1887)	U2952
99	井上安治、楊洲周延	貴顕演劇遊覧図	大判錦絵3枚続	明治20年(1887)	U1897(TU)
100	小林幾英	東京名勝吾妻橋鉄橋之真図	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U4483
101	井上安治	東京小網町鎧橋通り吾妻亭	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U4734
102	楊洲周延	墨田花高貴ノ遊覧	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U2235(TU)
103	楊洲周延	雨過洗庭之図	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U1821(TU)
104	楊洲周延	貴顕牡丹華遊覧	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U4312
105	楊洲周延	東風俗福づくし　TAIREIHUKU　大礼ふく	大判錦絵	明治22年(1889)	U4037
106	楊洲周延	東風俗福つくし　YOUHuKu　洋ふく	大判錦絵	明治22年(1889)	U4056
107	井上安治	枢密院会議之図	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	U4712
108	楊洲周延	帝国万歳憲法発布略図	大判錦絵3枚続	明治22年(1889)	U1820(TU)
109	三代歌川広重	東京名所上野公園第三内国勧業博覧会場略図	大判錦絵3枚続	明治23年(1890)	U3104
110	楊洲周延、延次	勧業博覧会館内一覧之図	大判錦絵3枚続	明治23年(1890)	U2232(TU)
111	歌川国利	しんはん十二かい	大判錦絵	明治23年(1890)	U3193
112	楊洲周延	浅草公園遊覧之図	大判錦絵3枚続	明治23年(1890)頃	U4362
113	楊斎延一	大日本帝国国会議事堂之図	大判錦絵3枚続	明治23年(1890)	U1904(TU)
114	歌川国利	東京府下糀町区幸町　国会議事堂之光景	大判錦絵3枚続	明治23年(1890)頃	U1902(TU)
115	三代歌川広重	東京名所内　第一之霊場浅草観世音境内之真図	大判錦絵3枚続	明治25年(1892)	U3095
116	三代歌川国輝	銀婚式大典各大臣列席之図	大判錦絵3枚続	明治27年(1894)	U2233(TU)
117	楊斎延一	東京名所　九段坂靖国神社之景	大判錦絵3枚続	明治30年(1897)	U1905(TU)
118	楊洲周延	上野公園奠都三十年祭祝賀会	大判錦絵3枚続	明治31年(1898)	U1822(TU)
119	楊斎延一	高位婚礼式之図	大判錦絵3枚続	明治33年(1900)	U4385
120	筆者未詳	額画貴族大礼式之図	大判錦絵3枚続	明治33年(1900)	U4762
121	楊斎延一	貴顕婚礼式之図	大判錦絵3枚続	明治33年(1900)	U1899(TU)
122	玉英	新潟県主催一府十一県聯合共進会々場之図	大判錦絵3枚続	明治34年(1901)	U4684

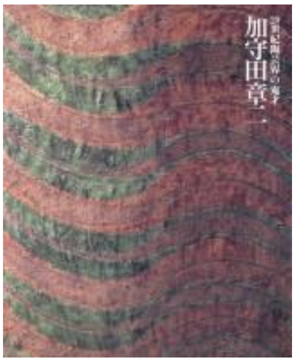
展覧会名	20世紀陶芸界の鬼才 加守田章二展
会期	平成17年7月16日（土）～9月4日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、 YAB山口朝日放送
後援	萩市
協力	全日本空輸株式会社

---

(1)趣旨

20世紀後半の陶芸界に、異色の才能を燦然と輝かせた加守田章二(1933－83)。1960年代後半から50歳を目前に早世するまで、作品の発表毎に曲線彫文や彩陶などの新境地を次々と拓いていったその作風には、鋭敏で洗練された現代的感覚が反映されていました。デザインを研究し、独創的な器形を広く展開した加守田作品は、従来の陶芸の概念を超え、多くの人をひきつけました。本展は、鬼才加守田章二の作陶の全容を回顧しました。

（2）カタログ



編集　京都国立近代美術館
　　　朝日新聞社事業本部西部企画事業チーム
発行　朝日新聞社事業本部西部企画事業チーム
内容　ごあいさつ　主催者
　　　20世紀陶芸界の鬼才　加守田章二の軌跡
　　　　　　／松原龍一(京都国立近代美術館主任研究員)
　　　加守田章二の技法／佐野素子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)
　　　図版
　　　証言　天才・加守田章二の生涯／吉田耕三(美術評論家)
　　　年譜／松原龍一・根本亮子(岩手県立美術館専門学芸員)編
　　　主要参考文献／石崎泰之(学芸課主査)編
　　　出品リスト
　　　謝辞
体裁　A4判変形　216ページ

（3）記念講演会

日時　平成17(2005)年7月16日(土)　14：00～15：30
演題　「加守田章二の陶芸」
講師　青木 宏(栃木県立美術館学芸課長)

（4）ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　石崎泰之(学芸課主査)

（5）その他

関連イベント
　記念講座「現代陶芸入門－講演と対談」(兼・平成17年度第3回美術講座)
　日時　平成17(2005)年7月30日(土)　13：30～16：00
　講師　金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)、橋本真之(鍛金造形作家)、
　　　　三輪休雪(陶芸作家)

NO.	作品名	寸法	制作年	萩会場	所蔵先
1	灰釉壺	高さ25.6　径20.8	1952	○	個人蔵
2	灰釉壺	高さ21.6　径28.7	1955	○	個人蔵
3	壺	高さ26.0　径15.5×10.5	1956	○	京都市立芸術大学 芸術資料館
4	植木鉢	高さ21.9　径31.0	1957	○	個人蔵
5	面取花瓶（2点）	高さ19.6、18.2	1958	○	個人蔵
6	壺	高さ23.8　径34.5	1959	○	個人蔵
7	大皿	高さ8.8　径47.0	1960	○	個人蔵
8	大鉢	高さ14.0　径49.5	1960	○	個人蔵
9	壺	高さ46.5　径28.1	1960	○	小川美術館
10	鉄釉水指	高さ18.5　径20.5×18.6	1961	○	小川美術館
11	灰釉花器	高さ33.4　径32.0	1964	○	個人蔵
12	灰釉壺	高さ26.3　径26.9×26.9	1964	○	福島県立美術館
13	灰釉鉢（大）	（大）高さ4.5　径33.5	1965	○	個人蔵
13	灰釉鉢（小）	（小）高さ3.5　径24.5	1965	○	個人蔵
14	灰釉筒向付（6客）	高さ5.0　径9.8	1966	○	個人蔵
15	灰釉鉦鉢（5客）	高さ3.9　径12.7×12.7	1966	○	栃木県立美術館
16	灰釉大鉢	高さ21.3　径36.8×36.8	1966頃	○	岐阜県現代陶芸美術館
17	灰釉壺	高さ18.2　径14.6×13.6	1966	○	個人蔵
18	灰釉鉦鉢	高さ12.5　径40.0	1966	○	東京国立近代美術館
19	壺	高さ41.5　径21.0	1966	○	個人蔵
20	灰釉大皿	高さ6.3　径45.0×45.0	1966頃	○	福島県立美術館
21	灰釉鉢	高さ27.5　径42.0	1967	○	京都国立近代美術館
22	灰釉花瓶	高さ24.0　径12.5×10.0	1967	○	個人蔵
23	灰釉向付（6客）	高さ7.0　径18.6	1967	○	個人蔵
24	灰釉花瓶	高さ22.5　径9.0	1967	○	個人蔵
25	灰釉大鉢	高さ29.7　径45.7	1967	○	栃木県立美術館
26	灰釉大壺	高さ41.0　径41.0×41.0	1967	○	栃木県立美術館
27	大鉢	高さ30.0　径34.2	1967	○	栃木県立美術館
28	壺	高さ45.2　径19.9	1967	○	東京国立近代美術館
29	炻壺	高さ37.0　径14.0×9.0	1967	○	東京国立近代美術館
30	酸化炻鉢	高さ8.6　径33.3	1967	○	栃木県立美術館
31	銀陶花瓶	高さ42.5　径14.5×14.5	1968	○	栃木県立美術館
32	銀陶角瓶	高さ31.0　径13.0×12.6	1968	○	個人蔵
33	銀陶六面鉢	高さ13.5　径26.0×26.0	1968	○	京都国立近代美術館
34	大角皿	高さ14.3　径70.0×53.5	1968	○	栃木県立美術館
35	紫面壺	高さ22.0　径16.0×16.0	1968	○	個人蔵
36	炻壺	高さ29.3　径17.5×12.8	1968	○	東京国立近代美術館
37	炻筒	高さ30.0　径34.0	1968	○	広島県立美術館
38	炻器壺	高さ50.0　径15.0×15.0	1968	○	岩手県立美術館
39	角瓶	高さ27.4　径13.0	1969	○	小川美術館
40	炻器面壺	高さ27.0　径11.5×12.0	1969	○	個人蔵
41	面体炻壺	高さ30.0　径21.9×19.5	1969	○	栃木県立美術館

NO.	作品名	寸法	制作年	萩会場	所蔵先
42	炻器筒	高さ27.3　径14.5	1969	○	小川美術館
43	炻器面筒	高さ29.0　径20.0×14.5	1969	×	敦井美術館
44	刻線文長方皿	高さ5.6　径84.0×30.1	1969	○	東京国立近代美術館
45	炻器壺	高さ28.5	1969	○	ビクトリア＆アルバート美術館
46	大角皿	高さ14.0　径70.0×54.0	1969	○	京都国立近代美術館
47	曲線文扁壺	高さ45.4　径20.5×16.0	1970	○	岐阜県現代陶芸美術館
48	曲線彫文皿	高さ8.0　径40.8×40.8	1970	○	岩手県立美術館
49	曲線彫文鉢	高さ12.1　径33.0×33.0	1970	○	個人蔵
50	曲線彫文扁壺	高さ31.2　径28.9×15.2	1970	○	個人蔵
51	曲線彫文筒	高さ39.0　径17.0	1970	○	個人蔵
52	曲線彫文壺	高さ18.8　径17.8	1970	○	小川美術館
53	曲線彫文壺	高さ26.9　径7.4×19.1	1970頃	○	小川美術館
54	曲線彫文扁壺	高さ27.1　径12.0×23.0	1970	○	広島県立美術館
55	曲線彫文扁筒	高さ42.3	1970	○	個人蔵
56	曲線彫文壺	高さ24.5　径24.2	1970	○	個人蔵
57	筒形銀彩陶	高さ33.6　径16.5×11.8	1970	○	小川美術館
58	扁筒形彩陶	高さ35.5	1971	○	個人蔵
59	壺形彩陶	高さ22.8　径13.0×13.0	1971	○	個人蔵
60	彩陶長方皿	高さ12.7　径80.5×30.5	1971	○	岩手県立美術館
61	筒形彩陶	高さ37.6　径15.2	1971	○	小川美術館
62	彩陶六角鉢	高さ5.5　径30.5	1971	○	小川美術館
63	筒形彩陶	高さ30.2　径15.6×10.3	1971	○	岩手県立美術館
64	彩陶壺	高さ25.4　径19.0×16.5	1971	○	小川美術館
65	彩陶壺	高さ26.5　径23.5	1971	×	敦井美術館
66	彩陶長方皿	高さ79.6×30.4	1971	○	個人蔵
67	彩陶壺	高さ13.5　径18.2	1971	○	小川美術館
68	彩陶壺	高さ20.8　径28.4×13.0	1971	○	岩手県立美術館
69	彩色壺	高さ14.0　径27.0	1971	○	広島県立美術館
70	彫文炻壺	高さ19.2　径17.2×17.2	1972	○	個人蔵
71	彩色角扁壺	高さ22.2　径19.9×10.1	1972	○	個人蔵
72	彩色角扁筒	高さ35.5　径16.0×11.0	1972	×	敦井美術館
73	彩色壺	高さ18.0　径21.0×21.0	1972	○	栃木県立美術館
74	彩色角壺	高さ21.0　径20.0×19.5	1972	○	岐阜県現代陶芸美術館
75	彩色筒	高さ26.6　径15.5	1972	○	広島県立美術館
76	壺	高さ21.0　径25.5	1972	○	個人蔵
77	彩色壺	高さ23.8　径15.8×29.0	1972	○	個人蔵
78	彩陶筥	高さ8.1　径13.7×9.1	1972	○	小川美術館
79	黒縞陶筥	高さ8.5　14.0×9.8	1972	○	個人蔵
80	象嵌鉢	高さ17.0　径27.4	1972	○	小川美術館
81	壺	高さ23.5　径23.5×21.0	1973	○	個人蔵
82	壺	高さ31.0　径22.8×17.5	1973	○	個人蔵
83	壺	高さ37.0　径21.2×17.3	1973	○	個人蔵

NO.	作品名	寸法	制作年	萩会場	所蔵先
84	壺	高さ36.0　径24.0×12.1	1973	○	小川美術館
85	壺	高さ27.0　径23.8×11.2	1973	○	個人蔵
86	壺	高さ30.3　径20.7×9.7	1973	○	栃木県立美術館
87	壺	高さ24.0　径16.0×9.5	1973	○	東京国立近代美術館
88	皿	高さ59.0×36.0	1973	○	個人蔵
89	壺	高さ29.9　径22.2	1973	○	小川美術館
90	壺	高さ24.0　径15.0×17.8	1973	○	個人蔵
91	壺	高さ25.7　径19.2×15.8	1973	○	小川美術館
92	壺	高さ17.8	1973	○	個人蔵
93	壺	高さ60.2　径27.0×19.4	1973	×	敦井美術館
94	壺	高さ33.0　径22.5×15.7	1973	○	個人蔵
95	壺	高さ37.0　径21.0×15.0	1973	×	敦井美術館
96	彩色壺	高さ18.8　径24.5×13.5	1973	○	栃木県立美術館
97	彩色鉢	高さ16.0　径27.2	1973	○	個人蔵
98	壺	高さ49.0　径25.0×15.1	1974	○	栃木県立美術館
99	壺	高さ37.5　径23.5×16.8	1974	○	小川美術館
100	壺	高さ74.0　径23.5×21.0	1974	×	敦井美術館
101	壺	高さ42.5　径19.4×15.7	1974	○	個人蔵
102	壺	高さ38.5　径16.0×7.0	1974	○	栃木県立美術館
103	壺	高さ59.0　径27.5×15.2	1974	○	小川美術館
104	壺	高さ30.2　径23.5×13.8	1974	○	小川美術館
105	皿	高さ3.7　径32.8	1974	○	小川美術館
106	皿	高さ2.9　径41.6×31.8	1974	×	資生堂アートハウス
107	壺	高さ52.0　径30.0×15.0	1975	○	岩手県立美術館
108	陶板	高さ33.7　径24.2	1975	○	個人蔵
109	彩色壺	高さ33.0　径19.0	1975	○	広島県立美術館
110	彩色壺	高さ46.5　径21.4×17.5	1975	○	岩手県立美術館
111	彩色壺	高さ45.5　径25.4×18.5	1975	×	敦井美術館
112	彩色壺	高さ37.0　径21.5×10.9	1975	○	個人蔵
113	花器	高さ15.8　径17.3×11.4	1975	○	個人蔵
114	壺	高さ15.5　径22.2	1975	○	個人蔵
115	壺	高さ22.7　径21.3×13.8	1975	○	個人蔵
116	壺	高さ54.0　径28.0×20.9	1976	○	個人蔵
117	壺	高さ13.7　径25.5×23.6	1976	○	小川美術館
118	壺	高さ24.5　径25.8×23.5	1976	○	小川美術館
119	壺	高さ43.8　径17.2×15.0	1976	○	岩手県立美術館
120	壺	高さ36.0　径14.6×14.0	1976	○	個人蔵
121	壺	高さ38.0　径26.0×21.5	1976	○	個人蔵
122	壺	高さ25.3　径13.7	1976	○	小川美術館
123	壺	高さ31.0　径13.0×12.5	1976	×	敦井美術館
124	壺	高さ30.0　径20.5	1976	×	敦井美術館
125	壺	高さ28.0　径21.0×9.6	1976	○	個人蔵

NO.	作品名	寸法	制作年	萩会場	所蔵先
126	壺	高さ30.2　径16.0×12.0	1976	○	個人蔵
127	壺	高さ38.4　径19.2×11.0	1976	○	個人蔵
128	壺	高さ54.5　径26.3×11.5	1976	×	資生堂アートハウス
129	壺	高さ47.0　径23.0×13.5	1976	○	個人蔵
130	壺	高さ46.8　径19.8×11.4	1977	×	敦井美術館
131	壺	高さ28.0　径18.4×10.0	1977	○	個人蔵
132	壺	高さ32.2　径16.0×17.0	1977	○	個人蔵
133	壺	高さ39.5　径18.5×11.0	1977	○	小川美術館
134	壺	高さ43.8　径17.2×15.0	1977	○	岩手県立美術館
135	鉢	高さ5.0　径46.5×33.0	1977	○	個人蔵
136	鉢	高さ4.7　径36.8	1977	○	小川美術館
137	鉢	高さ6.5　径29.4×28.8	1977	○	小川美術館
138	壺	高さ42.3　径23.7×12.3	1977	○	小川美術館
139	壺	高さ53.5　径25.5×18.5	1977	×	資生堂アートハウス
140	壺	高さ31.4　径14.0×12.5	1978	○	岩手県立美術館
141	壺	高さ32.3　径18.0×11.5	1978	○	小川美術館
142	壺	高さ36.4　径24.4×20.5	1978	○	小川美術館
143	壺	高さ33.8　径22.0	1978	○	個人蔵
144	壺	高さ35.4　径25.0×22.3	1978	×	資生堂アートハウス
145	壺	高さ47.7　径23.5×19.2	1978	○	個人蔵
146	壺	高さ42.1　径21.2×13.5	1978	○	小川美術館
147	壺	高さ23.9　径24.0×24.0	1979	○	益子陶芸美術館
148	壺	高さ28.7　径26.5×22.3	1979	○	個人蔵
149	壺	高さ47.0　径19.5	1979	○	栃木県立美術館
150	壺	高さ34.1　径21.5×15.5	1979	○	大阪府立岸和田高等学校
151	壺	高さ42.2　径23.1×12.0	1979	○	小川美術館
152	角壺	高さ32.0　径13.0	1979	×	敦井美術館
153	皿	高さ2.5　径32.0×27.9	1979	○	小川美術館
154	壺	高さ58.2　径22.3×16.9	1979	○	栃木県立美術館
155	扁壺	高さ32.0　径22.0×18.0	1980	○	小川美術館
156	壺	高さ19.1　径25.9×22.4	1980	○	個人蔵
157	壺	高さ36.0　径14.2×17.5	1980	○	個人蔵
158	角壺	高さ31.5　径14.0×14.0	1980	○	個人蔵
159	壺	高さ30.9　径15.0	1980	○	個人蔵
160	壺	高さ30.6　径18.5	1980	○	個人蔵
161	壺	高さ24.5　径26.0×21.7	1980	○	小川美術館
162	彩磁壺	高さ30.2　径21.0×17.5	1980	○	東京国立近代美術館
163	鉢	高さ7.2　径30.7	1980	○	小川美術館
164	壺	高さ37.3　径14.7	1980	○	小川美術館
165	壺	高さ42.6　径23.5×14.8	1980	○	岐阜県現代陶芸美術館
166	壺	高さ41.0　径14.0×18.8	1980	○	個人蔵
167	鉢	8.8×26.6	1980	○	個人蔵

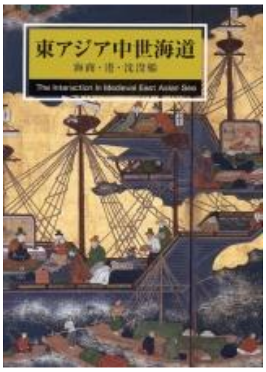
NO.	作品名	寸法	制作年	萩会場	所蔵先
168	壺	高さ26.5 径18.8×12.5	1980	○	個人蔵
169	壺	高さ36.0 径22.6×17.8	1980	×	資生堂アートハウス
170	皿	高さ4.6 径36.2	1982	○	小川美術館
171	陶板	27.2×23.8	1982	○	小川美術館
172	陶板	27.6×24.2	1982	○	小川美術館
173	彩色壺	高さ15.4 径12.7	1982	○	小川美術館
174	彩色壺	高さ21.3 径14.5×12.0	1982	○	個人蔵
175	灰釉茶盌トホノ	高さ8.1 径11.0	1968	○	個人蔵
176	煎茶盌(5客)	各高さ4.2 径6.1	1968	○	個人蔵
177	焼締皿(5客)	高さ3.5 径17.8	1968	○	個人蔵
178	茶盌	高さ9.3 径14.6	1971	○	個人蔵
179	彩色合子	高さ10.0	1972	○	個人蔵
180	湯呑	高さ9.2 径7.4	1975	○	小川美術館
181	湯呑		1975頃	○	個人蔵
182	徳利	高さ9.5 径9.6	1978	○	個人蔵
183	盃	高さ5.3 径6.8	1978	○	個人蔵
184	茶盌	高さ8.5 径13.6	1979	○	個人蔵
185	湯呑	高さ8.2 径7.0	1979	○	小川美術館
186	徳利	高さ13.3 径9.6	1979	○	個人蔵
187	盃	高さ4.4 径6.9	1980	○	小川美術館
188	徳利	高さ13.6 径8.5	1980	○	小川美術館
189	陶の図	27.3×24.3	1977	○	個人蔵
190	陶の図	27.3×24.3	1979	○	個人蔵
191	陶の図		1982	○	個人蔵
192	陶の図	27.0×19.0	1982	○	個人蔵
193	陶の図	27.3×24.3	1979	○	個人蔵
194	陶の図	27.3×24.3	1979	○	個人蔵
195	スケッチブックより	35.0×26.1	年代未詳	○	個人蔵
196	スケッチブックより	35.0×26.1	年代未詳	○	個人蔵
197	油彩画「街」	53.5×45.5	1950	○	個人蔵
198	油彩画「山羊」	37.8×45.3	1950	○	個人蔵
199	油彩画「加太の海」	58.7×48.7	1951	○	大阪府立岸和田高等学校
200	墨絵	26.5×36.0	1967	○	個人蔵

展覧会名	テレビ山口開局35周年記念 東アジア中世海道
会期	平成17年9月17日（土）～11月27日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館･浦上記念館､国立歴史民俗博物館､毎日新聞社､TYSテレビ山口
後援	文化庁、駐日韓国大使館　韓国文化院、NHK山口放送局
協力	日本航空
助成	財団法人東京倶楽部

(1)趣旨

　東アジアの海は、古くより地域と地域を結び付け、人、もの、文化、技術などの相互交流の場として歴史の揺籃となり、時代変革の原動力となっていました。本企画展示では、12世紀から16世紀の東アジアの海を舞台に、中国、高麗・朝鮮、日本、琉球などの国・地域や人々が、影響を与えながら育んだ、交流の歴史と文化の煌きを、考古資料、文書、絵画、民俗資料など計約６００件を通じて描き出しました。

（2）カタログ



編集　国立歴史民俗博物館
発行　毎日新聞社
内容　ごあいさつ
　　国立歴史民俗博物館、大阪歴史博物館、山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社

Ⅰ　世界の中の東アジア　描かれた東アジア
Ⅱ　港と船、往来する人々
　1　沈没船が語る貿易の実像
　　タイムカプセル新安沈没船
　　韓国近海の沈没船　莞島・道里浦・飛雁島
　　日本近海の沈没船　加太友ヶ島・倉木崎
　2　海に生きた地域と人々
　　対馬　水崎遺跡・木坂海神神社弥勒堂跡
　　琉球
　3 湊の景観
　　博多
　　堺
　　豊後府内と南蛮貿易
　　大内氏と勘合貿易　大内氏館と町並遺跡
　　中国の港町　泉州
　　朝鮮の港町　三浦
Ⅲ　世界を動かす貿易と文化
　1　東アジアの銭と金・銀
　　石見銀山
　　銭の世界　銭貨の象徴性・掘り出された渡来銭・大銭・模鋳銭
　　対照的な金と銀
　2　舶来物への憧憬
　　鎌倉と金沢称名寺　鎌倉の発掘と舶来物・金沢称名寺と宋・元との交流
　　戦国大名朝倉氏と唐物荘厳
　　中国、高麗からの名品－国立歴史民俗博物館蔵
　　中国からの名品－出光美術館蔵
　　中国、高麗・朝鮮からの名品－山口県立萩美術館・浦上記念館蔵
　　宋版「三史」－中世に渡来した漢籍
　　描かれた唐物　酒飯論絵巻・福富草紙絵巻・慕帰絵詞
コラム
　1　たどりつかなかった香辛料
　2 中世の貿易船と海商
　3 「倭寇図巻」の人々
　4 鏡に映った対馬

5 海流と航路、港
6 『海東諸国紀』の地図と「琉球国図」
7 北方世界の交流と港町
8 碇石
9 博多・堺の商人像
10 メダイの分析
11 南蛮貿易とベトナム
12 南蛮貿易とタイ
13 灰吹法
14 「君台観左右帳記」の世界
15 描かれた三匹獅子舞
関連年表
展示資料一覧
主要参考文献
展示協力機関・展示協力者
展示チーム
体裁　A4判　200ページ

(3) 記念講演会
日時　平成17(2005)年9月17日(土)　13：30～15：00
演題　『あこがれの舶来品「唐物」と沈没船』
講師　小野正敏(国立歴史民俗博物館助教授)

(4) ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　上田秀夫(副館長)

(5) その他
関連イベント
ミュージアムコンサート「琉球の古典音楽と舞踊のひととき」
日時　平成17(2005)年9月18日(日)　13：30～15：00
場所　当館講座室
出演　(唄・三線)上原伸浩、東島邦治、一瀬悦朗、松本滋、(舞踊)木村清美
演目　かぎやで風節、恩納節、辺野喜節、本貫花、仲風節、綛掛
聴講　42名

東アジア中世海道萩展出品目録

13	資料名	出土遺跡	指定		所蔵先	原品所蔵先	点数	縦	横・径	高・厚
Ⅰ世界の中の東アジア										
描かれた世界観										
Ⅰ-8	ミュンスター・アジア図			実物	歴博		1	29.1	38.5	
Ⅰ-10	オルテリウス・アジア図			実物	歴博		1	28.2	36.0	
Ⅰ-5	万国掌菓全図			実物	歴博		1	52.4	71.5	
Ⅰ-5	万国掌菓全図			複製	歴博		1	52.4	71.5	
Ⅰ-6	東南海夷図・西南海夷図			パネル		国立公文書館	1	33.5～35.4	32.6～33.2	
Ⅰ-7	混一疆理歴代国都之図			パネル		龍谷大学附属図書館	1	158.5	168.0	
Ⅰ-1	坤輿万国全図		重文	パネル		宮城県立図書館	1	95.0	200.0	
Ⅱ湊と船－往来する人々										
1沈没船が語る貿易の実像										
タイムカプセル新安沈没船										
Ⅱ-1一括	青磁陰刻牡丹唐草文壺	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		24.5	23.5
	青磁陰刻牡丹唐草文壺蓋(26の蓋)	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		32.0	8.5
	青磁牡丹唐草文大花瓶	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		19.8	44.3
	青磁牡丹唐草文両耳瓶	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		12.7	26.0
	青磁鳳凰耳花生	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		8.0	15.7
	青磁八卦文香炉	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		13.5	9.7
	青磁袴腰香炉	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		10.1	8.2
	青磁貼花龍文大盤	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		34.2	7.3
	青磁蓮華文大盤	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		33.2	8.0
	青磁唐草文碗	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		18.0	7.7
	青白磁瓶	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		11.5	22.0
	白磁馬上杯	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		14.3	10.2
	青白磁鉄斑文水牛童子形硯滴	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1	9.0	4.0	5.7
	褐釉四耳壷	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		35.5	39.7
	天目碗	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		11.0	6.0
	褐釉擂座壺	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1		9.5	8.9
	銅銭	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		50			
	錫ｲﾝｺﾞｯﾄ	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		3	19.7	3.2	1.2
	胡椒	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1カップ			
	桂皮	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		2	22.5	2.8	4.2
	方形硯	韓国・新安沈没船		実物	国立光州博物館		1	15.2	10.1	2.2
韓国近海の沈没船										
Ⅱ-2一括	青磁鉄絵牡丹文長鼓	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1	51.5	19.2	
	青磁鉄絵草文梅瓶	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		17.1	7.4
	青磁広口長頸瓶	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		8.3	27.3
	青磁広口長頸瓶	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		9.3	27.3
	緑褐釉広口長身壷	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		9.0	28.5
	黒褐釉小壷	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		14.5	16.5
	青磁蓮弁文碗	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		17.5	6.9
	青磁碗	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		15.0	5.5
	青磁碗	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		16.5	6.9
	青磁碗	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		18.0	7.4
	青磁皿	韓国・莞島沈没船		実物	国立光州博物館		1		10.7	2.1
Ⅱ-3一括	青磁象嵌雲文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		18.4	5.8
	青磁象嵌柳蘆文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		19.5	5.9
	青磁象嵌雲鳳文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		18.4	7.0
	青磁象嵌雲鳳文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		19.2	9.1
	青磁象嵌草花文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		18.6	5.6
	青磁象嵌雲文碗	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		15.5	5.3
	青磁象嵌菊花蘆文鉢	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		9.3	4.8
	青磁象嵌波濤文皿	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		14.3	2.6
	青磁象嵌柳蘆水禽文皿	韓国・道里浦沈没船		実物	国立光州博物館		1		14.7	3.6
	青磁牡丹唐草文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		18.0	7.0
Ⅱ-4一括	青磁刻牡丹文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		17.8	6.2
	青磁蓮弁文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		16.2	6.7
	青磁鸚鵡文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		16.9	7.9
	青磁鸚鵡文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		15.1	4.9
	青磁雲文碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		13.7	5.4
	青磁牡丹文皿	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		16.9	4.8
	青磁蓮華唐草文皿	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		13.6	3.8
	青磁輪花皿	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		9.5	1.5
	青磁蓮弁文筒形碗	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		10.4	10.0
	青磁蓮弁文筒形碗･蓋	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		2		8.9	10.4
	青磁菊花文盃	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		7.0	5.2

	青磁盃	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		8.9	5.8
	青磁牡丹文合子	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		2		7.8	3.7
	青磁合子身	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		7.9	2.1
	青磁合子身	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		8.0	2.0
	青磁象嵌菊花文合子蓋	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		8.2	1.6
	青磁象嵌菊花文合子蓋	韓国・飛雁島沈没船		実物	国立海洋遺物展示館		1		8.0	1.6
日本近海の沈没船										
Ⅱ-5一括	青磁蓮弁文碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		14.6	7.8
	青磁蓮弁文碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		14.4	8.6
	青磁雷文帯碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		17.8	10.6
	青磁雷文帯碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		14.7	7.8
	青磁碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		12.0	6.6
	青磁碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		17.7	8.0
	青磁香炉	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		6.8	5.1
	青磁小皿	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		13.4	3.7
	褐釉四耳壷	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		19.5	22.0
	青花唐草文碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		12.3	7.0
	青花福字文碗	友ヶ島沈没船		実物	和歌山市・淡島神社		1		12.3	7.0
Ⅱ-6一括	倉木崎出土中国陶磁器一括	倉木崎沈没船		実物	宇検村教育委員会		1	12.6	10.0	7.1
Ⅱ-7	瀬戸内海引揚広口壷（十瓶山産）	瀬戸内海		実物	歴博		1		18.9	36.5
Ⅱ-8	瀬戸内海引揚擂鉢（備前焼）	庵治沖		実物	歴博		1		28.7	11.0
Ⅱ-9	日本海引揚擂鉢（珠洲焼）	日本海域		実物	歴博		1		40.7~42.4	19.4
Ⅱ-10	日本海引揚甕（珠洲焼）	日本海域		実物	歴博		1		31.6	30.5
Ⅱ-11	日元貿易船模型	韓国･新安沈没船		複製	歴博		1			
2海に生きた地域と人々										
Ⅱ-12	順性御物以下注進状（青方文書）		県指定	実物	長崎県立図書館		1			
Ⅱ-14	過所旗			複製	歴博	山口県文書館	1	54.0	43.1	
Ⅱ-15	日明貿易船旗			複製	広島県立歴史博物館	高洲謙三氏	1	167.0	95.0	
Ⅱ-17	倭寇図巻			複製	歴博	国立公文書館	1	32.0	522.0	
Ⅱ-91~93	海東諸国紀(琉球Ⅱ-42)			複製	歴博	国立公文書館	1	29.6	20.0	
対馬										
Ⅱ-19	大般若波羅密多経（初雕本）		県指定	実物	対馬市上対馬町 長松寺		1	26.7	10.2	
Ⅱ-20	大般若波羅密多経（海印寺版）		県指定	実物	対馬市教育委員会		2	30.2	11.2	
Ⅱ-22	皮古三甫羅宣略将軍虎賁衛副護軍告身			複製	歴博	早田家	1	98.0	79.8	
Ⅱ-23	皮古而羅承義副尉逓貢衛司猛告身			複製	歴博	早田家	1	106.6	80.6	
Ⅱ-25	宗盛貞書状　六月五日			実物	大浦一泰氏			22.0	60.4	
Ⅱ-26	宗春康書状　六月五日			実物	大浦一泰氏			29.3	29.3~28.4	
Ⅱ-27	正平二十四年十二月五日　宗宗慶書下（大山小田家文書）			実物	長崎県立対馬歴史民俗資料館			14.3~14.8	35.7	
Ⅱ-16	琉球国王宛朝鮮国王国書（都城島津家文書）			実物	都城市教育委員会			58.4	118.4	
Ⅱ-29	三綱行実			実物	長崎県立対馬歴史民俗資料館		1			
Ⅱ-24	図書「尚政」印			複製	長崎県立対馬歴史民俗資料館	九州国立博物館	1	53.0	17.0	35.0
Ⅱ-31一括	水先遺跡出土中国・朝鮮陶磁一括	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1		19.8	6.3
	東南アジア産陶磁器片	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		5			
	国産陶器片	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		3			
	瓦質火鉢片	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1			
	瑪瑙製石帯	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1	3.8	4.9	1.0
Ⅱ-32一括	木坂海神神社弥勒堂跡出土中国・高麗陶磁一括	木坂海神神社弥勒堂跡		実物	対馬市教育委員会		1		15.5	2.9
	懸仏	木坂海神神社弥勒堂跡		実物	対馬市教育委員会		1		16.0	
	懸仏片	木坂海神神社弥勒堂跡		実物	対馬市教育委員会		1		15.5	
	鏡像	木坂海神神社弥勒堂跡		実物	対馬市教育委員会		1		12.8	
	双龍文鏡	海神神社弥勒堂跡遺跡		実物	対馬市（旧峰町）教育委員会		1		23.3	0.7
	山水楼閣図鏡	海神神社弥勒堂跡遺跡		実物	対馬市（旧峰町）教育委員会		1		19.6	0.5
	草花双雀鏡	海神神社採集		実物	対馬市（旧峰町）教育委員会		1		8.6	0.2
	蛇籠双鳥鏡	海神神社弥勒堂跡遺跡		実物	対馬市（旧峰町）教育委員会		1		8.2	0.2
Ⅱ-33一括	大定通宝文鏡	大吉戸神社伝世		実物	対馬市美津島町黒瀬区		1		12.0	0.5
	素文円鏡	大吉戸神社伝世		実物	対馬市美津島町黒瀬区		1		9.5	0.5
	松竹双雀鏡	大吉戸神社伝世		実物	対馬市美津島町黒瀬区		1		10.0	0.5
	双剣八稜鏡	大吉戸神社伝世		実物	対馬市美津島町黒瀬区		1		16.8	0.4
	乗風波浪八稜鏡	大吉戸神社伝世		実物	対馬市美津島町黒瀬区		1		17.4	0.4
Ⅱ-30	対馬国絵図（元禄絵図）			パネル	宗家文庫		1			
琉球										
Ⅱ-38一括	中国青磁盤	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		32.2	5.2
	中国青磁馬上杯	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		8.4	9.2
	中国青磁酒海壷	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		21.0	27.8
	中国青花梅瓶	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		5.5	35.2
	中国青花酒海壷	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		22.6	37.3
	中国青花馬上杯	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		13.6	11.5
	中国褐釉壷	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		17.4	41.2

	ベトナム青花面取り瓶	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		16.0	30.0
	タイ褐釉四耳壷・土器蓋	首里城京の内	重文	実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		2			
	高麗系軒丸瓦	首里城京の内		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		15.2	
	高麗系平瓦	首里城京の内		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1	13.0	8.0	
	明系軒平瓦	首里城京の内		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1	11.4	23.4	6.6
	大和系軒丸瓦	首里城京の内		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1	6.0	8.4	3.9
Ⅱ-39	カムイ焼壷・鉢	熱田貝塚		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		2			
Ⅱ-40	石鍋模倣土器	熱田貝塚		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
Ⅱ-41	縦耳把手付グスク土器	熱田貝塚		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
Ⅱ-34	万国津梁の鐘拓本			実物	歴博		2			
Ⅱ-37	琉球交易港図			複製	歴博		1	120.0	290.0	
2湊の景観										
博多										
Ⅱ-43一括	博多遺跡群出土中国陶磁器一括	博多遺跡群		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		13.0	28.2
	摘み付きパスパ文字印	博多遺跡群６１次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1	1.6	1.6	2.7
	指輪型パスパ文字印	博多遺跡群７８次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1	2.0	2.1	1.0
	童子坐像土人形	博多遺跡群６２次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1			
	童子坐像土人形	博多遺跡群１０２次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター					
	軒平瓦	博多遺跡群３９次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		24.0	8.0
	軒丸瓦	博多遺跡群６５次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		13.3	
	軒平瓦	博多遺跡群６５次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		25.4	8.0
	軒丸瓦	博多遺跡群６２次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		14.2	
	博多遺跡群出土墨書陶磁器一括	博多遺跡群62次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1			
Ⅱ-44	香椎Ｂ井戸側木桶	香椎B遺跡		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1		60~70	80~100
Ⅱ-47	聖福寺之絵図			パネル		九州大学九州文化研究所	1	29.8	142.5	
Ⅱ-49	（貞治元年）八月三日高辻長衡書状			実物	太宰府天満宮		1			
Ⅱ-50	鄭夢周「圃隠先生文集」第１巻			実物	九州大学附属図書館		1			
Ⅱ-51	今川了俊「言塵集」巻一ノ七 第５冊			実物	九州大学附属図書館		1			
Ⅱ-52	今川了俊「石城遺宝」			実物	九州大学附属図書館		1			
Ⅱ-66	神屋宗湛画像			パネル		神屋二郎氏	1			
Ⅱ-67	島井宗室画像			パネル		嶋井安生氏	1	95.0	41.7	
	碇	博多湾		複製	福岡市埋蔵文化財センター		1	220.0	221.0	530.0
堺										
Ⅱ-54一括	線刻船絵磚	堺環濠都市遺跡群SKT3地点		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1	28.4	23.2	2.1
	唐津鉄絵船絵鉢	堺環濠都市遺跡群SKT84地点		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1		28.9	8.3
	堺環濠都市遺跡群出土中国・朝鮮陶磁器一括	堺環濠都市遺跡群		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1		14.8	14.9
	堺環濠都市遺跡群出土東南ｱｼﾞｱ陶磁器一括	堺環濠都市遺跡群		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1		17.2	4.8
	堺環濠都市遺跡群土蔵SKT772地点出土資料一括	堺環濠都市遺跡群SKT772地点		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1		13.2	2.8
Ⅱ-62	黄褐釉四耳壷銘「羽衣」			実物	出光美術館		1		11.3	31.9
Ⅱ-55	春日社領摂津国堺庄雑掌言上状			実物	大阪歴史博物館		1	30.8	44.1	
Ⅱ-59	陶晴賢書状案			実物	広島・大願寺		1			
Ⅱ-60	宗光書状			実物	広島・大願寺		1			
Ⅱ-61	山上宗二記			実物	堺市博物館		1	23.6	16.8	
Ⅱ-63	南蛮人来朝図屏風		重美	実物	歴博		1	151.4	321.5	
Ⅱ-65	住吉祭礼図屏風 右隻			複製	堺市博物館		1	97.5	269.0	
Ⅱ-68	今井宗久画像			パネル		京都市立芸術大学芸術資料館	1	53.5	40.0	
豊後府内と南蛮貿易										
Ⅱ-71一括	中世府内町跡出土中国陶磁器一括	中世府内町跡		実物	大分市教育委員会		1			
	タイ ノイ川窯系陶器四耳壷	中世府内町跡（３次）SX210		実物	大分市教育委員会		1		37.6	80.0
	ミャンマー黒釉陶器三耳壷	中世府内町跡（３次）SX210		実物	大分市教育委員会		1		16.6	
Ⅱ-72一括	ベトナム褐釉印花文皿	中世府内町跡（11次）		実物	大分県教育委員会		1		5.2	
	ベトナム白磁碗	中世府内町跡		実物	大分県教育委員会		1		5.2	
	犬形土製品	中世府内町跡（12次ほか）		実物	大分県教育委員会		2			
	分銅（繭型、権型、太鼓型バリ付、太鼓型未分離）	中世府内町跡（12次ほか）		実物	大分県教育委員会		4			
	メダイ	中世府内町跡		実物	大分県教育委員会		3			
	小柄（火縄銃文様）	中世府内町跡		実物	大分県教育委員会		1			
	青色ガラスコンタ	中世府内町跡		実物	大分県教育委員会		1			
Ⅱ-73	華南三彩五耳壷			実物	歴博		1		25.2	27.5
Ⅱ-74	華南三彩盤			実物	歴博		1		30.1	4.7
Ⅱ-75	華南緑釉水滴			実物	歴博		1	6.8	3.7	6.0
Ⅱ-76	華南三彩水注			実物	歴博		1	17.9	8.8	
Ⅱ-77	華南三彩水注			実物	歴博		1		10.1	10.2
Ⅱ-78	華南緑釉水注			実物	歴博		1		9.6	13.5
Ⅱ-79	華南緑釉水注			実物	歴博		1		10.2	13.5
Ⅱ-80	華南三彩水注			実物	歴博		1	20.7	10.3	14.9
Ⅱ-81	華南三彩皿			実物	歴博		5		16.3~16.6	3.5~3.9
Ⅱ-70	大友宗麟画像			パネル		京都 大徳寺瑞峯院	1	103.6	43.9	
大内氏と勘合貿易										

Ⅱ-82	銅印 「朝鮮国通信符」		重文	実物	毛利博物館		1	5.5	1.7	4.7
Ⅱ-90	銅印 「朝鮮国通信符」			複製	歴博	毛利博物館	1	5.5	1.7	4.7
Ⅱ-83	木印 「日本国王之印」		重文	実物	毛利博物館		1	10.1	10.1	4.1~3.5
Ⅱ-84	朱漆雲龍鎗金印箱		重文	実物	毛利博物館		1	20.1	20.1	22.3
Ⅱ-85	黄銅六花文印箱		重文	実物	毛利博物館		1	7.3	7.3	9.5
Ⅱ-87	朝鮮国礼曹参判任権書契		重文	実物	毛利博物館		1	65.5	67.0	
Ⅱ-88	吉見正頼覚書		重文	実物	毛利博物館		1	28.8	15.5	
Ⅲ世界を動かす貿易と文化										
1東アジアの銭と金･銀										
Ⅲ-1一括	輪石見銀山遺跡出土資料一括	石見銀山遺跡		実物	大田市教育委員会		一括		11.0~18.2	0.5~1.0
Ⅲ-3	鉄鍋 レプリカ	石見銀山遺跡		複製	島根県教育委員会	大田市教育委員会	1			
Ⅲ-2	御取納丁銀	石見銀山遺跡		実物	島根県教育委員会		1			
Ⅲ-15	祇園社務家記録 康永二年十月二十八日条			実物	京都 八坂神社		1			
Ⅲ-22	僧栄昌地売券（青柳家文書）		市指定	実物	青柳與曽基氏					
Ⅲ-23	僧玄龍外連署書状（永禄5年）正月十二日（毛利家文書）			実物	毛利博物館					
Ⅲ-21	吾妻鏡 文治元年十月二十日条（北条本）		重文	パネル		国立公文書館				
Ⅲ-4一括	中国銭一括			実物	歴博					
	廣和通宝	市原市菊間遺跡		実物	歴博		1			
Ⅲ-10一括	模鋳銭鋳型一括	博多遺跡群８５次調査		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1	5.0	3.5	0.8
Ⅲ-11	模鋳銭鋳型	堺環濠都市遺跡（SKT78）		複製	歴博	堺市立埋蔵文化財センター	7			
Ⅲ-12	模鋳銭鋳型	平安京左京八条三坊三町		複製	歴博	京都市埋蔵文化財研究所	2			
Ⅲ-13	模鋳銭鋳型	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		3			
Ⅲ-25一括	堺環濠都市遺跡群出土銭一括	堺環濠都市遺跡群		実物	堺市立埋蔵文化財センター		1			
Ⅱ-43のうち	博多遺跡群出土銭一括	博多遺跡群		実物	福岡市埋蔵文化財センター		1			
Ⅲ-26一括	大世通宝	首里城南殿		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
	世高通宝	首里城歓会門		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
	大世通宝	湧田古窯跡		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
	無文銭	ヤッチのガマ		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1		2.0	
Ⅲ-10一括	今帰仁城跡出土銭一括	今帰仁城跡		実物	沖縄県立埋蔵文化財センター		1			
Ⅲ-8一括	崇寧重宝大銭	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1			
	慶元通宝大銭	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1			
	端平通宝大銭	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1			
	大元通宝大銭	水崎遺跡		実物	対馬市教育委員会		1			
Ⅲ-27一括	今帰仁城跡出土銭一括	今帰仁城跡（第57次）		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館		1			
Ⅲ-24	蛭藻金・豆金	騎西城跡		実物	騎西町教育委員会		2			
Ⅱ-72のうち	崇寧重宝大銭	中世府内町跡（12次）		実物	大分県教育委員会		1			
	崇寧重宝大銭	中世府内町跡（35次）		実物	大分県教育委員会		1			
Ⅲ-5	大乗院寺社雑事記 銭貨図		重文	パネル		国立公文書館	1			
Ⅲ-7	大量埋蔵銭・甕	武蔵国府関連遺跡並木西ビル地区		実物	府中市教育委員会		一括		約80.0	
2舶来物への憧憬										
鎌倉と金沢称名寺										
Ⅲ-28一括	白磁四耳壷	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		17.0	22.2
	青白磁梅瓶	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		4.0	25.5
	青磁酒海壷	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		16.1	
	青磁太鼓胴鉢	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	青磁蓮弁文碗	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	青磁龍文盤	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	青磁双魚文盤	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	白磁合子	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	青磁天目台	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		6.4	4.7
	天目茶碗	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		11.4	
	三彩洗	今小路西遺跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		48.5	8.0
Ⅲ-29一括	高麗青磁梅瓶	若宮大路周辺遺跡群		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	高麗青磁陶枕	若宮大路周辺遺跡群		実物	鎌倉市教育委員会		1			
	高麗青磁碗	若宮大路周辺遺跡群		実物	鎌倉市教育委員会		1		12.2	5.7
	高麗青磁鉄絵瓶	若宮大路周辺遺跡群		実物	鎌倉市教育委員会		1			
Ⅲ-30	褐釉花瓶	由比ガ浜集団墓地		実物	鎌倉市教育委員会		1		10.9	23.6
Ⅲ-31	褐釉壷	安達泰盛邸跡		実物	鎌倉市教育委員会		1		40.0	76.0
Ⅲ-33	土紋付き仏像断片			実物	鎌倉国宝館		1	23.2	37.0	
Ⅲ-34	宋様式観音像		県指定	実物	伊豆長岡市･北条寺		1			47.7
Ⅲ-38	華厳経七科章		重文	実物	称名寺		1			
Ⅲ-35	金沢貞顕書状（金沢文庫書状50）		重文	実物	称名寺		1			
Ⅲ-32	仏日庵公物目録		重文	複製	神奈川県立歴史博物館	円覚寺	1			
Ⅲ-42	漂海録 上、中、下巻		重文	実物	称名寺		3			
Ⅲ-40	宋版備急千金要方（金沢文庫本）		重文	実物	歴博		1			
Ⅲ-41	宗鏡録			実物	歴博		1	30.1	11.4	
戦国大名朝倉氏と唐物荘厳										
Ⅲ-45一括	青白磁渦文梅瓶	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館		1			36.5

	青磁盤	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1		37.5	
	青磁太鼓胴盤	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1		28.0	
	中国製茶壷	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1			39.5
	中国製茶入	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1			6.5
	中国製天目茶碗	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1		12.5	
	高麗青磁香炉片	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	1			
	高麗青磁象嵌透彫陶枕片	一乗谷遺跡		実物	福井県立朝倉氏遺跡資料館	6			
Ⅲ-89	朝倉義景画像			パネル	福井 心月寺	1			
描かれた唐物・中国、高麗からの名品、漢籍									
Ⅲ-46	君台観左右帳記			実物	歴博	1	32.2	1189.3	
Ⅲ-81	宋版史記（黄善夫刊本）		国宝	実物	歴博	2	32.7	22.6	
Ⅲ-82	宋版漢書（慶元刊本）		国宝	実物	歴博	2	32.7	22.6	
Ⅲ-83	宋版後漢書（慶元刊本）		国宝	実物	歴博	2	32.7	22.6	
Ⅲ-84	酒飯論絵巻			実物	茶道資料館	1			
Ⅲ-48	青磁龍耳花入			実物	歴博	1		12.1	28.9
Ⅲ-49	青磁陽刻牡丹文大花瓶			実物	歴博	1		30.2	70.0
Ⅲ-50	青磁算木手花盆			実物	歴博	1		13.5	11.6
Ⅲ-51	鉄釉天目茶碗			実物	歴博	1		12.4	6.8
Ⅲ-52	青磁袴腰香炉			実物	歴博	1		12.1	28.9
Ⅲ-53	青白磁花文輪花碗			実物	歴博	1		18.7	6.1
Ⅲ-54	高麗青磁三足香炉			実物	歴博	1			
Ⅲ-55	青磁擂座三足盤			実物	歴博	1		37.5	12.0
Ⅲ-56	白磁輪花皿			実物	歴博	1		25.9	8.0
Ⅲ-57	青磁牡丹文稜花盤			実物	歴博	1		40.0	9.2
Ⅲ-58	青白磁渦文梅瓶			実物	歴博	1		16.5	30.5
Ⅲ-59	白磁四耳壷			実物	歴博	1		20.0	29.0
Ⅲ-60	青磁牡丹文酒海壷			実物	歴博	1		33.6	24.7
Ⅲ-61	青磁鳳凰耳瓶			実物	出光美術館	1			29.1
Ⅲ-62	青磁袴腰香炉			実物	出光美術館	1		22.8	
Ⅲ-63	青磁印花雷文香炉			実物	出光美術館	1		13.8	12.4
Ⅲ-64	白磁掻落牡丹文枕			実物	出光美術館	1	24.2	33.6	11.8
Ⅲ-65	青白磁刻花龍濤文梅瓶			実物	出光美術館	1		15.8	26.3
Ⅲ-68	青白磁唐子唐草文鉢			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		20.7	7.1
Ⅲ-69	玳玻天目碗			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		11.2	6.0
Ⅲ-70	青白磁刻線文合子			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1	4.2	8.1	2.5
Ⅲ-71	澱青釉紅斑文杯			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		8.8	4.5
Ⅲ-72	青磁琮形瓶			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1			27.4
Ⅲ-73	青磁牡丹唐草文瓶			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		12.9	25.7
Ⅲ-74	青花鳳凰文瓶			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		15.1	28.7
Ⅲ-75	青花龍文瓶			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1			24.5
Ⅲ-76	法花蓮華文洗			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		18.6	9.4
Ⅲ-77	青磁陰刻鸚鵡文鉢			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		16.7	7.7
Ⅲ-78	青磁象嵌菊花文四耳壷			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		20.8	32.7
Ⅲ-79	青磁象嵌牡丹文碗			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		14.0	4.8
Ⅲ-80	粉青沙器線刻魚文扁壷			実物	山口県立萩美術館浦上記念館	1		20.5	20.1
Ⅳ中華の波及と変容									
Ⅳ-5	獅子（北派）			実物	国立民族学博物館	1			
Ⅳ-8	仮面（バロン）			実物	国立民族学博物館	1			
Ⅳ-9	獅子（南派）			実物	国立民族学博物館	1			
Ⅳ-14	鹿頭（鹿踊りの装束）			実物	国立民族学博物館	1			
Ⅳ-1	青花玉取獅子文皿			実物	歴博	2		13.8~18.1	3.2~4.0
Ⅳ-2	牡丹獅子置物（美濃焼）			実物	歴博	1	28.2	18.8	29.5
Ⅳ-3	玉取獅子（備前焼）			実物	歴博	1	38.5	24.2	27.3
Ⅳ-4	松飾獅子舞蒔絵螺鈿印籠			実物	歴博	1	8.4	4.6	
Ⅳ-31	石彫獅子			実物	沖縄県立博物館	1			
Ⅳ-32	壷屋素焼獅子			実物	沖縄県立博物館	1			
Ⅳ-33	漆喰獅子			実物	沖縄県立博物館	1			

展覧会名	シリーズ山東文物6 鏡の中の宇宙
会期	平成17年12月10日（土） ～平成18年3月12日（日）
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、朝日新聞社、ＹＡＢ山口朝日放送
後援	萩市
出展協力	山東省博物館、山東省文物考古研究所、棗荘市博物館、斉国故城遺址博物館、章丘市博物館、鄒城博物館、滕州博物館、臨し県博物館、済南市博物館、微山県博物館
協力	宇部市教育委員会、山陽小野田市教育委員会、下関市立考古博物館、周南市教育委員会、田布施町郷土館、柳井市教育委員会、山口県埋蔵文化財センター、山口県立山口博物館

---

(1)趣旨

本展では、春秋・戦国時代から清時代までの中国山東省の出土品を中心に銅鏡80面を一堂に集め、銅鏡文様に表された世界観を展観しました。また、臨し故城出土の銅鏡鋳型も展示し、銅鏡製作についての重要な考察資料も紹介しました。

銅鏡といえば、卑弥呼が好物として魏の皇帝から「銅鏡百枚」を下賜されたことは有名で、日本では中国銅鏡がたいへん珍重されていました。特別出展として山口県内出土の舶載鏡（中国銅鏡）と、ぼう製鏡（中国鏡を模倣した和製の銅鏡）など22面も展示し、日中両国の交流の深さについて検証を試みました。

中国銅鏡の文様には、当時の宇宙観や神仙思想、祈りが表されています。そして、日本において銅鏡は宝物として取り扱われ、憧れ求められてきました。

（2）カタログ

編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館

内容　ごあいさつ　主催者

山東戦国両漢出土銅鏡概論
／とう 佩華(山東省文物考古研究所副所長)
山東省位置図－中国と周辺の諸国－
銅鏡部分名称図
図版
春秋・戦国時代の銅鏡
秦から前漢時代の銅鏡
［参考資料］画像石からみる鏡1
後漢から南北朝時代の銅鏡
［参考資料］画像石からみる鏡2
隋から唐時代の銅鏡
宋時代以降の銅鏡
［参考資料］緑釉博山炉
特別出展　山口県出土の銅鏡
参考出展　山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵の中国鏡
［参考資料］青磁琮形瓶
論文
戦国時代の銅鏡と山東／宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)
前漢鏡の宇宙／岡村秀典(京都大學人文科学研究所教授)
後漢の鏡とその後／上野祥史(国立歴史民俗博物館助手)

三角縁神獣鏡の成立－徐州鏡との関係を中心に－／岡村秀典
山東省出土の隋唐鏡／秋山進午(大手前大学史学研究所所長)
宋・遼・金の鏡／今村佳子(学芸課専門学芸員)
弥生時代～古墳時代の銅鏡－山口県内出土鏡を対象として－
／辻田淳一郎(九州大学大学院人文科学研究院講師)
浮世絵にみられる鏡の世界／鈴木浩平(学芸課長)
中国銅鏡　中文出展目録
特別出展および参考出展目録

体裁　A4判　164ページ

（3）記念講演会

①日時　平成17(2005)年12月10日(土)　13：30～15：00
演題　「華麗なる隋唐鏡－海獣葡萄鏡を中心に－」
講師　秋山進午(大手前大学史学研究所所長)

②日時　平成17(2005)年12月17日(土)　13：30～15：00
演題　「鏡の世界を読む」(兼・平成17年度第6回美術講座)
講師　岡村秀典(京都大學人文科学研究所教授)

（4）ギャラリーツアー

日時　会期中の第1・3日曜日　11：00～12：00
担当　今村佳子(学芸課専門学芸員)

NO.	作品名	法量	年代	出土地	所蔵先
1	透彫二重体蟠螭文方鏡	一辺22.2cm 重量1734g	戦国時代	梁山県銀山遺跡出土	山東省博物館所蔵
2	金銀象嵌鏡	直径29.7cm 重量3265g	戦国時代	1963年淄博市臨淄商王荘墓出土	山東省博物館所蔵
3	四獣文鏡	直径8.4cm 重量42g	戦国時代	1996年淄博市臨淄辦公中心5P3号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
4	葉文鏡	直径9.5cm 重量69g	戦国時代	1996年淄博市臨淄辦公中心5P4号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
5	素文方鏡	一辺7.3cm 重量40g	戦国時代	1986年淄博市臨淄単家荘88号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
6	四山字文鏡	直径11.2cm 重量159g	戦国時代	1984年棗荘市台児荘区彭楼郷出土	棗荘市博物館所蔵
7	彩画重圏文鏡	直径21.2cm 重量584g	戦国時代	1985年淄博市乙烯生活区6号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
8	蟠螭文鏡	直径21.8cm 重量701g	前漢時代	1972年臨沂市銀雀山西漢前期4号墓出土	山東省博物館所蔵
9	蟠螭文鏡	直径22.5cm 重量639g	前漢時代	1972年臨沂市銀雀山西漢前期4号墓出土	山東省博物館所蔵
10	蟠螭文鏡	直径14.1cm 重量222g	前漢時代	1999年滕州市東鄭荘153号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
11	螭龍文鏡	直径10.6cm 重量119g	前漢時代	1993年淄博市済青路徐家荘１号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
12	連弧文鏡	直径11.7cm 重量183g	前漢時代	1985年淄博市臨淄乙烯生活区49号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
13	草葉文鏡	直径18.2cm 重量809g	前漢時代	1986年淄博市臨淄乙烯生活区14号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
14	草葉文鏡	直径14.1cm 重量287g	前漢時代	1992年淄博市臨淄石鼓絲績廠２号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
15	草葉文鏡	直径6.6cm 重量80g	前漢時代	1985年淄博市臨淄乙烯生活区3号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
16	草葉文鏡の鏡背笵片	長20.2cm 幅14.5cm 厚6.3cm	前漢時代	斉国故城遺跡出土	斉国故城博物館所蔵
17	草葉文鏡	直径11.3cm 重量172g	前漢時代	1990年章丘市女郎山2号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
18	草葉文鏡	直径11.5cm 重量266g	前漢時代	斉国故城遺跡出土	斉国故城博物館所蔵
19	鏡笵片１．草葉文鏡の鏡背笵片	長13.6cm 幅8.2cm 厚5.5cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄石佛堂村採集	山東省文物考古研究所所蔵
19	鏡笵片２．鏡背笵片	全長15.1cm 残幅6.8cm 厚4.5cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄石佛堂村採集	山東省文物考古研究所所蔵
19	鏡笵片３．鏡面笵片	長9.8cm 幅6.5cm 厚3.4cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄石佛堂村採集	山東省文物考古研究所所蔵
20	草葉文鏡の鏡背笵片	長15.5cm 幅8.5cm 厚6.1cm	前漢時代	斉国故城遺跡出土	斉国故城博物館所蔵
21	草葉文鏡の鏡背笵片	長19.4cm 幅10.0cm 厚6.4cm	前漢時代	斉国故城遺跡出土	斉国故城博物館所蔵
22	鏡笵片１．鏡面笵片	幅8.1cm 高7.4cm 厚3.9cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄石佛堂村採集	山東省文物考古研究所所蔵
22	鏡笵片２．連弧文鏡の鏡背笵片	長9.4cm 幅4.4cm 厚2.9cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄石佛堂村採集	山東省文物考古研究所所蔵
22	鏡笵片３．鏡面笵片	長11.1cm 残幅5.5cm 厚2.2cm	前漢時代	2003年淄博市臨淄蘇家廟村採集	山東省文物考古研究所所蔵
23	螭龍文鏡の鏡背笵片	長14.5cm 幅9.5cm 厚4.9cm	前漢時代	斉国故城遺跡出土	斉国故城博物館所蔵

NO.	作品名	法量	年代	出土地	所蔵先
24	星雲文鏡（せいうんもんきょう）	直径12.2cm 重量216g	前漢時代	1986年淄博市臨淄乙烯生活区37号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
25	家常富貴鏡（かじょうふききょう）	直径10.2cm 重量130g	前漢時代	1991年淄博市臨淄停車廠47号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
26	星雲文鏡（せいうんもんきょう）	直径13.3cm 重量269g	前漢時代	1990年濰坊市青州戴楼69号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
27	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径15.0cm 重量446g	前漢時代	1985年淄博市臨淄乙烯生活区22号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
28	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径15.0cm 重量509g	前漢時代	1985年淄博市臨淄乙烯生活区48号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
29	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径10.5cm 重量210g	前漢時代	1991年淄博市臨淄勇士区33号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
30	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径7.4cm 重量73g	前漢時代	1985年淄博市臨淄乙烯生活区47号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
31	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径7.7cm 重量94g 銅刷長11.0cm	前漢時代	1993年淄博市臨淄天斉小区７号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
32	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径16.3cm 重量579g	前漢時代	1999年滕州市豊山36号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
33	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径9.0cm 重量165g	前漢時代	2000年済寧市曲阜花山83号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
34	異体字銘帯鏡（いたいじめいたいきょう）	直径14.4cm 重量495g	前漢時代	1999年滕州市豊山59号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
35	細線式獣帯鏡（さいせんしきじゅうたいきょう）	直径11.0cm 重量282g	前漢時代	1997年淄博市臨淄金茵小区38号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
36	細線式獣帯鏡（さいせんしきじゅうたいきょう）	直径11.9cm 重量318g	前漢時代	棗荘市薛城区鄒塢鎮出土	棗荘市博物館所蔵
37	虺龍文鏡（きりゅうもんきょう）	直径11.9cm 重量380g	前漢時代	1998年滕州市東小宮137号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
38	円圏規矩四神鏡（えんけんきくししんきょう）	直径14.1cm 重量471g	前漢時代	1991年淄博市臨淄劉家48号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
39	方格規矩四神鏡（ほうかくきくししんきょう）	直径16.5cm 重量731g	前漢時代	1999年滕州市豊山32号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
40	方格規矩四神鏡（ほうかくきくししんきょう）	直径20.5cm 重量844g	前漢時代	2000年済寧市曲阜花山68号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
41	方格規矩四神鏡（ほうかくきくししんきょう）	直径13.7cm 重量418g	前漢時代	1998年滕州市東小宮108号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
42	方格規矩四神鏡（ほうかくきくししんきょう）	直径14.5cm 重量570g	後漢時代	1991年淄博市臨淄劉家43号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
43	方格規矩鏡（ほうかくきくきょう）	直径13.9cm 重量248g	後漢時代	2000年済寧市曲阜花山86号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
44	方格規矩鏡（ほうかくきくきょう）	直径8.7cm 重量94g	後漢時代	棗荘市台児荘区澗頭集鎮南山出土	棗荘市博物館所蔵
45	四葉座内行花文鏡（しようざないこうかもんきょう）	直径21.1cm 重量1021g	後漢時代	徴集	微山県博物館所蔵
46	四葉座内行花文鏡（しようざないこうかもんきょう）	直径13.9cm 重量350g	後漢時代	滕州市七区種刁郷東種刁村出土	山東省博物館所蔵
47	円座内行花文鏡（えんざないこうかもんきょう）	直径12.2cm 重量419g	後漢時代	滕州市柴胡店17号墓出土	山東省博物館所蔵
48	双頭龍文鏡（そうとうりゅうもんきょう）	直径10.0cm 重量98g	後漢時代	沂南水利工程中出土	山東省博物館所蔵
49	盤龍鏡（ばんりゅうきょう）	直径14.7cm 重量827g	後漢時代	徴集	山東省博物館所蔵

NO.	作品名	法量	年代	出土地	所蔵先
50	盤龍鏡（ばんりゅうきょう）	直径9.4cm 重量114g	後漢時代	滕州市柴胡店1号墓出土	山東省博物館所蔵
51	環状乳神獣鏡（かんじょうにゅうしんじゅうきょう）	直径11.3cm 重量286g	北斉時代 （墓葬年代）	1986年臨朐県冶源鎮海浮山北斉 天保二年崔芬墓出土	臨朐県博物館所蔵
52	環状乳神獣鏡（かんじょうにゅうしんじゅうきょう）	直径11.5cm 重量280g	後漢時代～ 三国時代	1975年鄒城市香城鎮小河圏村出土	鄒城市博物館所蔵
53	環状乳神獣鏡（かんじょうにゅうしんじゅうきょう）	直径11.0cm 重量221g	後漢時代～ 三国時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から 移設	山東省博物館所蔵
54	環状乳神獣鏡（かんじょうにゅうしんじゅうきょう）	直径12.8cm 重量344g	後漢時代	1967年棗荘市台児荘区馬蘭屯郷官屯村出土	棗荘市博物館所蔵
55	環状乳神獣鏡（かんじょうにゅうしんじゅうきょう）	直径15.0cm 重量515g	西晋時代 （墓葬年代）	1997年臨朐県営子鎮大周荘西晋咸寧三年 墓出土	臨朐県博物館所蔵
56	画象鏡（がぞうきょう）	直径16.3cm 重量497g	後漢時代	1963年鄒城市峰山鎮照山荘出土	鄒城市博物館所蔵
57	画象鏡（がぞうきょう）	直径13.9cm 重量492g	後漢時代	1999年滕州市豊山55号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
58	画象鏡（がぞうきょう）	直径18.6cm 重量776g	後漢時代	徴集	章丘市博物館所蔵
59	画象鏡（がぞうきょう）	直径12.2cm 重量295g	後漢時代	鄒城市郭里郷東郭村出土	鄒城市博物館所蔵
60	画象鏡（がぞうきょう）	直径10.3cm 重量162g	後漢時代	1999年滕州顧廟9号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
61	画象鏡（がぞうきょう）	直径12.6cm 重量264g	後漢時代	1999年滕州市顧廟7号墓出土	山東省文物考古研究所所蔵
62	画象鏡（がぞうきょう）	直径10.6cm 重量176g	後漢時代	棗荘市台児荘区泥溝鎮左王坊村出土	棗荘市博物館所蔵
63	画象鏡（がぞうきょう）	直径9.8cm 重量102g	後漢時代	滕州市柴胡店29号墓出土	山東省博物館所蔵
64	斜縁神獣鏡（しゃえんしんじゅうきょう）	直径16.9cm 重量458g	後漢時代末～ 三国時代	徴集	滕州市博物館所蔵
65	斜縁神獣鏡（しゃえんしんじゅうきょう）	直径18.5cm 重量722g	後漢時代末～ 三国時代	滕州市姜屯鎮譚荘村出土	滕州市博物館所蔵
66	斜縁神獣鏡（しゃえんしんじゅうきょう）	直径16.0cm 重量438g	後漢時代末～ 三国時代	徴集	章丘市博物館所蔵
67	四神十二支文鏡（ししんじゅうにしもんきょう）	直径16.6cm 重量495g	唐時代	徴集	山東省博物館所蔵
68	団華文銘帯鏡（だんかもんめいたいきょう）	直径13.7cm 重量256g	唐時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
69	走獣葡萄鏡（そうじゅうぶどうきょう）	直径9.8cm 重量333g	唐時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
70	対獣葡萄鏡（ついじゅうぶどうきょう）	直径10.2cm 重量401g	唐時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
71	対獣葡萄鏡（ついじゅうぶどうきょう）	直径11.7cm 重量303g	唐時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
72	葡萄文小方鏡（ぶどうもんしょうほうきょう）	直径9.1cm 重量421g	唐時代	徴集	鄒城市博物館所蔵

NO.	作品名	法量	年代	出土地	所蔵先
73	金銀平脱六花鏡	直径18.9cm 重量1034g	唐時代	1971年済南市解放路中心医院 唐天宝項承暉墓出土	済南市博物館所蔵
74	双鸞双獣瑞祥文鏡	直径16.0cm 重量543g	唐時代	1980年鄒城市石墻鎮羊緒村出土	鄒城市博物館所蔵
75	対鳥銜綬瑞祥文八稜鏡	直径23.3cm 重量1827g	唐時代	1980年鄒城市香城鎮大河灘村出土	鄒城市博物館所蔵
76	飛禽花枝文八稜鏡	直径9.9cm 重量220g	唐時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
77	官私作坊銘文方鏡	一辺14.4cm 重量327g	宋時代	東平県水河郷高溝村宋墓出土	山東省博物館所蔵
78	童子瑞祥文鏡	直径11.9cm 重量193g	宋時代	済南市歴城港溝鎮郭家村出土	山東省博物館所蔵
79	大定通宝銭文鏡	直径11.8cm 重量204g	金時代	新泰滂坡出土	山東省博物館所蔵
80	柳毅伝書故事鏡	直径10.8cm 重量245g	金時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
81	有柄仙人亀鶴斉寿鏡	直径11.8cm 柄長9.8cm 重量375g	金時代	済南市山東省広播局工地出土	山東省博物館所蔵
82	双龍瑞祥文鏡	直径22.0cm 重量1482g	元時代	徴集	鄒城市博物館所蔵
83	飛禽花枝文鏡	直径28.0cm 重量2381g	元時代	1954年山東省膠東文物管理委員会から移設	山東省博物館所蔵
84	双魚瑞祥文鏡	直径21.4cm 重量1612g	元時代	1987年陵県鄭寨村出土	山東省博物館所蔵
85	単龍瑞祥文鏡	直径12.3cm 重量474g	明時代	1972年鄒城明魯王朱檀墓出土	山東省博物館所蔵
86	人物多宝瑞祥文鏡	直径14.8cm 重量453g	清時代	済南市千仏山張家荘康熙33年張氏墓出土	山東省博物館所蔵
特別1	多鈕細文鏡	復元直径8.8cm	弥生時代前期	下関市大字富任　梶栗浜遺跡出土	原品　東京国立博物館所蔵 複製　下関市立考古博物館所蔵
特別2	異体字銘帯鏡	復元直径14.9cm	弥生時代中期	下関市稗田南町　稗田地蔵堂遺跡出土	原品　国立歴史民俗博物館所蔵 複製　下関市立考古博物館所蔵
特別3	弥生時代小形仿製鏡	復元直径14.9cm	弥生時代庄内期	周南市安田　岡山遺跡出土	山口県埋蔵文化財センター所蔵
特別4	弥生時代小形仿製鏡	直径7.6cm	弥生時代 庄内期か	山口市大字朝田 朝田墳墓群第Ｉ地区第13号箱式石棺墓出土	山口県埋蔵文化財センター所蔵
特別5	異体字銘帯鏡	直径9.1cm	古墳時代前期	熊毛郡田布施町大字川西　国森古墳出土	田布施町郷土館所蔵
特別6	珠文鏡	直径8.8cm	古墳時代中期	山口市大字吉敷　新宮山１号墳出土	山口県埋蔵文化財センター所蔵
特別7	船載三角縁正始元年 陳是作銘同向式神獣鏡	復元直径22.6cm	古墳時代前期	周南市大字富田　竹島御家老屋敷古墳出土	原品　個人蔵 複製　周南市新南陽民俗資料展示室所蔵
特別8	船載三角縁獣文帯四神四獣鏡	直径22.3cm	古墳時代前期	周南市大字富田　竹島御家老屋敷古墳出土	原品　個人蔵 複製　周南市新南陽民俗資料展示室所蔵
特別9	画象鏡［船載鏡］	直径17.6cm	古墳時代前期	周南市大字富田　竹島御家老屋敷古墳出土	原品　個人蔵 複製　周南市新南陽民俗資料展示室所蔵

NO.	作品名	法量	年代	出土地	所蔵先
特別10	内行花文鏡［船載鏡］	復元直径8.8cm	古墳時代前期	山陽小野田市大字郡　長光寺山古墳出土	山陽小野田市厚狭図書館所蔵
特別11	仿製三角縁獣文帯三神三獣鏡	直径21.5cm	古墳時代前期	山陽小野田市大字郡　長光寺山古墳出土	山陽小野田市厚狭図書館所蔵
特別12	仿製三角縁獣文帯三神三獣鏡	直径21.6cm	古墳時代前期	山陽小野田市大字郡　長光寺山古墳出土	山陽小野田市厚狭図書館所蔵
特別13	仿製三角縁獣文帯三神三獣鏡	直径21.6cm	古墳時代前期	山陽小野田市大字郡　長光寺山古墳出土	山陽小野田市厚狭図書館所蔵
特別14	捩文鏡［仿製鏡］	直径8.5cm	古墳時代中期	山陽小野田市大字郡　妙徳寺山古墳出土	山陽小野田市厚狭図書館所蔵
特別15	鼉龍鏡［仿製鏡］	直径44.8cm	古墳時代前期	柳井市大字柳井　柳井茶臼山古墳出土	原品　東京国立博物館所蔵 複製　茶臼山古墳資料館所蔵
特別16	鼉龍鏡［仿製鏡］	直径22.8cm	古墳時代前期	柳井市大字柳井　柳井茶臼山古墳出土	原品　東京国立博物館所蔵 複製　茶臼山古墳資料館所蔵
特別17	内行花文鏡［仿製鏡］	復元直径19.5cm	古墳時代前期	柳井市大字柳井　柳井茶臼山古墳出土	しらかべ学遊館所蔵
特別18	画文帯神獣鏡［船載鏡］	復元直径18.6cm	古墳時代前期	柳井市大字柳井　柳井茶臼山古墳出土	山口県立山口博物館所蔵
特別19	内行花文鏡［仿製鏡］	直径7.4cm	古墳時代中期	山口市赤妻町　伝・赤妻古墳出土	山口県立山口博物館所蔵
特別20	内行花文鏡［仿製鏡］	復元直径11.7cm	古墳時代中期	宇部市藤山区松崎　松崎古墳出土	宇部市立図書館付設資料館所蔵
特別21	四獣形鏡［仿製鏡］	直径14.8cm	古墳時代中期	宇部市藤山区松崎　松崎古墳出土	宇部市立図書館付設資料館所蔵
特別22	仿製三角縁三神三獣鏡	直径20.7cm	古墳時代中期	宇部市藤山区松崎　松崎古墳出土	宇部市立図書館付設資料館所蔵
参考1	細線式獣帯鏡［中国鏡］	直径17.9cm 重量990g	前漢時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T321(TU)）
参考2	細線式獣帯鏡［中国鏡］	直径16.8cm 重量708g	前漢時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T320(TU)）
参考3	獣帯鏡［中国鏡］	直径14.2cm 重量518g	前漢時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T326(TU)）
参考4	方格規矩四神鏡［中国鏡］	直径18.4cm 重量676g	前漢時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T325(TU)）
参考5	画象鏡	直径19.6cm 重量850g	後漢時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T327(TU)）
参考6	対獣葡萄鏡［中国鏡］	直径14.7cm 重量1000g	唐時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T331(TU)）
参考7	三瑞祥文八花鏡［中国鏡］	直径14.8cm 重量505g	唐時代	出土地不明	山口県立萩美術館・ 浦上記念館所蔵（T330(TU)）

展覧会名　華麗なるマイセン磁器
　　　　　―シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで
会期　平成18年4月8日(土)～5月28日(日)
会場　山口県立萩美術館・浦上記念館
主催　山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、TYSテレビ山口
後援　萩市、ドイツ連邦共和国大使館
協賛　セキスイハイム中国株式会社山口支社、中国電力株式会社

(1)趣旨

　18世紀のはじめに、ドイツ・ザクセンのアウグスト強王の命を受けた、発明者ベットガーによって初めて磁器の製造に成功したマイセン磁器。それは長年、中国や日本の磁器にあこがれを抱いてきた西洋が、“白い金”にたとえられた磁器を独自に生み出した瞬間であり、華やかな西洋陶磁史の始まりを告げるできごとでした。才能豊かな絵付師ヘロルト、宮廷彫刻家ケンドラーなどの活躍により、マイセン磁器は18世紀のロココ文化を背景に、優美な色彩と豊かなフォルムを特徴に発展し黄金期を迎えます。その後も、時代による様式の展開を重ねながら、西洋を代表する陶磁器として今日までその地位を保ち続けています。

　本展覧会は、マイセン磁器をこよなく愛した美術収集家、伊東直子氏が後半生をかけて収集した、国内では稀に見る珠玉のコレクションで構成されていました。カップ＆ソーサーなどの食器のほか、彫像、室内装飾オブジェ、装飾鏡、シャンデリアなど、バラエティに富んだ内容でした。18世紀前半のシノワズリーやロココから、20世紀初めのアール・ヌーヴォー、アール・デコにいたるまで網羅されており、マイセン磁器の全容を概観できました。
　1710年代のベットガー炻器から20世紀はじめの彫像まで、113セット198点の作品により、華麗なるマイセン磁器の世界を紹介しました。

（2）カタログ

監修　エッカルト・クリンゲ
編集　櫻庭美咲、青木 宏(栃木県立美術館)、渡部誠一(岐阜県現代陶芸美術館)、岩井美恵子(岐阜県現代陶芸美術館)、石崎泰之(山口県立萩美術館・浦上記念館)、森 要造（東京新聞文化事業部）、垣尾良平(東京新聞文化事業部)、多田行夫(東京新聞文化事業部)、熊谷久美子(東京新聞文化事業部)
発行　東京新聞
内容　謝辞
　ごあいさつ　主催者
　序に代えて－美との出会い／青木 宏(栃木県立美術館学芸課長)
　マイセンの磁器製作所－その躍進と栄光の輝き／エッカルト・クリンゲ
　宮廷を飾るマイセンの磁器彫像－ケンドラー時代を中心に／櫻庭美咲(美術史家)
　図版
　Ⅰ　シノワズリー　ベットガーとヘロルトの時代
　Ⅱ　東洋陶磁の影響
　Ⅲ　バロック・ロココ・新古典主義
　Ⅳ　マイセン黄金時代への憧れ
　　1．ケンドラー、エバーライン、エーダー、マイヤーをもとめて
　　2．マイセンへの挑戦
　　3．アシエ、シェーンハイト、ユッチャーをもとめて
　Ⅴ　ネオ・バロック、ネオ・ロココ－ロイテリッツ時代より19世紀末へ
　Ⅵ　20世紀の幕開け
　マークについて／エッカルト・クリンゲ作成、櫻庭美咲訳
　作品解説
　マイセン磁器関連略年表／岩井美恵子(岐阜県現代陶芸美術館)

ヨーロッパ古窯分布図／ドイツの磁器製作所
用語解説／石崎泰之(学芸課主査)
人物名一覧／櫻庭美咲
主要参考文献／エッカルト・クリンゲ、櫻庭美咲共編
体裁　A4判変形　222ページ

（3）記念講演会
日時　平成18(2006)年4月16日(日)　13：30～15：30
演題　「バロック・ロココのマイセン彫刻ーケンドラーによる芸術性の開花」
講師　櫻庭美咲(九州産業大学COE研究員)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　14：00～　※4月16日(日)をのぞく
担当　石崎泰之(学芸課主査)

（5）その他
関連イベント
ミュージアムコンサート「バロック音楽のしらべ」
日時　平成18(2006)年4月23日(日)　18：00～20：00
場所　当館1階特設会場
出演　管弦バロックアンサンブル(中井 勝、村田和夫、萩森幸子、岩崎隆司、高井景子、角中悦太郎）調律(澄川弘一)
曲目　オーボエ・ファゴットと通奏低音のためのトリオ・ソナタ へ長調、フルートと通奏低音のためのソナタ へ長調、木曽節、少年時代、アベマリア、ロミオとジュリエット、白鳥　他

聴講　67名

NO.	作品名	製作年	原型製作	製作者	サイズ
1	黒塗ベットガー炻器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃			総高12.5cm、幅10.3cm
2	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃			［全体］総高10.1cm ［カップ］総高9.1cm ［受皿］口径13.8cm
3	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃			総高9.7cm、幅16.0cm
4	色絵人物図カップ＆ソーサー	1730-40年代			［カップ］高4.6cm、口径7.7cm ［ソーサー］口径13.4cm
5	色絵人物図チョコレートカップ＆ソーサー	1740-45年頃			［カップ］高6.7cm、幅10.1cm ［ソーサー］口径13.5cm
6	金彩樹下人物図カップ＆ソーサー 「金の中国人」	1730年頃			［カップ］高4.5cm口径7.7cm ［ソーサー］口径12.7cm
7	金彩樹下人物図カップ＆ソーサー 「金の中国人」	1730年頃			［カップ］高4.5cm、径7.7cm ［ソーサー］口径12.7cm
8	染付金彩花鳥図チョコレートカップ＆ ソーサー	1730年頃			［カップ］高4.5cm、径7.7cm ［ソーサー］口径12.7cm
9	染付金彩花鳥図蓋付双耳鉢、受皿	1740-45年頃			［鉢］高11.0cm、幅15.9cm ［受皿］口径18.1cm
10	染付色絵金彩都市花鳥図カップ＆ ソーサー	1740-50年代			［カップ］高7.8cm、幅7.4cm ［ソーサー］口径12.7cm
11	染付色絵ランブレカン模様花弁文フォーク、 ナイフ	フォーク　1725年頃 銀細工・絵付　1725-30年			［ナイフの柄・留金含む］長さ7.8cm ［フォークの柄・同］長さ7.7cm
12	染付風景人物図蓋付バター容れ	1760-70年代			総高6.0cm、径11.5cm
13	色絵花弁図輪花鉢	1730年代			高4.5cm、口径13.0cm
14	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃			高5.2cm、口径13.3cm
15	色絵蝶花図人面浮彫水注	1735-40年頃			高17.1cm　幅13.4cm
16	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・ オツィエル・ レリーフ皿	1735-45年頃			高5.8cm、口径34.6cm
17	色絵小花散文人面浮彫蓋付スープ鉢、 受皿	1740年頃			［全体］総高32.4cm ［スープ鉢］幅26.7ｃｍ ［受皿］幅40.2、口縁部39.5×30.0cm
18	色絵牡丹柴垣図人面浮彫ソース容れ	18世紀中頃			高11.5cm　幅24.2cm
19	絵花弁柴垣図カップ＆ソーサー	1735-40年頃			［カップ］高4.2cm、口径7.4cm ［ソーサー］口径12.1cm
20	色絵花弁小卓図コーヒーポット	1760-70年代			総高23.8cm
21	色絵蝶花鳥図オツィエル・レリーフ皿	18世紀中頃			口径25.1cm
22	色絵金彩花鳥図皿	1740年頃			口径22.3cm
23	色絵紋章花弁図白鳥浮彫皿 「スワン・セルヴィス」	1737-41年			口径23.3cm
24	色絵花弁人物図ゴッコウスキー・レリーフ皿 「緑のワトー・セルヴィス」	1760-70年代			口径28cm
25	色絵昆虫花弁図プット像四脚蓋付スープ鉢 「木版植物画の花」	1745-50年頃			高34.3cm、幅40.0cm
26	色絵神話人物像 「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	1740年	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン	高15cm、幅14.4cm

NO.	作品名	製作年	原型製作	製作者	サイズ
27	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	1750年頃	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン	高10.4cm、幅12.8cm
28	色絵プット像籠載センターピース	[彫像]18世紀中頃 [籠]19世紀後半か20世紀	1740-50年代	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン	総高40.8cm、幅26.0cm
29	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	1747年	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン	高26.0cm、幅19.0cm
30	色絵プット立像・時計・花飾り	1740-50年代	1740年頃 または1745-50年頃、	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン またはヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	[全体] 総高29.0cm [像] 高11.4cm
31	色絵檸檬樹下輪舞像	1760年頃	1760年頃	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高29.9cm、幅18.4cm
32	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766年-18世紀末	1765-66年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラーおよび ペーター・ライニッケ	[指揮者] 高16.5cm　[譜面台] 8.0cm 〈バグパイプ奏者〉 [薄紫の上着] 高14.3cm [緑の上着] 高14.3cm 〈ホルン奏者〉 高15.1cm 〈トランペット奏者〉 高13.8cm 〈フラウト・トラヴェルソ奏者〉 高14.2cm 〈ファゴット奏者〉 高14.0cm 〈オーボエ奏者〉 高13.5cm 〈女性歌手〉 [上着・スカート黄色] 高11.8cm [灰色上着] 高12.5cm [ピンク上着] 高12.0cm 〈ドラム担ぎ〉 [緑ズボン] 高12.4cm [紫ズボン] 高12.4cm 〈ドラム奏者〉 高14.2cm 〈オルガン奏者〉 高12.8cm 〈ハーディ・ガーディ奏者〉 高14.2cm 〈タンブランとガルベ奏者〉 [オレンジのタンブラン] 高13.9cm [紫のタンブラン] 高14.3cm [赤のタンブラン] 高14.1cm 〈ギター奏者〉 高14.0cm 〈チェロ奏者〉 高12.1cm 〈ヴァイオリン奏者〉 高13.2cm
33	色絵プット像「春と冬の寓意」	1760年頃	1750年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー、 またはヨハン・ヨアヒム・ケンドラーと フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高25.0cm、幅18.5cm
34	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	1750年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー、 またはヨハン・ヨアヒム・ケンドラーと フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高23.6cm、幅21.5cm
35	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1800年頃	1750年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー、 またはヨハン・ヨアヒム・ケンドラーと フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高22.2cm、幅20.2cm
36	色絵プット像「夏と秋の寓意」	19世紀後半	1750年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー、 またはヨハン・ヨアヒム・ケンドラーと フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高25.0cm、幅16.6cm
37	色絵神話人物像「大地の寓意　フローラ」	1760年頃	1751年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高16.0cm　幅15.0cm
38	色絵神話人物立像「季節の寓意」 〈秋　バッカス〉	18世紀末	1755年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高23.0cm
38	色絵神話人物立像「季節の寓意」 〈春　フローラ〉	18世紀末	1755年頃	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高23.1cm
39	色絵花ロカイユ付ニッチ	18世紀末	1780年2月	ミシェル・ヴィクトール・アシエ	高41.6cm、幅30.0cm、奥行25.3cm
40	色絵プット坐像「秋の寓意」・犬像	18世紀中頃		ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	[プット] 高10.8cm [パグ犬] 幅6.8cm [舟形筆記用具容れ]　総高14.0cm、幅31.0cm

NO.	作品名	製作年	原型製作	製作者	サイズ
41	色絵プット立像「漁師」	[プット]18世紀後半 [舟形筆記用具容れ]19世紀	1750-60年代	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	[プット] 高9.5cm [舟形筆記用具容れ] 総高14.3cm、幅23.3cm
42	色絵婦人胸像・容器「季節の寓意」	[胸像]1760-80年代 年、 [蓋付容器]19-20世紀	[胸像]1765年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	[胸像] 高8.2cm [全体]高43.5cm、幅37.5cm
43	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像 「着衣のアモル」	[ポプリ壺][マフをもつアモル][鞄を下げたアモル]1750-60年代[台]1770-80年代			[ポプリ壺] 高16.7cm [マフをもつアモル] 高9.3cm [鞄を下げたアモル] 高9.2cm [全体] 高21.0cm、幅23.5cm
44	色絵昆虫鳥図ノイ・ブランデンシュタイン・ オツィエル・レリーフ楕円皿	1760年頃			35.2×25.9cm
45	色絵花卉図ノイ・オツィエル・レリーフ楕円皿	1760-65年頃			口縁部33.9×22.6cm
46	色絵花卉図喫茶用セルヴィス	1765年頃			[シュガーポット] 総高10.2cm、幅11.3cm [鉢] 高9.5cm、口縁部20.2×18.6cm [楕円小皿・チューリップ] 口縁部17.0×13.4cm [楕円小皿・撫子] 口縁部17.5×12.7cm
47	紅彩鱗模様色絵果実花卉図カップ＆ソーサー	18世紀中頃			[カップ] 高4.4cm、幅9.2cm [ソーサー] 口径11.8cm
48	紅彩鱗模様色絵果実花卉図カップ＆ソーサー	18世紀中頃			[カップ] 高4.4cm、幅9.2cm [ソーサー] 口径11.8cm
49	青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ＆ソーサー	1760年頃			[カップ] 高4.6cm、幅9.8cm [ソーサー] 口径13.4cm
50	青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ＆ソーサー	1760年頃			[カップ] 高4.6cm、幅9.8cm [ソーサー] 口径13.4cm
51	紅彩鱗模様色絵W文字花卉図正餐用セルヴィス	1760-70年代			[スープ皿] 高5.2cm、口径25.0cm [皿・8枚] 口径24.4cm [角皿] 高4.2cm、25.3×25.3cm、最大幅32.2cm [葉形皿・小] 高5.9cm、幅18.2cm [葉形皿・大] 高6.1cm、幅22.2cm [蓋付ブイヨン鉢] 総高12.1cm、幅17.7cm
52	色絵樹下少年像高脚小鉢付センターピース	[本体]1770年頃 [像]18世紀後半 [高脚小鉢]19-20世紀	[本体]1762年		高39.0cm、幅44.0cm
53	金地紅彩格子模様色絵花卉兵士図 カップ＆ソーサー	1765-70年頃			[カップ] 高6.6cm、幅6.9cm [ソーサー] 口径13.4cm
54	金地紅彩格子模様色絵花卉兵士図 カップ＆ソーサー	1765-70年頃			[カップ] 高6.6cm、幅6.9cm 裏銘：釉下彩双剣マーク [ソーサー] 口径13.4cm
55	金地色絵花卉図ソリテール	1760年代			[トレイ] 幅31.7cm [カップ] 高4.4cm、幅9.2cm [ソーサー] 口径12.1cm [ティーポット] 高8.7cm、幅13.4cm [ミルク容れ] 高8.5cm、幅8.9cm [シュガーポット] 高8.7cm、幅7.5cm
56	金地色絵花卉図皿	18世紀中頃			口径29.8cm
57	金地色絵花卉図皿	18世紀中頃			口径29.4cm
58	金地色絵花卉図皿	18世紀中頃			口径25.3cm
59	金地色絵花卉図ノイ・オツィエル・ レリーフ皿	1760年頃			口径24.4cm
60	金地色絵花卉図八角皿	18世紀中頃			口径25.7cm

NO.	作品名	製作年	原型製作	製作者	サイズ
61	色絵少年像付金地花卉図蓋付深鉢	1760-70年頃			総高16.0cm、口径17.6cm
62	金地色絵花卉図カップ＆ソーサー	18世紀中頃			［カップ］高4.8cm、口径7.9cm ［ソーサー］口径10.3cm
63	藍地金彩黒絵肖像蓋付カップ＆ソーサー「プロイセンの王子」	1785年頃			［カップ］高9.3cm、幅9.5cm ［ソーサー］口径13.5cm
64	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	1782年	ミシェル・ヴィクトール・アシエ、ヨハン・カール・シェーンハイト、クリスチャン・ゴットフリート・ユッチャー	総高57.2cm、幅32.8cm
65	藍地金彩色絵田園人物図蓋付ブイヨン鉢、受皿	1770年頃			［鉢］総高13.7cm、幅15.6cm ［受皿］口径14.9cm
66	色絵金彩王冠プット人物胸像蓋付小箱	19世紀後半	1738年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	総高２６cm、幅25.2cm
67	色絵風景浮彫人物像水注「四大元素の寓意」〈地〉〈水〉〈火〉〈風〉	19世紀中頃以降	1741年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	〈地〉高65.8cm　〈水〉高65.0cm 〈火〉高67.6cm 〈風〉高65.7cm
68	色絵山羊人物像「山羊にのる仕立屋」	19世紀後半または20世紀初頭	1737年5月	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高42.1cm、幅42.7cm
69	色絵狩猟男女像	1800-25年頃	1743年10月	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高28.3cm、幅28.6cm
70	色絵樹下男女像「羊飼いの休息」	19世紀後半	1740-44年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高26.3cm、幅25.5cm
71	色絵男女像「羊飼い」	19世紀後半	1740-44年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高19.1cm、幅17.5cm
72	色絵男女像「羊飼いと伝書鳩」	19世紀後半	1765年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高21.5cm、幅16.3cm
73	色絵女性坐像「商人の妻」	19世紀後半か20世紀初頭	1759年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高16.0cm、幅14.0cm
74	色絵神話人物像「夏の寓意」	19世紀後半	1755年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高33.5cm、幅21.5cm
75	色絵プット立像「季節の寓意」〈春〉〈秋〉	19世紀初頭	1765年または66年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	〈春〉高12.5cm〈秋〉高12.8cm
76	色絵神話人物馬車像「太陽の凱旋車にのるアポロ」	19世紀後半	1745年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高30.8cm、幅47.5cm
77	色絵神話人物群像「アンフィトリテの勝利」	19世紀後半	1772年または73年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高44.6cm、幅54.0cm
78	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	1762年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高17.9cm、幅18.5cm
79	色絵花飾田園人物図蓋付双耳壺	19世紀後半	1760年頃	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	高63.5cm、幅37.0cm
80	色絵花飾鳥プット像シャンデリア	19世紀後半	1759年	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー／エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	高96.0cm
81	色絵花飾鳥プット像鏡	19世紀中頃か後半	1745年		高130.0cm、幅80.0cm
82	色絵女性立像「五感の寓意」〈味〉〈聴〉	19世紀後半	1748年	ヨハン・フリートリッヒ・エバーライン	〈味〉高27.0cm　〈聴〉高28.3cm
83	赤絵楽奏東洋人男女立像燭台	1952年	1751年か55年〔彫像〕 1769、70年〔燭台〕		［男性］総高59.3cm ［女性］総高58.5cm
84	色絵神話女性像「雄牛にのるエウロパ」	19世紀後半	1759年	フリートリッヒ・エリアス・マイヤー	高21.3cm、幅20.0cm
85	色絵花飾喫茶用セルヴィス	19世紀後半			［コーヒーポット］高17.5cm ［ミルク容れ］高12.9cm ［砂糖容れ］高8.7cm ［カップ］2点　各高5.2cm ［ソーサー］2点　各口径13.5cm
86	色絵貼花鳥果実飾蓋付瓶	19世紀中頃か後半			各高37.8cm
87	色絵貼花鳥果実飾蓋付壺	19世紀中頃か後半			各高50.2cm
88	色絵女性坐像・時計・花飾り	19世紀 （時計は18世紀後半）			［全体］総高27cm ［彫像］高11.7cm

NO.	作品名	製作年	原型製作	製作者	サイズ
89	色絵楽奏女性坐像・花飾り				［全体］総高30.3cm ［彫像］高12.1cm
90	色絵花飾男女立像籠載センターピース	1900年頃			高70.5cm
91	色絵花飾クピド像人物図蓋付壺	1890-1900年頃			総高：105.0cm
92	色絵風景人物図陶板嵌込黒檀キャビネット	1880年頃			高184.0cm、幅104.0cm、 奥行48cm
93	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	1780年4月	ミシェル・ヴィクトール・アシエ	高37.0cm、幅30.7cm
94	色絵アモル立像「金言のアモル」 〈こころをひとつに〉〈花輪を探して〉	1775年		ミシェル・ヴィクトール・アシエと ヨハン・カール・シェーンハイト	〈こころをひとつに〉高13.5cm 〈花輪をささげて〉高14.2cm
95	色絵揺籃童子像「幼年時代のよろこび」	19世紀前半	1774年12月～ 1775年2月	ミシェル・ヴィクトール・アシエと ヨハン・カール・シェーンハイト	高20.2cm、幅19.4cm
96	色絵女性坐像「五感の寓意」 〈聴　ヴァージナルをひく貴婦人〉 〈視　鏡をみる貴婦人〉 〈匂　花の香をかぐ貴婦人〉 〈味　菓子をたべる貴婦人〉 〈触　鳥にふれる貴婦人〉	19世紀後半	1772年6月	ヨハン・カール・シェーンハイト	〈聴〉高10.3cm　〈視〉高14.3cm 〈匂〉高13.7cm　〈味〉高12.8cm 〈触〉高9.3cm
97	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	1788年または89年	クリスチャン・ゴットフリート・ ユッチャー	高31.7cm、幅34.1cm
98	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	1823年	ヨハン・ダニエル・シェーネ	各総高26.3cm、各28.2×21.3cm
99	藍地金彩神話人物図蓋付アンフォラ	19世紀末	1877年	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	総高41.0cm、幅16.3cm
100	白磁金彩アカンサス浮彫アンフォラ	1850-75年頃	1853年	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	(1) 高60.4cm、幅34.0 (2) 高62.0cm、幅34.0
101	色絵金彩花卉図蛇形双耳アンフォラ	1860年頃	1853年	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	高48.3cm、幅32.0ｃｍ
102	色絵花飾プット坐像燭台「四大元素の寓意」	1900年前後	1857年	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	各高81.7cm、各幅46.5cm
103	色絵花飾プット像センターピース鏡面台	1860年代	1860年頃	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	高9.5cm、65.0×55.0cm
104	色絵花飾樹下男女立像籠載センターピース	1860-80年代	1862年（1885年に デザイン変更）	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	高48.0cm、39.5×33.7cm
105	赤絵金彩花飾楽奏プット坐像燭台	1900年前後	1866年	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	各高56.5cm、各幅31.5cm
106	色絵花飾鳥楽奏舞踊人物群像時計	19世紀後半	1865年頃	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	［全体］総高74.5cm ［本体］高62.8cm、幅27.3cm ［台座］高13.1cm幅39.5cm
107	色絵アモル像「ふたりのハートに火をつける」	1900年前後	1877年	ハインリッヒ・シュヴァーベ	高17.6cm
108	色絵プット古代人物像籠載センターピース	1877年頃	1877年頃	ヨハネス・ダニエル・シュライトムラー	高45.5cm、幅46.0cm
109	色絵楽奏家族像「コンサート」	20世紀初	1903年	ヨゼフ・フォン・クラマー	高22.2cm、幅21.8cm
110	色絵男性坐像「シェイクスピア」	19世紀末	1881年	ヨハネス＝ダニエル・ヘーネル	高34.5cm、幅24.0cm
111	色絵ロシアバレエ踊子像 「蝶になったチアリーナ」	1914-23年	1912年	パウル・ショイリッヒ	高26.3cm、幅18.5cm
112	赤絵楽奏人物群像		1925-27年	エミール・パウル・ベルナー	〈タンバリン〉高25.5cm 〈ティンパニー〉高29.0cm 〈チェロ〉高24.2cm 〈トライアングル〉高29.6cm
113	色絵オシドリ像	1922年か23年	1921年	マックス・エッサー	高37.0cm、幅18.4cm

展覧会名　開館10周年記念
雅/俗
－浮世絵に見る風雅と風俗

会期　平成18年6月10日(土)～7月30日(日)

会場　山口県立萩美術館・浦上記念館

主催　山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YAB山口朝日放送

特別協賛　株式会社エフエム山口

後援　萩市

---

(1)趣旨

山口県立萩美術館・浦上記念館は、開館10周年を迎えました。これを記念して、「雅／俗－浮世絵に見る風雅と風俗－」を開催いたしました。

江戸文化のありかたを象徴的にあらわす言葉の一つに『雅と俗』があります。和歌の詠歌に相応しい「雅語」と、狂歌や俳諧に用いた日常語である「俗語」という言葉をはじめ、伝統的な正統文化と、時代の空気を直に反映する新しい流行文化との相対する関係を表す言葉として用いられてきました。今日の江戸文化研究において、『雅と俗」の関係を軸に分析する視線は、約３００年間続いた江戸時代の文化が、庶民の文化という一重のものではなく、「雅の文化」と「俗の文化」による複雑な展開によって成立していることを明らかにしています。

浮世絵は、江戸時代の武家社会の身分制度では、「俗」にあたる庶民文化であることに違いありません。しかしその誕生の背景には、新しい都市江戸に対する、伝統ある京都で育まれた文化がありました。また江戸中期には、高位の武家が作った『雅』の文化との交流があり、またそこから技法や手法の発展を遂げ、『雅』の文化の担い手が、『俗』の大衆文化に遊ぶという状況に至りました。そして大衆文化が爛熟期を迎えた江戸後期には、『俗』の文化を代表する浮世絵が隆盛の時代を迎えました。このように浮世絵の歴史には、『雅と俗』の文化の豊かな交わりの諸相を見出すことができます。

本展覧会は、浮世絵の歴史を展観しながら、『雅と俗』をキーワードに、江戸の文化構造についても考える内容です。『雅と俗』という視点から浮世絵の歴史をみなおし、『雅と俗」が不即不離の関係であった江戸時代の文化全体へと思いを馳せます。

---

(2) カタログ

指導・助言　中野三敏(九州大学名誉教授)
小林 忠(学習院大学文学部教授・千葉市美術館館長)

編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館

内　容　ごあいさつ　山口県立萩美術館・浦上記念館
開館拾周年を迎えて
／山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長　浦上敏朗
謝辞
目次
江戸時代絵画における「雅」と「俗」
／小林 忠(学習院大学文学部教授・千葉市美術館館長)
近世文化における「雅」と「俗」／中野三敏(九州大学名誉教授)
春信の「俗」／吉田洋子(学芸課専門学芸員)
プロローグ　「雅／俗」という概念
第1章　江戸時代前期の浮世絵　浮世絵の誕生から錦絵誕生前夜
第2章　江戸時代中期の浮世絵　錦絵の誕生から浮世絵の黄金時代
第3章　江戸時代中期の「雅」の世界
第4章　江戸時代後期の浮世絵　浮世絵の爛熟期
作品解説
「雅／俗」に関する近世史略年表／木越俊介・高杉志緒　編
参考文献　木越俊介・高杉志緒　編

体　裁　A4判変形　208ページ

（3）記念講演会

①日時　平成18(2006)年6月17日(土)　13：30～15：00
演題　「近世文化における「雅」と「俗」について」
講師　中野三敏(九州大学名誉教授)

②日時　平成18(2006)年7月15日(土)　13：30～15：00
演題　「江戸画壇の浮世絵の位置はどう変わっていったのか」
(兼・平成18年度第1回美術講座)
講師　安村敏信(板橋区立美術館館長)

（4）ギャラリーツアー

日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　吉田洋子(学芸課専門学芸員)

（5）その他

関連イベント
「アンティーク着物でみやび／MIYABIな美術鑑賞」
日時　平成18(2006)年6月10日(土)・11日(日)・7月1日(土)・2日(日)
内容　アンティーク着物の着付け、記念撮影
講師　桑羽なゆこ(HANAくーかん)
参加者　73名(4日間合計)

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
1	1	花鳥人物貼交屏風	狩野常信	絹本著色、六曲一双	江戸時代(17世紀)	板橋区立美術館	前・後期展示替
2	2	北楼及び演劇図巻	(画)菱川師宣 (賛)四方真顔、桜川慈悲成、大田南畝	絹本着色、画巻1巻	寛文12年～ 元禄2年(1672～1689)	東京国立博物館	前・後期展示替
3	3	一休和尚酔臥図	英一蝶	紙本墨画淡彩、掛幅1幅	宝永6年～ 享保2年(1709～1717)	板橋区立美術館	後期
4	4	角田川図	菱川師宣	絹本着色、掛幅1幅	延宝7年(1679)	千葉市美術館	前期
5	5	よしはらの躰　揚屋大寄	菱川師宣	横大判墨摺絵、 12枚組のうち1図	延宝後期～天和期頃	千葉市美術館	前期
6	6	立美人図　撫子(重要美術品)	懐月堂度繁	大々墨摺絵	正徳～享保頃	財団法人　平木浮世絵財団	後期
7	7	難波屋おきた	喜多川歌麿	大判錦絵	寛政5年(1793)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
8	8	当世美人合　身じまい芸者	歌川国貞	大判錦絵	文政末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
9	9	嵯峨本『伊勢物語』	(著・画)本阿弥光悦、角倉素庵	古活字本、2冊	慶長13年(1608)	(財)大東急記念文庫	2週間づつ頁替
10	10	『京童』	(著)中川喜雲(画)絵師未詳	整版、大本6冊	明暦4年(1658)	(財)大東急記念文庫	前期
11	11	『京童』	(著)中川喜雲(画)絵師未詳	整版、大本6冊	寛文7年(1667)頃覆刻	たばこと塩の博物館	後期
12	12	『江戸雀』	(著)近行遠通(画)菱川師宣	墨摺絵本、大本12巻合1冊	延宝5年(1677)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
13	13	『好色一代男』	(著・画)井原西鶴	整版、大本8冊合綴(3巻欠本)	天和2年(1682)	(財)東洋文庫	1巻6/10-6/23 8巻7/-7/21
14	14	『好色一代男』	(著・画)井原西鶴	整版、大本8冊	天和2年(1682)	(財)大東急記念文庫	6/24-7/30 2週間づつ頁替
15	15	『大和絵のこんげん』	(著・画)菱川師宣	墨摺絵本、 大本4巻4冊のうち2冊	貞享3年(1686)カ	(財)東洋文庫	上)6/10-6/23 下)6/24 -7/7
16	16	袖さき菊太郎　市川枡五郎　世之助	奥村利信	細判漆絵	享保12～20年 (1727～1738)	東京国立博物館	6/10-7/9
17	17	『絵本倭比事』	(著)伴祐信(画)西川祐信	墨摺絵本、半紙本10巻10冊	寛保2年(1742)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
18	18	『絵本諸芸錦』	鈴木春信	墨摺絵本、半紙本3巻3冊	宝暦13年(1763)	山口県立萩美術館・浦上記念館	2週間づつ頁替
19	19	よしはらの躰　高嶋前	菱川師宣	横大判墨摺絵、 12枚組のうち1図	延宝後期～天和期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
20	20	お七　吉三	絵師未詳	細判墨摺絵	享保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
21	21	大黒の打金	奥村政信	横大判丹絵	正徳後期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
22	22	市川団十郎　市川団蔵	西村重信	細判漆絵	享保末期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
23	23	格子先、長煙管を持つ遊女と禿	奥村政信	細判漆絵	享保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
24	24	最中月見　三　秋	2代鳥居清倍	細判漆絵	享保中期～後期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
25	25	鼓打つ若衆	鳥居清春	細判漆絵	享保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
26	26	虎が石　曾我十郎祐成　市村卯左衛門	2代鳥居清倍	細判漆絵	元文2年～延享2年 (1737～1745)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
27	27	人形を使う千ねんうり	西村重長	細判紅絵	享保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
28	28	花筏	絵師未詳	横中判紅絵	享保～宝暦期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
29	29	詩箋(鹿島鍋島家文書)		彩色摺、貼交、巻子2巻		町田市立国際版画美術館	前・後期展示替
30	30	『芥子園画伝』唐本　3集「　毛花卉譜」	(編)王概	彩色摺画譜、 13集13冊の内2冊	3集)康熙40年(1701)	(財)大東急記念文庫	2週間づつ頁替
31	31	『芥子園画伝』和刻本		彩色摺画譜、大本6冊	寛延元年(1748)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
32	32	傘さす男女	鳥居清広	大判紅摺絵	宝暦期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
33	33	炬燵に掛けて文を読む中村喜代三郎	石川豊信	大判紅摺絵	寛延2年(1749)～ 宝暦初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
34	34	草子洗小町	奥村政信	横大判紅摺絵	寛延～宝暦初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
35	35	湯上りの爪を切る女	鳥居清広	細判紅摺絵	宝暦期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
36	36	高下駄の雪取り	石川豊信	細判紅摺絵	寛延～宝暦期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
37	37	梅紅葉伊達大門	2代鳥居清信	細判紅摺絵	宝暦10年(1760)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
38	38	かぢはら源太景すへ　市村羽左衛門	鈴木春信	細判紅摺絵	宝暦14年(1764)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
39	39	鳴門	鈴木春信	細判紅摺絵	宝暦末～明和元年・(1764)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
40	40	絵暦　寛保3年	西村重長	細判紅摺絵、絵暦	寛保3年(1743)	千葉市美術館	前期
41	41	絵暦　寛保4年、延享2年、延享4年	絵師未詳	細判紅摺絵、絵暦	寛保4年(1744)延享2、4年 (1745、1747)	個人	後期 2週間づつ頁替
42	42	文を書く美人	絵師未詳	中判錦絵、絵暦	明和2年(1765)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
43	43	見立王子喬	小松軒百亀カ	横中判錦絵、絵暦	明和2年(1765)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
44	44	坐鋪八景　台子夜雨　(初版)	鈴木春信	中判錦絵	明和2年(1765)	千葉市美術館	前期
45	45	坐鋪八景 鏡台の秋月	鈴木春信	中判錦絵	明和2年(1765)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
46	46	舟遊び男女	鈴木春信	中判錦絵	明和3～4年 (1766～1767)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
47	47	風流五色墨　長水	鈴木春信	中判錦絵	明和4～5年 (1767～1768)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
48	48	風に悩む女	鈴木春信	中判錦絵	明和5～7年 (1768～1770)	東京国立博物館	後期
49	49	風流艶色まねへもん　一	鈴木春信	横中判錦絵	明和7年(1770)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
50	50	風流艶色まねへもん　十三	鈴木春信	横中判錦絵	明和7年(1770)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
51	51	『青楼美人合』 4巻	鈴木春信	彩色摺遊女絵本、 大本5巻5冊の内1冊	明和7年(1770)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
52	52	『太夫の落葉』	富川房信	墨摺遊女絵本、 半紙本2巻2冊	明和2年(1765)	たばこと塩の博物館	2週間づつ頁替
53	53	風流うたひ見立　景清	鈴木春信	中判錦絵	明和5～7年 (1768～1770)	東京国立博物館	後期
54	54	瀬川菊之丞	鈴木春信	絹本着色、掛幅1幅	明和～安永期	太田記念美術館	7/4-7/16
55	55	『絵本舞台扇』	勝川春章・一筆斎文調	彩色摺絵本、 半紙本3冊の内2冊	明和7年(1770)	中野三敏氏	2週間づつ頁替
56	56	2世山下金作の女三の宮の侍女むつ花	一筆斎文調	細判錦絵	明和8年(1771)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
57	57	4世市川団蔵の崇徳院	勝川春章	細判錦絵	安永9年(1780)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
58	58	唐人採蓮図	勝川春章	中判錦絵	明和～安永期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
59	59	3世瀬川菊之丞のお軽	勝川春好	細判錦絵	安永6年(1777)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
60	60	大江山鬼退治	北尾政美(鍬形蕙斎)	間判錦絵2枚続の内	寛政3～6年 (1791～1794)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
61	61	尼ヶ崎坊　ゆり	雪圭斎昌房	細判合羽摺	安永期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
62	62	東の里栄花八景　両国の夕照	礒田湖龍斎	中判錦絵	明和末期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
63	63	雛形若菜の初模様 がくたはらや内れん山	礒田湖龍斎	大判錦絵	安永5年(1776)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
64	64	六玉川　野田の玉川	窪俊満	大判錦絵6枚続の内1図	天明末期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
65	65	六玉川　野路の玉川	窪俊満	大判錦絵6枚続の内1図	天明末期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
66	66	出語図　四天王大江山入	鳥居清長	大判錦絵	天明5年(1785)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
67	67	雛形若菜の初模様 あふきや内遠路　里次　浦次	鳥居清長	大判錦絵	天明4年(1784)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
68	68	見立初夢(一富士二鷹三茄子)	鳥居清長	大判錦絵3枚続	天明2～4年 (1782～1784)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
69	69	隅田川渡し船	鳥居清長	大判3枚続	天明7年(1787)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
70	70	貴人の屋敷	勝川春山	大判錦絵3枚続	寛政期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
71	71	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	歌川豊春	横大判錦絵	安永～天明期	町田市立国際版画美術館	前期
72	72	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図　(後摺)	歌川豊春	横大判錦絵	文化期	町田市立国際版画美術館	後期
73	73	浮絵　アルマニア珍薬物集之図	歌川豊春	横大判錦絵	安永～天明期	東京国立博物館	後期
74	74	浮絵　新吉原紋日図	鳥居清満	横大判紅摺絵	宝暦～明和期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
75	75	浮絵　新吉原惣仕舞之図	歌川豊春	横大判錦絵	安永期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
76	76	新板浮絵忠臣蔵夜打之図	歌川豊春	横大々判錦絵	安永期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
77	77	摂州一之谷鵯越平家追伐八嶋 壇浦合戦之図	北尾重政	横大々判錦絵	明和～安永期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
78	78	Serhentain	司馬江漢	銅版筆彩	天明5年(1785)頃	千葉市美術館	後期
79	79	画室図	司馬江漢	銅版画	寛政6年(1794)	町田市立国際版画美術館	前期
80	80	座敷歌舞遊宴の図	喜多川歌麿	大判錦絵3枚続	天明8年～寛政2年 (1788～1790)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
81	81	唐楼閣美人遊興図	喜多川歌麿	大判錦絵3枚続	天明8年～寛政2年 (1788～1790)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
82	82	おきたとおひさの首引き	喜多川歌麿	横大判錦絵	寛政5～6年 (1793～1794)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
83	83	青楼十二時続　亥ノ刻	喜多川歌麿	大判錦絵	寛政6年(1794)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
84	84	煙草を吸う女	喜多川歌麿	大判錦絵	寛政4～5年 (1792～1793)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
85	85	高名美人見たて忠臣蔵 六だんめ 菊もと　小田原 すみのゐ	喜多川歌麿	大判錦絵	寛政中期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
86	86	寫シ上手本絵の姿見　四睡之図	喜多川歌麿	大判錦絵	寛政10～12年 (1798～1800)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
87	87	四ツ目屋うち七町　すまの　あかし	鳥文斎栄之	大判錦絵	寛政元年(1789)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
88	88	六歌仙　業平	鳥文斎栄之	大判錦絵	天明末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
89	89	鸚鵡小町	鳥文斎栄之	間判錦絵	寛政後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
90	90	青楼美人六花仙　越前屋唐土	鳥文斎栄之	大判錦絵	寛政6～7年 (1794～1795)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
91	91	青楼美人六花仙　松葉屋喜瀬川	鳥文斎栄之	大判錦絵	寛政6～7年 (1794～1795)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
92	92	青楼美人六花仙　角玉屋小紫	鳥文斎栄之	大判錦絵	寛政6～7年 (1794～1795)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
93	93	郭中美人競　笹屋春日野	鳥高斎栄昌	大判錦絵	寛政7～9年 (1795～1797)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
94	94	お高祖頭巾	鳥高斎栄昌	大判錦絵	寛政8年(1796)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
95	95	3世市川高麗蔵の志賀大七	東洲斎写楽	大判錦絵	寛政6年(1794)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
96	96	2世瀬川富三郎の大岸蔵人妻やどり木	東洲斎写楽	大判錦絵	寛政6年(1794)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
97	97	3世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	東洲斎写楽	大判錦絵	寛政6年(1794)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
98	98	中山富三郎の義興妻つくば御前	東洲斎写楽	細判錦絵	寛政6年(1794)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
99	99	役者舞台之姿絵　はまむらや	歌川豊国	大判錦絵	寛政6年(1794)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
100	100	3世市川八百蔵の武部源蔵と 岩井喜代太郎の戸浪	歌川豊国	大判錦絵	寛政8年(1796)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
101	101	2世中村仲蔵の松王丸と 2世中村野塩の松王女房千代	歌川豊国	大判錦絵	寛政8年(1796)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
102	102	3世坂東彦三郎の菅丞相と 7世片岡仁左衛門の白太夫	歌川豊国	大判錦絵	寛政8年(1796)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
103	103	3世市川八百蔵	歌川豊国	大判錦絵	寛政10年(1798)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
104	104	雪竹に金鶏図	伊藤若冲	木版着色、合羽摺、手彩色	明和8年(1771)	財団法人　平木浮世絵財団	6/10-6/25
105	105	薔薇に鸚鵡	伊藤若冲	木版着色、合羽摺、手彩色	明和8年(1771)頃	財団法人　平木浮世絵財団	7/11-7/30
106	106	鸚鵡図	伊藤若冲	木版着色、合羽摺、手彩色	明和8年(1771)頃	財団法人　平木浮世絵財団	6/27-7/9
107	107	『鸚哥譜　全』	(編・著)直海龍	整版、小本1冊	宝暦8年(1758)	中野三敏氏	2週間づつ頁替
108	108	『百千鳥』	(著)大久保甚四郎忠舒	整版、中本1冊	安永2年(1773)	中野三敏氏	2週間づつ頁替
109	109	柳溪徒渉図	池大雅	紙本淡彩、掛幅1幅	延享3年(1746)	千葉市美術館	7/11-7/30
110	110	児島湾真景図	池大雅	絹本着色、掛幅1幅	宝暦～明和期	細見美術館	前期
111	111	乗興舟	伊藤若冲	紙本木拓摺、画巻1巻	明和4年(1767)	千葉市美術館	全会期
112	112	騎牛吹笛美人図	(画)月岡雪鼎(賛)田能村竹田	絹本着色、掛幅1幅	明和年間	(財)出光美術館	後期
113	113	羽根突き図	礒田湖龍斎	絹本着色、掛幅1幅	天明1～3年 (1781～1783)	東京国立博物館	前期
114	114	秋野美人図	礒田湖龍斎	絹本着色、掛幅1幅	天明前期頃	大阪市立美術館	後期
115	115	桜下三美人図	勝川春章	絹本着色、掛幅1幅	天明7、8年 (1787,1788)	(財)出光美術館	後期
116	116	浅草金龍山遠山風景図	北尾政美(鍬形蕙斎)	絹本着色、掛幅1幅	天明期	ニューオータニ美術館大谷コレクション	6/10-6/25
117	117	松風村雨図	歌川豊春	絹本着色、掛幅1幅	天明期	太田記念美術館	6/10-6/25
118	118	松風村雨図	酒井抱一	絹本着色、掛幅1幅	天明5年(1785)	細見美術館	前期
119	119	蚊帳美人図	(画)鳥文斎栄之(賛)朱楽菅江	絹本着色、掛幅1幅	寛政8、9年 (1796,1797)	(財)出光美術館	前期
120	120	桜下遊女の図	(画)鳥文斎栄之(賛)十方庵雲左坊カ	絹本着色、掛幅1幅	寛政後期	太田記念美術館	7/4-7/18
121	121	『吾妻曲狂歌文庫』	(撰)石川雅望(宿屋飯盛) (画)北尾政演(山東京伝)	彩色摺絵入狂歌本、大本1冊	天明6年(1786)	千葉市美術館	後期、 2週間づつ頁替
122	122	『百人一首古今狂歌袋』	(撰)石川雅望(宿屋飯盛) (画)北尾政演(山東京伝)	多色摺絵入狂歌本、大本1冊	天保7年(1787)	たばこと塩の博物館	前期

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
123	123	『画本虫撰』	(撰)石川雅望(画)喜多川歌麿	彩色摺狂歌絵本、大本2冊	天明8年(1788)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
124	124	『潮干のつと』	(撰)朱楽菅公(画)喜多川歌麿	彩色摺狂歌絵本、折帖1帖	寛政元年(1789)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
125	125	『百千鳥狂歌合』	(撰)赤松金鶏(画)喜多川歌麿	彩色摺狂歌絵本、折帖2帖	寛政2、3年 (1790.1791)	千葉市美術館	2週間づつ頁替
126	126	『略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政7年(1795)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
127	127	『略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政7年(1795)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
128	128	『鳥獣譜』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政9年(1797)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
129	129	『人物略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政11年(1799)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
130	130	『人物略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政11年(1799)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
131	131	『山水略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政12年(1800)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
132	132	『山水略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	寛政12年(1800)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
133	133	『魚貝略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	享和2年(1802)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
134	134	『草花略画式』	鍬形蕙斎	彩色摺絵本、大本1冊	文化10年(1813)	福岡大学図書館	前・後期づつ頁替
135	135	『北斎漫画』6編、11編	葛飾北斎	彩色摺絵手本、 半紙本15冊の内2冊	6編)文化14年(1817) 11編)刊年未詳	山口県立萩美術館・浦上記念館	前・後期づつ展示替
136	136	東都名所　霞か関夕景	歌川広重	中短冊判錦絵	天保12年(1841)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
137	137	馬尽　駒鳥	葛飾北斎	色紙判摺物	文政5年(1822)	千葉市美術館	前期
138	138	上方摺物画巻		大々判摺物、巻子2巻	文化・文政期頃	中野三敏氏	2週間づつ展示替
139	139	『華月帖』	(編)花月翁亀齢軒斗遠	墨摺春画帖、折帖1帖	天保7年(1836)	中野三敏氏	2週間づつ頁替
140	140	浄瑠璃づくし 梅が枝源太無間の鐘段	歌川国貞	大判錦絵	天保3年(1832)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
141	141	江戸自慢　仲の町燈篭	歌川国貞	大判錦絵	文政初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
142	142	当世美人合　辰巳	歌川国貞	大判錦絵	文政末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
143	143	当世美人合　かこゐ	歌川国貞	大判錦絵	文政末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
144	144	浮世風俗美女競 看花復飲酒　酔臥落花菌	溪斎英泉	大判錦絵	文政5年(1822)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
145	145	美艶仙女香　朝霞	溪斎英泉	大判錦絵	文政3～5年 (1820～1822)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
146	146	美艶仙女香　はつ雪や	溪斎英泉	大判錦絵	文政3～5年 (1820～1822)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
147	147	吉原美人　扇屋内花扇	溪斎英泉	大判錦絵	天保6～8年 (1835～1837)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
148	148	浮世美人十二箇月 四月　郭公　初鰹	溪斎英泉	大判錦絵	天保中期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
149	149	富嶽三十六景　凱風快晴	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
150	150	富嶽三十六景　武陽佃嶋	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
151	151	富嶽三十六景　相州梅沢左	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
152	152	富嶽三十六景　甲州三坂水面	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
153	153	富嶽三十六景　神奈川沖浪裏	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
154	154	富嶽三十六景　山下白雨	葛飾北斎	横大判錦絵	天保5～5年 (1831～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
155	155	諸国瀧廻　東都葵ヶ岡の滝	葛飾北斎	大判錦絵	天保4年(1833)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
156	156	諸国瀧廻り　和州吉野義経馬洗滝	葛飾北斎	大判錦絵	天保4～5年 (1833～1834)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
157	157	琉球八景　龍洞松涛	葛飾北斎	横大判錦絵	天保3年(1832)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
158	158	百人一首　乳母か絵説 中納言家持	葛飾北斎	横大判錦絵	天保6～7年 (1835～1836)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
159	159	東都両国之風景	昇亭北寿	横大判錦絵	文化～文政期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
160	160	相州江之嶋ノ図	勝川春亭	横大判錦絵	文化初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
161	161	紅毛油画名所尽　錦帯橋	歌川国貞	横大判錦絵	文政後期～天保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
162	162	紅毛油絵名所尽　不忍池弁天	歌川国貞	横大判錦絵	文政後期～天保期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
163	163	東都名所　するがだひ	歌川国芳	横大判錦絵	天保初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
164	164	東都三ツ股の図	歌川国芳	横大判錦絵	天保初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
165	165	東海道五十三次之内　日本橋　朝之景	歌川広重	横大判錦絵	天保4～5年 (1833～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
166	166	東海道五十三次之内　箱根　湖水図	歌川広重	横大判錦絵	天保4～5年 (1833～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
167	167	東海道五十三次之内　三島　朝霧	歌川広重	横大判錦絵	天保4～5年 (1833～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
168	168	東海道五十三次之内　庄野　白雨	歌川広重	横大判錦絵	天保4～5年 (1833～1834)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
169	169	京都名所之内　淀川	歌川広重	横大判錦絵	天保5年(1834)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
170	170	京都名所之内　あらし山満花	歌川広重	横大判錦絵	天保5年(1834)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
171	171	甲陽猿橋之図	歌川広重	大判錦絵竪2枚続	天保13年(1842)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
172	172	木曽路之山川	歌川広重	大判錦絵3枚続	安政4年(1857)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
173	173	玉川の富士・利根川筑波図	歌川広重	絹本墨画淡彩、掛幅、双幅	嘉永年間	ニューオータニ美術館大谷コレクション	7/18-7/30
174	174	木曾海道六十九次之内　軽井沢	歌川広重	横大判錦絵	天保後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
175	175	木曾海道六十九次之内　長久保	歌川広重	横大判錦絵	天保後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
176	176	木曾海道六拾九次之内　板鼻	渓斎英泉	横大判錦絵	天保後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
177	177	岐阻路ノ駅　河渡　長柄川鵜飼船	渓斎英泉	横大判錦絵	天保後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
178	178	名所江戸百景　日本橋江戸ばし	歌川広重	大判錦絵	安政4年(1857)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
179	179	武蔵百景之内 江戸ばしより日本橋の景	小林清親	大判錦絵	明治17年(1884)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
180	180	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	歌川広重	大判錦絵	安政4年(1857)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
181	181	武蔵百景之内 鉄砲洲高橋　佃島遠景	小林清親	大判錦絵	明治17年(1884)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
182	182	『通俗漢楚軍談』	(訳)夢梅軒章峯、弥好軒徽庵	整版、大本15巻20冊	元禄8年(1695)	山口大学総合図書館棲息堂文庫	2週間づつ頁替

No.	図録No.	作品名	絵師名	形態	制作年	所蔵先	コメント
183	183	『絵本漢楚軍談』	(著)曲亭馬琴(画)北尾重政	墨摺本、読本、中本5巻10冊	文化元年(1804) 同3年(1806)	山口大学総合図書館棲息堂文庫	2週間づつ頁替
184	184	『絵本漢楚軍談』 初輯1～3巻、8～10巻、2輯1～10巻	(著)阿部櫟斎(画)葛飾北斎	墨摺本、読本、 半紙本20巻20冊のうち16冊	初輯)天保14年(1843) 2輯)弘化2年(1845)	山口県立大学附属図書館寺内文庫	2週間づつ頁替
185	185	漢国の樊　　勇力門を破る	勝川春英	大判錦絵	文政初期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
186	186	漢楚軍談　漢樊 鴻門の会に怒て轅門をやぶる	歌川国貞	大判錦絵	文政後期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
187	187	『新編水滸画伝』 巻1,7,8,10,43,63,65,67,71,74	(初編著)曲亭馬琴 (2～6編著)高井蘭山(画)葛飾北斎	墨摺絵本、 半紙本6編61冊のうち10冊	文化2年～天保9年 (1805～1838)	浦上満氏	2週間づつ頁替
188	188	『忠義水滸画伝』	葛飾北斎	墨摺絵本、半紙本1冊	文政12年(1829)	浦上満氏	2週間づつ頁替
189	189	通俗水滸伝豪傑百八人之一人 花和尚魯知深初名魯達	歌川国芳	大判錦絵	文政末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
190	190	通俗水滸伝豪傑百八人一人 母夜叉孫二娘	歌川国芳	大判錦絵	文政末期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
191	191	『南総里見八犬伝』1輯巻4、3輯巻1,5、 4輯巻1,2、5輯巻2,4、6輯巻1,3	(著)曲亭馬琴 (画)初世・2世柳川重信・ 渓斎英泉・歌川貞秀	墨摺本、読本、 半紙本98巻106冊のうち9冊	文政11年～天保13年 (1828～1842)	浦上満氏	2週間づつ頁替
192	192	八犬伝之内芳流閣	歌川国芳	大判錦絵3枚続	天保11年(1840)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
193	193	本朝水滸伝剛勇八百人一個 犬村大学禮儀　幼名角太郎	歌川国芳	大判錦絵	天保前期	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
194	194	曲亭翁精著八犬士随一	歌川国芳	大判錦絵	天保末期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
195	195	八犬伝犬之草帋廼内　尼妙椿	2代歌川国貞	大判錦絵	嘉永5年(1852)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
196	196	『雪梅芳譚　犬の草子』	(著)笠亭仙果作・久保田彦作 (画)3代歌川豊国・2代国綱、他	墨摺本、合巻、 中本56編112冊	嘉永1年～明治14年 (1848～1881)	山口市歴史民俗資料館	2週間づつ頁替
197	197	『椿説弓張月』　前編巻1,2,3、後編巻1	(著)曲亭馬琴(画)葛飾北斎	墨摺本、読本、 半紙本28巻29冊のうち5冊	文化4～8年 (1807～1811)	浦上満氏	2週間づつ頁替
198	198	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	歌川国芳	大判錦絵3枚続	嘉永3～5年 (1850～1852)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
199	199	耀武八景　琉球帰帆　源為朝	歌川国芳	大判錦絵	嘉永5年(1852)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
200	200	美談武者八景　琉球の帰帆	月岡芳年	大判錦絵33枚続	慶応3年(1867)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
201	201	『源氏物語絵帖』	住吉如慶	紙本着色、画帖1帖	江戸時代	サントリー美術館	2週間づつ頁替
202	202	『源氏小鏡』	絵師未詳	墨摺絵本、小本3巻	寛文6年(1666)	山口大学総合図書館棲息堂文庫	2週間づつ頁替
203	203	げんじ五十四枚のうち　第六末摘花	西村重長	横細判漆絵	享保期	千葉市美術館	後期
204	204	女三の宮	鳥居清長	大判錦絵	天明4年(1784)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
205	205	風流やつし源氏　若菜巻上	鳥文斎栄之	大判錦絵3枚続	寛政3～4年 (1791～1792)頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期
206	206	風流やつし源氏　すま	鳥文斎栄之	大判錦絵3枚続の右	寛政初期頃	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
207	207	『偐紫田舎源氏』	(著)柳亭種彦(画)歌川国貞	墨摺本、合巻、中本38編76冊	文政12年～天保13年 (1829～1842)	鈴木健一氏	2週づつ頁替
208	208	今様輝氏古寺之古図	歌川国芳	大判錦絵3枚続	天保4年～嘉永5年 (1833～1852)	山口県立萩美術館・浦上記念館	前期
209	209	田舎源氏	月岡芳年	大判錦絵竪2枚続	明治18年(1885)	山口県立萩美術館・浦上記念館	後期

展覧会名	開館10周年記念 ・ＫＲＹ山口放送開局50周年記念 陶器が語る来世の理想郷 中国古代の暮らしと夢　ー建築・人・動物 Dream of Ideal Life in Ancient China: Ceramic Miniatures of Architectures, Household Goods, People and Animals
会期	平成18年8月12日(土)～9月24日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、KRY山口放送
後援	萩市

(1)趣旨

～テーマは生きる喜び～

中国古代の人々は、人間の霊魂は永遠不滅であり、墳墓がこの霊魂の住まいであると考えていました。また、死後の世界は、現実世界の延長で、そこでの暮らしぶりは、現世となんら変わるところがないとも考えました。そのため、墓の主が満ち足りた生活が送れるように、現実世界のさまざまなものを明器（めいき）や俑（よう）に作って墓に副葬したのです。明器とは死者が生前の生活で必要としたものを死後の世界でも使えるように模造したもので、建物や儀式に使う器、飲食器、人間、動物など、実に多様な器物や生き物が陶製や木製、青銅製などで造られます。

戦国時代後期、紀元前3世紀の終わり頃に著された、「藍より出でし青は藍より青く、・・」の書き出しで有名な『荀子（じゅんし）』の「礼論篇（れいろんへん）」に、墓に供える明器について書かれた部分があり、そこには、酒を容れる甕や「ほと」(無＋つくりに瓦）は空のままとし、楽器の笙や「う」（竹かんむり＋于）はならべても吹奏せず、琴や「しつ」（王王の下に必）も弦は張っても調律しない、などと記されています。実際、前漢初め頃の湖南省の馬王堆（まおうたい）１号墓で発見された楽器の「う」（竹かんむり＋于）は吹き口と管の部分がつながっておらず、音はでません。このように外観は似せているが実体を伴わないもの、それが明器の本来の姿なのです。

俑は明器の一種で、生き物を象ったものです。特に人物俑は、死者に対して冥府へ供奉するという役目から見て、俑の中心的な存在と思われます。そして、生前にかわいがった犬などの愛玩動物や家畜なども死後の生活を完結するための重要な副葬品としてお供に加えられます。

このように、生活空間を構成するさまざまな建物や生活道具、そこで生活する人間や動物、そして来世への憧れを表現した器物など、その内容は非常に豊富で多種多様です。こうして、地下の世界に「生きる喜び」にあふれた理想郷が創出されたのです。

これらの明器や俑は、各時代の人々の生活を生き生きと眼前に甦らせます。中国古代の人々が来世に伴いたいと願った生活情景の数々、働き、舞い踊って生活を楽しむ人々や、彼らとともに暮らす動物たちなどによって、その生活の息吹と夢をたどりました。

（2）カタログ

編集	愛知県陶磁資料館、町田市立博物館
発行	愛知県陶磁資料館、財団法人大倉集古館、岡山市立オリエント美術館、財団法人細見美術館、町田市立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館
内容	開催にあたって　主催者 黄泉の暮らしと住まいー明器陶屋の世界 ／田中 淡(京都大學人文科學研究所教授) 沙中の楼閣に託す夢／茂木計一郎(建築家) 年表

作品図版
PARTⅠ：住まい
PARTⅡ：人と動物
PARTⅢ：古代の世界観
明器と俑－漢時代を中心に－／矢島律子(町田市立博物館学芸員)
古代地中海の死生観と造形作品(中国古代との比較のために)
／飯島章仁(岡山市立オリエント美術館学芸員)
中国における鉛釉陶の展開／森 達也(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
出品目録
謝辞
体裁　A4判変形　128ページ

（3）記念講演会
日時　平成18(2006)年8月12日(土)　13：30～15：00
演題　「俑と明器　その魅力と鑑賞」(兼・平成18年度第2回美術講座)
講師　矢島律子(町田市立博物館学芸員)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日　11：00～12：00
担当　上田秀夫(副館長)

No.	作品名	種別	時代 西暦	法量(cm) 高(h.)/幅(w.)/径(d.)	所蔵者および寄贈者
PARTⅠ 住まい					
1	水しゃ(池中の望楼)	緑釉陶	後漢 25-220年	86.5/-/- 池:-/-/42.0	個人蔵
2	水しゃ	緑釉陶	後漢 25-220年	91.0/-/- 池:-/-/47.0	個人蔵
3	水しゃ	緑釉陶	後漢 25-220年	53.4/-/-	個人蔵
4	水しゃ	緑釉陶	後漢 25-220年	94.0/-/- 池:-/-/39.5	個人蔵
5	水しゃ	緑釉陶	後漢 25-220年	41.5/17.0/15.0 池:-/-/36.5	個人蔵
6	望楼(見張り台)	緑釉陶	後漢 25-220年	108.5/33.0/奥行31.5	個人蔵
7	望楼	緑釉陶	後漢 25-220年	108.5/34.0/奥行48.0	個人蔵
8	望楼	加彩	後漢 25-220年	87.0/43.7/奥行38.0	愛知県陶磁資料館 伊藤和子氏寄贈
9	倉楼(高層の穀物蔵)	加彩	後漢 25-220年	125.0/66.0/奥行47.5	天理大学附属天理参考館
10	倉楼	緑釉陶	後漢 25-220年	44.0/49.0/奥行45.0	個人蔵
11	住居	灰陶	後漢 25-220年	21.5/31.0/奥行30.5	個人蔵
12	住居	灰陶	後漢 25-220年	31.0/28.0/奥行30.0	個人蔵
13	住居	紅陶	ﾍﾞﾄﾅﾑ･ 後漢併行期	34.5/29.0/奥行30.5	個人蔵
14	きん(円筒形の穀物蔵)	緑釉陶	後漢 25-220年	32.0/-/22.0	愛知県陶磁資料館 中島武則氏寄贈
15	きん(円筒形の穀物蔵)	褐釉緑彩陶	前漢-後漢 前1-1世紀	29.5/17.6/底径13.0	個人蔵
16	倉(方形の穀物蔵)	加彩	後漢 25-220年	27.0/-/-	天理大学附属天理参考館
17	倉	灰陶	後漢 25-220年	51.5/43.0/奥行29.0	個人蔵
18	倉	緑釉陶	後漢 25-220年	24.5/35.0/奥行25.0	個人蔵
19	半瓦当(半円形の軒瓦)	灰陶	戦国(燕) 前1100頃- 前222年	18.0/-/37.0	個人蔵
20	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	7.0/-/14.5	個人蔵
21	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	7.0/-/14.5	個人蔵
22	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	7.0/-/14.2	個人蔵
23	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	7.0/-/13.5	個人蔵
24	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	9.5/-/20.0	個人蔵
25	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	8.5/-/17.4	個人蔵
26	半瓦当	灰陶	戦国(斉) 前1046頃- 前386年	-/-/18.0	個人蔵
27	軒瓦	灰陶	漢 前202-220年	径16.4/長49.5	個人蔵

No.	作品名	種別	時代 西暦	法量(cm) 高(h.)/幅(w.)/径(d.)	所蔵者および寄贈者
28	作坊(農作業小屋)	緑釉陶	後漢 25-220年	15.0/22.5/奥行18.0	個人蔵
29	作坊	緑釉陶	後漢 25-220年	8.5/22.5/奥行17.0	個人蔵
30	作坊	緑釉陶	後漢 25-220年	19.0/27.3/奥行15.2	天理大学附属天理参考館
31	作坊	緑釉陶	後漢 25-220年	22.5/30.5/奥行15.5	個人蔵
32	猪圏(厠付き豚小屋)	灰陶	後漢 25-220年	28.0/42.2/奥行29.0	個人蔵
33	猪圏	灰陶	後漢 25-220年	23.5/38.0/奥行28.0	個人蔵
34	猪圏	緑釉陶	後漢 25-220年	15.3/-/-	天理大学附属天理参考館
35	厩舎(馬小屋)	紅陶(釉痕有)	前漢-後漢 前202-220年	通高25.3/-/-	天理大学附属天理参考館
36	鴨塘(鴨を飼う池)	緑釉陶	後漢 25-220年	19.5/-/34.0	個人蔵
37	井戸	緑釉陶	後漢 25-220年	37.5/-/14.5	個人蔵
38	井戸	灰陶	前漢-後漢 前202-220年	30.5/24.0/17.0	個人蔵
39	井戸	灰陶	後漢 25-220年	33.0(復元)/25.5/奥行25.5	個人蔵
40	井戸	灰陶	後漢 25-220年	34.0/-/-	天理大学附属天理参考館
41	井戸	緑釉陶	後漢 25-220年	38.2/-/-	東京国立博物館 横川民輔氏寄贈
42	竈	緑釉陶	後漢 25-220年	14.3/29.0/奥行31.5	個人蔵
43	竈	緑釉陶	後漢 25-220年	-/-/長径19.6	大阪市立美術館
44	竈	緑釉陶	後漢 25-220年	28.5/25.0/奥行33.0	個人蔵
45	竈	灰陶	後漢 25-220年	25.0/28.6/奥行19.8	東京国立博物館
46	爐(こんろ)	緑褐釉陶	後漢 25-220年	12.0/11.0/奥行20.0	個人蔵
47	碓(脱穀用の臼)	緑釉陶	後漢 25-220年	7.0/6.5/長22.0	個人蔵
48	碾(穀物を挽く臼)	緑釉陶	後漢 25-220年	8.0/-/15.0	個人蔵
49	薬研(薬おろし)	褐釉陶	後漢-六朝 3世紀頃	本体:5.0/16.5/3.8	個人蔵
50	案(脚付き膳)	緑釉陶	後漢 25-220年	12.5/41.0/奥行27.5	個人蔵
51	匱(長持ち)	緑釉陶	後漢 25-220年	15.0/24.0/奥行20.5	個人蔵
52	酒器・食器	加彩	前漢-後漢 前202-220年	耳坏(大):長径14.4 尊:径24.0 卮:径14.4 銷:径25.8 勺:長18.2 盤:径19.4 盂4口:19.4-15.3	大阪市立東洋陶磁美術館 福島サト子氏寄贈
53	酒器・食器	加彩	前漢-後漢 前202-220年	耳坏(大):長径12.0 平槃:径46.0 皿(大):径23.2 盂:径19.0 龍頭勺:長径14.0	個人蔵
54	鶏舎	青磁	呉-西晋 3-4世紀	7.5/13.0/奥行8.0	個人蔵
55	鶏舎	青磁	呉-西晋 3-4世紀	7.5/20.2/奥行11.4	個人蔵
56	狗圏(犬を飼う囲い)	青磁	西晋 265-316年	大:5.4/-/13.0 小:4.8/-/10.9	個人蔵
57	猪圏(豚を飼う囲い)	青磁	西晋 265-316年	7.8/-/12.3	個人蔵

No.	作品名	種別	時代 西暦	法量(cm) 高(h.)/幅(w.)/径(d.)	所蔵者および寄贈者
58	竈	青磁	西晋 265-316年	11.5/17.0/奥行20.0	個人蔵
59	竈	青磁	六朝-唐 6-7世紀	13.5/9.0/奥行16.5	個人蔵
60	竈	加彩	唐 7-8世紀	-/-/長23.0	大阪市立美術館
61	明器舗(明器を売る店)	三彩	唐 7-8世紀	19.0/-/台28.6×9.6	天理大学附属天理参考館
62	厠	三彩	唐 7-8世紀	6.0/10.0/奥行11.0	京都大学人文科学研究所
63	假山(庭園の築山)	三彩	唐7-8世紀	19.5/9.5/-	京都大学人文科学研究所
64	舎利塔(仏陀の骨を納めた塔)	緑褐釉陶	唐-北宋 9-10世紀	92.0/-/底径33.0	愛知県陶磁資料館 伊藤和子氏寄贈
65	宝塔	木製	遼・統和廿六年 1008年	110.8/38.0/奥行27.0	個人蔵
66	倉	鉄絵	南宋 1127-1279年	9.5/11.0/奥行8.5	個人蔵
67	倉	鉄絵	南宋1127-1279年	15.5/18.5/奥行14.5	個人蔵
68	きん	白磁	南宋 1127-1279年	20.0/-/16.0	個人蔵
69	祠堂	加彩	元 1271-1368年	39.0/-/36.0	個人蔵
70	住居	加彩	明 1368-1644年	50.0/71.0/奥行88.0	個人蔵
71	寝台	三彩	清 1644-1912年	32.0/30.0/奥行19.5	個人蔵
72	衣櫃(衣装たんす)	三彩	明 1368-1644年	25.0/20.0/奥行10.5	個人蔵
73	供物	三彩	明1368-1644年	22.0/27.0/奥行17.5	個人蔵
74	椅子	三彩	明1368-1644年	19.0/11.0/奥行9.5	個人蔵
PARTⅡ　人と動物					
75	解牛・解猪(牛・豚の解体)	緑褐釉陶	後漢 25-220年	9.5~11.5/-/-	個人蔵
76	庖人(料理人)	緑釉陶	後漢 25-220年	28.0/-/-	天理大学附属天理参考館
77	楽人	緑褐釉陶	後漢 25-220年	14.3/-/-	東京国立博物館
78	舞人	加彩	後漢 25-220年	14.3/-/-	東京国立博物館 横川民輔氏寄贈
79	舞人	加彩	後漢 25-220年	22.8/-/-	天理大学附属天理参考館
80	楽人	加彩	後漢 25-220年	11.4/-/- 11.7/-/-	東京国立博物館 横川民輔氏寄贈
81	宴会図尊	褐釉陶	前漢-後漢 前1-1世紀	20.0/-/21.7	個人蔵
82	童子	加彩	後漢 25-220年	20.0/-/- 14.0/-/-	個人蔵
83	臥仙(横たわる仙人)	緑褐釉陶	後漢 25-220年	5.0/-/-	個人蔵
84	笑人	青銅加彩	後漢 25-220年	6.3/-/-	個人蔵
85	犬	緑釉陶	後漢 25-220年	23.5/-/長26.5	町田市立博物館
86	犬	紅陶	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ 後漢併行期	4.0/-/長14.5	個人蔵
87	鶏	紅陶	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ 後漢併行期	雄:11.0/-/長18.0 雌:11.5/-/長17.0	個人蔵
88	鴨	紅陶	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ 後漢併行期	6.5/-/長12.0	個人蔵

No. 作品名	種別	時代 西暦	法量(cm) 高(h.)/幅(w.)/径(d.)	所蔵者および寄贈者
89 穿山甲	紅陶	ﾍﾞﾄﾅﾑ･ 後漢併行期	6.5/-/長22.5	個人蔵
90 羊	青磁	西晋 265-316年	13.6/-/長16.0	個人蔵
91 騎馬武人	加彩	北魏 386-534年	30.5/-/長24.0 31.0/-/長24.5	個人蔵
92 碓踏み	加彩	北魏 386-534年	18.5/-/長19.7	個人蔵
93 踊る農民	加彩	北魏 386-534年	13.7～17.3/-/-	個人蔵
94 犬	灰陶	北魏 386-534年	-/-/長8.0	個人蔵
95 犬	加彩	北魏 386-534年	12.8/-/-	個人蔵
96 牛	加彩	北魏 386-534年	-/-/長19.5	個人蔵
97 牛車	加彩	北魏 386-534年	牛車:30.0/-/長20.0 牛:18.0/-/長28.0	個人蔵
98 武人	加彩	北斉 550-577年	27.5/-/-	個人蔵
99 騎馬仕女	黄釉加彩	唐 7世紀	24.2/-/-	個人蔵
100 馭者	黄釉加彩	唐 7世紀	27.0/-/-	個人蔵
102 牛	加彩	唐 618-907年	6.0/-/長9.8	個人蔵
103 鶏	黄釉陶/褐釉陶	唐 7世紀	6.8~11.1/-/-	個人蔵
104 侏儒	加彩	唐 618-907年	13.0/-/-	個人蔵
105 仕女･馭者･馬	灰陶	元 14世紀	仕女:高28.8　馭者:高28.3 馬:高28.0	個人蔵
106 商人	加彩	清 1644-1912年	黒ﾀｰﾊﾞﾝ:高27.0 赤高帽子:高28.0 黒高帽子:高28.8	個人蔵
〈参考出品〉 馬	加彩	北魏 6世紀	23.1/-/長24.8	萩美術館･浦上記念館
〈参考出品〉 駱駝	加彩	北魏 6世紀	25.6/-/長22.8	萩美術館･浦上記念館
PARTⅢ　古代の世界観				
107 温酒尊	褐釉緑彩陶	前漢-後漢 前1-1世紀	25.2/-/20.3	愛知県陶磁資料館
108 博山炉	灰陶	前漢-後漢 前202-220年	19.6/-/胴径11.0	個人蔵
109 桃都樹	褐釉緑彩陶	前漢-後漢 前1-1世紀	54.4/-/11.2/底径13.1	大阪市立東洋陶磁美術館
110 鎮墓獣	加彩	西晋 265-316年	19.5/-/長30.0	個人蔵
111 鎮墓獣	加彩	北斉 550-577年	獣頭:30.0/-/21.5 人面:30.0/-/21.5	個人蔵
112 神亭壺	青磁	三国･呉-西晋 3世紀	46.0/-/胴径31.2	愛知県陶磁資料館
113 貼花文壺	褐釉陶	宋 11-12世紀	34.1/-/7.3･底径6.3	東京国立博物館 入江貫一氏寄贈
114 日月壺	白磁	南宋 13世紀	90.5/-/8.4･底径8.2	東京国立博物館 伊藤和子氏寄贈
〈参考出品〉 温酒尊	緑釉陶	後漢 25-220年	20.1/-/18.4	萩美術館･浦上記念館
〈参考出品〉 鼎	褐釉陶	前漢-後漢 前1-1世紀	26.1/-/最大径22.5	萩美術館･浦上記念館
〈参考出品〉 博山炉	緑釉陶	後漢 25-220年	21.8/-/最大径18.4	萩美術館･浦上記念館

展覧会名	第21回国民文化祭・やまぐち2006 特別企画展 萩焼の造形美 人間国宝　三輪壽雪の世界
会期	平成18年10月7日(土)～11月26日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、 YAB山口朝日放送、社団法人日本工芸会山口支部
後援	萩市
協賛	トヨタ輸送株式会社
協力	萩陶芸家協会、エフエム山口

(1)趣旨

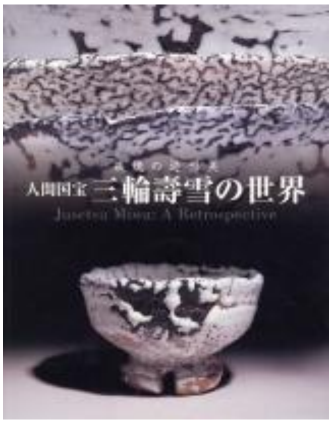
「萩焼」の重要無形文化財保持者(人間国宝)で、96歳のいまも現役の陶芸家として活躍している三輪壽雪(1910年生まれ)の80年近い作陶生活の集大成として、初期作から最新作までが一堂に会する初めての回顧展を開催しました。

山口県萩の伝統ある陶家、三輪窯に生まれた壽雪は、兄・十代三輪休雪(後の休和)に作陶を学び、長い修業の後に45歳から「休」と号して出品活動を始めました。1967年に「十一代休雪」を襲名し、1983年には兄に続き人間国宝に認定されて、名実ともに日本を代表する陶芸家の一人となります。そして2003年、「休雪」を長男に譲り、自らは「壽雪」と号してさらなる一歩を踏み出しています。

本展覧会では、長い作陶活動を作風や陶技の大きな転機となった四つの時代に分けて、時代ごとに浮かび上がる作風や意識の変化を、茶碗を中心に、独自性に富んだ水指や花入、初公開となる置物など、壽雪が生み出した191点の作品でたどりました。

萩焼400年の伝統を継承しながらも古典の真似に終わることなく、茶陶という分野に独創性あふれる豪快な作風で新たな境地を切り開いた壽雪芸術の全貌に迫りました。

(2) カタログ



編集　東京国立近代美術館工芸館、山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社

発行　朝日新聞社事業本部西部企画事業チーム

内容　ごあいさつ　主催者

謝辞

三輪壽雪論ー「用的立体」と表現
／金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)

On Jusetsu Miwa：The”Three-Dimensional From Shaped Vessel”and Artistic Expression／Kenji Kaneko

図版

Ⅰ章　修業と「休」の時代
Ⅱ章　十一代「休雪」襲名
Ⅲ章　大器『鬼萩』の創生
Ⅳ章　「壽雪」造形の清雅

三輪壽雪伝略ー作陶80年のあゆみ／石崎泰之(学芸課主査)

土・釉・造形ー「鬼萩」「休雪白」「割高台」
／唐澤昌宏(東京国立近代美術館主任研究員)

茶碗・表現・個性ー三輪壽雪〈鬼萩割高台茶碗〉をめぐって
／冨田康子(横須賀市美術館開設準備室学芸員)

壽雪と半泥子／榎本 徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)

三輪壽雪インタビュー／聞き手：外舘和子(茨城県つくば美術館主任学芸員)

資料［泥仏堂参詣記］

資料［壽雪口伝］

三輪壽雪略年譜／石崎泰之編

主要参考文献／石崎泰之編
用語解説／石崎泰之編
作品リスト
A Short Biography of Jusetsu Miwa ／Yasuyuki Ishizaki
Clay,Glaze,From：Oni-Hagi,Kyusetsu White,and the Notched Foot／
Tea Bowls,Style,Individuality：On Jusetsu Miwa's Notched Foot Oni-Hagi
Tea Bowls／Yasuko Tomita
An Interview with Jusetsu Miwa／Interviewed by Kazuko Todate
体裁　A4判変形　272ページ

（3）記念講演会
日時　平成18(2006)年10月14日(土)　13：30～15：00
演題　「現代陶芸史と三輪壽雪」(兼・平成18年度第4回美術講座)
講師　榎本 徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)

（4）ギャラリーツアー
日時　毎週日曜日(11月12日を除く)　14：00～15：00
担当　石崎泰之(学芸課主査)

（5）その他
関連イベント
①記念シンポジウム「茶陶の現在－現代陶芸における表現の可能性」
日時　平成18(2006)年11月3日(祝)　13：30～16：50、11月4日(土)　9：30～12：30
発表者：金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)、久保田厚子(岡山県立大学教授)、
福島建治(朝日新聞社編集委員)、柳原睦夫(陶芸家)
②三輪壽雪さんの作品(茶碗)による呈茶
協力　表千家千萩会、裏千家淡交会萩支部、遠州流萩支部、小堀遠州流萩支部、萩陶芸家協会賛助会
日時　会期中(10月7日～11月26日)の土・日および祝日　10：00～15：30
場所　会場内1階ロビー

実施日・実施団体

表千家千萩会	10月6日(金)・7日(土)・14日(土)・11月23日(祝)・25日(土)・26日(日)
萩陶芸家協会賛助会	10月8日(日)・11月11日(土)・12日(日)
裏千家淡交会萩支部	10月9日(祝)・21日(土)・22日(日)・11月3日(祝)
小堀遠州流萩支部	10月15日(日)・11月4日(土)・5日(日)
遠州流萩支部	10月28日(土)・29日(日)・11月18日(土)・19日(日)

③ワークショップ「萩焼をつくろう」
日時　平成18(2006)年10月7日(土)～9日(祝)、11月11日(土)・12日(日)
10：30～15：30／講師：萩焼作家

実施日・講師

実施日	講師
10月7日(土)	玉村信一(松林庵)、松浦洞心(松雲山窯)
10月8日(日)	兼田知明(勝景庵)、岡田 泰(岡田窯)
10月9日(祝)	小川浩延(室生窯)、玉村好雄(江風庵窯)
11月11日(土)	厚東孝明(小萩窯)、福光京子(陶房福光)
11月12日(日)	金子 愛(城山窯)、松野創平(緑栄窯)

④スペシャルコンサート「いま生きる邦楽器」
日時　平成18(2006)10月23日(月)　14：00～15：30
場所　当館1階特設会場
出演　R－505〈四世今藤長十郎(三味線)、小松原まさし(キーボード)、藤舎呂英(打楽器)、福原寛(笛)〉
演目　Gate of Heaven、Blow up、TAPO、風波　他

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
1	萩茶碗　銘 嵯峨野	Tea Bowl, "*Saga-no*", Hagi Ware	昭和39年	1964	口径(d.) 11.5	
2	萩茶碗　銘 峰紅葉	Tea Bowl, "*Mine-momiji*", Hagi Ware	昭和41年	1966	口径(d.) 10.9×10.8	
3	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和36-42年	c.1961-66	口径(d.) 10.8	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
4	白萩禾目水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和40年	1965	最大幅(W.) 31.0×28.5	
5	萩水指	Water Jar, Hagi Ware	昭和20-29年	c.1945-54	最大径(D.) 18.5	
6	萩水指	Water Jar, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	最大径(D.) 20.0	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
7	萩菱形花入	Lozenge-Shaped Flower Vase, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	高(h.) 21.5	
8	萩砧花入	Flower Vase in the Shape of a Mallet, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	高(h.) 23.4	
9	萩角花入	Square Flower Vase, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	高(h.) 30.7	
10	萩花入	Flower Vase, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	高(h.) 25.7	
11	白萩手桶花入	Flower Vase with Handle, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和40年	1965	高(h.) 34.5	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
12	萩面取花入	Flower Vase with Faceted Sides, Hagi Ware	昭和41年	1966	高(h.) 28.2	
13	萩掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware	昭和36-41年	c.1961-66	高(h.) 14.2	
14	白萩陶匣	Square Box, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和36-41年	c.1961-66	最大幅(W.) 27.5×19.0	
15	白萩陶匣	Square Box, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和36-41年	c.1961-66	最大幅(W.) 23.0×21.0	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
16	萩平皿	Plate, Hagi Ware	昭和30-35年	c.1955-60	口径(d.) 25.8	
17	白萩平鉢	Shallow Bowl, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和41年	1966	口径(d.) 35.8	
18	萩徳利	Sake Bottle, Hagi Ware	昭和41年	1966	高(h.) 13.8	
19	萩盃	Sake Cup, Hagi Ware	昭和41年	1966	口径(d.) 6.6×6.0	
20	萩玉取獅子置物	Ornament, "*Tama-tori-jishi*", Hagi Ware	昭和10年	1935	高(h.) 33.0	
21	萩鉄拐仙人置物	Ornament, "Taoist immortal *Tekkai* (Ch: *Tieguai*)", Hagi Ware	昭和19年	1944	高(h.) 33.4	
22	萩寒山拾得置物	Ornament, "*Kanzan* and *Jittoku* (Ch: *Hanshan* and *Shide*)", Hagi Ware	昭和20-29年	c.1945-54	高(h.) 41.0	
23	萩寒山拾得置物	Ornament, "*Kanzan* and *Jittoku* (Ch: *Hanshan* and *Shide*)", Hagi Ware	昭和20-29年	c.1945-54	高(h.) 37.5	
24	萩郭子儀置物	Ornament, "*Kaku Shigi* (Ch: *Guo Ziyi*)", Hagi Ware	昭和30-41年	c.1955-66	高(h.) 35.0	
25	萩茶碗　銘 雲間ノ月	Tea Bowl, "*Kumoma-no-tsuki*", Hagi Ware	昭和42年	1967	口径(d.) 11.5×11.3	
26	白萩茶碗　銘 峰ノ雪	Tea Bowl, "*Mine-no-yuki*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和42年	1967	口径(d.) 12.7×12.4	
27	萩茶碗　銘 早瀬	Tea Bowl, "*Hayase*", Hagi Ware	昭和43年	1968	口径(d.) 13.8×13.5	
28	萩平茶碗	Shallow Tea Bowl, Hagi Ware	昭和43年	1968	口径(d.) 13.8×12.8	
29	紅萩茶碗　銘 豊旗雲	Tea Bowl, "*Toyo-hata-gumo*", Hagi Ware, Beni-Hagi Type	昭和43年	1968	口径(d.) 12.3	

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
30	萩茶碗　銘 不二	Tea Bowl, "*Fuji*", Hagi Ware	昭和44年	1969	口径(d.) 14.0	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
31	萩茶碗　銘 好日	Tea Bowl, "*Kōjitsu*", Hagi Ware	昭和45年	1970	口径(d.) 11.7	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
32	萩茶碗　銘 岩清水	Tea Bowl, "*Iwa-shimizu*", Hagi Ware	昭和45年	1970	口径(d.) 13.7×13.3	
33	萩茶碗　銘 暁雲	Tea Bowl, "*Gyōun*", Hagi Ware	昭和45年	1970	口径(d.) 13.0	
34	紅萩茶碗　銘 南山	Tea Bowl, "*Nanzan*", Hagi Ware, Beni-Hagi Type	昭和45年	1970	口径(d.) 12.3	
35	白萩茶碗　銘 陽炎	Tea Bowl, "*Kagerō*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和46年	1971	口径(d.) 13.5×13.1	
36	萩茶碗　銘 獅子	Tea Bowl, "*Shishi*", Hagi Ware	昭和47年	1972	口径(d.) 14.6	
37	萩茶碗　銘 瑞雲	Tea Bowl, "*Zuiun*", Hagi Ware	昭和47年	1972	口径(d.) 12.6	
38	萩茶碗　銘 梅鶯	Tea Bowl, "*Baiō*", Hagi Ware	昭和47年	1972	口径(d.) 12.7×12.0	
39	萩掛分茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware with *Kake-wake* (two-colored)	昭和47年	1972	口径(d.) 13.8	
40	白萩茶碗　銘 春雷	Tea Bowl, "*Shunrai*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和48年	1973	口径(d.) 12.8×12.5	
41	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和51年	1976	口径(d.) 14.0	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
42	紅萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Beni-Hagi Type	昭和51年	1976	口径(d.) 13.0	
43	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和52年	1977	口径(d.) 13.5	
44	萩茶碗　銘 日和	Tea Bowl, "*Hiyori*", Hagi Ware	昭和52年	1977	口径(d.) 13.1	
45	萩茶碗　銘 現成	Tea Bowl, "*Genjō*", Hagi Ware	昭和53年	1978	口径(d.) 13.6×13.2	
46	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和53年	1978	口径(d.) 13.2	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
47	白萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和53年	1978	口径(d.) 13.1	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
48	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和54年	1979	口径(d.) 12.5	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
49	白萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和54年	1979	口径(d.) 10.7×13.9	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
50	紅萩茶碗　銘 草もみじ	Tea Bowl, "*Kusa-momiji*", Hagi Ware, Beni-Hagi Type	昭和54年	1979	口径(d.) 14.5×10.0	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
51	萩茶碗　銘 掌中珠	Tea Bowl, "*Shōchū-no-tama*", Hagi Ware	昭和55年	1980	口径(d.) 11.0	
52	萩沓形茶碗	Distorted Tea Bowl, Hagi Ware	昭和55年	1980	口径(d.) 13.6×12.8	
53	萩沓形茶碗	Distorted Tea Bowl, Hagi Ware	昭和56年	1981	口径(d.) 14.6×11.8	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
54	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和57年	1982	口径(d.) 12.4	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
55	白萩窯変茶碗　銘 高砂	Tea Bowl, "*Takasago*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和57年	1982	口径(d.) 12.9	
56	白萩窯変水指　銘 聴松	Water Jar, "*Chōshō*"Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和42年	1967	最大径(D.) 18.5	
57	紅萩菱形水指　銘 花篝	Lozenge-Shaped Water Jar, "*Hana-kagari*", Hagi Ware, Beni-Hagi Type	昭和44年	1969	最大幅(W.) 26.2×23.8	

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
58	白萩灰被四方水指	Rectangular Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和47年	1972	最大幅(W.) 17.0×17.0	
59	白萩窯変水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和48年	1973	最大径(D.) 20.3	
60	白萩灰被四方水指	Rectangular Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和53年	1978	最大幅(W.) 18.4×17.4	
61	白萩灰被水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和54年	1979	最大径(D.) 18.7	
62	白萩四方水指　銘 巌流	Rectangular Water Jar, "*Ganryū*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和55年	1980	最大幅(W.) 17.5×17.5	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
63	白萩水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和56年	1981	最大径(D.) 21.3×18.8	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
64	白萩灰被水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和57年	1982	最大径(D.) 21.0×17.0	
65	白萩灰被四方水指	Rectangular Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和57年	1982	最大幅(W.) 19.8×18.0	
66	白萩窯変角花入	Square Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和42年	1967	高(h.) 26.8	
67	白萩窯変角花入	Square Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和42年	1967	高(h.) 27.7	
68	萩掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware	昭和43年	1968	高(h.) 14.0	
69	萩荒ひび掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware with *Ara-hibi*	昭和43年	1968	高(h.) 10.7	
70	白萩掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和45年	1970	高(h.) 13.0	
71	萩花入	Flower Vase, Hagi Ware	昭和46年	1971	高(h.) 22.0	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
72	萩耳付花入	Flower Vase with Two Ears, Hagi Ware	昭和46年	1971	高(h.) 23.4	
73	萩面取花入	Flower Vase with Faceted Sides, Hagi Ware	昭和50年	1975	高(h.) 32.3	岐阜県現代陶芸美術館 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu
74	白萩窯変角花入	Square Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和57年	1982	高(h.) 26.0	
75	白萩窯変掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with Yōhen (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和57年	1982	高(h.) 15.0	
76	白萩陶匣	Square Box, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和45年	1970	最大幅(W.) 25.0×18.0	
77	白萩陶匣	Square Box, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和48年	1973	最大幅(W.) 23.2×17.0	
78	白萩平鉢	Shallow Bowl, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和42年	1967	口径(d.) 30.0	
79	白萩平皿	Plate, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和43年	1968	口径(d.) 30.8	
80	白萩沓形鉢	Distorted Bowl, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和43年	1968	口径(d.) 30.0×24.0	
81	萩沓形鉢	Distorted Bowl, Hagi Ware	昭和43年	1968	最大径(D.) 27.7×24.7	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
82	萩平鉢	Shallow Bowl, Hagi Ware	昭和44年	1969	口径(d.) 24.2	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
83	白萩角皿	Square Plate, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和45年	1970	最大幅(W.) 26.6×23.4	
84	白萩角皿	Square Plate, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和45年	1970	最大幅(W.) 30.0×25.5	
85	白萩平皿	Plate, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和45年	1970	口径(d.) 30.5	

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
86	白萩角皿	Square Plate, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和46年	1971	最大幅(W.) 28.0×23.2	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
87	白萩盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-hagi Type	昭和48年	1973	口径(d.) 7.0	
88	萩盃	Sake Cup, Hagi Ware	昭和50年	1975	口径(d.) 6.7	
89	白萩盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和57-58年	c.1982-83	口径(d.) 7.0	
90	白萩茶碗　銘 天が火	Tea Bowl, "*Ama-ga-hi*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	昭和59年	1984	口径(d.) 13.5×13.3	
91	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	昭和60年	1985	口径(d.) 13.3	
92	鬼萩茶碗　銘 鬼ヶ島	Tea Bowl, "*Oni-ga-shima*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	昭和60年	1985	口径(d.) 14.1	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
93	萩掛分茶碗 銘 舞衣	Tea Bowl, "*Maiginu*", Hagi Ware with *Kake-wake* (two-colored)	昭和61年	1986	口径(d.) 14.1×14.0	
94	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	昭和62年	1987	口径(d.) 15.5×14.0	山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum
95	鬼萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	昭和63年	1988	口径(d.) 14.0	
96	鬼萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成元年	1989	口径(d.) 14.6	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo
97	鬼萩割高台茶碗　銘 流砂	Tea Bowl with Notched Foot, "Ryūsa", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成元年	1989	口径(d.) 16.3×13.8	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
98	鬼萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成2年	1990	口径(d.) 14.1×14.0	
99	鬼萩茶碗　銘 深山雪	Tea Bowl, "*Miyama-yuki*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成2年	1990	口径(d.) 14.6	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
100	白萩翠色茶碗　銘 傘寿	Tea Bowl, "*Sanju*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Suishoku* (bluish straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成2年	1990	口径(d.) 13.0	
101	白萩翠色茶碗　銘 湛静	Tea Bowl, "*Tansei*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Suishoku* (bluish straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成2年	1990	口径(d.) 12.4×12.2	
102	萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware	平成3年	1991	口径(d.) 13.0×12.7	
103	鬼萩翠色茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Suishoku* (bluish straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成3年	1991	口径(d.) 12.9	
104	鬼萩窯変割高台茶碗　銘 白鳳	Tea Bowl with Notched Foot, "Hakuhō", Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成4年	1992	口径(d.) 16.1	
105	鬼萩茶碗　銘 聴雪	Tea Bowl, "*Chōsetsu*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成5年	1993	口径(d.) 14.0	
106	鬼萩茶碗　銘 産霊	Tea Bowl, "*Musubi*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成5年	1993	口径(d.) 12.8×12.5	
107	鬼萩割高台茶碗　銘 萬里	Tea Bowl with Notched Foot, "*Banri*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成5年	1993	口径(d.) 15.0×12.8	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
108	鬼萩茶碗　銘 むかし語り	Tea Bowl, "*Mukashi-gatari*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成6年	1994	口径(d.) 13.6	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
109	鬼萩割高台茶碗　銘 大盤石	Tea Bowl with Notched Foot, "*Ō-banjaku*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成7年	1995	口径(d.) 15.0×14.4	
110	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成7年	1995	口径(d.) 16.8×14.2	
111	萩掛分茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware with *Kake-wake* (two-colored)	平成10年	1998	口径(d.) 14.2	
112	萩掛分茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware with *Kake-wake* (two-colored)	平成10年	1998	口径(d.) 14.5	
113	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成10年	1998	口径(d.) 16.0×14.0	岐阜県現代陶芸美術館 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
114	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成10年	1998	口径(d.) 15.8×13.4	
115	鬼萩窯変茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成10年	1998	口径(d.) 14.0	茨城県陶芸美術館 Ibaraki Ceramic Art Museum
116	鬼萩窯変割高台茶碗　銘 龍神	Tea Bowl with Notched Foot, "Ryūjin", Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成10年	1998	口径(d.) 16.2×14.1	
117	鬼萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成11年	1999	口径(d.) 14.5	
118	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成11年	1999	口径(d.) 15.2×13.8	
119	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成11年	1999	口径(d.) 14.7×13.0	
120	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成11年	1999	口径(d.) 14.8×13.6	
121	鬼萩窯変茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成12年	2000	口径(d.) 13.9	
122	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成12年	2000	口径(d.) 16.0×14.3	
123	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成12年	2000	口径(d.) 16.0×13.5	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
124	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成12年	2000	口径(d.) 15.5×14.5	
125	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成14年	2002	口径(d.) 16.1×14.2	
126	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成14年	2002	口径(d.) 16.5×14.1	
127	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成14年	2002	口径(d.) 17.3×15.2	
128	鬼萩窯変茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成14年	2002	口径(d.) 13.0	
129	白萩灰被水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	昭和59年	1984	口径(d.) 26.0	
130	白萩灰被水指　銘 寿老人	Water Jar, "*Jurōjin*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成2年	1990	最大径(D.) 21.3	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
131	白萩水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成9年	1997	最大径(D.) 17.8×16.5	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo
132	白萩灰被水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-Kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成11年	1999	最大径(D.) 20.4×20.2	
133	白萩四方水指	Rectangular Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成14年	2002	最大幅(W.) 20.0×19.0	
134	白萩灰被花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成2年	1990	高(h.) 32.5	
135	白萩灰被花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成9年	1997	高(h.) 30.5	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo
136	白萩破れ花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成10年	1998	高(h.) 23.9	株式会社 山口銀行 The Yamaguchi Bank, Ltd.
137	鬼萩花入	Flower Vase, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成10年	1998	高(h.) 27.7	
138	白萩窯変掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成10年	1998	高(h.) 15.7	
139	白萩花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成11年	1999	高(h.) 31.5	
140	白萩灰被花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成11年	1999	高(h.) 27.5	

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
141	白萩灰被花入	Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Hai-kaburi* (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成11年	1999	高(h.) 27.4	
142	白萩掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成11年	1999	高(h.) 16.0	
143	白萩窯変掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成12年	2000	高(h.) 17.0	
144	白萩窯変掛花入	Hanging Flower Vase, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成12年	2000	高(h.) 14.2	
145	白萩陶匣　銘 花の宴	Square Box, "*Hana-no-utage*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成10年	1998	最大幅(W.) 22.7×17.0	
146	白萩窯変壺	Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	昭和60年	1985	最大径(D.)18.8×18.7	
147	白萩壺	Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成12年	2000	高(h.) 28.8	
148	鬼萩壺	Jar, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成12年	2000	高(h.) 28.8	
149	白萩盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成2年	1990	口径(d.) 6.9	(財)菊屋家住宅保存会 Kikuya Residence Preservation Society
150	白萩盃　銘 螢雪	Sake Cup, "*Keisetsu*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成2年	1990	口径(d.) 8.5	
151	白萩窯変盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成9年	1997	口径(d.) 7.5×7.0	
152	白萩盃　銘 瑞雲	Sake Cup, "*Zuiun*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成10年	1998	口径(d.) 8.7×8.3	
153	白萩盃　銘 鶴の舞	Sake Cup, "*Tsuru-no-mai*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成10年	1998	口径(d.) 8.4×8.0	
154	白萩盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成12年	2000	口径(d.) 9.9×8.0	
155	鬼萩割高台盃	Sake Cup with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成12年	2000	口径(d.) 8.2	
156	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成15年	2003	口径(d.) 16.0×14.6	
157	鬼萩花冠高台茶碗	Tea Bowl with Flower Shaped Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成15年	2003	口径(d.) 17.0×14.5	
158	鬼萩花冠高台茶碗　銘 命の開花	Tea Bowl with Flower Shaped Foot, "*Inochi-no-kaika*", Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成15年	2003	口径(d.) 16.0×15.3	
159	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	口径(d.) 15.2×14.2	
160	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	口径(d.) 17.0×15.1	
161	鬼萩茶碗	Tea Bowl, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成16年	2004	口径(d.) 18.7×18.4	
162	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成16年	2004	口径(d.) 17.2	
163	鬼萩花冠高台茶碗	Tea Bowl with Flower Shaped Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成16年	2004	口径(d.) 17.9×16.2	
164	白萩灰被四方水指	Rectangular Water Jar, Hagi Ware,Shira-Hagi Type with Hai-kaburi (straw-ash glaze and natural ash, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	最大幅(W.) 16.9×16.7	東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo
165	白萩菱形水指　銘 白心	Lozenge-Shaped Water Jar, "*Hakushin*", Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成15年	2003	最大幅(W.) 29.0×21.2	
166	白萩壺「風雪月花」	Jar, "*Fū-setsu-getsu-ka*",Hagi ware, Shira-Hagi Type	平成15年	2003	高(h.) 28.9	
167	白萩徳利	Sake Bottle, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成15年	2003	高(h.) 13.5	
168	白萩徳利	Sake Bottle, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成15年	2003	高(h.) 15.8	

出品番号	名称	Title	制作年(和暦)	制作年(西暦)	法量(cm)	所蔵
169	白萩陶板「福寿」	Plaque, ″*Fukuju*″, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成15年	2003	最大幅(W.) 28.5×43.0	
170	白萩窯変陶板「和敬」	Plaque, ″*Wakei*″, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	26.3×42.8	
171	白萩窯変陶板「和気」	Plaque, ″*Wake*″, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	27.0×42.1	
172	白萩窯変陶板「好日」	Plaque, ″*Kōjitsu*″, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成15年	2003	27.0×41.1	
173	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 16.5×15.4	
174	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 16.5×14.6	
175	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 17.0×16.0	
176	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 17.7×16.0	
177	鬼萩割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 17.0×15.1	
178	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成18年	2006	口径(d.) 16.2×15.3	
179	鬼萩窯変割高台茶碗	Tea Bowl with Notched Foot, Hagi Ware, Oni-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成18年	2006	口径(d.) 16.7×16.1	
180	白萩窯変水指	Water Jar, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成18年	2006	最大径(D.) 21.2×17.8	
181	白萩盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type	平成18年	2006	口径(d.) 7.3×7.1	
182	白萩窯変盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成18年	2006	口径(d.) 8.4×7.7	
183	白萩窯変盃	Sake Cup, Hagi Ware, Shira-Hagi Type with *Yōhen* (straw-ash glaze, wood-fired in reduction)	平成18年	2006	口径(d.) 6.8×6.6	
184	「福寿」	″*Fukuju* (Longevity)″	平成8年	1996	32.5×68.5	
185	「龍虎」	″*Ryūko* (Dragon and Tiger)″	平成8年	1996	59.3×128.4	
186	「瑞兆」	″*Zuichō* (Auspiciousness)″	平成12年	2000	33.2×47.5	
187	「佳事不出門」	″*Yoki-koto-mon-wo-ide-zu* (Goodness is on the inside)″	平成12年	2000	95.5×24.5	
188	「日々好日」	″*Nichinichi-kōnichi* (It is a fine day every day)″	平成16年	2004	107.8×35.2	
189	「無事」	″*Buji* (Peace)″	平成18年	2006	56.2×70.0	
190	「誠」	″*Makoto* (Sincerity)″	平成18年	2006	56.4×69.9	
191	「福寿」	″*Fukuju* (Longevity)″	平成18年	2006	56.5×70.3	

展覧会名	シリーズ山東文物７ 東方はるかなユートピア -煙台地区出土文物精華-
会期	平成18年12月9日(土)～平成19年3月11日(日)
会場	山口県立萩美術館・浦上記念館
主催	山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、 読売新聞西部本社、ＫＲＹ山口放送
後援	萩市

芸術文化振興基金　助成事業

(1)趣旨

本展覧会では、西周時代、春秋時代、戦国時代の青銅器、玉器など66件145点を通して、山東省北東部の煙台地域の歴史の謎と、その背景にある神仙思想の発達、遼東半島や日本列島との文化交流について展観しました。

西周時代から戦国時代の山東省の地域には、斉と魯という大国があったことで有名ですが、他にも多くの小国が林立していました。斉は煙台地域の小国を次々に併合し、戦国時代には煙台地域はすっかり斉の領域となります。史書に登場する太公望の子孫一族の盛衰、その一族に代わって斉を支配する田氏一族の隆盛、そしてその影に隠れた史書に詳しく述べられていない謎に包まれた国の動向などを、煙台地域の発掘資料から検討します。また、渤海をはさんで対岸にある遼東半島とは、煙台地域から島を伝って人々が行き来したことが分かっています。本展覧会では、こうした歴史をたどり、煙台地域に暮らした人々がどのように活躍していたか、どのような文化をもっていたのかについてご紹介しました。

煙台地域は、不老不死の薬を求めるものにとっては仙界への出発地であり、みやこからみればはるか東の果てにある神秘的な地でした。そして、大陸から日本などへの文化の主要な通り道の一つでもありました。当時は煙台地域に対してさまざまな思いが込められていました。本展覧会を通して、煙台地域の歴史的魅力に触れるとともに、当時の人が抱いた思いを想像してみてはいかがでしょうか。

（2）カタログ

監修　林 仙庭(煙台市博物館研究館員)
編集・発行　山口県立萩美術館・浦上記念館
内容　ごあいさつ　主催者
東方はるかなユートピア
図版
Ⅰ　膠東半島最強の先秦古国－莱国
Ⅱ　神秘の紀国
Ⅲ　新貴族の台頭
Ⅳ　海上へ逃れた姜斉王公
Ⅴ　文化交流の痕跡
コラム
斉地八神／今村佳子(学芸課専門学芸員)　20－22
徐福の伝説とその背景／今村佳子　54－46
遺跡の概要
帰城遺跡の概要　12
村里集墓群の概要　14
前河前墓群の概要　16
上かんき国墓の概要　19
呂家埠墓群の概要　19
嘴子前墓群の概要　38

嘴子前墓群4号墓　39－40
王溝墓群の概要　51
王溝墓群10号墓　52－53
刻紋銅かんについて　52－53
杏家荘墓群の概要　59
山東省位置図・遺跡分布図　60
論考
「日本農耕文化のふるさと」／宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)
「膠東半島の先秦古国」
／林 仙庭(煙台市博物館研究館員)・張 真(海陽市博物館館長・副研究館員)
「建国以来の煙台地区出土の商周銘文青銅器の概要」／王 錫平(煙台市博物館館長)
「山東の周代諸国」／甲元眞之(熊本大学文学部教授)
「嘴子前墓群と田氏代姜の変」／林 仙庭・王 志文(海陽市博物館副研究館員)
「杏家荘2号墓出土の遼寧式銅剣」／宮本一夫
年表
出品目録
体裁　A4判　100ページ

（3）記念講演会
日時　平成19(2007)年1月13日(土)　13：30～15：00
演題　「日本農耕文化の起源ー山東ー」(兼・平成18年度第6回美術講座)
講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

（4）ギャラリーツアー
日時　会期中、第1・3日曜日　11：00～12：00　※12月17日(日)は中止
担当　今村佳子(学芸課専門学芸員)

No.	作品名	時代	法量(cm)	出土地	所蔵者および寄贈者
1	銅甗　どうげん	西周	口径29.3cm、通高40.5cm	1965年帰城遺跡１号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
2	銅爵　どうしゃく	西周	流尾長16.0cm、通高21.8cm	1965年竜口市帰城遺跡１号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
3	陶冑　とうちゅう	西周	長径24.5cm、短径20.5cm、通高20.2cm	1973年竜口市帰城遺跡２号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
4	銅甬鐘　どうようしょう	西周	口径16.5cm、通高33.5cm	1974年竜口市帰城遺跡出土	山東省煙台市博物館蔵
5	銅盤　どうばん	西周	口径42.2cm、通高16.5cm	1969年竜口市帰城遺跡出土	山東省煙台市博物館蔵
6	己侯鬲　きこうれき	春秋	口径14.1cm、高10.5cm	1950年代竜口市帰城遺跡出土	山東省煙台市博物館蔵
7	銅鼎　どうてい	西周	口径38.0cm、通高41.0cm	1975年蓬莱市村里集墓群11号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
8	銅提鏈壺　どうていれんこ	西周	口径6.7cm、足径8.0cm、底径10.2cm	1976年蓬莱市村里集墓群７号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
9	銅扁壺　どうへんこ	西周	口径12.0cm、底径10.8cm、高さ27.3cm	1974年蓬莱市村里集墓群６号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
10	銅鬲　どうれき	西周	口径17.0cm、高15.7cm	1974年蓬莱市村里集墓群６号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
11	銅甗　どうげん	西周	口径32.2cm、通高41.1cm	1974年莱陽市前河前墓群２号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
12	己侯壺　きこうこ	西周	口径6.6cm、足径10.9cm、高34.5cm	1974年莱陽市前河前墓群２号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
13	己爵　きしゃく	西周	通高18.0cm	1994年煙台市毓璜頂遺跡出土	山東省煙台市博物館蔵
14	き侯鼎　きこうてい	春秋	口径24.3cm、通高20.0cm	1969年煙台市上かんき国墓出土	山東省煙台市博物館蔵
15	己華父鼎　きかふてい	春秋	口径29.0cm、通高27.0cm	1969年煙台市上かんき国墓出土	山東省煙台市博物館蔵
16	銅壺　どうこ	春秋	口径13.0cm、底径14.5cm、高34.5cm	1969年煙台市上かんき国墓出土	山東省煙台市博物館蔵
17	銅匜　どうい	春秋	通長29.0cm、通高12.4cm	1969年煙台市上かんき国墓出土	山東省煙台市博物館蔵
18	銅鼎　どうてい	西周	口径31.8cm、通高34.0cm	1983年棲霞市呂家埠墓群出土	山東省棲霞市文物事業管理局蔵
19	銅盂　どうう	春秋	口径69.5cm、高37.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
20	銅匜　どうい	春秋	口径30.4cm、高12.7cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
21	銅盆　どうぼん	春秋	口径14.0cm、高20.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
22	銅方壺　どうほうこ	春秋	通高40.0cm、口長径26.8cm、口短径18.8cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
23	銅甗　どうげん	春秋	通高35.4cm、甑口径30.0cm、鬲口径11.2cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
24	銅帯鈎　どうたいこう	春秋	通長7.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
25	銅盤　どうばん	春秋	通高10.4cm、口径37.8cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
26	銅か（舟）　どうか（しゅう）	春秋	通高10.2cm、口長径14.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵

No.	作品名	時代	法量(cm)	出土地	所蔵者および寄贈者
27	編鐘　へんしょう	春秋	（１）鈕高11.0cm、銑長23.1cm、舞長14.0cm、舞幅11.4cm、于長16.7cm、于幅12.5cm （２）鈕高10.8cm、銑長13.5cm、舞長10.4cm、舞幅5.4cm、于長16.0cm、于幅12.0cm （３）鈕高10.6cm、銑長21.4cm、舞長12.6cm、舞幅10.2cm、于長15.5cm、于幅11.8cm （４）鈕高9.5cm、銑長19.5cm、舞長12.2cm、舞幅8.6cm、于長14.1cm、于幅10.6cm （５）鈕高7.9cm、銑長13.8cm、舞長9.0cm、舞幅6.6cm、于長10.7cm、于幅8.1cm （６）鈕高6.9cm、銑長13.1cm、舞長8.2cm、舞幅5.8cm、于長9.5cm、于幅7.1cm （７）鈕高8.0cm、銑長15.4cm、舞長9.4cm、舞幅7.5cm、于長11.4cm、于幅8.5cm （８）鈕高3.7cm、銑長13.7cm、舞長8.3cm、舞幅6.4cm、于長10.2cm、于幅8.2cm （９）鈕高3.2cm、銑長12.5cm、舞長7.7cm、舞幅5.4cm、于長9.1cm、于幅7.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
28	列鼎　れってい	春秋	（１）通高37.2cm、口径42.8cm （２）通高34.0cm、口径36.8cm （３）通高33.6cm、口径34.0cm （４）通高32.2cm、口径34.8cm （５）通高36.2cm、口径33.6cm （６）通高31.4cm、口径31.2cm （７）有蓋で、通高26.3cm、口径20.8cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
29	銅鏃　どうぞく	春秋	7点　通長7.5cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
30	銅鈹　どうひ	春秋	通長24.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
31	銅削　どうさく	春秋	通長25.0cm	1994年海陽市嘴子前墓群４号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
32	銅盤　どうばん	春秋	通高11.6cm、口径38.0cm、足径23.0cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
33	鎏金鼎　りゅうきんてい	春秋	通高15.6cm、口径13.7cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
34	銅扁壷　どうへんこ	春秋	通高24.6cm、胴部長径13.6cm、胴部短径6.0cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
35	銅簋　どうき	春秋	通高12.4cm、口径16.1cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
36	銅鎛　どうはく	春秋	（１）通高42.7cm、銑幅26.0cm （２）通高39.6cm、銑幅24.9cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
37	銅盆　どうぼん	春秋	通高17.4cm、底径12.0cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
38	銅戈　どうか	春秋	通高18.1cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
39	銅矛　どうほこ	春秋	通長27.3cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
40	銅剣　どうけん	春秋	通長26.8cm、幅3.9cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
41	銅えい　どうえい	春秋	（１）6点　長8.1cm、内端径8.8cm、外端径4.6cm、轄長8.2cm （２）2点　長7.2cm、内端径8.6cm、外端径4.7cm、轄長8.7cm	1994年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
42	銅銜　どうかん	春秋	通長22.0cm	2000年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
43	銅鑣　どうひょう	春秋	長13.0cm	2000年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
44	銅当盧　どうとうろ	春秋	長13.8cm、幅7.3cm、厚0.25cm	1978年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
45	滑石圭　かっせきけい	春秋	通長22.8cm	2000年海陽市嘴子前墓群１号墓出土	山東省海陽市博物館蔵
46	銅か（舟）　どうか（しゅう）	戦国	口長径18.0cm、短径14.0cm、通高14.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
47	銅蓋豆　どうがいとう	戦国	口径15.0cm、足径14.0cm、通高40.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵

No.	作品名	時代	法量(cm)	出土地	所蔵者および寄贈者
48	銅壺　どうこ	戦国	口径11.0cm、足径14.0cm、通高37.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
49	銅銜　どうかん	戦国	2点　長27.5cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
50	銅えい　どうえい	戦国	2点　長8.0cm、径7.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
51	銅蓋弓帽　どうがいきゅうぼう	戦国	12点　長4.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
52-1	銅剣　どうけん	戦国	通長54.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
52-2	銅剣　どうけん	戦国	通長46.0cm	1975年長島県王溝墓群17号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
53-1	銅戈　どうか	戦国	通長30.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
53-2	銅戈　どうか	戦国	通長30.1cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
53-3	銅戈　どうか	戦国	通長24.0cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
54-1	銅鐏　どうそん	戦国	2点　通長16.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
54-2	銅鐏　どうそん	戦国	通長11.5cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
55	銅矛　どうほこ	戦国	（１）通長18.0cm （２）通長19.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-1	銅鏃　どうぞく	戦国	5点　通長15.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-2	銅鏃　どうぞく	戦国	5点　通長5.0cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-3	銅鏃　どうぞく	戦国	通長10.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-4	銅鏃　どうぞく	戦国	通長11.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-5	銅鏃　どうぞく	戦国	通長15.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-6	銅鏃　どうぞく	戦国	通長14.5cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-7	銅鏃　どうぞく	戦国	通長14.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-8	銅鏃　どうぞく	戦国	通長13.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
56-9	銅鏃　どうぞく	戦国	通長9.0cm	1975年長島県王溝墓群12号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
57-1	銅帯鈎　どうたいこう	戦国	長16.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
57-2	銅帯鈎　どうたいこう	戦国	長8.0cm	1975年長島県王溝墓群17号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
58	瑪瑙蚕形器　めのうさんがたき	戦国	長14.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
59-1	水晶環　すいしょうかん	戦国	直径3.5cm	1975年長島県王溝墓群20号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
59-2	水晶環　すいしょうかん	戦国	直径4.0cm	1975年長島県王溝墓群20号墓出土	山東省煙台市博物館蔵

No.	作品名	時代	法量(cm)	出土地	所蔵者および寄贈者
59-3	水晶環　すいしょうかん	戦国	直径4.0cm	1975年長島県王溝墓群20号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
59-4	水晶環　すいしょうかん	戦国	直径4.0cm	1975年長島県王溝墓群20号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-1	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径7.0cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-2	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径6.5cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-3	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径5.0cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-4	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径5.5cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-5	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.5cm	1975年長島県王溝墓群22号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-6	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.5cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-7	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.0cm	1975年長島県王溝墓群20号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-8	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.5cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-9	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
60-10	瑪瑙環　めのうかん	戦国	直径4.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
61	石璧　せきへき	戦国	直径6.0cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
62	石璜　せきこう	戦国	長14.7cm	1973年長島県王溝墓群10号墓出土	山東省煙台市博物館蔵
63	銅戈　どうか	戦国	長21.5cm	1976年棲霞市杏家荘墓群２号墓出土	山東省棲霞市文物事業管理局蔵
64	銅剣　どうけん	戦国	残長25.6cm	1976年棲霞市杏家荘墓群２号墓出土	山東省棲霞市文物事業管理局蔵
65	銅鏃　どうぞく	戦国	残長8.0cm	1976年棲霞市杏家荘墓群２号墓出土	山東省棲霞市文物事業管理局蔵
66	銅えい　どうえい	戦国	高8.0cm	1976年棲霞市杏家荘墓群２号墓出土	山東省棲霞市文物事業管理局蔵

広重ー初代・二代・三代
会期　平成14（2002）年4月16日（火）～5月6日（月）　展示室1
出品作品　30点

　初代広重は風景版画の大家として世界的に知られています。「東海道五十三次」「木曽海道六十九次」の街道絵、東都名所シリーズ、「名所江戸百景」など、数多くの名品を描いてきました。二代は幕末の短い間、師家を出るまで、「諸国名所百景」「東都三十六景」など、師風を受け継いだ風景画や横浜絵を発表しています。慶応1年（1865）に継いだ三代は明治に入って、文明開化という新しい時代の風景を描いて活躍しました。初代から三代まで、広重の名で表された風景阪画の世界を紹介します。

（鈴木浩平）

源平の武者絵
会期　平成14（2002）年5月8日（水）～6月2日（日）　展示室1
出品作品　23点

　『平家物語」をはじめ、『源平盛衰記』『義経記』など平安後期の源氏と平家の興亡を描いた軍記物語は、江戸時代には浄瑠璃、歌舞伎などに好んで取り入れられ、上演されました。浮世絵では、幕末から明治期に歴史上のヒーローを描く武者絵が流行し、源平合戦図の他、義経と弁慶の五条橋でのやりとり、弓矢の名手・源為朝（鎮西八郎）など、源氏の武将の勇姿を描いた作品が多数制作されています。本展では、源平物に焦点を絞り、武者絵を得意とした国芳、芳年の作品を中心に、広重等の作品も交えて紹介します。

（藤村忠範）

清長・歌麿・栄之
会期　平成14（2002）年6月8日（土）～7月14日（日）　展示室1
出品作品　29点

　浮世絵の黄金時代と呼ばれた天明・寛政期（1781～1800）、美人画の世界で中心的な役割を果たして活躍した絵師に、鳥居清長、喜多川歌麿、鳥文斎栄之の三人がいます。清長は群像と健康的な美人像で天明期の一時代を築き、歌麿は大首絵という様式を用いて女性の感情までも表現して美人画の大家となりました。そして、栄之は清楚な美人像でもって歌麿の人気にせまりました。美人画において女性たちの姿を最も美しく華やかに描いた三人の世界を紹介します。

（鈴木浩平）

妖怪絵
会期　平成14（2002）年7月20日（土）～8月25日（日）　展示室1
出品作品　28点

　亡くなった人がこの世への執着から化けて出るのが幽霊、人知を超えた化け物が妖怪。幽霊や妖怪、人に化ける狐や狸などを描いた浮世絵を妖怪絵と呼びます。伝説や昔話に取材した作品では、英雄と闘い、退治されるおどろおどろしい妖怪が描かれています。また、江戸時代の怪談物の芝居から取材した作品では、かっこよく見栄を切る役者をとりまく気色悪い幽霊が、実はとぼけたユーモアで描かれていたりして愉快です。日本の夏の風物詩、幽霊と妖怪の世界をお楽しみください。

（藤村忠範）

江戸の娯楽
会期　平成14（2002）年8月27日（火）～10月6日（日）　展示室1
出品作品　28点

　江戸時代の娯楽といえば、江戸の文化を担ってきた歌舞伎、吉原などの遊郭、相撲などがあります。さらには、四季の名所への物見遊山、月々に訪れる寺社詣で、両国花火、祭礼や神楽、見世物など、広い意味での娯楽をとらえてみると、江戸の人々は四季折々いろいろな場所で、さまざまな娯楽を楽しんでいたといえます。今回、広重の作品を中心に、豊国や国芳、北斎などの作品も含めて、風俗の視点から娯楽に関して措かれた浮世絵を選んでご紹介します。

（鈴木浩平）

相撲絵の流れ
会期　平成14（2002）年10月8日（火）～10月27日（日）　展示室1
出品作品　23点

江戸時代、歌舞伎と並ぶ最大の娯楽が相撲でした。浮世絵の初期から素朴な相撲絵が制作されていましたが、錦絵の時代に入ると、役者似顔絵を得意とした勝川春章をはじめとする勝川派の絵師たちが人気力士の姿を多数描き、相撲絵としてのジャンルが確立します。後期浮世絵の時代にその流れを継いだのが歌川派の国貞たちでした。相撲絵の歴史をたどり、また萩藩お抱えの力士、「阿武松緑之助」「越ヶ浜岩五郎」「菊ケ浜勝蔵」たちの勇姿を描いた相撲絵を紹介します。

（藤村忠範）

北斎・広重・国芳　富士の風景
会期　平成14（2002）年12月13日（金）～平成15年1月26日（日）　展示室1･2
出品作品　56点

北斎が富士をさまざまな視点から描き「富嶽三十六景」シリーズを成功させたのが天保初期。広重の「東海道五十三次之内」がこれに続き、それまで役者絵と美人画中心であった浮世絵に、風景画がひとつのジャンルとして確立しました。これ以降、江戸の人々にとって毎日仰ぎ見る親しい存在であった霊峰富士は、東海道の宿場や江戸名所を描いた浮世絵に繰り返し優美な姿を見せます。風景画の頂点を極めた北斎、広重や、浮世絵に洋風表現をとり入れ独自の空間を生みだした国芳たちが描きのこした富士の風景をお楽しみください。

（藤村忠範）

幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ①
落合芳幾の世界
会期　平成15（2003）年1月28日（火）～3月2日（日）　展示室1･2
出品作品　52点

幕末から明治は、政治や文化が激変し、世紀末の混乱と新時代への希望が混在した時代でした。この時代に活躍した浮世絵師を紹介するシリーズの第1回目は落合芳幾です。芳幾は歌川国芳の門弟で、月岡芳年や豊原国周とともに、明治浮世絵界をリードします。芳幾は、師の国芳が得意とした戯画や武者絵を描きのこしていますが、新時代の好みを反映した表現にも挑戦しています。明治7年創刊の「東京日々新聞」に挿図を描き、錦絵新聞の流行のさきがけとなったことは注目されます。

（吉田洋子）

江戸　四季の景
会期　平成15（2003）年3月4日（火）～4月6日（日）　展示室1･2
出品作品　45点

春は梅見や花見に潮干狩、夏は隅田川での夕涼みをかねた両国花火、秋は月見に虫聞き、冬は雪見と、江戸の人々は四季折々に変わる風情を生活のなかで楽しんできました。今回は錦絵につづられた江戸の四季の情景を、菊川英山、溪斎英泉、歌川国貞、歌川国芳、歌川広重など江戸後期に活躍した絵師たちによる美人画や風景画を中心にご紹介します。

（鈴木浩平）

諸国名所風景画
会期　平成15（2003）年5月17日（土）～6月15日（日）　展示室1
出品作品　31点

歌川広重の活躍で、名所風景画は江戸の地域だけではなく、京都や大坂、さらには日本全国の名所が描かれるようになった。こうした諸国名所風景画は全て絵師がその実景を見て表現したものとはいえないが、絵師の創意工夫もみられ、充分に江戸庶民の諸国名所への関心を満たしたものと思われる。今回は「六十余州名所図会」や「諸国名所百景」など、初代広重や二代広重の代表作品を中心に、葛飾北斎、溪斎英泉、歌川国芳、小林清親、歌川貞秀の作品も交えて紹介します。

（鈴木浩平）

夏の美人たち
会期　平成15（2003）年6月17日（火）～7月13日（日）　展示室1
出品作品　27点

浮世絵の美人画は、遊女や芸者、水茶屋の評判娘など実在した人物が描かれている場合もありますが、日常生活の点景に輝く女性の美しさを捉えたり、あるいはこの世のものとは思われないような理想化された美人像で描かれたりと実にさまざまです。本展では浴衣姿で夕涼みにくつろぐ姿や夕立での情景など、夏の美人をテーマに、歌川国貞、国芳、広重、楊洲周延、伊東深水など、代表的な浮世絵師たちが描きのこした江戸中期から昭和初期にいたる美人画作品を展示します。

（藤村忠範）

月岡芳年　新形三十六怪撰
会期　平成15（2003）年8月23日（土）～9月28日（日）　展示室1
出品作品　37点

月岡芳年は、歌川国芳の門弟で、浮世絵版画が終焉を迎えた明治時代に活躍したことから、最後の浮世絵師といわれています。「新形三十六怪撰」は、伝説や謡曲、歴史譚などから題材を得た古今の妖怪や幽霊を描いた作品で、明治22年から25年の間に制作された芳年最晩年の大作です。上品な彩色とぼかしによって、静かな妖気を感じさせます。今回の展示では、36図に目録を加えたシリーズ全作品をご紹介します。

（吉田洋子）

美人画の大首絵
会期　平成15（2003）年9月30日（火）～10月26日（日）　展示室1
出品作品　31点

寛政期（1789～1800）に入って、美人画に大首絵の作品が登場します。大首絵は人物を七分身や半身で描いたり、顔だけを大きく描いたりする表現様式で、役者絵から応用されたものです。喜多川歌麿はこの様式を用いて人気絵師となり、一世を風靡しました。以後、大首絵は美人画の中心的な表現様式となり、多くの浮世絵師に描かれていきます。今回は歌麿の時代から、明治時代までの作品を紹介します。

（鈴木浩平）

戯画展
会期　平成15（2003）年11月1日（土）～11月30日（日）　展示室1
出品作品　27点

美人・役者・風景・花鳥など浮世（この世）のあらゆる事柄を描いた浮世絵にはまた、戯画と呼ばれる一群の作品があります。これには諷刺画、擬人画、影絵など様々なものが含まれています。今回は収蔵品の中から、幕府の役者絵禁止令（天保の改革）に対抗して壁の落書風に描かれた役者絵、宴会芸の手ほどきを主題にした作品や、子どものためのおもちゃ絵など、機知とユーモアたっぷりの浮世絵作品を展示します。江戸末から明治にかけての江戸っ子たちの遊び心をお楽しみください。

（藤村忠範）

相撲絵の流れ
会期　平成14（2002）年10月8日（火）～10月27日（日）　展示室1
出品作品　23点

江戸時代、歌舞伎と並ぶ最大の娯楽が相撲でした。浮世絵の初期から素朴な相撲絵が制作されていましたが、錦絵の時代に入ると、役者似顔絵を得意とした勝川春章をはじめとする勝川派の絵師たちが人気力士の姿を多数描き、相撲絵としてのジャンルが確立します。後期浮世絵の時代にその流れを継いだのが歌川派の国貞たちでした。相撲絵の歴史をたどり、また萩藩お抱えの力士、「阿武松緑之助」「越ヶ浜岩五郎」「菊ケ浜勝蔵」たちの勇姿を描いた相撲絵を紹介します。

（藤村忠範）

溪斎英泉
会期　平成15（2003）年12月2日（火）～23日（火）　展示室1
出品作品　34点

溪斎英泉は、菊川英二・英山の門弟で、歌川派や北斎一門が急速に台頭する文政・天保期に活躍し人気を博しました。英泉の妖艶で凄絶な美人画は、女性の内に秘めた情念を感じさせ、退廃美の極致と評されています。また風景画にも力を入れており、広重や北斎を意識しながらも、和漢洋の画法をうまく調和させ、自然の中での人間の営みを描くなど、独特な味わいをもっています。今回の展示では、美人画と風景画の代表作「木曽海道六十九次」を中心にご紹介いたします。

（吉田洋子）

蔦屋重三郎と西村屋与八
会期　平成16（2004）年1月3日（土）～2月1日（日）　展示室1
出品作品　27点

小さな貸本屋から商売を始めた蔦重は、やがて老舗の版元が軒を連ねる日本橋通町に進出し、当時屈指の版元となった。優れたプロデューサーであった蔦重は、歌麿、写楽などの才能を見出し、デビューさせた。これに対抗し、西村屋与八をはじめ老舗の版元たちは栄之や豊国を売り出し、寛政期は浮世絵の黄金時代を迎えた。本展では蔦屋と西村屋から刊行された名品の数々により、湖龍斎、清長、歌麿、栄之など安永から寛政期の美人画を紹介し、また、写楽と豊国の役者絵を比較する。

（藤村忠範）

幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ②
豊原国周
会期　平成16（2004）年2月3日（火）～2月29日（日）　展示室1
出品作品　33点

豊原国周は、浮世絵の衰退期にあたる明治に活躍した浮世絵師で、小林清親、月岡芳年とともに「最後の浮世絵師」と称されます。文明開化による急速な社会変動に伴い、浮世絵も新時代の趣向に対応していく中、国周は最後まで伝統的な江戸の浮世絵様式を描き続けました。とくに画面いっぱいに措かれた、迫力のある役者大首絵は人気を博し、「明治の写楽」と評されました。

（吉田洋子）

浮世絵に描かれた中国
会期　平成16（2004）年3月2日（火）～4月11日（日）　展示室1
出品作品　29点

浮世絵には初期の時代より、中国を題材にして描かれてきた作品があります。楊貴妃、達磨、鍾馗、竹林七賢などが最も知られ、美人画の見立絵にも使われています。今回は、とくに江戸時代後期に流行した武者絵のジャンルから、中国の代表的な小説や物語である「漢楚軍談」「三国志」「西遊記」「水滸伝」「二十四孝」などから描かれた、歌川国貞、国芳、月岡芳年ら歌川派の作品を中心に紹介いたします。

（鈴木浩平）

五十三次の世界
会期　平成16（2004）年7月24日（土）～9月5日（日）　展示室1･2
出品作品　71点

　保永堂版「東海道五十三次之内」は、東海道の宿場町を描いた全55枚の揃物で、歌川広重の出世作として大成功を収めました。その成功の背景には、浮世絵に風景画のジャンルが確立したこと、東海道や旅への関心の高まりなどがありました。広重に続いて、他の浮世絵師たちも東海道を主題にした作品を描き、また広重自身も生涯に20数種の東海道を描きました。今回の展示では、保永堂版をはじめとする広重作品と、他の絵師の作品を織り交ぜながら、東海道の全宿駅をご紹介します。多彩な東海道の表現をお楽しみください。
（吉田洋子）

美人画の黄金時代
会期　平成16（2004）年12月11日（土）～平成17年1月10日（祝・月）　展示室1
出品作品　25点

　天明から寛政期（1781～1800）は《浮世絵の黄金時代》　と呼ばれ、著名な浮世絵師の活躍によって評価の高い作品が数多く制作された時期です。とくに美人画では、鳥居清長、勝川春潮、喜多川歌麿、鳥文斎栄之、歌川豊国たちが活躍し、続き物の群像表現、顔や半身による大首絵、全身の座像や立像など、さまざまな表現形式を用いて独自の美人像を描き、おおらかで華やかな美人たちの世界を築き上げました。
（藤村忠範）

小林清親
会期　平成17（2005）年1月12日（水）～2月13日（日）　展示室1
出品作品　32点

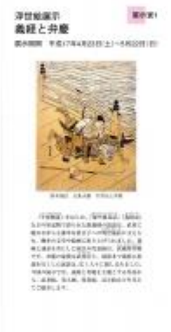
　明治の浮世絵師、小林清親（1847～1915）は、文明開化後から本格的に移入された油彩画や銅版画、岩版画といった西洋絵画の表現や技法に倣い、従来の浮世絵にはない独自の画風を築きました。その後、歌川広重の作品を思わせる風景画、歴史を主題とする作品など、伝統的な浮世絵版画の表現へと画風を転向しました。今回の展示では、江戸情緒が残る東京の開化風景を、光と影の変化を細やかに捉えて描いた「光線画」、油彩画の質感の表現を木版画で試みた花鳥・静物版画を中心に、清親の多彩な画業をご紹介します。
（吉田洋子）

幕末に生きた浮世絵師シリーズ③
月岡芳年
会期　平成17（2005）年2月15日（土）～3月13日（日）　展示室1
出品作品　27点

　月岡芳年は幕末から明治にかけて活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。歌川国芳の門人として幕末から武者絵、美人画、役者絵などを描き、とくに幕末から明治にかけての政情不安を意識させる残酷絵、西洋の合理精神に基づいた晩年の歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独特の世界といえます。今回は館蔵品のなかから、若き時代の武者絵から、時代に即して各ジャンルの代表作を選んで、芳年の画業を紹介します。
（吉田洋子）

雪月花ー花ー
会期　平成17（2005）年3月15日（火）～4月17日（日）　展示室1
出品作品　30点

　冬の雪、秋の月、春の花に代表されるような、美しい四季の景観を意味して「雪月花」という言葉があります。白楽天の漢詩「琴詩酒の友皆我をなげうつ　雪月花の時に最も君を憶う」と詠まれて以来、枕草子や和歌をはじめとする日本の古典文学の題材に用いられ、また絵画においても伝統的な画題として定着しました。今回の展示では、四季の花々や花見の風俗など花を主題とする作品をご紹介します。
（吉田洋子）



義経と弁慶
会期　平成17年4月23日（土）～5月22日（日）　展示室1
出品作品　24点

『平家物語』をはじめ、『源平盛衰記』『義経記』などの軍記物で語られた源義経の説話は、武勇に優れながらも薄幸な貴公子への判官贔屓に支えられ、幾多の文学や絵画に取り上げられました。義経と運命を共にした家臣の代表格は、武蔵坊弁慶です。弁慶の豪快な武勇伝と、最後まで義経に忠義を尽くした説話は、広く人々に親しまれました。今回の展示では、義経と弁慶を主題とする作品から、武者絵、美人画、役者絵、見立絵などを交えてご紹介します。

（吉田洋子）

初期浮世絵の世界
会期　平成17（2005）年5月24日（火）～6月12日（日）　展示室1
出品作品　34点

浮世絵版画は、墨一色摺の素朴な「墨摺絵」に始まりました。間もなく筆によって彩色が施され、それらは主に用いた絵具から「丹絵」「紅絵」「漆絵」といいます。延享元年（1744）、版木で数色の重ね摺を行なう「紅摺絵」が登場し、明和2年（1765）には、版彩色によって多彩な彩色表現が可能となった「錦絵」が誕生しました。今回の展示では、浮世絵版画の祖である菱川師宣の墨摺絵から、錦絵の草創期に活躍した鈴木春信の作品まで、初期浮世絵の世界をご紹介します。

（吉田洋子）

歌川国芳Ⅰ
会期　平成17（2005）年7月16日（土）～8月7日（日）　展示室1
出品作品　26点

歌川国芳は、同じ歌川派の国貞や広重と並んで幕末の浮世絵界をリードした絵師です。水滸伝に取材した連作が好評を博して以来、和漢の歴史上の武将や文学に描かれた英雄に取材する武者絵を最も得意とし、「武者絵の国芳」として不動の人気を得ました。その他にも戯画、美人画、役者絵や風景画といった様々な主題で魅力的な作品を残し、その自由で斬新な表現は奇想と評されます。今回は歌川国芳の作品を2回にわたり紹介します。前半Ⅰでは武者絵や物語絵そして戯画、後半Ⅱでは美人画と役者絵そして風景画などを中心に展示します。

（吉田洋子）

歌川国芳Ⅱ
会期　平成17（2005）年8月9日（火）～9月4日（日）　展示室1
出品作品　29点

歌川国芳は、同じ歌川派の国貞や広重と並んで幕末の浮世絵界をリードした絵師です。水滸伝に取材した連作が好評を博して以来、和漢の歴史上の武将や文学に描かれた英雄に取材する武者絵を最も得意とし、「武者絵の国芳」として不動の人気を得ました。その他にも戯画、美人画、役者絵や風景画といった様々な主題で魅力的な作品を残し、その自由で斬新な表現は奇想と評されます。今回は歌川国芳の作品を2回にわたり紹介します。前半Ⅰでは武者絵や物語絵そして戯画、後半Ⅱでは美人画と役者絵そして風景画などを中心に展示します。

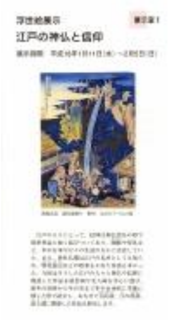
（吉田洋子）

葛飾北斎　富嶽三十六景
会期　平成17（2005）年12月10日（土）～平成18年1月9日（祝・月）　展示室1
出品作品　36点

富士山をテーマに、さまざまな場所や角度から描いたこのシリーズは、当時大ヒットした葛飾北斎の代表作であり、現在では世界的にも広く知られています。藍色の濃淡を用いた単色の作品でシリーズは始まりましたが、やがて他の色も用いられ、36枚の完結後には人気に応えて俗に「裏富士」と呼ばれる10枚が追加制作されました。本展では全46枚のシリーズから人気の三役「凱風快晴」「山下白雨」「神奈川沖浪裏」をはじめとする作品36点を展示し、富嶽三十六景の全貌に迫ります。

（藤村忠範）

江戸の神仏と信仰
会期　平成18（2006）年1月11日（水）～2月5日（日）　展示室1
出品作品　28点



　江戸の人々にとって、信仰は神仏習合の形で現世利益と強く結びついており、開帳や祭礼など、年中行事や日々の生活のなかに定着していた。また、神社仏閣は江戸の名所としても知られ、物見遊山などの娯楽をかねた参詣も多かった。今回はそうした江戸の人々と神仏や信仰に関連した作品を風景画や美人画を中心に選び、新年の初夢から年の市まで年中行事的に季節に即した形で紹介し、あわせて大山詣、江の島詣、富士講に関連した作品も展示します。

（鈴木浩平）

雪月花　ー雪ー
会期　平成18（2006）年2月7日（火）～3月12日（日）　展示室1
出品作品　29点

　四季折々の自然を愛する日本人は、雪・月・花を好んで画題に取り上げました。浮世絵の表現では、雪は紙の白い色を生かして描かれます。柔らかい白色をした和紙は雪の表現に実に適っており、雪景色を描いた浮世絵には優れたものが多いといえます。「雪月花」の浮世絵展シリーズとして、今回は館蔵品の中から雪中の人物、説話・戯曲、雪景の富士、江戸や諸国名所の雪景色など、雪をテーマにした作品を幅広く展示します。

（鈴木浩平）

明治のヒーロー　稗史絵
会期　平成18（2006）年4月8日（土）～4月30日（日）　展示室1
出品作品　29点

　国家によって編纂された歴史を正史というのに対し、民間で書かれた歴史や、言い伝えなどによる歴史を稗史といいます。フィクションに富む稗史の登場人物たちは、読本や歌舞伎などでヒーローとして活躍しました。浮世絵では、江戸末頃から人気を博した歴史上の英雄を描く武者絵がよく知られていますが、今回の展示では、明治10～20年代に制作された「大日本名将鑑」「教導立志基」「日本名女咄」など、教訓的、教導的な独特の色合いをもつ作品を中心に、稗史絵を紹介します。
（藤村忠範）

歌川国貞
会期　平成18（2006）年5月2日（火）～5月28日（日）　展示室1
出品作品　29点

　歌川国貞は初代歌川豊国の門人で、合巻の挿絵でデビューして以後、さまざまなジャンルで作品を発表し、国芳、広重とともに歌川派の中心的絵師として活躍しました。弘化1年（1844）に豊国（三代）を襲名すると、名実ともに歌川派の総師として多くの門人を擁し、幕末の浮世絵界に君臨しました。国貞は生涯に万を超す作品を残したとされていますが、今回は美人画、役者絵、風景画、武者絵などジャンル別に作品を選び、国貞の多彩な画業ぶりを紹介します。

（鈴木浩平）

月岡芳年　風俗三十二相
会期　平成18（2006）年6月10日（土）～7月9日（日）　展示室1
出品作品　31点

　月岡芳年（1839～1892）は、豊原国周、小林清親とともに、明治時代に最も活躍した浮世絵師です。「風俗三十二相」は明治21年（1888）に刊行された32枚のシリーズで、寛政期（1789～1800）から明治の時代風俗で女性を描き、芳年美人画の代表作として知られています。「三十二相」とは仏が備えている32の優れた身体的特徴をいいますが、この作品では遊女、奥方、娘など、さまざまな階層の女性たちがみせる多様な表情を描き分けています。

（藤村忠範）

浮世絵に描かれた動物たち
会期　平成18（2006）年7月11日（火）～8月20日（日）　展示室1
出品作品　29点

　花鳥風月という言葉に象徴されるように、自然を愛でる伝統を持つ日本では、特に近世以降、花鳥画が好んで描かれました。風俗画である浮世絵は、美人画と役者絵が中心でしたが、天保期に風景画が主要なモチーフとして加わり、広重は風景画と平行して花鳥画を多数制作しました。本展では、そうした鑑賞性の高い花鳥画をはじめ、愛玩動物の犬や猫、物語や伝説上の生さ物、擬人化された動物など、バラエティに富む動物たちが描かれた浮世絵を紹介します。
（藤村忠範）

江戸のグルメ
会期　平成18（2006）年8月22日（火）～9月24日（日）　展示室1
出品作品　27点

　握り寿司、鰻の蒲焼、天麩羅、蕎麦などが誕生したのが江戸時代です。長く太平の世が続き、生産量の増えた穀類や野菜は、整備された陸運や水運によって流通しました。都市では多彩な食材の入手が可能になり、料理はより洗練され、庶民までが食を楽しむようになりました。特に江戸は地方から移り住んだ独身男性が多かったこともあり、江戸後期には町中に料理屋や屋台があふれます。この展覧会では、浮世絵に描かれた江戸の食文化を紹介します。

（藤村忠範）

山口県と浮世絵
会期　平成18（2006）年10月7日（土）～11月5日（日）　展示室1
出品作品　27点

　浮世絵には山口県に関連した題材を描いた作品が少なからず版行されています。壇ノ浦での源平の合戦、戦国時代の大内義隆や毛利元就、海賊の毛剃九右衛門、錦帯橋などの名所風景、萩藩が抱えた相撲力士たち、さらには木戸孝允、伊藤博文、井上馨、山県有朋など明治維新の元勲たちなど。今回は武者絵や稗史絵、風景画、相撲絵、明治絵とジャンルに分けて紹介します。

（鈴木浩平）

忠臣蔵
会期　平成18（2006）年11月7日（火）～12月24日（日）　展示室1
出品作品　31点

　元禄15年（1702）12月14日夜、大石内蔵助良雄ら赤穂浪士47名が、本所松坂町の吉良上野介義央の屋敷に討ち入り、亡君の赤穂藩主浅野内匠頭長矩の怨みを晴らすという復讐事件が起こりました。翌年、浪士は切腹、吉良家は領地没収を命じられて事件は落着。忠義を果たした浪士への同情から、事件を脚色した多くの人形浄瑠璃や歌舞伎が上演されました。中でも浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』は『忠臣蔵』と略称し、歌舞伎にも上演されて圧倒的な人気を博しました。今回は『忠臣蔵』11段の物語を、見立絵や役者絵なども交えてご紹介します。

（吉田洋子）

浮世絵の画題
会期　平成19（2007）年1月2日（火）～2月4日（日）　展示室1
出品作品　31点

　浮世絵には美人画、風景画、武者絵、花鳥画などのジャンルにさまざまな画題が取り入れられています。古典的な画題をそのまま描くだけではなく、現代風に見立てたり、画題の音だけを借りて、新たな趣向で全く別の作品へと表現されている場合があります。今回は古典的な画題も含めて、雪月花、六歌仙、六玉川、七小町、八景、十二時、二十四時、二十四孝、源氏物語などの画題を描いた作品を紹介します。

（鈴木浩平）

木曾海道六十九次
会期　平成19（2007）年2月6日（火）～3月11日（日）　展示室1
出品作品　33点

　木曾海道を主題とする「木曾海道六十九次」は、変わり図1図を含む全71図からなる大作です。歌川広重の名作「東海道五十三次」の好評に刺激され、それが完成した翌年の天保6年（1835）に同じ版元の保永堂から上梓されました。溪斎英泉が24図を描き、歌川広重が引き続き46図と変わり図1図を描き、制作上の事情のためか完成までに6年が経過しているといわれます。今回は本シリーズを中心に、木曾海道を主題とする歌川国芳の作品も併せてご紹介します。山あいの自然と四季が織りなす木曽路の旅情をお楽しみください。

（吉田洋子）

名所江戸百景
会期　平成19（2007）年3月13日（火）～4月8日（日）　展示室1
出品作品　32点

　ゴッホが模写した「大はしあたけの夕立」「亀戸梅屋舗」などの傑作で知られる「名所江戸百景」は歌川広重が没した安政5年（1858）までの3年間にわたって出された総数118枚の大シリーズです。竪長の画面を生かし、遠方まで見通しのきく風景の手前に、提灯や花、人物などを極端に大きく描く斬新で印象的な構図を特徴とします。多作ながら秀作の少ない晩年にあって、画面構成や配色にこだわり、摺りにも数々の技法が用いられた意欲作として高い評価を得ています。

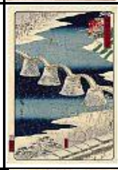
（藤村忠範）

Ⅱ>1>⑶ 特別展示室展示

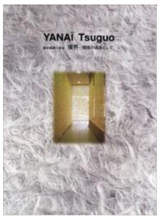
平成14年度～15年度　展示

4月	葛飾北斎	風流無くてなゝくせ　遠眼鏡	大判錦絵	
5月	鳥高斎栄昌	お高祖頭巾	大判錦絵	
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙　越前屋唐土	大判錦絵	
7月	喜多川歌麿	難波屋おきた	大判錦絵	
8月	鳥居清長	当世遊里美人合　蚊帳の内外	大判錦絵	
9月	喜多川歌麿	扇屋内花扇　よしの　たつた	大判錦絵	
10月	葛飾北斎	富嶽三十六景　凱風快晴	横大判錦絵	
11月	東洲斎写楽	三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判錦絵	
12月	歌川広重	名所江戸百景　王子装束ゑの木大晦日の狐火	大判錦絵	
1月	東洲斎写楽	三世市川高麗蔵の志賀大七	大判錦絵	
2月	歌川広重	東海道五十三次之内　蒲原　夜之雪	横大判錦絵	
3月	歌川広重	名所江戸百景　亀戸梅屋舗	大判錦絵	

平成16年度～18年度　展示

4月	歌川国政	初世岩井粂三郎	大判錦絵	
5月	歌川豊国	初世松本米三郎	大判錦絵	
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙　静玉屋志津加	大判錦絵	
7月	葛飾北斎	富嶽三十六景　山下白雨	横大判錦絵	
8月	喜多川歌麿	青楼仁和嘉女芸者部　大万度　荻江　おいよ　竹次	大判錦絵	
9月	歌川広重	木曾海道六十九次之内　宮ノ越	横大判錦絵	
10月	東洲斎写楽	二世中島三甫右衛門と中村富十郎	間判錦絵	
11月	鳥居清長	風俗東之錦　袴着	大判錦絵	
12月	二代歌川広重	諸国名所百景　周防岩国錦帯橋	大判錦絵	
1月	鳥居清長	大阪新町西槌屋琴鶴太夫　りきの　ふじの	大判錦絵	
2月	歌川広重	木曾海道六十九次之内　大井	横大判錦絵	
3月	鈴木春信	風俗四季哥仙　三月	中判錦絵	

平成14年度
柳井嗣雄の茶室「境界ー関係の通路としてー」
会期　平成14年3月1日～平成15年2月23日
製作者　柳井嗣雄
展示物
　　ファイバーワーク（原麻の紙）によるインスタレーション



平成15年度
中井川由希の茶室「真昼の月」
会期　平成15年3月1日～平成16年2月29日
制作者　中井川　由季
展示物
　　床壁　　　　　「月に浮く」
　　茶室　　　　　「月を喰（は）む」
　　バルコニー　「月に寝る」
　　中庭　　　　　「静かに動き続ける」

平成16年度
「天空の茶室ー立礼の席ー」
会期　平成16年3月6日～平成17年3月27日
制作者　福本潮子
展示物
　　掛物　　「流星」藍暈染紙布
　　敷物　　「銀河」畳縫絞藍染綿ベルベット
　　椅子　　「蛍狩」畳縫絞藍染綿ベルベット張布
　　　　　　　　バルーンバック椅子（ビクトリア朝）
　　　　　　「星斗」畳縫絞藍染綿ベルベット張布
　　　　　　　　漆塗スツール（清朝）
　　楕円机　「軌跡」透明アクリル
　　間仕切　「星雲」藍染暈蹣跚麻　　以上　福本潮子作
　　黄銅眉風炉、尻張筒釜　「風」　二代長野垤志作
　　香合　　「天から降ってきた」
　　水指　　「TENKU2004」
　　茶器　　「天花」
　　茶盆　　「白に舞う盆」
　　茶杓　　「星月夜」
　　建水　　「北斗」
　　蓋置　　「しほこ」　以上　三輪和彦作

平成17年度
「揺らぐ日々の中に」
会期　平成17年4月23日～平成18年3月12日
制作者　橋本真之
展示物
　　床壁　　　　「凝集力」
　　床の間　　「切片群」
　　茶室　　　　「凝集力・展開」
　　バルコニー「重層運動膜・切片群」
　　中庭　　　　「果樹園ー変換」
　　　　　　　　「果樹園ー果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実」

平成18年度
「且坐-稜線のムコウへ-」
会期　平成18年4月8日～平成19年3月11日
制作者　兼田昌尚
展示物
　　床の間　　「WORK06-方」
　　茶室　　　　「WORK06-今」
　　バルコニー「WORK06-天Ⅰ」
　　　　　　　　「WORK06-天Ⅱ」
　　　　　　　　「WORK06-天Ⅲ」
　　　　　　　　「WORK06-往」

平成14年度
①日時　平成14年4月20日(土)　13:30～15:00
　演題　「浮世絵とジャポニスム」
　講師　及川 茂(日本女子大学教授)

②日時　平成14年5月18日(土)　13:30～15:00
　演題　「工芸にみるジャポニスム ― 自然と装飾」
　講師　馬渕明子(日本女子大学教授)

③日時　平成14年7月27日(土)　13:30～15:00
　演題　「江戸のやきもの ― 伊万里と京焼」
　講師　荒川正明(財団法人出光美術館 主任学芸員)

④日時　平成14年8月24日(土)　13:30～15:00
　演題　「桃山茶陶の造形」
　講師　井上喜久男(愛知県陶磁資料館 主任学芸員)

⑤日時　平成14年9月28日(土)　13:30～15:00
　演題　「韓国窯跡発掘の新知見― 朝鮮時代を中心に ―」
　講師　片山まび(大阪市立東洋陶磁美術館 研究員)

⑥日時　平成14年11月23日(土・祝)　13:30～15:00
　演題　「春信版画の色彩」
　講師　田辺昌子(千葉市美術館　学芸員)

平成15年度
①日時　平成15年4月27日(土)　13:30～15:00
　演題　「わらべうたで遊ぼう 」
　講師　神野久子 氏(福岡コダーイセンター代表)

②日時　平成15年6月7日(土)　13:30～15:00
　演題　「竹久夢二と子どもの文化」
　講師　中村美幸(下関市立美術館学芸係長)

③日時　平成15年7月26日(土)　13:30～15:00
　演題　「写楽版画の再検討」
　講師　浅野秀剛(千葉市美術館学芸課長)

④日時　平成15年10月4日(土)　13:30～15:00
　演題　「現代日本陶芸と小山冨士夫」
　講師　金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)

⑤日時　平成15年10月11日(土)　13:30～15:00
　演題　「小山冨士夫の陶磁学～その歩みと今日的意義～」
　講師　弓場紀知(東京橘女子大学教授)

⑥日時　平成15年11月29日(土)　13:30～15:00
　演題　「大もんロ文化の社会」
　講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

平成16年度
①日時　平成16年4月29日(祝)　14:30～16:00
　演題　「初期伊万里の魅力と謎にせまる」
　講師　荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)

②日時　平成16年6月19日(土)　13:30～15:00
　演題　「冨嶽三十六景の青－浮世絵版画を非破壊分析する－」
　講師　下山 進(吉備国際大学教授)

③日時　平成16年6月26日(土)　13:30～15:00
演題　「浮世絵版画の保存・修復」
講師　山領まり(絵画修復家・山領絵画修復工房)

④日時　平成16年7月31日(土)　13:30～15:00
演題　「唐時代の俑について－長安と洛陽を中心に－」
講師　小林 仁(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

⑤日時　平成16年9月23日(祝)　13:30～15:00
演題　「上方役者絵の歴史と特徴」
講師　北川博子(阪急学園池田文庫研究員)

⑥日時　平成16年10月30日(土)　13:30～15:00
演題　「現代陶芸入門」
講師　金子賢治(東京国立近代美術館 工芸課長)

平成17年度
①日時　平成17年5月14日(土)　13:30～15:00
演題　「瀬戸陶芸の展開－明治後半から今日まで－」
講師　唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課主任研究官)

②日時　平成17年7月2日(土)　13:30～15:00
演題　「明治錦絵の魅力－熱き思いに生きた画工・版元たち－」
講師　岩切信一郎(東京文化短期大学教授)

③日時　平成17年7月30日(土)　13:30～16:00
演題　「現代陶芸入門 -講演と対談」
講師　金子賢治(東京国立近代美術館 工芸課長)
橋本真之(鍛金造形作家)
三輪休雪(陶芸作家)

④日時　平成17年10月15日(土)　13:30～15:00
演題　「月岡芳年と明治の浮世絵」
講師　菅原真弓(中山道広重美術館 学芸員)

⑤日時　平成17年11月12日(土)　13:30～15:00
演題　「都市・江戸と浮世絵」
講師　小澤 弘(東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室長)

⑥日時　平成17年12月17日(土)　13:30～15:00
演題　「鏡の世界を読む」
講師　岡村秀典(京都大學人文科学研究所教授)

平成18年度
①日時　平成18年7月15日(土)　13:30～15:00
演題　「江戸画壇の浮世絵の位置はどう変わっていったのか」
講師　安村敏信(板橋区立美術館館長)

②日時　平成18年8月12日(土)　13:30～15:00
演題　「俑と明器　その魅力と鑑賞」
講師　矢島律子(町田市立博物館学芸員)

③日時　平成18年8月26日(土)　13:30～15:00
演題　「江戸時代の食事の楽しみ」
講師　田中実穂(東京都現代美術館　学芸員)

④日時　平成18年10月14日(土)　13:30～15:00
演題　「現代陶芸史と三輪壽雪」
講師　榎本 徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)

⑤日時　平成18年11月18日(土)　13:30～15:00
　演題　「武者絵から広がる楽しみ」
　講師　岩切友里子(国際浮世絵学会　会員)

⑥日時　平成19年1月13日(土)　13:30～15:00
　演題　「日本農耕文化の起源ー山東ー」
　講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

平成14年度
北澤美術館所蔵　アール・ヌーヴォーガラス名品展
　日時　平成14年4月6日(土)　13:30～15:00
　演題　「高島北海とエミール・ガレ」
　講師　鈴木 潔(北澤美術館学芸部長)

オリエントの輝くうつわ－ガラス・金銀器・ラスター彩陶器－
　日時　平成14年6月8日(土)　13:30～15:00
　演題　「古代ローマの社会生活とガラス」
　講師　飯島章仁(岡山市立オリエント美術館学芸員)

日本陶磁5000年の至宝－愛知県陶磁資料館コレクション展－
①日時　平成14年7月20日(土)　13:30～15:00
　演題　「日本陶磁の東アジア陶磁史における位置づけ」
　講師　森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
②日時　平成14年7月27日(土)　13:30～15:00
　演題　「江戸のやきもの－伊万里と京焼」
　講師　荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)
③日時　平成14年8月24日(土)　13:30～15:00
　演題　「桃山茶陶の造形」
　講師　井上喜久男(愛知県陶磁資料館主任学芸員)

心のやきもの李朝－朝鮮時代の陶磁－
①日時　平成14年9月7日(土)　13:30～15:00
　演題　「李朝陶磁の魅力」
　講師　伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
②日時　平成14年9月28日(土)　13:30～15:00
　演題　「韓国窯跡発掘の新知見－朝鮮時代を中心に－」
　講師　片山まび(大阪市立東洋陶磁美術館研究員)

青春の浮世絵師 鈴木春信－江戸のカラリスト登場
①日時　平成14年11月2日(土)　13:30～15:00
　演題　「青春の浮世絵師　鈴木春信」
　講師　小林 忠(千葉市美術館館長)
②日時　平成14年11月23日(土)　13:30～15:00
　演題　「春信版画の色彩」
　講師　田辺昌子(千葉市美術館学芸員)

平成15年度
～歌麿や広重も描いた江戸の子宝～遊べや遊べ！子ども浮世絵展
①日時　平成15年4月12日(土)　13:30～15:00
　演題　「子ども浮世絵とは何か」
　講師　稲垣進一(栃木県馬頭町広重美術館館長)
②日時　平成15年4月26日(土)　13:30～15:00
　演題　「遊び模様、江戸の散歩(みちくさ)～ズッコケ先生、江戸を語る～」
　講師　那須正幹(児童文学作家、ズッコケ３人組シリーズ作者)

河村コレクション　竹久夢二展
①日時　平成15年5月17日(土)　13:30～15:00
　演題　「竹久夢二の芸術と生涯」
　講師　石川桂子(竹久夢二美術館主任学芸員)
②日時　平成15年6月7日(土)　13:30～15:00
　演題　「竹久夢二と子どもの文化」
　講師　中村美幸(下関市立美術館学芸係長)

ホノルル美術館所蔵　浮世絵風景画名品展
①日時　平成15年7月19日(土)　13:30～15:00
　演題　「浮世絵風景画の魅力」
　講師　小林 忠(学習院大学教授・千葉市美術館館長)
②日時　平成15年7月26日(土)　13:30～15:00
　演題　「写楽版画の再検討」
　講師　浅野秀剛(千葉市美術館学芸課長)

陶の詩人　小山冨士夫の眼と技
①日時　平成15年8月23日(土)　13:00～14:30
　演題　「小山冨士夫の生涯」
　講師　長谷部楽爾(当館顧問、財 出光美術館理事)
②日時　平成15年10月4日(土)　13:30～15:00
　演題　「現代日本陶芸と小山冨士夫」
　講師　金子賢治(東京国立近代美術館工芸課長)
③日時　平成15年10月11日(土)　13:30～15:00
　演題　「小山冨士夫の陶磁学～その歩みと今日的意義～」
　講師　弓場紀知(東京橋女子大学教授)

シリーズ山東文物4 原始土器の美展－大もん口遺跡出土文物
①日時　平成15年11月1日(土)　13:30～15:00
　演題　「黄河文明と大もん口文化」
　講師　張 従軍(山東省文化庁外事処処長)
②日時　平成15年11月29日(土)　13:30～15:00
　演題　「大もん口文化の社会」
　講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

平成16年度
初期伊万里展－染付と色絵の誕生－
①日時　平成16年4月3日(土)　13:30～15:00
　演題　「肥前磁器－誕生と発展」
　講師　大橋康二(佐賀県立九州陶磁文化館副館長)
②日時　平成16年4月29日(祝)　14:30～16:00
　演題　「初期伊万里の魅力と謎にせまる」
　講師　荒川正明(財 出光美術館主任学芸員)

出光コレクション　肉筆浮世絵名品展
①日時　平成16年5月29日(土)　13:30～15:00
　演題　「出光コレクションの肉筆浮世絵」
　講師　内藤正人(財 出光美術館主任学芸員)
②日時　平成16年6月19日(土)　13:30～15:00
　演題　「冨嶽三十六景の青－浮世絵版画を非破壊分析する－」
　講師　下山 進(吉備国際大学教授)
③日時　平成16年6月26日(土)　13:30～15:00
　演題　「浮世絵版画の保存・修復」
　講師　山領まり(絵画修復家・山領絵画修復工房)

洛陽の夢　唐三彩展
①日時　平成16年7月24日(土)　13:30～15:00
　演題　「則天武后と唐三彩の時代」
　講師　森 達也(愛知県陶磁資料館学芸員)
②日時　平成16年7月31日(土)　13:30～15:00
　演題　「唐時代の俑について－長安と洛陽を中心に－」
　講師　小林 仁(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

HANGA東西交流の波
①日時　平成16年9月11日(土)　13:30〜15:00
　演題　「医師ガッシェ旧蔵の木製銅版画プレス機を巡って －ファン・ゴッホ、長谷川
　講師　中林忠良(東京芸術大学教授)

②日時　平成16年9月23日(祝)　13:30〜15:00
　演題　「上方役者絵の歴史と特徴」
　講師　北川博子(阪急学園池田文庫研究員)

シリーズ山東文物5　小さな御仏たち
　日時　平成16年12月11日(土)　13:30〜15:00
　演題　「博興県龍華寺遺址出土の小金銅仏について」
　講師　張 淑敏(山東省博興県博物館副館長)

平成17年度
瀬戸陶芸の精華展
①日時　平成17年4月23日(土)　13:30〜15:00
　演題　「瀬戸陶芸の歴史と魅力」
　講師　服部文孝(瀬戸市美術館学芸員)
②日時　平成17年5月14日(土)　13:30〜15:00
　演題　「瀬戸陶芸の展開－明治後半から今日まで－」
　講師　唐澤昌宏(東京国立近代美術館工芸課主任研究官)

明治絵－文明開化の世界展
①日時　平成17年6月18日(土)　13:30〜15:00
　演題　「錦絵に見る乗り物の発展」
　講師　齊藤俊彦(文学博士・日本ペンクラブ会員)
②日時　平成17年7月2日(土)　13:30〜15:00
　演題　「明治錦絵の魅力－熱き思いに生きた画工・版元たち－」
　講師　岩切信一郎(東京文化短期大学教授)

20世紀陶芸界の鬼才　加守田章二展
　日時　平成17年7月16日(土)　14:00〜15:30
　演題　「加守田章二の陶芸」
　講師　青木 宏(栃木県立美術館学芸課長)

東アジア中世海道－海商・港・沈没船－
　日時　平成17年9月17日(土)　13:30〜15:00
　演題　「あこがれの舶来品「唐物」と沈没船」
　講師　小野正敏(国立歴史民俗博物館助教授)

シリーズ山東文物6　鏡の中の宇宙
①日時　平成17年12月10日(土)　13:30〜15:00
　演題　「華麗なる隋唐鏡－海獣葡萄鏡を中心に－」
　講師　秋山進午(大手前大学史学研究所所長)
②日時　平成17年12月17日(土)　13:30〜15:00
　演題　「鏡の世界を読む」
　講師　岡村秀典(京都大學人文科学研究所教授)

平成18年度
華麗なるマイセン磁器－シノワズリー、ロココからアールヌーヴォーまで－
　日時　平成18年4月16日(土)　13:30〜15:30
　演題　「バロック・ロココのマイセン彫刻－ケンドラーによる芸術性の開花」
　講師　櫻庭美咲(九州産業大学COE研究員)

雅／俗－浮世絵に見る風雅と風俗
①日時　平成18年6月17日(土)　13:30～15:00
　演題　「近世文化における「雅」と「俗」について」
　講師　中野三敏(九州大学名誉教授)
②日時　平成18年7月15日(土)　13:30～15:00
　演題　「江戸画壇の浮世絵の位置はどう変わっていったのか」
　講師　安村敏信(板橋区立美術館館長)

陶器が語る来世の理想郷　中国古代の暮らしと夢－建築・人・動物－
　日時　平成18年8月12日(土)　13:30～15:00
　演題　「俑と明器　その魅力と鑑賞」
　講師　矢島律子(町田市立博物館学芸員)

萩焼の造形美　人間国宝 三輪壽雪の世界
　日時　平成18年10月14日(土)　13:30～15:00
　演題　「現代陶芸史と三輪壽雪」
　講師　榎本 徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)

シリーズ山東文物７　東方はるかなユートピア－煙台地区出土文物精華－
　日時　平成19(2007)年1月13日(土)　13:30～15:00
　演題　「日本農耕文化の起源－山東－」
　講師　宮本一夫(九州大学大学院人文科学研究院教授)

平成14年度
「土火っと遊び隊2002ーのやき体験ー」

	実施日	時間帯	内　容	場　所
1	7月13日(土)	10：00～16：00	成形	当館滝前広場
2	8月9日(金)	15：00～	のやき体験(焼成)	萩市内(西の浜石彫公園付近)
3	8月10日(土)	～18：00	のやき体験(窯出し)	萩市内(西の浜石彫公園付近)

対象 小・中・高校生
講師 三輪和彦、美術館教育ボランティア
参加 25名

平成15年度
「土火っと遊び隊2003ーのやき体験ー」

	実施日	時間帯	内　容	場　所
1	7月21日(祝)	10：00～16：00	成形	当館滝前広場
2	8月8日(金)	15：00～	のやき体験(焼成)	萩市内(西の浜石彫公園付近)
3	8月9日(土)	～18：00	のやき体験(窯出し)	萩市内(西の浜石彫公園付近)

対象 小・中・高校生
講師 金子 司、美術館教育ボランティア
参加 62名

平成16年度
「土火っと遊び隊2004ーのやき体験ー」

	実施日	時間帯	内　容	場　所
1	7月24日(土)	10：00～16：00	成形	当館滝前広場
2	8月6日(金)	15：00～	のやき体験(焼成)	萩市内(西の浜石彫公園付近)
3	8月7日(土)	～18：00	のやき体験(窯出し)	萩市内(西の浜石彫公園付近)

対象 小・中・高校生
講師 金子 司、美術館教育ボランティア
参加 48名

平成17年度
「土火っと遊び隊2005ーのやき体験ー」

	実施日	時間帯	内　容	場　所
1	7月18日(祝)	10：00～16：00	成形	当館滝前広場
2	8月5日(金)	15：00～	のやき体験(焼成)	萩市内(西の浜石彫公園付近)
3	8月6日(土)	～18：00	のやき体験(窯出し)	萩市内(西の浜石彫公園付近)

対象 小・中・高校生
講師 金子 司、美術館教育ボランティア
参加 31名

平成18年度
「土火っと遊び隊ー干支香合をつくるー

	実施日	時間帯	内　容	場　所
1	8月19日(土)	13：30～16：00	スライド、ギャラリートーク	当館
2	8月20日(日)	12：00～16：00	窯元見学、実技体験	坂窯
3	8月6日(土)	～18：00	のやき体験(窯出し)	萩市内(西の浜石彫公園付近)

対象 一般・児童・生徒
講師
参加 27名

Ⅱ>2>(4) ギャラリートーク

平成14年度

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	平成14年4月13日	浮 世 絵	月岡芳年 月百姿3	吉田 洋子
2	平成14年4月27日	東洋陶磁	青磁 －系譜と展開－	上田 秀夫
3	平成14年5月11日	浮 世 絵	源平の武者絵	藤村 忠範
4	平成14年5月25日	東洋陶磁	青磁 －系譜と展開－	石崎 泰之
5	平成14年6月22日	浮 世 絵	清長・歌麿・栄之	鈴木 浩平
6	平成14年7月13日	東洋陶磁	漢代の明器	今村 佳子
7	平成14年7月27日	浮 世 絵	妖怪絵	藤村 忠範
8	平成14年9月14日	東洋陶磁	白磁の誕生と展開	今村 佳子
9	平成14年9月28日	浮 世 絵	江戸の娯楽	鈴木 浩平
10	平成14年10月12日	浮 世 絵	相撲絵の流れ	藤村 忠範
11	平成14年10月26日	東洋陶磁	白磁の誕生と展開	今村 佳子
12	平成15年1月11日	浮 世 絵	北斎・広重・国芳 富士の風景	藤村 忠範
13	平成15年1月25日	東洋陶磁	華やかな明代陶磁器	今村 佳子
14	平成15年2月8日	浮 世 絵	幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ① 落合芳幾の世界	吉田 洋子
15	平成15年2月22日	東洋陶磁	華やかな明代陶磁器	今村 佳子
16	平成15年3月8日	浮 世 絵	江戸 四季の景	鈴木 浩平
17	平成15年3月22日	東洋陶磁	華やかな明代陶磁器	今村 佳子

平成15年度

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	平成15年5月24日	東洋陶磁	新収蔵品 －中国陶磁－	上田 秀夫
2	平成15年6月14日	浮 世 絵	諸国名所風景画	鈴木 浩平
3	平成15年6月28日	東洋陶磁	新収蔵品 －中国陶磁－	上田 秀夫
4	平成15年7月12日	浮 世 絵	夏の美人たち	藤村 忠範
5	平成15年9月13日	浮 世 絵	月岡芳年 新形三十六怪撰	吉田 洋子
6	平成15年9月27日	浮 世 絵	月岡芳年 新形三十六怪撰	吉田 洋子
7	平成15年10月11日	浮 世 絵	美人画の大首絵	鈴木 浩平
8	平成15年10月25日	東洋陶磁	中国陶磁の展開	上田 秀夫
9	平成15年11月8日	浮 世 絵	戯画展	藤村 忠範
10	平成15年11月22日	東洋陶磁	中国陶磁の展開	石崎 泰之
11	平成15年12月13日	浮 世 絵	溪斎英泉	吉田 洋子
12	平成16年1月10日	浮 世 絵	蔦屋重三郎と西村屋与八	藤村 忠範
13	平成16年1月24日	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	上田 秀夫
14	平成16年2月14日	浮 世 絵	幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ② 豊原国周	吉田 洋子
15	平成16年2月28日	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	上田 秀夫
16	平成16年3月13日	浮 世 絵	浮世絵に描かれた中国	鈴木 浩平
17	平成16年3月27日	東洋陶磁	朝鮮陶磁の展開	石崎 泰之

平成16年度

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	平成16年4月10日	浮 世 絵	浮世絵に描かれた中国	鈴木 浩平
2	平成16年8月14日	浮 世 絵	五十三次の世界	吉田 洋子
3	平成16年8月28日	浮 世 絵	五十三次の世界	吉田 洋子
4	平成16年11月13日	東洋陶磁	中国陶磁の展開	上田 秀夫
5	平成16年11月27日	東洋陶磁	中国陶磁の展開	上田 秀夫
6	平成16年12月25日	東洋陶磁	中国の青磁と朝鮮半島の青磁	上田 秀夫
7	平成17年1月8日	浮 世 絵	美人画の黄金時代	藤村 忠範
8	平成17年1月22日	浮 世 絵	小林清親	吉田 洋子
9	平成17年2月12日	東洋陶磁	中国の青磁と朝鮮半島の青磁	上田 秀夫
10	平成17年2月26日	浮 世 絵	幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ③ 月岡芳年	鈴木 浩平
11	平成17年3月26日	浮 世 絵	雪月花 －花－	吉田 洋子

平成17年度

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	平成17年5月14日	浮世絵	義経と弁慶	吉田 洋子
2	平成17年5月28日	東洋陶磁	黙思するかたち －朝鮮時代のやきもの－	石崎 泰之
3	平成17年6月11日	浮世絵	初期浮世絵の世界	吉田 洋子
4	平成17年7月23日	浮世絵	歌川国芳Ⅰ	吉田 洋子
5	平成17年8月13日	東洋陶磁	やきものに象られた花たち	石崎 泰之
6	平成17年8月27日	浮世絵	歌川国芳Ⅱ	鈴木 浩平
7	平成17年12月24日	浮世絵	葛飾北斎 富嶽三十六景	藤村 忠範
8	平成18年1月14日	東洋陶磁	鎮魂の造形 －陶桶－	石崎 泰之
9	平成18年1月28日	浮世絵	江戸の神仏と信仰	鈴木 浩平
10	平成18年2月11日	浮世絵	雪月花 －雪－	鈴木 浩平
11	平成18年2月25日	東洋陶磁	鎮魂の造形 －陶桶－	石崎 泰之
12	平成18年3月11日	東洋陶磁	鎮魂の造形 －陶桶－	石崎 泰之

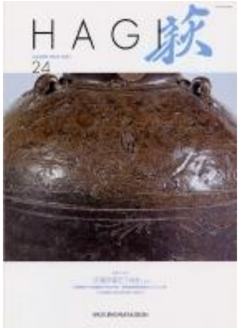
平成18年度

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	平成18年4月22日	浮　世　絵	明治のヒーロー 稗史絵	藤村 忠範
2	平成18年5月13日	東洋陶磁	さあらぬ筆力 －古染付と天啓赤絵－	石崎 泰之
3	平成18年5月27日	浮　世　絵	歌川国貞	鈴木 浩平
4	平成18年6月24日	浮　世　絵	月岡芳年 風俗三十二相	藤村 忠範
5	平成18年7月22日	浮　世　絵	浮世絵に描かれた動物たち	藤村 忠範
6	平成18年8月26日	東洋陶磁	やきものに象られた動物たち	石崎 泰之
7	平成18年9月9日	浮　世　絵	江戸のグルメ	藤村 忠範
8	平成18年10月14日	浮　世　絵	山口県と浮世絵	鈴木 浩平
9	平成18年10月21日	東洋陶磁	青磁の歴史	今村 佳子
10	平成18年11月11日	浮　世　絵	忠臣蔵	吉田 洋子
11	平成18年1月13日	浮　世　絵	浮世絵の画題	鈴木 浩平
12	平成19年1月27日	東洋陶磁	白磁の展開	今村 佳子
13	平成19年2月10日	浮　世　絵	木曽街道六十九次	吉田 洋子
14	平成19年3月24日	浮　世　絵	名所江戸百景	藤村 忠範

平成14年度
No.23（平成14年4月15日発行）

「柳井嗣雄の茶室「境界ー関係の通路として」覚書」石崎泰之
「黒いガラスと水墨画 ガレと高島北海の出会いがもたらしたもの」鈴木 潔
「北澤美術館所蔵アール・ヌーヴォーガラス名品展」
予告「オリエントの輝くうつわ展ーガラス・金銀器・ラスター彩陶器ー」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「黒釉天鶏壷」今村佳子
特別展示室展示案内
平成14年度 年間展示のご案内

No.24（平成14年7月15日発行）



「日本陶磁五千年の至宝展によせて せとものの源流ー秘色瓷と尾張瓷器」浅田員由
「日本陶磁五千年の至宝 愛知県陶磁資料館コレクション展」
「心のやきもの李朝ー朝鮮時代の陶磁ー」展
連載 明治絵 文明開化の世界［第１回］「西洋建築」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「加彩文官俑」今村佳子

No.25（平成14年10月15日発行）

「青春の浮世絵師 鈴木春信展によせて」小林 忠
「青春の浮世絵師 鈴木春信ー江戸のカラリスト登場」展
「山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵 浮世絵名品展」
小企画展示「華やかな明代陶磁器」
小企画展示「北斎・広重・国芳 富士の風景」
浮世絵展示案内
陶磁選「白磁有蓋万年壷」今村佳子

No.26（平成15年1月15日発行）

［山口県・山東省友好20周年記念］「山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵「浮世絵名品展」が開催されて」鈴木浩平
小企画展示「華やかな明代陶磁器」展
小企画展示１「幕末明治を生きた浮世絵師シリーズ① 落合芳幾の世界」展
小企画展示２「江戸 四季の景」展
新収蔵品リスト
陶磁選「三彩騎馬女子俑」今村佳子

平成15年度
No.27（平成15年4月15日発行）

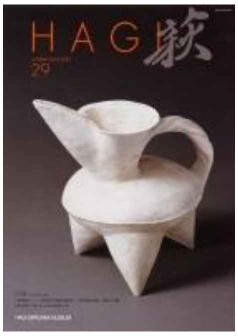
「中井川由季の茶室「真昼の月」覚書」石崎泰之
「歌麿や広重も描いた江戸の子宝 遊べや遊べ!!子ども浮世絵展」
予告「河村コレクション 竹久夢二展」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「青磁有蓋夾耳壷」今村佳子
特別展示室展示案内
平成15年度 年間展示のご案内

No.28（平成15年7月15日発行）

「浮世絵風景画の革新」浅野秀剛
「ホノルル美術館所蔵 浮世絵風景画名品展」
「陶の詩人 小山冨士夫の眼と技」展
連載 明治絵 文明開化の世界［第2回］「鉄道」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「緑釉唐草文皮嚢壷」今村佳子

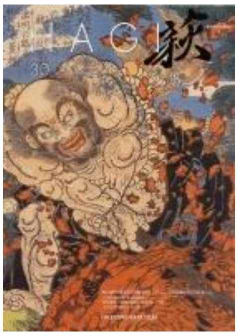
No.29（平成15年10月15日発行）

「展覧会「原始土器の美ー大もん口遺跡出土文物ー」にあたって」宮本一夫
「シリーズ山東文物４ 原始土器の美ー大もん口遺跡出土文物ー」
連載 明治絵 文明開化の世界［第3回］「橋」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「白磁有蓋長頚壷」今村佳子



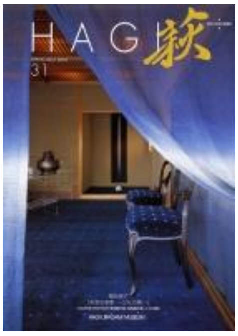
No.30（平成16年1月15日発行）

「「山東省文物展」の継続開催についての書信」張従軍
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
連載 明治絵 文明開化の世界［第4回］「博覧会」鈴木浩平
新収蔵品リスト
陶磁選「青白磁唐子唐草文鉢」今村佳子



平成16年度
No.31（平成16年4月15日発行）

「福本潮子の茶室 天空の茶室の愉しみ」石崎泰之
「初期伊万里展 染付と色絵の誕生」
「受贈記念 松村實コレクション展」
「出光コレクション 肉筆浮世絵名品展」
特別展示室展示案内
平成16年度 年間展示のご案内



No.32（平成16年7月15日発行）

「唐三彩の謎にせまる」森 達也
「洛陽の夢 唐三彩展」
「HANGA 東西交流の波」展
連載 明治絵 文明開化の世界［第5回］「西南戦争」
浮世絵展示案内
陶磁選「青磁双魚文盤」今村佳子

No.33（平成16年10月15日発行）

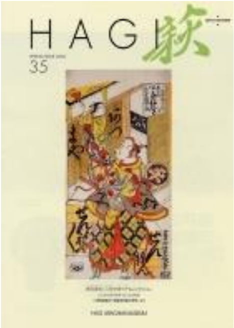
「萩焼の固定観念を超えて」斉藤武男
「萩開府400年記念 萩陶芸家協会展 ー萩陶芸の現在ー」
連載 明治絵 文明開化の世界［第6回］「御所絵」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「玳皮天目碗」今村佳子

No.34（平成17年1月15日発行）

「小さな御仏たちに込められた思い」岩井共二
「シリーズ山東文物５ 小さな御仏たち」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
連載 明治絵 文明開化の世界［最終回］「文明開化は春の色？」鈴木浩平
新収蔵品リスト
陶磁選「白地鉄絵草花文有蓋鉢」今村佳子

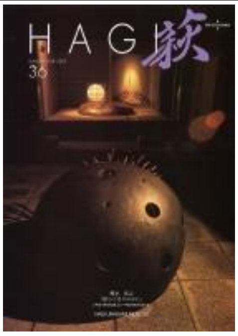
平成17年度
No.35（平成17年4月15日発行）

「瀬戸と万国博覧会」服部文孝
「2005年日本国際博覧会開催記念 瀬戸陶芸の精華展」
「明治絵ー文明開化の世界展」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「青花鳳凰文瓶」今村佳子
特別展示室展示案内
平成17年度 年間展示のご案内



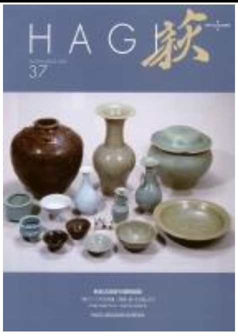
No.36（平成17年7月15日発行）

「「当て盤絞り」ー橋本真之「揺らぐ日々の中に」鑑賞のためにー」石崎泰之
「20世紀陶芸界の鬼才 加守田章二展」
「テレビ山口開局35周年記念「東アジア中世海道ー海商・港・沈没船」展」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「青磁象嵌菊花文松葉形合子」今村佳子



No.37（平成17年10月15日発行）

「東アジア中世海道ー海商・港・沈没船」小野正敏
「テレビ山口開局35周年記念「東アジア中世海道ー海商・港・沈没船」展」
「シリーズ山東文物６ 鏡の中の宇宙」
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選「青花祭字文四方祭器」今村佳子



No.38（平成18年1月15日発行）

「シリーズ山東文物６ 鏡の中の宇宙 三世紀の鏡」上野祥史
「シリーズ山東文物６ 鏡の中の宇宙 伝世鏡の諸問題」辻田淳一郎
新収蔵品リスト
連載 明治の美人画［第1回］「楊洲周延」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶磁選最終回「白磁陽刻龍文筆筒」今村佳子

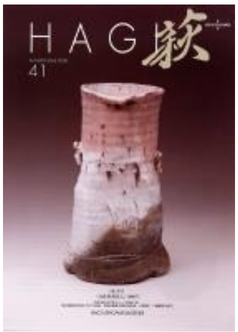
平成18年度
No.39（平成18年4月15日発行）

「マイセン磁器にみる ヨーロッパ宮廷文化と音楽」櫻庭美咲
「華麗なるマイセン磁器 シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで」展
「開館10周年記念 雅／俗ー浮世絵に見る風雅と風俗ー」展
連載 明治の美人画［第2回］「豊原国周」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
特別展示室展示案内

No.40（平成18年7月15日発行）

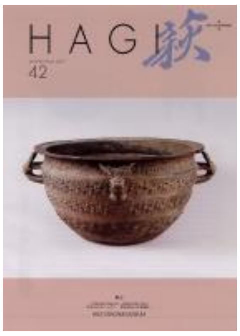
「兼田昌尚の茶室「且坐ー稜線のムコウへー」」石崎泰之
「開館10周年記念 KRY山口放送開局50周年記念
陶器が語る来世の理想郷 中国古代の暮らしと夢ー建築・人・動物」展
「国民文化祭・やまぐち2006 特別企画展 萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界」展
連載 明治の美人画［第3回］「月岡芳年」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
陶芸ワークショップ案内

No.41（平成18年10月15日発行）



「第21回国民文化祭・やまぐち2006 特別企画展
萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界」斉藤武男
「第21回国民文化祭・やまぐち2006 特別企画展 萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界」展
「シリーズ山東文物７ 東方はるかなユートピアー煙台地区出土文物精華ー」展
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
萩焼 経行「三輪壽雪 白萩水指」石崎泰之

No.42（平成19年1月15日発行）



「東方はるかなユートピア 煙台地区出土文物精華 エッセイ」宮本一夫
「シリーズ山東文物７ 東方はるかなユートピアー煙台地区出土文物精華ー」展
新収蔵品リスト
連載 明治の美人画［第4回］「小林清親」鈴木浩平
浮世絵展示・東洋陶磁展示案内
萩焼 経行「萩割高台茶碗」石崎泰之

Ⅱ>2>(6) ウェブサイト

アドレス http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp
開設日 平成12年12月26日

アクセス数

	総件数	ユニークホスト
平成14年度	データなし	データなし
平成15年度	データなし	データなし
平成16年度	データなし	データなし
平成17年度	55,149	8,924
平成18年度	78,528	9,796

※「ユニークホスト」とは訪問者の数です。（同一訪問者の再度のアクセスをカウン
更新頻度 1～3回/月、程度

Ⅱ>2>(7) 博物館実習

博物館実習の受入

	期間	日数	人数	実習生の在籍校
平成14年度	平成14年8月5日 ～8月11日	7日間	8名	信州大学、皇學館大学、山口大学(2)、国士舘大学、筑波大学、久留米大学、多摩美術大学
平成15年度	平成15年8月4日 ～8月10日	7日間	5名	山口大学(3)、東亜大学、東京造形大学
平成16年度	平成16年8月2日 ～8月8日	7日間	4名	山口大学、尾道大学、東亜大学(2)
平成17年度	平成17年8月1日 ～8月7日	7日間	4名	久留米大学、共立女子大学、九州産業大学、三重大学
平成18年度	平成18年8月16日 ～8月22日	7日間	4名	京都橘大学、広島大学、東京工芸大学、山口芸術短期大学

平成14年度

展覧会名称：「描かれた明治ニッポン～石版画「リトグラフ」の時代～」
展覧会開催館名：神戸市立博物館/町田市立国際版画美術館/郡山市立美術館
貸出年月日：2002/8/2～2003/3/2
貸出先：町田市立国際版画美術館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
東京陸軍士官学校事務室図(大阪)	未詳	石版画 1枚	U4874
西南戦争戦闘図（無題）	未詳	石版画 1枚	U4918－23
石山寺秋月	未詳	石版画 1枚	U4918－21
初世拿破倫於亜夫斯蘇路伯與澳斯的盧曹士戦之図	未詳	石版画 1枚	U4918－24
普仏戦争図（無題）	未詳	石版画 1枚	U4918－25
世界第一之美人	未詳	石版画 1枚	U4873

展覧会名称：「浮世絵にみる能－主題に因む受容と変貌－」
展覧会開催館名：国立能楽堂 一階 資料展示室
貸出年月日：2002/9/24～2002/11/8
貸出先：日本芸術文化振興会 国立能楽堂

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
草子洗小町	奥村政信	横大判紅摺絵 1枚	U2617
邯鄲	未詳	横中判錦絵 1枚	U2639

展覧会名称：「浮世絵に見る江戸吉原」
展覧会開催館名：たばこと塩の博物館
貸出年月日：2002/9/4～2002/11/6
貸出先：たばこと塩の博物館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
名所江戸百景 よし原日本堤	歌川広重	大判錦絵1枚	U1041(TU)
名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣	歌川広重	大判錦絵1枚	U1042（TU）
雛形若菜の初模様 松かねや内あづま	礒田湖龍斎	大判錦絵1枚	U17（TU）
風流美人揃 三味線箱を持つ芸者	菊川英山	大判錦絵1枚	U176（TU）
東都名所 新吉原日本堤衣紋坂曙	歌川広重	横大判錦絵1枚	U700（TU）

展覧会名称：「現代陶芸の華－西日本の作家を中心に－」
展覧会開催館名：茨城県陶芸美術館
貸出年月日：2002/9/19～2003/3/31
貸出先：茨城県陶芸美術館

作品名	作家名	員数	収蔵品番号
WORK 99－5	兼田昌尚	1点	K-31

平成15年度

展覧会名称：「トリックXトリック ～江戸の遊び絵VS M. C. エッシャー～」
展覧会開催館名：浜田市世界こども美術館
貸出年月日：2003/7/1～2003/9/5
貸出先：浜田市世界こども美術館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
としよりのよふな若い人だ	歌川国芳	大判錦絵1枚	U431（TU）
猫の当字（なまづ）	歌川国芳	大判錦絵1枚	U513（TU）
荷宝蔵壁のむだ書（黒腰壁）	歌川国芳	大判錦絵2枚続	U524（TU）

展覧会名称：「武者絵の世界」
展覧会開催館名：町田市立国際版画美術館
貸出年月日：2003/9/20～2003/12/15
貸出先：町田市立国際版画美術館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
五条大橋 牛若丸と弁慶	鈴木春信	中判錦絵1枚	U10（TU)
漢国ハンカイ勇力門を破る図	勝川春英	大判錦絵1枚	U30（TU)

武者絵（戻橋）	勝山春山	大判錦絵1枚	U79（TU)
本朝高名鑑 六孫王經基	歌川国貞	大判錦絵1枚	U267（TU)
源頼光 渡辺綱	歌川国芳	中判錦絵2枚続	U506（TU)
豊前国與次兵衛灘	歌川国芳	大判錦絵3枚続	U544（TU)
本朝高名鑑 文覚上人	歌川国貞	大判錦絵1枚	U268（TU)
本朝高名鑑 平忠盛	歌川国貞	大判錦絵1枚	U269 (TU)
本朝武者高名鑑 村上彦四郎義輝	歌川国貞	大判錦絵1枚	U270 (TU)
本朝武者高名鑑 五郎時致 朝夷義秀	歌川国貞	大判錦絵1枚	U271 (TU)
大森彦七盛長	歌川国貞	大判錦絵1枚	U272 (TU)
頼家卿伊豆の国御守のとき荏柄の平太山中にて大蛇を殺す	歌川国貞	大判錦絵1枚	U273 (TU)
巴御前	歌川国貞	大判錦絵1枚	U1917 (TU)
河津股野赤沢山相撲ノ図	歌川国貞	大判錦絵1枚	U2271 (TU)
摂州一之谷鵯越平家追伐八嶋壇浦合戦之図	北尾重政	横大々判錦絵1枚	U2533
芳年武者无類 船田入道義昌 左中将新田義貞	月岡芳年	大判錦絵1枚	U3298
芳年武者无類 畠山庄司重忠	月岡芳年	大判錦絵1枚	U3305
芳年武者无類 八幡太郎義家	月岡芳年	大判錦絵1枚	U3309
芳年武者无類 曾我五郎時宗 五所五郎丸	月岡芳年	大判錦絵1枚	U3314

展覧会名称：企画展「浮世絵にみるアヴァンギャルドと現代（仮称）」
展覧会開催館名：東京ステーションギャラリー
貸出年月日：2003/9/1～2003/11/20
貸出先：財団法人 東日本鉄道文化財団

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
山姥と金太郎 耳そうじ	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U52 (TU)
鏡台前の母子	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U55 (TU)
忠臣蔵 七段目	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U57 (TU)
江戸名所百人美女 今川はし	歌川国貞	大判錦絵1枚	U299 (TU)
山海愛度図会 はやくねかしたい	歌川国芳	大判錦絵1枚	U572 (TU)
一陽来復花姿湯 時世粧年中行事之内	落合芳幾	大判錦絵3枚	U1152 (TU)
風俗三十二相 かゆさう	月岡芳年	大判錦絵1枚	U1484 (TU)
通俗西遊記 八戒 七婦	月岡芳年	大判錦絵1枚	U1670 (TU)
六玉川月眉墨	二代喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2208 (TU)
父母の恩をしる図	歌川芳虎	大判錦絵3枚	U3219

平成16年度

展覧会名称：「HANGA 東西交流の波」
展覧会開催館名：東京芸術大学大学美術館/三重県立美術館
貸出年月日：2004/10/25～2005/4/10
貸出先：東京芸術大学/三重県立美術館/東京新聞事業局

作品名	作者名	員数・判型	収蔵品番号
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	葛飾北斎	横大判錦絵1枚	U107 (TU)
富嶽三十六景 凱風快晴	葛飾北斎	横大判錦絵1枚	U2704
DIVIAN JAPONAIS	ロートレック	リトグラフ1枚	C-20
『北斎漫画 十一編』	葛飾北斎	絵手本1冊	U157 (TU)
唐土二十四孝 痩黔婁	歌川国芳	中判錦絵1枚	U655 (TU)
久松町而見る出火	小林清親	横大判錦絵1枚	U2557

展覧会名称：「東アジア中世海道－海商・港・沈没船－」
展覧会開催館名：国立歴史民俗博物館/大阪歴史博物館/山口県立萩美術館・浦上記念館
貸出年月日：2005/3/7～2005/11/27
貸出先：人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

作品名	時代	収蔵品番号
青磁象嵌牡丹文碗	高麗	T 3（TU)
青磁陰刻鸚鵡文鉢	高麗	T 4（TU)
青磁象嵌菊花文四耳壺	高麗	T 5（TU)
粉青沙器線刻魚文扁壺	朝鮮	T 42（TU)
玳皮天目碗	南宋	T 223（TU)
青白磁唐子唐草文鉢	北宋	T 232（TU)

青白磁刻線文合子	北宋	T 238（TU）
青磁牡丹唐草文瓶	元	T 240（TU）
澱青釉紅斑文杯	北宋～金	T 247（TU）
青花鳳凰文瓶	元	T 260（TU）
法花蓮華文洗	明	T 261（TU）
青花龍文瓶	元	T 397（TU）
青磁琮形瓶	南宋	T 447

平成17年度

展覧会名称：「萩の陶芸・輪島の漆芸」
展覧会開催館名：石川県輪島漆芸美術館
貸出年月日：2005/5/26～2005/7/31
貸出先：財団法人輪島漆芸美術館

作品名	作家名	員数	収蔵品番号
卑弥呼の書	三輪休雪	1点	K22

展覧会名称：「一松島・天橋立・厳島－日本三景展」
展覧会開催館名：広島県立美術館/京都文化博物館/東北歴史博物館
貸出年月日：2005/7/15～2005/12/15
貸出先：「日本三景展」実行委員会

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
本朝風景美人競 安芸宮嶋	歌川国貞	大判錦絵1枚	U256(TU)
名勝美人合 安芸厳島	楊洲周延	大判錦絵2枚	U2237(TU)
日本名所 安芸の宮しま	三代歌川広重	団扇絵判錦絵1枚	U4822
大日本三景之内 陸前国松島之真景	有山定次郎	石版画1枚	U4888
大日本三景之内 丹後国天之橋立真景	有山定次郎	石版画1枚	U4889
日本三景之内 安芸之宮島真景	渡辺忠久	石版画1枚	U4900

展覧会名称：「歌麿・北斎・広重 浮世絵三大巨匠展」
展覧会開催館名：福岡市博物館
貸出年月日：2005/10/1～2005/11/13
貸出先：福岡市博物館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
煙草を吸う女	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U44(TU)
文字楼一と本	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U50(TU)
山姥と金太郎 煙草のけむり	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U51(TU)
団扇を持つ娘	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U53(TU)
青楼六家撰 松葉屋粧ひ	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U54(TU)
鏡台前の母子	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U55(TU)
松葉屋内瀬川 市川	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U58(TU)
写シ上手本絵の姿見 四睡之図	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U62(TU)
三世市川八百蔵	歌川豊国	大判錦絵1枚	U86(TU)
吉原妓楼の図	葛飾北斎	大判錦絵5枚続	U142(TU)
百物語 こはだ小平二	葛飾北斎	中判錦絵1枚	U144(TU)
百物語 さらやしき	葛飾北斎	中判錦絵1枚	U145(TU)
唐楼閣美人遊興図	喜多川歌麿	大判錦絵3枚続	U2675
扇屋内花扇 よしの たつた	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2676
実競色乃美名家見 城き屋お駒 尾花才三郎	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2678
忠臣蔵 五段目	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2679
江戸六玉顔 此君情深し	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2681
名所風景 美人十二相	喜多川歌麿	大判錦絵1枚	U2683
見立妹背山	喜多川歌麿	大判錦絵3枚続	U2685
二世瀬川富三郎の大岸蔵人妻 やどり木	東洲斎写楽	大判錦絵1枚	U2692

展覧会名称：「はるかなり 江戸・鹿児島の旅」
展覧会開催館名：鹿児島県歴史資料センター黎明館
貸出年月日：2005/9/20～2005/11/13
貸出先：鹿児島県歴史資料センター黎明館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
東海道五十三次之内 大磯 虎ヶ雨	歌川広重	横大判錦絵1枚	U825(TU)
東海道五十三次之内 小田原 酒匂川	歌川広重	横大判錦絵1枚	U826(TU)
東海道五十三次之内 箱根 湖水図	歌川広重	横大判錦絵1枚	U827(TU)
東海道五十三次之内 原 朝之富士	歌川広重	横大判錦絵1枚	U830(TU)
東海道五十三次之内 吉原 左富士	歌川広重	横大判錦絵1枚	U831(TU)
東海道五十三次之内 由井 薩〇峠	歌川広重	横大判錦絵1枚	U833(TU)

展覧会名称：「北斎展」
展覧会開催館名：東京国立博物館 平成館
貸出年月日：2005/10/1～2005/12/28
貸出先：東京国立博物館/日本経済新聞社 文化・事業局

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	葛飾北斎	大判錦絵1枚	U105(TU)

展覧会名称：「山口県立萩美術館・浦上記念館所蔵 浮世絵展」
展覧会開催館名：島根県立石見美術館
貸出年月日：2005/9/15～2005/11/15
貸出先：島根県立石見美術館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
日光山名所之内 寂光布引瀧	溪斎英泉	大判錦絵1枚	U211(TU)
日光山名所之内 華厳之瀧	溪斎英泉	大判錦絵1枚	U212(TU)
相州大山道田村渡の景	歌川国芳	横大判錦絵1枚	U447(TU)
山海見立相撲 備前倫賀山	歌川広重	横大判錦絵1枚	U764(TU)
箱根七湯図会 湯もと	歌川広重	横大判錦絵1枚	U787(TU)
木曽路之山川	歌川広重	大判錦絵3枚続	U796(TU)
六十余州名所図会 伯耆 大野大山遠望	歌川広重	大判錦絵1枚	U930(TU)
六十余州名所図会 讃岐 象頭山遠望	歌川広重	大判錦絵1枚	U931(TU)
六十余州名所図会 隠岐 焚火の社	歌川広重	大判錦絵1枚	U932(TU)
六十余州名所図会 土佐 海上松魚釣	歌川広重	大判錦絵1枚	U834(TU)
甲陽猿橋之図	歌川広重	大判錦絵竪2枚続	U2008
山海見立相撲 越後新潟	歌川広重	横大判錦絵1枚	U765(TU)
六十余州名所図会 豊前 羅漢寺下道	歌川広重	大判錦絵1枚	U936(TU)
六十余州名所図会 周防 岩国錦帯橋	歌川広重	大判錦絵1枚	U937(TU)
六十余州名所図会 河内 牧方男山	歌川広重	大判錦絵1枚	U938(TU)
諸国名所百景 薩州枕崎海門ヶ嶽寿星踊	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1087(TU)
諸国名所百景 伊予峯越鳧坂網	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1088(TU)
諸国名所百景 肥前長崎唐津入津	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1089(TU)
諸国名所百景 隠岐焚火の社	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1090(TU)
諸国名所百景 安芸宮島汐干	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1091(TU)
諸国名所百景 近江磨針嶺	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1092(TU)
諸国名所百景 奥州そとヶ浜	二代歌川広重	大判錦絵1枚	U1093(TU)
日本名勝図会 松島	小林清親	大判錦絵1枚	U2022(SA)
日本名勝図会 常陸桜川より筑波山を望む	小林清親	大判錦絵1枚	U2023(SA)
日本名勝図会 田子の浦	小林清親	大判錦絵1枚	U2024(SA)
本朝名所 相州江ノ嶋岩屋之図	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2248
本朝名所 薩多富士	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2250
本朝名所 駿州清見ヶ関	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2251
本朝名所 信州更科田毎之月	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2253
本朝名所 摂州住吉出見之浜	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2254
本朝名所 箱根湯冶場之図	歌川広重	横大判錦絵1枚	U2256
日本名勝図会 月ヶ瀬奥の谷	小林清親	大判錦絵1枚	U2368(SA)
日本名勝図会 猿橋	小林清親	大判錦絵1枚	U2369(SA)
日本名勝図会 豊後耶馬渓古羅漢寺	小林清親	大判錦絵1枚	U2370(SA)
日本名勝図会 通天橋	小林清親	大判錦絵1枚	U2372(SA)
日本名勝図会 嵐山	小林清親	大判錦絵1枚	U2373(SA)
日本名勝図会 神橋	小林清親	大判錦絵1枚	U2374(SA)
日本名勝図会 厳島	小林清親	大判錦絵1枚	U2375(SA)

日本名勝図会 清見潟	小林清親	大判錦絵1枚	U2376(SA)
六十余州名所図会 備後 阿武門観音堂	歌川広重	大判錦絵1枚	U2761

展覧会名称：「陶のシルクロード展ー加藤卓男の陶芸ー」
展覧会開催館名：岐阜県現代陶芸美術館
貸出年月日：2006/1/9～2006/3/31
貸出先：岐阜県現代陶芸美術館

作品名	時代	収蔵品番号
藍三彩宝相華文三足盤	唐	T140(TU)
三彩長頸瓶	唐	T141(TU)
藍三彩兎形碗枕	唐	T142(TU)
三彩家鴨	唐	T145(TU)
三彩家鴨	唐	T146(TU)
緑褐釉杯	唐	T160(TU)
三彩杯	唐	T161(TU)
三彩手付杯	唐	T162(TU)
三彩合子	唐	T166(TU)
三彩有蓋小壺	唐	T169(TU)
藍彩小壺	唐	T170(TU)
三彩手付小壺	唐	T171(TU)
藍三彩小水注	唐	T172(TU)
三彩印花碗	唐	T177(TU)

展覧会名称：「東京美術倶楽部創立百周年記念 国宝を中心とする古美術名品展（仮称）」
展覧会開催館名：株式会社 東京美術倶楽部
貸出年月日：2006/1/10～2006/3/10
貸出先：株式会社 東京美術倶楽部

作品名	時代	収蔵品番号
青磁象嵌菊花文薬器	高麗	T10(TU)
青磁象嵌菊花文松葉形合子	高麗	T1(TU)

平成18年度

展覧会名称：「魚のすがた展 ーみる、釣る、喰うー」
展覧会開催館名：愛媛県美術館
貸出年月日：2006/9/28～2006/12/8
貸出先：愛媛県美術館

作品名	絵師名	員数・判型	収蔵品番号
猫の当字 なまづ	歌川国芳	大判錦絵1枚	U513(TU)
見たて似たかきん魚	落合芳幾	大判錦絵3枚組の1枚	U1172(TU)
見たて似たかきん魚	落合芳幾	大判錦絵3枚組の1枚	U1173(TU)
見たて似たかきん魚	落合芳幾	大判錦絵3枚組の1枚	U1174(TU)

展覧会名称：「十二代三輪休雪展」
展覧会開催館名：黒住教宝物館茶室
貸出年月日：2006/10/17～2007/2/7
貸出先：黒住教本部

作品名	作家名	員数	収蔵品番号
水指〈夏子〉	三輪龍作	1点	C22
香炉〈薫風〉	三輪龍作	1点	C23
茶碗〈初咲〉	三輪龍作	1点	C24
釜〈西洋夫人〉	三輪龍作	1点	C25
茶入〈卑弥呼〉	三輪龍作	1点	C26
蓋置〈LOVE〉	三輪龍作	1点	C27
掛軸〈花〉	三輪龍作	1点	C28
建水〈赤と黒〉	三輪龍作	1点	C29
茶杓〈娘心〉	三輪龍作	1点	C30
置物〈瑞鳥〉	三輪龍作	1点	C31

Ⅱ>4　寄贈作品　平成14年度

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1	歌川国貞	生写相生源氏　下之巻	版本	1冊	浦上敏朗	U5007-2	TU	

■ 研究資料

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1		東洲斎写楽 初世市川男女蔵の奴一平 等	複製版画	24点	浦上敏朗			

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1	早川松山	古今英雄一覧	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5050	TU	
2	歌川国貞	二十四好今様美人　うなぎ好	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5051	TU	
3	歌川国貞	誂織時世好	大判錦絵	竪2枚き	浦上敏朗	U5052	TU	
4	歌川国芳	市川海老蔵　岩井杜若　尾上菊五郎	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5053	TU	
5	歌川国芳	祭礼のてこまひ　茶つみ さるまわし　ちょぼくれ	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5054	TU	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
6	歌川国芳	忠孝加々見山 局岩藤　中老尾上　召仕お初	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5055	TU	
7	二代歌川広重	諸国六玉河　武蔵調布之玉川	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5056	TU	
8	月岡芳年	新撰東錦絵　延命院日当話	大判錦絵	2枚続	浦上敏朗	U5057	TU	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
1	松村實 コレクション	灰釉双耳壺		前漢時代	タカノハ興業 有限会社	T399	MM	
2	松村實 コレクション	灰釉長頚壺		前漢時代	タカノハ興業 有限会社	T400	MM	
3	松村實 コレクション	三彩薫炉		唐時代	タカノハ興業 有限会社	T401	MM	
4	松村實 コレクション	黄褐釉鶏		唐時代	タカノハ興業 有限会社	T402	MM	
5	松村實 コレクション	白磁壺		唐時代	タカノハ興業 有限会社	T403	MM	
6	松村實 コレクション	白磁合子	定窯系	北宋時代	タカノハ興業 有限会社	T404	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
7	松村實 コレクション	青白磁瓜形合子	景徳鎮窯	北宋時代	タカノハ興業 有限会社	T405	MM	
8	松村實 コレクション	青磁印花宝相華文碗	耀州窯	北宋時代	タカノハ興業 有限会社	T406	MM	
9	松村實 コレクション	黒釉堆線文壷		北宋～ 金時代	タカノハ興業 有限会社	T407	MM	
10	松村實 コレクション	青磁管耳瓶	龍泉窯	南宋～ 元時代	タカノハ興業 有限会社	T408	MM	
11	松村實 コレクション	青磁不遊環牡丹文瓶	龍泉窯	元時代	タカノハ興業 有限会社	T409	MM	
12	松村實 コレクション	青磁算木文香炉	龍泉窯	元時代	タカノハ興業 有限会社	T410	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
13	松村實 コレクション	瑠璃釉慈姑文壺	景徳鎮窯系	明時代	タカノハ興業 有限会社	T411	MM	
14	松村實 コレクション	青花牡丹唐草文鉢	景徳鎮官窯	明時代 宣徳在銘	タカノハ興業 有限会社	T412	MM	
15	松村實 コレクション	五彩龍文角鉢	景徳鎮官窯	明時代 嘉靖在銘	タカノハ興業 有限会社	T413	MM	
16	松村實 コレクション	五彩八仙人文鉢	景徳鎮官窯	明時代 萬暦在銘	タカノハ興業 有限会社	T414	MM	
17	松村實 コレクション	五彩鴛鴦文皿	景徳鎮官窯	明時代 萬暦在銘	タカノハ興業 有限会社	T415	MM	
18	松村實 コレクション	五彩鳳凰文皿	景徳鎮窯系 (天啓赤絵)	明時代 天啓在銘	タカノハ興業 有限会社	T416	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
19	松村實 コレクション	五彩山水人物文皿	景徳鎮窯系 （天啓赤絵）	明時代 天啓在銘	タカノハ興業 有限会社	T417	MM	
20	松村實 コレクション	五彩菊花文皿	景徳鎮窯系 （天啓赤絵）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T418	MM	
21	松村實 コレクション	五彩四馬文皿	景徳鎮窯系 （天啓赤絵）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T419	MM	
22	松村實 コレクション	五彩花蝶文皿	景徳鎮窯系	明時代 天啓佳器 銘	タカノハ興業 有限会社	T420	MM	
23	松村實 コレクション	五彩花鳥文壺	・州窯系 (呉州赤絵)	明時代	タカノハ興業 有限会社	T421	MM	
24	松村實 コレクション	青花人物文角鉢	景徳鎮窯系	明時代	タカノハ興業 有限会社	T422	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
25	松村實 コレクション	青花五位鷺文稜花鉢	景徳鎮窯系	明時代	タカノハ興業 有限会社	T423	MM	
26	松村實 コレクション	青花山水文馬上杯	景徳鎮窯系	明時代	タカノハ興業 有限会社	T424	MM	
27	松村實 コレクション	青花潮汲文皿	景徳鎮窯系	明時代	タカノハ興業 有限会社	T425	MM	
28	松村實 コレクション	青花騎牛帰路文皿	景徳鎮窯系 （古染付）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T426	MM	
29	松村實 コレクション	青花仙人文皿	景徳鎮窯系 （古染付）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T427	MM	
30	松村實 コレクション	青花梅鶯春字文皿	景徳鎮窯系 （古染付）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T428	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
31	松村實 コレクション	青花山水文六角三足皿	景徳鎮窯系 （古染付）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T429	MM	
32	松村實 コレクション	青花喜報春魁文輪花皿	景徳鎮窯系 （祥瑞）	明時代	タカノハ興業 有限会社	T430	MM	
33	松村實 コレクション	白磁壺		朝鮮時代	タカノハ興業 有限会社	T431	MM	
34	松村實 コレクション	青花山水文角瓶		朝鮮時代	タカノハ興業 有限会社	T432	MM	
35	松村實 コレクション	染付山水独釣文皿	有田 （初期伊万 里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T433	MM	
36	松村實 コレクション	染付山水文皿	有田 （初期伊万 里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T434	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
37	松村實 コレクション	染付芦雁文皿	有田 （初期伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T435	MM	
38	松村實 コレクション	染付葡萄蝶文皿	有田 （初期伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T436	MM	
39	松村實 コレクション	染付紅葉形小皿	有田 （伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T437	MM	
40	松村實 コレクション	色絵朝顔鶉唐草長四方皿	有田 （伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T438	MM	
41	松村實 コレクション	色絵丸文角瓶	有田 （伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T439	MM	
42	松村實 コレクション	色絵牡丹竹文角瓶	有田 （伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T440	MM	

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
43	松村實 コレクション	色絵花卉文皿	有田 （伊万里）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T441	MM	
44	松村實 コレクション	色絵粟鶉文八角鉢	有田 （柿右衛門様式）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T442	MM	
45	松村實 コレクション	色絵鳳凰文皿	有田 （柿右衛門様式）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T443	MM	
46	松村實 コレクション	色絵鳥形置物	有田 （柿右衛門様式）	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	T444	MM	

■日本絵画

No.	コレクション名	作品名	作者	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
1	松村實 コレクション	竹石図	山本梅逸	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	O9	MM	
2	松村實 コレクション	山林暮雪図	日根対山	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	O10	MM	
3	松村實 コレクション	倣伊孚九 層巒秋晴図	田能村直入	江戸時代	タカノハ興業 有限会社	O11	MM	

■浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1	歌川国芳	二十四孝童子鑑　姜詩	横大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5061	TU	
2	歌川国芳	賢勇婦女鏡　近江金女	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5062	TU	
3	歌川国芳	賢女烈婦伝　安寿姫	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5063	TU	
4	月岡芳年	芳年略画　金太郎獲鯉魚　宇治之戦	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5064	TU	
5	月岡芳年	(芳年略画)蝙蝠之五段目　鐘之世界	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5065	TU	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
6	月岡芳年	（芳年略画） 曽我時致裸馬乗而大磯駆　真如月	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5066	TU	
7	小林清親	花模様　文化ノ頃	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5067	TU	
8	小林清親	花模様　安永頃	大判錦絵	3枚続	浦上敏朗	U5068	TU	

■浮世絵

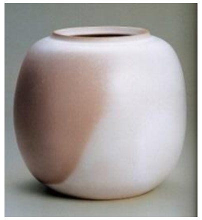
No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1	月岡芳年	魁題百撰相　泰桐若	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5072	TU	
2	月岡芳年	皇国二十四功　尾上の召仕お初	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5073	TU	
3	月岡芳年	芳年武者无類　北条時政	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5074	TU	
4	二代歌川広重	三十六花撰　東京大宮八幡おのこへし	大判錦絵	1枚	浦上敏朗	U5075	TU	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
5	小林清親	教導立志基　上毛野形名	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5076	RK	
6	小林清親	教導立志基　小野道風	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5077	RK	
7	井上安治	教導立志基　大納言行成	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5078	RK	
8	井上安治	教導立志基　赤染衛門	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5079	RK	
9	井上安治	教導立志基　仏御前	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5080	RK	

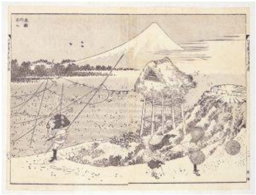
No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
10	井上安治	教導立志基　青砥藤綱	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5081	RK	
11	井上安治	教導立志基　曽我兄弟	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5082	RK	
12	水野年方	教導立志基　楠正成	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5083	RK	
13	井上安治	教導立志基　村上義光	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5084	RK	
14	小林清親	教導立志基　北条泰時	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5085	RK	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
15	小林清親	教導立志基　上杉景虎	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5086	RK	
16	小林清親	教導立志基　織田信長	大判錦絵	1枚	ロナルド・クライン	U5087	RK	

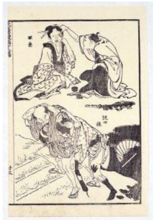
■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	作者	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
1		三彩蓮花文枕		金時代	浦上敏朗	T454	TU	
2		白釉窯変壺	岡田裕	平成16年	有限会社 岡田窯	K032		
3		ココロノカケラ	金子司	平成16年	金子司	K033		
4		WORK'04 峻	兼田昌尚	平成16年	有限会社 天寵窯	K034		
5		萩伊羅保釉茶碗	野坂康起	平成16年	有限会社 野坂江月堂	K035		

■浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
1	葛飾北斎	富嶽百景　初編 十丁ウ　七夕の不二	版本		浦上敏朗	U5098	TU	
2	葛飾北斎	富嶽百景　初編 十七丁ウ　十八丁オ　枯木の不二	版本		浦上敏朗	U5099	TU	
3	葛飾北斎	富嶽百景　初編 十九丁オ　江戸の不二	版本		浦上敏朗	U5100	TU	
4	葛飾北斎	画本魁　初編 十四丁ウ　十五丁オ 平井の保昌　土蜘蛛退治	版本		浦上敏朗	U5101	TU	
5	葛飾北斎	画本魁　初編 十六丁ウ　十七丁オ　ト部靭屓ノ輔季武	版本		浦上敏朗	U5102	TU	

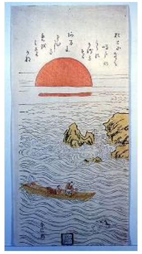
No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
6	葛飾北斎	画本魁　初編 十七丁ウ　十七丁オ　夢中出現の鐘馗	版本		浦上敏朗	U5103	TU	
7	葛飾北斎	画本魁　初編 十八丁ウ　十九丁オ 和唐内国性爺　猛虎を随る	版本		浦上敏朗	U5104	TU	
8	葛飾北斎	北斎漫画　三編　般鬼（ふなゆうれい）	版本		浦上敏朗	U5105	TU	
9	葛飾北斎	北斎漫画　三編　三つ目一つ目小僧	版本		浦上敏朗	U5106	TU	
10	葛飾北斎	北斎漫画　十編　菊女が霊　三ケ月上人	版本		浦上敏朗	U5107	TU	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	寄贈者	収蔵品番号		
11	葛飾北斎	北斎漫画　十編　祐天和尚　累の怨魂	版本		浦上敏朗	U5108	TU	
12	葛飾北斎	北斎漫画　十編　鬼	版本		浦上敏朗	U5109	TU	
13	葛飾北斎	北斎漫画　十編　家久連里（かくれさと）	版本		浦上敏朗	U5110	TU	
14	葛飾北斎	北斎漫画　十二編　眼療　泥田棒	版本		浦上敏朗	U5111	TU	

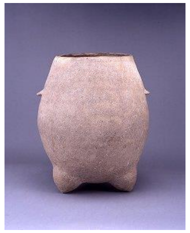
■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	寄贈者	収蔵品番号		
1		白地黒釉碗		晩唐時代	浦上敏朗	T458	TU	

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
1	アンリ リヴィエール	エッフェル塔三十六景	リトグラフ	1冊	U5013	
2	鈴木春信	鳴門の日の出	細判 紅摺絵	1枚	U5014	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	収蔵品番号	
1		青磁鉢		高麗時代	T393	
2		灰陶把手付三足甕		龍山文化期	T394	
3		青磁蓮文合子	越州窯	五代～ 北宋時代	T395	
4		青磁盤	鈞窯	北宋～ 金時代	T396	

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
1	豊原国周	壁のむだかき	大判錦絵	2枚続	U5015	
2	月岡芳年	新撰東錦絵　小紫比翼塚之話	大判錦絵	2枚続	U5016	
3	月岡芳年	新撰東錦絵　大仁坊梅ヶ枝を殺害の図	大判錦絵	2枚続	U5017	
4	月岡芳年	新撰東錦絵　おさめ遊女を学ぶ図	大判錦絵	2枚続	U5018	
5	月岡芳年	新撰東錦絵　田宮坊太郎之話	大判錦絵	2枚続	U5019	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
6	月岡芳年	新撰東錦絵　佐野次朗左衛門の話	大判錦絵	2枚続	U5020	
7	月岡芳年	平清盛炎焼病之図	大判錦絵	3枚続	U5021	
8	月岡芳年	日蓮上人石和河にて鵜飼の迷魂を済度したまふ図	大判錦絵	3枚続	U5022	
9	月岡芳年	雪月花の内　月　毛剃九右衛門　市川三升	大判錦絵	3枚続	U5023	
10	月岡芳年	美談武者八景　琉球の帰帆	大判錦絵	3枚続	U5024	
11	月岡芳年	祐天不動の長剣呑む図	大判錦絵	3枚続	U5025	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
12	月岡芳年	三国志図会内　玄徳風雪二孔明ヲ訪フ	大判錦絵	3枚続	U5026	
13	月岡芳年	新容六怪撰　平相国清盛入道浄海	大判錦絵	3枚続	U5027	
14	月岡芳年	誠忠義心伝　五　堀部弥兵衛　源金丸	大判錦絵	1枚	U5028	
15	月岡芳年	誠忠義心伝　十八　岡埜金右エ門藤原包秀	大判錦絵	1枚	U5029	
16	月岡芳年	誠忠義心伝　廿四　間瀬孫九郎　源正辰	大判錦絵	1枚	U5030	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
17	月岡芳年	誠忠義心伝　廿七　倉橋伝介　清原武幸	大判錦絵	1枚	U5031	
18	月岡芳年	魁題百撰相　大塔宮	大判錦絵	1枚	U5032	
19	月岡芳年	魁題百撰相　天海僧正	大判錦絵	1枚	U5033	
20	月岡芳年	魁題百撰相　外記孫八	大判錦絵	1枚	U5034	
21	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　一月　初卯妙義詣　柳ばし　はま	大判錦絵	1枚	U5035	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
22	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　二月　梅やしき　新橋　てい	大判錦絵	1枚	U5036	
23	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　三月　吉原の桜　尾州楼　長尾	大判錦絵	1枚	U5037	
24	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　四月　亀戸の藤　柳橋　小つゆ	大判錦絵	1枚	U5038	
25	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　五月　堀切の菖蒲　大阪町　たん子	大判錦絵	1枚	U5039	
26	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　六月　入谷の朝顔　柳ばし　福助	大判錦絵	1枚	U5040	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
27	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　七月　廓の燈篭　仲之街　小とみ	大判錦絵	1枚	U5041	
28	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　八月　廿六夜　品川島崎　染園	大判錦絵	1枚	U5042	
29	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　九月　千駄木の菊　根津八幡楼　小桜	大判錦絵	1枚	U5043	
30	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　十月　滝ノ川紅葉　日本橋　八重	大判錦絵	1枚	U5044	
31	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　十一月　酉のまち　日本橋　小三	大判錦絵	1枚	U5045	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
32	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月　十二月　浅草市　しん橋　くめ	大判錦絵	1枚	U5046	
33	小林清親	武蔵百景之内　江戸ばしより日本橋の景	大判錦絵	1枚	U5047	
34	小林清親	武蔵百景之内　亀井戸天満宮	大判錦絵	1枚	U5048	
35	小林清親	武蔵百景之内　小金井さくら	大判錦絵	1枚	U5049	
36	鈴木春信	『絵本諸芸錦』3冊	版本	1冊	U5058	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	収蔵品番号	
1		青花龍文　瓶	景徳鎮	元時代	T397	
2		青花蓮池文　瓶	景徳鎮	元時代	T398	

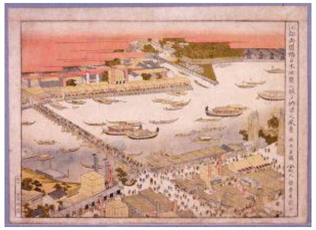
■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
1	鳥居清広	傘さす男女	大判 紅摺絵	1枚	U5059	
2	歌川広重	東海道五十三次之内　金谷　戸塚	横大判 錦絵	1枚	U5060	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	収蔵品番号	
1		灰釉線刻連環双耳壺		戦国時代	T445	
2		黄褐釉瓢形水注		遼時代	T446	
3		青磁琮形瓶	龍泉窯	南宋時代	T447	
4		呉須赤絵龍獅子花鳥文壺		明時代末期	T448	

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
1	鳥居清満	浮絵新吉原紋日図	横大々判 紅摺絵	1枚	U5069	
2	鳥居清長	五節遊　正月	中判 錦絵	1枚	U5070	
3	勝川春章	江都両国橋日本無双之賑夕納涼之風景	横大々判 紅摺絵	1枚	U5071	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	収蔵品番号	
1		加彩牛車		北魏時代	T449	
2		黄釉盤三彩		北斉時代	T450	
3		青花瓢形徳利　一対		明時代	T451	
4		青磁梅瓶		高麗時代	T452	
5		鉄砂徳利		朝鮮時代	T453	

■ 浮世絵

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
1	葛飾北斎	富嶽三十六景　隅田川関谷の里	大判錦絵	1枚	U5088	
2	魚屋北溪	諸国名所　伊豆手石の弥陀	横大短冊判錦絵	1枚	U5089	
3	歌川広重	山陰道八ケ国　丹波　丹後　但馬　因幡	大判錦絵	1枚	U5090	
4	歌川広重	山陰道八ケ国　石見　出雲　伯耆　隠岐	大判錦絵	1枚	U5091	
5	歌川広重	山陽道八筒国　播磨　美作　備前　備中	大判錦絵	1枚	U5092	

No.	絵師名	作品名	形態	員数	収蔵品番号	
6	歌川広重	山陰道八箇国 備後 周防 長門 安芸	大判錦絵	1枚	U5093	
7	歌川広重	南海道六ケ国 紀伊 讃岐 淡路 阿波 伊予 土佐	大判錦絵	1枚	U5094	
8	歌川国芳	四季心女遊 春	中判錦絵	3枚続	U5095	
9	歌川国芳	四季心女遊 夏	中判錦絵	3枚続	U5096	
10	歌川国芳	四季女遊 秋	中判錦絵	3枚続	U5097	

■ 陶磁器

No.	コレクション名	作品名	生産窯	制作年代	収蔵品番号	
1		黒陶有蓋豆		戦国時代	T455	
2		白磁皿	定窯系	金時代	T456	
3		青磁四耳壺		隋時代	T457	

Ⅲ入館者数

No	展　覧　会　名	入館者	日数	平均	実施期間
1	北澤美術館所蔵 アール・ヌーヴォーガラス名品展	20,982	51	412	H14.04.06　～　06.02
2	オリエントの輝くうつわ －ガラス・金銀器・ラスター彩陶器－	5,597	32	175	H14.06.08　～　07.14
3	日本陶磁五千年の至宝 愛知県陶磁資料館コレクション展	8,900	38	235	H14.07.20　～　09.01
4	心のやきもの李朝－朝鮮時代の陶磁－	11,090	44	253	H14.09.07　～　10.27
5	青春の浮世絵師　鈴木春信 江戸のカラリスト登場	11,236	32	352	H14.11.02　～　12.08
6	～歌麿や広重も描いた江戸の子宝～ 遊べや遊べ！子ども浮世絵展	5,484	26	211	H15.04.12　～　05.11
7	河村コレクション　竹下夢二展	19,535	50	391	H15.05.17　～　07.13
8	ホノルル美術館所蔵　浮世絵風景画名品展	8,635	26	333	H15.07.19　～　08.17
9	陶の詩人　小山富士夫の眼と技展	7,487	56	134	H15.08.23　～　10.26
10	シリーズ山東文物4 原始土器の美－大汶口遺跡出土文物	6,018	71	85	H15.11.01　～　H16.02.01
11	初期伊万里展　－染付と色絵の誕生－	15,159	44	345	H16.04.03　～　05.23
12	受贈記念　松村實コレクション展				
13	出光コレクション　肉筆浮世絵名品展	12,253	45	273	H16.05.29　～　07.19
14	洛陽の夢　唐三彩展	6,862	38	181	H16.07.24　～　09.05
15	HANGA　東西交流の波展	7,749	38	204	H16.09.11　～　10.24
16	萩開府400年記念　萩陶芸家協会展 －萩陶芸の現在－	11,370	26	437	H16.10.30　～　11.28
17	シリーズ山東文物5　小さな御仏たち展	5,915	75	79	H16.12.11　～　H17.03.13
18	2005年日本国際博覧会開催記念 瀬戸陶芸の精華展	11,368	45	253	H17.04.23　～　06.12
19	明治絵－文明開化の世界展	3,885	20	195	H17.06.18　～　07.01
20	20世紀陶芸界の鬼才　加守田章二展	7,785	44	177	H17.07.16　～　09.04
21	東アジア中世海道－海商・港・沈没船	11,886	62	192	H17.09.17　～　11.27
22	シリーズ山東文物6　鏡の中の宇宙	4,341	74	59	H17.12.10　～　H18.03.12
23	華麗なるマイセン磁器 －シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで－	33,096	44	753	H18.04.08　～　05.28
24	雅／俗－浮世絵に見る風雅と風俗	6,609	44	151	H18.06.10　～　07.03
25	陶器が語る来世の理想郷 中国古代の暮らしと夢－建築・人・動物	5,389	38	142	H18.08.12　～　09.24
26	萩焼の造形美　人間国宝　三輪壽雪の世界	19,168	45	426	H18.10.07　～　11.26
27	シリーズ山東文物7　東方はるかなユートピア －煙台地区出土文物精華－	4,139	74	56	H18.12.09　～　H19.03.11

Ⅳ 組織

平成14年度

名誉館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	津田隆
学芸専門監	上田秀夫
〔総務課〕課長(兼)	津田隆
主査	藤田浩一
主事	藤本志信
〔学芸課〕課長(兼)	上田秀夫
主査	鈴木浩平
主任	石﨑泰之
主任	藤村忠範
学芸員	吉田洋子
学芸員	今村佳子

平成15年度

名誉館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	佐々木高美
学芸専門監	上田秀夫
〔総務課〕課長(兼)	佐々木高美
主査	藤﨑三紀夫
主事	藤本志信
〔学芸課〕課長(兼)	上田秀夫
主査	鈴木浩平
主任	石﨑泰之
主任	藤村忠範
学芸員	吉田洋子
学芸員	今村佳子

平成16年度

名誉館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	佐々木高美
学芸専門監	上田秀夫
〔総務課〕課長(兼)	佐々木高美
主査	藤﨑三紀夫
主事	濵田宜孝
〔学芸課〕課長(兼)	上田秀夫
主査	鈴木浩平
主任	石﨑泰之
主任	藤村忠範
学芸員	吉田洋子
学芸員	今村佳子

平成17年度

名誉館長	浦上敏朗
館長	足立明男
副館長	佐々木高美
副館長	上田秀夫
〔総務課〕課長(兼)	佐々木高美
主査	藤﨑三紀夫
主事	濵田宜孝
〔学芸課〕課長	鈴木浩平
主査	石﨑泰之
主任	藤村忠範
学芸員	吉田洋子
学芸員	今村佳子

平成18年度

名誉館長	浦上　敏朗
館　　長	足立　明男
副館長	江山　賢治
副館長	上田　秀夫
〔総務課〕課長(兼)	江山　賢治
主　　査	藤﨑　三紀夫
主　　事	濵田　宜孝
〔学芸課〕課長	鈴木　浩平
主　　査	石﨑　泰之
主　　任	藤村　忠範
学芸員	吉田　洋子
学芸員	今村　佳子